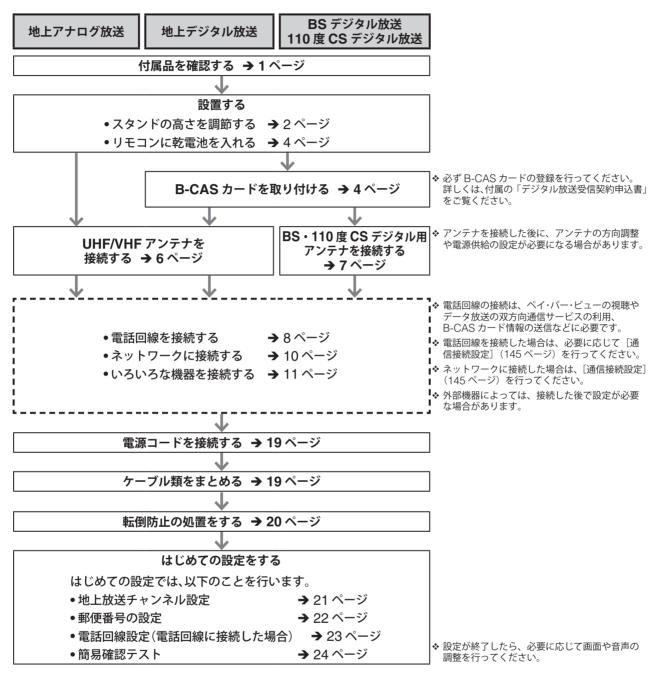
FORIS.TV®

取扱説明書

重要

お買い上げありがとうございます。
使用する前に取扱説明書をよく読み
正しくお使いください。
取扱説明書は大切に保管してください。

SC26XD1
デジタルチューナー搭載
カラー液晶テレビ

SD™ MEMORY STICK MMC

準備の流れ

視聴するテレビ放送に応じて、以下の流れで必要な準備（設置･接続･設定）を行います。

以上で準備完了です。

［破線枠］は必要に応じて行ってください。

本機の特徴

FORIS.TV SC26XD1 には、次のような特徴があります。

高画質・高音質を「EIZO V.S. Technology」により実現
（「EIZO V.S. Technology」とは、EIZO が取り組む画質と音質づくりのマインドであり、EIZO ならではの高精度システムの総称です）

地上デジタル放送をはじめ、PC 環境まで考慮したマルチソース対応型
地上・BS・110 度 CS などのデジタル放送を楽しめるほか、コンピュータを接続して、コンピュータ用のモニターとしても利用することができます。

HDMI 入力端子を搭載
次世代のデジタルインターフェース規格である「HDMI（High-Definition Multimedia Interface）」に対応しています。

独立専用回路を採用したコンポーネント入力、HDMI 入力、PC 入力を装備
より高画質な映像を楽しむために、コンポーネント入力と HDMI 入力、PC 入力では、独立専用回路を採用しています。また、これらの入力では色温度や映像ガンマのきめ細かな調整が行えます。

高性能液晶パネルの採用
表示画素数（1366 × 768）、輝度（500cd/m^2）、視野角（上下・左右 170°）の液晶パネルを採用し、広い視野と高いコントラストを実現しています。

プログレッシブスキャンでハイビジョン画像を実現
映像の動きの変化量を感知し、それに合わせて最適な処理を行うプログレッシブスキャン方式を採用しています。通常の映像方式に加え、高速処理を必要とする 1080i の映像についても高解像度の動画・静止画再生を実現しました。

画像のコントラストと明るさを自動で調整可能
入力された信号に応じて、コントラストと明るさを自動的に調整するコントラスト拡張機能を搭載しています。暗いシーンでのコントラスト不足を解消、黒浮きを抑えた明暗のはっきりした映像が得られます。

画面の明るさを自動で調整可能
周囲の明るさに合わせて、画面を最も見やすい明るさに自動的に調整する明るさ自動調整機能を搭載しています。照明を気にすることなく、映像が楽しめます。

大容量スピーカーボックスを内蔵
充分な容積を確保したエンクロージャー設計により、画像やシーンに合わせた聞き取りやすく自然な音を再現します。
10cm フルレンジ & バスレフ型スピーカーシステムを採用しています。

5 バンドイコライザーで、好みに応じた音質設定が可能
「しっかりとした重厚な音」「明瞭でクリア感のある音」などの好みに応じて、それぞれの音質設定が可能な 5 バンドイコライザーを搭載しています。

BBE High Definition Sound（ハイデフィニションサウンド）を採用
BBE High Definition Sound は、人の声や楽音を原音に極めて近いリアルな音で再現します。

音声ディレイ回路を搭載
高画質化を目的としたデジタル画像処理に伴う映像遅延にあわせて、音声を同期させ、映像と音声のずれをなくした自然な視聴を可能にしています。

光デジタル音声出力端子を装備
お手持ちの MPEG-2 AAC デコーダー内蔵アンプやステレオ装置に接続することにより、迫力のある音声が楽しめます。

各種メモリカードに対応
デジタルカメラで撮影し、「SD メモリカード」「メモリースティック」「マルチメディアカード」に記憶した画像をテレビ画面でご覧になれます。

高さ調節・回転機能を備えた専用スタンドを装備
スタンドは3段階に高さを変えることができ、また左右に画面を回せるスウィーベル機能を搭載しています。ダイニングでの椅子に座った位置、リビングでの低いソファに座った視線、フロアに座った目線で向かえるなど、各々のスタイルで楽しむことができます。

著作権、商標について

- 営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、送信されてくる映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。
- 本製品は、米国特許およびその他の知的財産権によって保護される著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはマクロヴィジョン社の許諾が必要であり、マクロヴィジョン社の許諾がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。本製品の分解や改造は固く禁じられています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、「SD メモリカード」、「マルチメディアカード」、「メモリースティック」に記録された画像などは、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組については、録画をすることはできません。また、著作権保護のため一回だけ録画を許された番組（コピーワンスプログラム）については、録画した番組をさらにコピーすることはできません。

こんなことができます（機能のご紹介）

テレビ放送（デジタル放送）を見る・録画する

いろいろな方法でチャンネルや番組を選ぶことができます。

リモコンの数字ボタンやチャンネルボタン（∧、∨）だけでなく、いろいろな方法でチャンネルや番組を選ぶことができます。

- お気に入りのチャンネルを登録しておくことができます。

お気に入り ➔ 29 ページ

- 現在受信できるチャンネルの一覧から選ぶことができます。

チャンネル一覧 ➔ 30 ページ

- 番組表から選ぶことができます。（番組表は自動的に送られてきます）

番組表 ➔ 32 ページ

- 今放送されている番組のリストから選ぶことができます。

番組チェック ➔ 34 ページ

デジタル放送のさまざまなサービスを楽しむことができます。

- 文字や静止画による情報を見たり、視聴者参加型の番組が楽しめるデータ放送を見ることができます。

データ放送 ➔ 36 ページ

- 一つの番組の中に複数の信号（映像、音声、データ）がある場合に、信号を切り換えることができます。

信号切換 ➔ 41 ページ

- 画面に字幕を表示させることができます。（字幕放送サービスが行われているときのみ）

字幕 ➔ 43 ページ

- 番組ごとに料金を払って視聴するペイ・パー・ビュー番組を購入し、視聴することができます。

ペイ・パー・ビュー番組 ➔ 44 ページ

- デジタル放送の信号と一緒に送られてくる「放送局からのお知らせ」を見ることができます。

「放送局からのお知らせ」➔ 49 ページ

外部機器を接続する

i.LINK に対応した録画機器を本機で操作することができます。

i.LINK ケーブルで本機に接続したデジタルレコーダーやデジタルチューナーの各種操作を行うことができます。

接続について ➔ 12 ページ
操作について ➔ 63 ページ

コンピュータのモニターとして使うことができます。

本機にコンピュータを直接接続し、モニターとして利用することができます。また、画質や音質をコンピュータ用に調整することもできます

接続について ➔ 18 ページ
画質の調整 ➔ 100 ページ
音質の調整 ➔ 104 ページ

デジタルカメラの静止画を見る

「SD メモリカード」、「MMC（マルチメディアカード）」、「メモリースティック」に記録されているデジタルカメラの静止画をテレビ画面で見ることができます。

操作について ➔ 59 ページ

好みや用途に応じて、詳細に設定・調整する

画面表示や画質、音質などを設定・調整することができます。

- 画面を静止する ➔ 50 ページ
- 2 画面表示にする ➔ 51 ページ
- 画面サイズを選ぶ ➔ 54 ページ
- 画面を消して音だけを聞く ➔ 50 ページ
- 音を消す ➔ 57 ページ
- 音声を切り換える ➔ 56 ページ
- 画面の明るさを自動調整する ➔ 54 ページ
- 画像のコントラストを自動調整する ➔ 97、99 ページ

省電力機能を利用することができます。

- 「オフタイマー」機能 ➔ 74 ページ
- 「消画」機能 ➔ 50 ページ
- 「電源オフ」機能 ➔ 75 ページ

本機を詳細に設定・調整することができます。

本機を詳細に設定・調整するためのさまざまなメニューを用意しています。詳しくは、各参照先をご覧ください。

- 映像設定 ➔ 96 ページ
- 音声設定 ➔ 102 ページ
- 入力設定 ➔ 106 ページ
- 視聴設定 ➔ 109 ページ
- データ放送 ➔ 113 ページ
- 初期設定 ➔ 121 ページ
- その他 ➔ 115 ページ

クイックメニューとメニュー

本機では、クイックメニューやメニューを使って、本機の機能を使ったり、各種調整や設定を行います。

クイックメニュー

そのときに使うと便利な機能の一覧が表示されます。そのときの本機の状態（見ている放送や映像入力）によって選べる機能が変わります。

❖ クイックメニューは、映像入力（58 ページ）がコンポーネント、HDMI、PC の場合には表示されません。

1 〔クイックメニュー〕を押す

クイックメニューが表示されます。

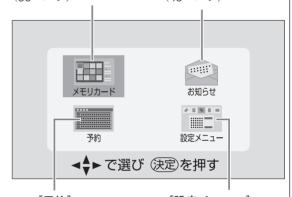
2 項目名を選び、〔決定〕を押す

各機能の設定に進みます。
クイックメニューで選べる機能と各機能の説明は、下表をご覧ください。

メニュー

デジタルカメラの画像やお知らせを見たり、本機の設定を変えたりするときに使います。（映像入力が、テレビ放送、ビデオ、i.LINK のとき）

❖ 映像入力がコンポーネント、HDMI、PC の場合については、98 ページをご覧ください。

1 〔メニュー〕を押す

メニューが表示されます。

2 メニューからアイコンを選び、〔決定〕を押す

［メモリカード］
メモリカードに記録した画像を見ることができます。（60 ページ）

［お知らせ］
放送局からのお知らせなどを見ることができます。（49 ページ）

［予約］
デジタル放送の録画や、視聴予約ができます。（80、84 ページ）

［設定メニュー］
画質や音質の設定、本機の各種設定を行うことができます。（92 ページ）

各メニューの設定に進みます。

クイックメニューで選べる機能

クイックメニュー	サブメニュー	機能	参照先
一発録画	ー	視聴中の番組を簡単操作で録画できます。	89 ページ
音多切換	ー	二重音声放送の音声を切り換えます。	56 ページ
信号切換	映像切換 音声切換 データ切換	デジタル放送で、複数の信号が送られている番組の映像や音声、データを切り換えます。	41 ページ
	字幕切換 字幕アウトスクリーン	デジタル放送の字幕の表示や設定をします。	43 ページ
	降雨対応放送切換	降雨対応放送に切り換えます。	168 ページ
電話回線切断	ー	電話回線の接続を切断します。	48 ページ
データ放送の機能	ブックマーク	データ放送をリストに保存します。	38 ページ
	登録発呼	双方向通信する際、送信する内容を保存しておき、後から送信します。	39 ページ

目次

第１章　準備

第２章　テレビを見る

第３章　便利な機能

第４章　予約と録画

第５章　調整と設定

第６章　トラブル時の対処

目次（つづき）

付録

解説目次

安全のために

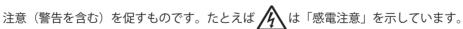
使用上の注意

重要

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

絵表示について

本書では次のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示したりするものです。たとえば は「電源プラグを抜くこと」を示しています。

⚠警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに製品の電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

異物を入れない、液体の入ったもの（花瓶など）や濡れたものを置かない

本製品内部に金属、燃えやすいものや液体が入ると火災や感電、故障の原因となります。
万一、本製品内部に異物を落としたり、液体をこぼしたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

丈夫で安定した場所に置く

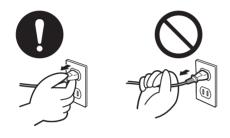
不安定な場所に置くと、転倒することがあり、けがの原因となります。
万一、倒れた場合は、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。
－ 屋外
－ 車両・船舶などへの搭載
－ 湿気やほこりの多い場所
－ 水滴のかかる場所（浴室、水場など）
－ 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く

転倒防止の処置をする

地震など非常時の安全確保と事故（火災、感電、けが）を防止するためです。
（処置方法については、20 ページをご覧ください）

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。
ー 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
ー タコ足配線

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

本製品に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれているため、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。

アンテナ工事は販売店またはエイゾーサポートに相談する

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。

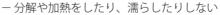
電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグやコード、アンテナ線、電話機コードには触れない

感電の原因となります。

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

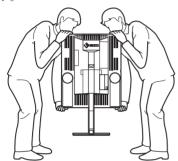
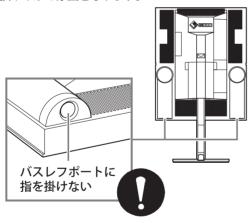
もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

リモコン用乾電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。

ー 分解や加熱をしたり、濡らしたりしない
ー 乾電池の取りつけ、交換は正しく行う
ー 交換は、2 本とも新しい同じ種類（単 4 形のマンガン電池あるいはアルカリ電池）を使う
ー プラス（＋）とマイナス（ー）の向きを正しく入れる
ー 被覆にキズの入った乾電池は使用しない
ー 廃棄時は地域指定の「乾電池回収箱」などへ入れる

⚠注意

運搬のときは、接続コードを外す

コードを引っ掛け、けがの原因となります。

本製品を移動させるときは、持ちかたに注意する

－ 画面上部と下部を下図のように２人で持つ
落としたりすると、けがや故障の原因となります。

－ 本体底面のバスレフポートに指を掛けない
破損やけがの原因となります。

スタンドの高さを調節するときは２人以上で行う

腰などを痛めたり、製品の落下によりけがの原因となります。
また、スタンドを取り付けるネジは最後までしっかりと回し、確実に固定してください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。
－ 通風孔をカーテンなどでふさがない
－ 通風孔の上や周囲にものを置かない
－ 風通しの悪い、狭いところに置かない
－ 周囲の壁から 10cm 以上の間隔をあけて設置する

電源プラグの周囲にものを置かない / 製品は電源コンセントの近くに設置する

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

テレビの上に乗らない、重いものを置かない

転倒することがあり､けがの原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。

画面を左右に回転する際には、接続コードが引っ張られないようにする

コードが強く引っ張られると、コードや接続機器が破損し、火災や感電、故障の原因となります。

電話回線への接続は正しく行う

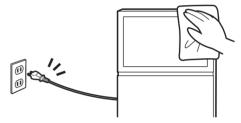
火災や故障の原因となります。

モジュラー分配器、電話機コードを分解、改造したり、端子に触れたりしない

電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などには強い電流が流れ、感電の原因となります

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源プラグも抜く

ヘッドフォンを使用するときは音量を上げすぎない

聴力に悪い影響を与える原因となります。

クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままで行うと感電の原因となります。

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

液晶パネルについて

- 画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。
- 液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。寿命の目安は約 50,000 時間（標準設定状態の場合）です。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには､販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。
- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。
- 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。
- 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると、故障の原因となることがあります。

正しく快適にお使いいただくために

- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することをおすすめします。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。
- 画面を見るときは、画面の高さの 5 〜 7 倍程度離れてご覧ください。
- 本機の近くで電磁波を発生するような機器（携帯電話など）を使用しないでください｡機器相互間での干渉により、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

必ずお読みください

本機の使用についてのお願い

■ 番組情報取得などのためには、毎日2時間以上電源を待機状態（電源ボタンで電源を切っただけの状態）にしておく必要があります

デジタル放送では、番組表やジャンル検索、予約などに使用する情報（番組名や放送時間など）が放送電波といっしょに送られており、本機では、それらの情報を電源待機時に取得します。（電源プラグを抜いている場合には、番組情報は一切取得できません）
番組情報の取得ができていないと、番組表が正しく表示されないといったことが起きますので、毎日2時間以上電源を待機状態にしておくことをおすすめします。

❖ 電源が入っている（デジタル放送を視聴している）ときにも番組情報の取得は行われますが、そのときご覧になっている放送以外の放送の番組情報を取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や、そのときの本機の状態によって、取得できる内容は異なります）

❖ 長期間本機をご使用にならない場合には、安全のため電源を切って電源コードも抜くようにしてください。

■ ユーザー登録をしてください

本機のソフトウェアをバージョンアップする際の情報をお送りするなどの目的で、ユーザー登録をお願いしています。付属の保証書に添付の「ユーザー登録カード」をご覧の上、ユーザー登録をしてください。

ソフトウェアのバージョンアップについて

本機のご購入後にも、より快適にお使いいただくために、本機内部のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。
本機はデジタル放送の電波を利用して自動でソフトウェアをバージョンアップするダウンロード機能に対応しています。お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新のソフトウェアでお楽しみいただけます。
自動でダウンロードを行いたくない場合は、設定メニューの［自動ダウンロード］を［ダウンロードしない］に変更してください。この場合、自動ダウンロードについての情報があるときは、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
ソフトウェアのバージョンアップや自動ダウンロードについては、118ページをご覧ください。

お問い合わせ先について

受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。

この取扱説明書について

- 本書に記載されている画面は、実際の表示と文章表現などが異なる場合があります。
- 受信画面の例に使われている番組などの名称は、架空のものです。
- 本書に記載されている機能の中には、放送サービス側でそれらを運用していないと使用できないものがあります。
- 本機の画面に表示されるアイコン（絵文字）については、「アイコン一覧」（177ページ）をご覧ください。
- 本書では、次の略語を使用しています。

略語	意味
デジタル放送：	地上デジタル放送、 BSデジタル放送、 110度CSデジタル放送
地上A、地上アナログ：	地上アナログ放送
地上D、地上デジタル：	地上デジタル放送
BS：	BSデジタル放送
110度CS、CS：	110度CSデジタル放送
メモリカード：	「SDメモリカード」、 「マルチメディアカード」、 「メモリースティック」
MMC：	「マルチメディアカード」
デジタルレコーダー：	「D-VHSビデオ」、 「HDDビデオレコーダー」

本機で楽しめるデジタル放送

本機は、次の3種類のデジタル放送を受信することができます。

■ 地上デジタル放送

UHF帯の地上波を使用したデジタル放送です。地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。（6ページ）
（他に、混合器や分配器が必要な場合もあります）
右段の「地上デジタル放送とは」もご覧ください。

■ BSデジタル放送

放送衛星（BS＝Broadcasting Satellite）を利用したデジタル放送です。NHKの放送と民間放送局が行っている無料放送、受信契約が必要な有料放送があります。

■ 110度CSデジタル放送

通信衛星（CS＝Communication Satellite）を利用したデジタル放送です。映画やスポーツ、音楽などの専門チャンネルがあり、ほとんどは受信契約が必要な有料放送です。

デジタル放送の特徴

デジタル放送では、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱うことができ、高画質、高音質、多チャンネルのテレビ放送が行われています。また、アナログ放送にはない、デジタルラジオ放送や、データ放送が楽しめます。

■ テレビ放送（地上D、BS、110度CS）

デジタル放送には、4種類の放送フォーマットがあります。（( )内は有効走査線（実際に画面を構成する走査線）数です）

- 1125i（1080i）、750p（720p）：
  高画質のデジタルハイビジョン放送［HD］
- 525p（480p）、525i（480i）：
  従来のBS放送と同程度の画質の標準テレビ放送［SD］

本機では、デジタル処理により、すべてのフォーマットを液晶パネルの画素数に合わせて表示します。

■ ラジオ放送（BS、110度CSのみ）

デジタル音声により、クリアなラジオ放送を楽しむことができます。静止画や動画を見ることのできる放送もあります。

■ データ放送（地上D、BS、110度CS）

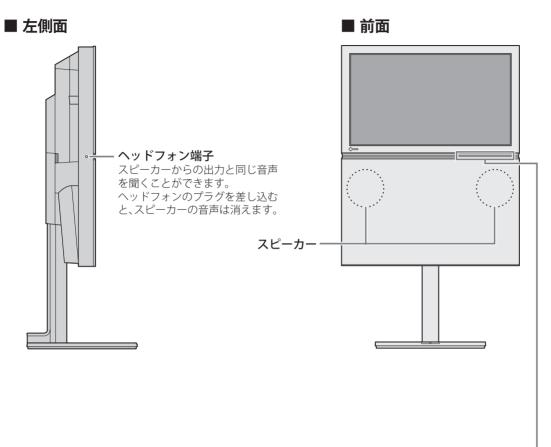
データ放送には、次の2種類があります。

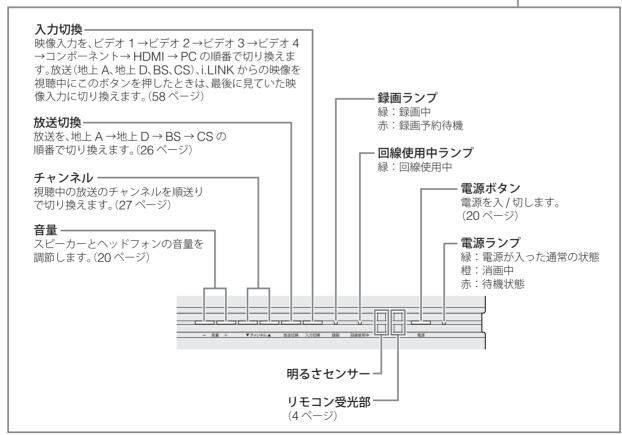
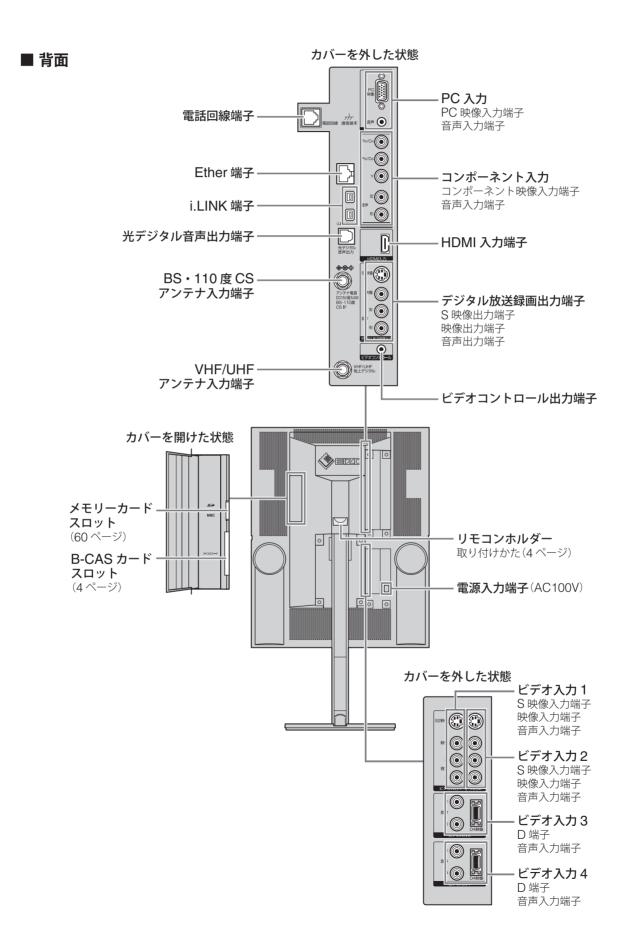
- 番組連動データ放送：
  テレビ放送やラジオ放送の番組に関連したデータ放送です。番組を視聴しながら情報をチェックしたり、番組のアンケートやクイズに答えたりといったことができます。
- 独立データ放送：
  テレビ放送やラジオ放送の番組とは無関係なデータ放送です。天気予報や交通情報などの放送があります。

地上デジタル放送とは

地上デジタル放送は、2003年12月から関東、中京、近畿の一部で放送が開始されました。
その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。受信可能エリアも順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の施策として決定されています。

■ 地上デジタル放送の特長

従来のアナログ放送にくらべて、次のような長所があります。

- デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
- CD並みの高音質放送（MPEG-2 AAC方式）
- ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明
- データ放送や双方向通信サービス
- 移動体受信・部分受信サービス
  車や電車などで移動しながら受信できる「移動体受信サービス」や、携帯電話などで受信できる「部分受信サービス」が予定されています。

❖ 本機では、移動体受信サービスは受信できますが、部分受信サービスは受信できません。

■ BSデジタルや110度CSデジタル放送との違い

BSデジタルや110度CSデジタル放送は衛星を使った放送であるため、日本中どこでも同じ番組を視聴することになりますが、地上デジタル放送は各地域の放送局から送信されるため、地域に密着した番組も提供される予定です。

各部の名前と役割

本体

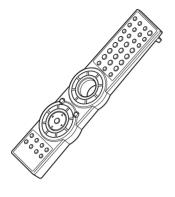
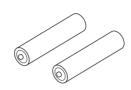
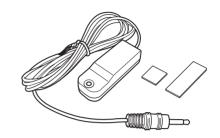
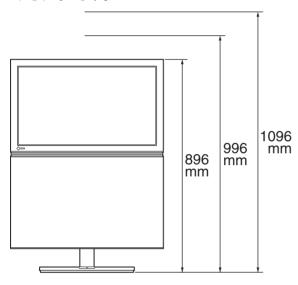
■ 左側面　　■ 前面

■ 背面

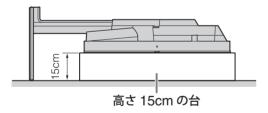
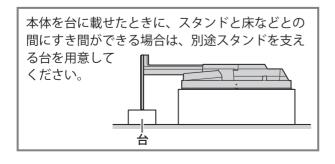
カバーを外した状態
電話回線端子
Ether 端子
i.LINK 端子
光デジタル音声出力端子
BS・110 度 CS
アンテナ入力端子
VHF/UHF
アンテナ入力端子
PC 入力
PC 映像入力端子
音声入力端子
コンポーネント入力
コンポーネント映像入力端子
音声入力端子
HDMI 入力端子
デジタル放送録画出力端子
S 映像出力端子
映像出力端子
音声出力端子
ビデオコントロール出力端子
カバーを開けた状態
メモリーカード
スロット
(60 ページ)
B-CAS カード
スロット
(4 ページ)
リモコンホルダー
取り付けかた(4 ページ)
電源入力端子(AC100V)
カバーを外した状態
ビデオ入力 1
S 映像入力端子
映像入力端子
音声入力端子
ビデオ入力 2
S 映像入力端子
映像入力端子
音声入力端子
ビデオ入力 3
D 端子
音声入力端子
ビデオ入力 4
D 端子
音声入力端子

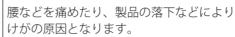
リモコン

❖ 各ボタンの使いかたについては、操作ガイド（別紙）もあわせてご覧ください。

① 電源を入 / 切します。(20 ページ)
② 映像入力を切り換えます。(58 ページ)
③ 放送を切り換えます。(26 ページ)
④ チャンネルを選ぶとき(27 ページ)や数値入力、文字入力(169 ページ)に使います。
⑤ デジタル放送のメディア(テレビ放送、ラジオ放送、データ放送)を切り換えます。(26 ページ)
文字入力のときには、文字を削除します。(171 ページ)
⑥ 画面を静止します。(50 ページ)
文字入力時には、文字入力モードを切り換えます。(170 ページ)
⑦ 画面の表示サイズを切り換えます。(54 ページ)
⑧ スピーカーとヘッドフォンの音量を調節します。(20 ページ)
⑨ スピーカーとヘッドフォンの音声を消します。(57 ページ)
⑩ メニュー操作のときに画面を一つ前の画面に戻します。画面が最上位のときに押すと、メニューが終了します。
⑪ ▲▼◀▶ (決定)： メニュー項目の選択や設定値を変更するときに使います。▲▼◀▶ で選び、(決定)で操作を決定します。
メニュー： 設定や機能を使うためのメニューを表示 / 終了します。(iv ページ)
クイックメニュー： クイックメニューを表示 / 終了します。(iv ページ)
番組チェック： 現在放送中のデジタル放送の番組リストを表示します。(34 ページ)
番組説明： デジタル放送で、視聴中の番組の内容説明を表示します。(35 ページ)
連動データ： 番組連動データ放送を表示 / 終了します。(37 ページ)
i.LINK： i.LINK で接続されている機器の映像に切り換えます。(63 ページ)
選局プラス： 選局プラスメニューを表示 / 終了します。(29 ページ)
番組表： デジタル放送の番組表を表示します。(32 ページ)
⑫ データ放送やメニューで項目を選ぶときに使います。
⑬ 映像モードや音声モードを切り換えます。(54、56 ページ)
⑭ 音声を出力したまま画面を消します。(50 ページ)
⑮ 自動的にテレビの電源を切るときに使います。(74 ページ)
⑯ メニュー操作のときには、メニュー画面を消します。
2 画面や静止画を終了します。
データ放送の受信中には、データ放送をリセットします。
⑰ 2 画面表示にします。(51 ページ)
⑱ チャンネルを順送りで切り換えます。(28 ページ)
⑲ テレビ放送や映像入力の情報を表示します。(53 ページ)
⑳ デジタル放送で 3 桁チャンネル番号を指定して選ぶときに使います。(28 ページ)

設置する

スタンドの高さを調節する

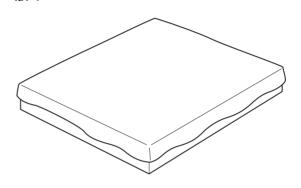
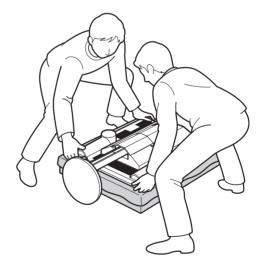
スタンドは、以下の 3 段階の高さに調節することができます。

❖ お買い上げ時は、一番下の高さ（896mm）にセットされています。

■ 作業を始める前に

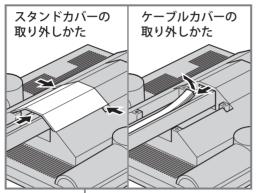
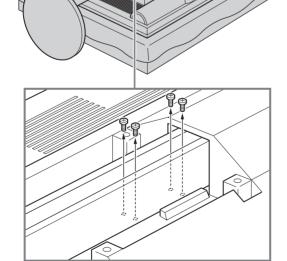
以下のものを用意してください。

- 本体を支える台（高さ 15cm）

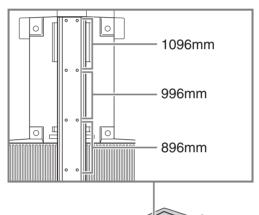
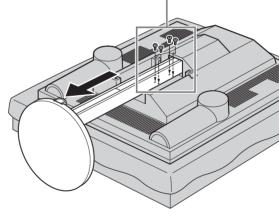
- 柔らかい布など
  本機を台の上に置いたときに、液晶パネル面に傷が付かないようにするために使用します。
- プラスドライバー
  ネジの取り付け、取り外しの際に使用します。

本体を台に載せたときに、スタンドと床などとの間にすき間ができる場合は、別途スタンドを支える台を用意してください。

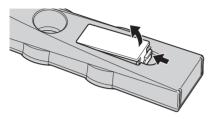
⚠ 注意

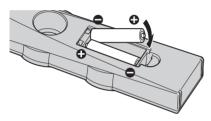
スタンドの高さ調節は 2 人以上で行う
腰などを痛めたり、製品の落下などによりけがの原因となります。

1 本体を置く台の上に、柔らかい布などを敷く

2 台の上に本機を置く

❖ 本機は、図のように 2 人で持って、置いたり起こしたりしてください。

3 スタンドカバー、ケーブルカバーを取り外し、スタンドを固定しているネジを取り外す（4 箇所）

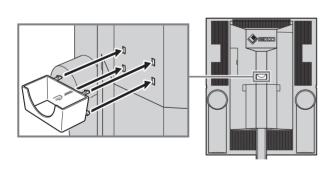
注意
- スタンド部分は重くなっているため、注意して取り外してください。

❖ 図の矢印の部分に指をかけて取り外します。

4 スタンドの高さを合わせ、手順 3 で取り外したネジで固定する（4 箇所）

注意
- ネジは最後までしっかりと回し、確実に固定してください。

❖ スタンドには取付穴が 8 箇所あいています。設置する高さに応じて、ネジを取り付けてください。必ず 4 箇所で固定してください。

5 本機を起こす

❖ スタンドカバー、ケーブルカバーは、外部機器や電源コードの接続がすべて終わってから取り付けます。（19 ページ）

設置する（つづき）

リモコンに乾電池を入れる

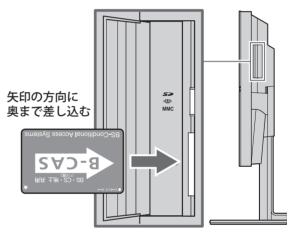
1 **リモコンの底面を上にし、つまみを押してロックを外し、カバーを取り外す**

2 **単 4 形乾電池を入れ、カバーを元に戻す**

❖ 乾電池を入れる向きに注意してください。

リモコンホルダーを取り付ける

図の位置にリモコンホルダーを取り付けます。

解説：リモコンの受信範囲

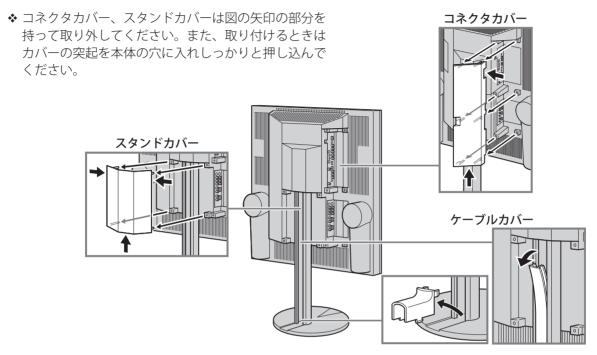
リモコンは図の範囲内から操作してください。

B-CAS カードを装着する

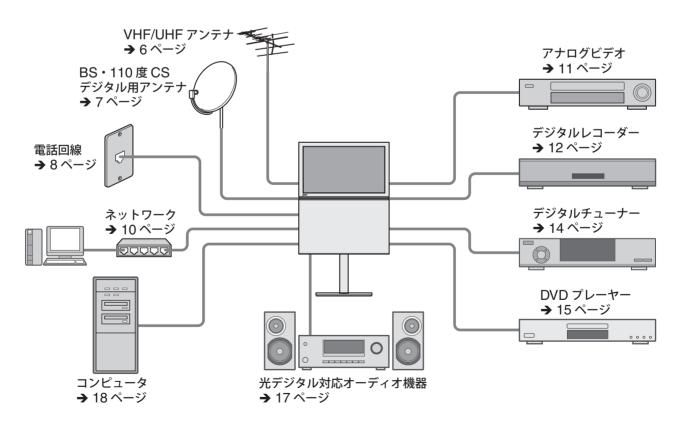
付属の B-CAS カードを本体に挿入しないと、デジタル放送の視聴はできません。デジタル放送をご覧になる前に、必ず挿入してください。（B-CAS カードは常に挿入しておいてください）

また、B-CAS カードの登録は必ず行ってください。詳しくは、B-CAS カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

❖ カードを紛失した場合や盗難にあった場合、また、破損したり汚れたりした場合には、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。連絡先は、B-CAS カードが貼ってある台紙に記載されています。

背面のカバーを開け、矢印の方向に B-CAS カードを差し込む

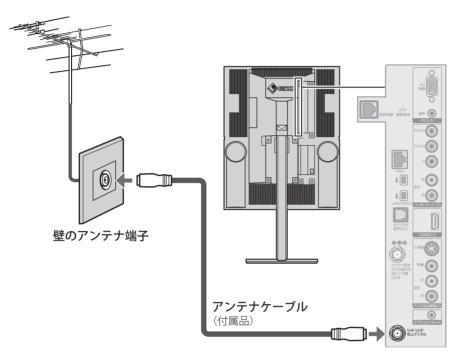
奥までしっかりと差し込んでください。

CS 放送など、契約の必要なチャンネルの受信契約をする際には、加入申込書に B-CAS カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」を貼るか、B-CAS カードの登録番号を記入する必要があります。

❖ B-CAS カードの登録番号は、B-CAS カードを取り出さなくてもテレビ画面に表示することができます。詳しくは、117 ページをご覧ください。

接続する

■ 接続する前に

本体背面のコネクタカバー、スタンドカバー、ケーブルカバーを取り外してください。

❖ コネクタカバー、スタンドカバーは図の矢印の部分を持って取り外してください。また、取り付けるときはカバーの突起を本体の穴に入れしっかりと押し込んでください。

■ 接続

❖ 接続する機器が HDMI に対応している場合は、16 ページをご覧ください。

接続する（つづき）

アンテナを接続する

アンテナの設置は販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

VHF/UHF アンテナを接続する

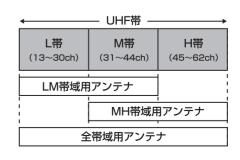
❖ 壁のアンテナ端子に合わない場合は、市販の変換プラグなどをお使いください。

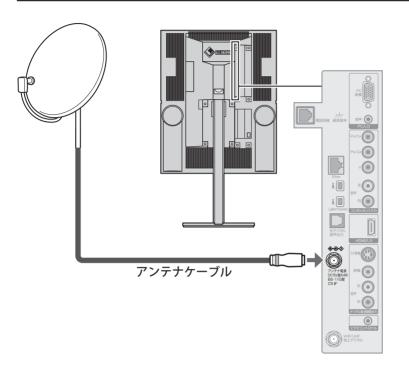
❖ 壁の VHF アンテナの端子と UHF アンテナの端子が別になっている場合は、市販のアンテナ混合器をお使いください。

❖ 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどは、地上デジタル放送のチャンネルに対応したものを使用し、空いている端子は、妨害波の飛び込みなどを防ぐために終端抵抗器（75 Ω）で終端してください。

■ 地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送は、UHF アンテナを使って受信します。現在使用しているアンテナやお住まいの地域に応じて、次のように設置してください。

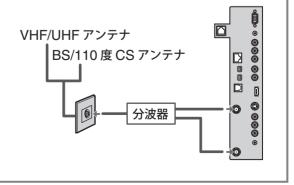
- VHF アンテナのみ設置されている場合
  地上デジタル放送に対応した UHF アンテナの設置が必要です。
- UHF アンテナが設置されている場合
  そのまま地上デジタル放送を受信できる場合がありますが、次のような場合は、アンテナの調整や新たに地上デジタル放送に対応したアンテナの設置が必要です。
  – 地上デジタル放送に対応していない場合
  – 地上アナログ放送と地上デジタル放送の電波の来る方向が違う場合

❖ 新たにアンテナを設置したときは、それぞれのアンテナを市販の混合器に接続し、混合器と本機の VHF/UHF アンテナ入力端子を付属のアンテナケーブルで接続してください。

■ 地上デジタル放送を受信するためのアンテナについて

地上デジタル放送に使われる UHF 帯の周波数帯域は、右図のように L 帯、M 帯、H 帯に分かれています。
お住まいの地域によって、地上デジタル放送に使われている周波数が異なります。地上デジタル放送を受信するには、その地域で使用されている周波数に対応したアンテナ（または全帯域用のアンテナ）が必要です。
アナログ放送が終了する 2011 年まで地上アナログ放送も受信する場合は、UHF 全帯域用アンテナへの変更をおすすめします。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナを接続する

- ❖ BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送の両方をご覧になる場合は、BS・110 度 CS デジタル用アンテナが必要です。BS デジタル放送だけをご覧になる場合は、BS デジタル用アンテナだけで構いません。
- ❖ 従来の BS アンテナで、BS デジタル放送が安定して受信できない場合は、BS デジタル用、または BS・110 度 CS デジタル用のアンテナを使用してください。
- ❖ BS・CS 分配器やブースターなどをお使いになる場合は、110 度 CS デジタル放送（周波数 2150MHz 以上）に対応したものを使用してください。
- ❖ スカイパーフェク TV ! 用のアンテナでは、110 度 CS デジタル放送は受信できません。

■ アンテナ電源の設定について

集合住宅の共聴システムをご利用の場合など、すでに別の機器からアンテナ電源が供給されているときは、[BS・110 度 CS アンテナ電源供給]（125 ページ）で設定を［供給しない］に変更してください。（お買い上げ時は［供給する］に設定されています）

アンテナの方向調整をする

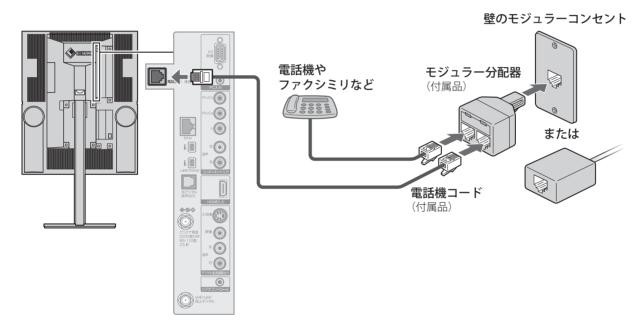
戸建住宅でアンテナを設置したときに、デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります。
方向調整は、設定メニューの［初期設定］メニューの［地上 D アンテナレベル］（124 ページ）、［BS・110 度 CS アンテナレベル］（124 ページ）を使用して行います。販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

■ 集合住宅の共聴システムをご利用の場合のアンテナ接続

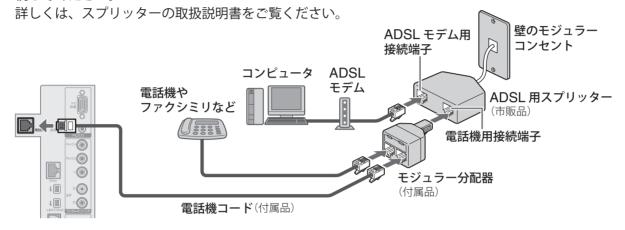
マンションなどの共聴システムで、壁のアンテナ端子ひとつで地上放送と BS・110 度 CS デジタル放送を受信するようになっている場合は、市販の分波器を使用して VHF/UHF アンテナ入力端子と BS・110 度 CS アンテナ入力端子の両方に接続してください。また、ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送が伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）やケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

接続する（つづき）

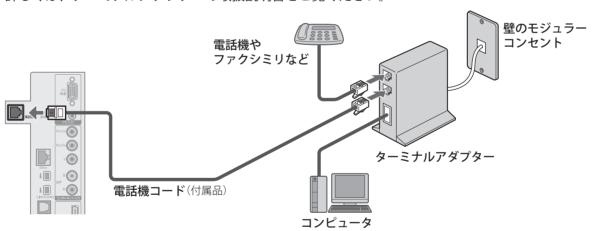
電話回線を接続する

電話回線は、ペイ・パー・ビュー番組の購入（44 ページ）や双方向通信サービス（36 ページ）を利用する場合に使用します。また、B-CAS カードに記録された情報を送信するためにも必要となります。

⚠注意　**電話回線への接続は正しく行う**
火災や故障の原因となります

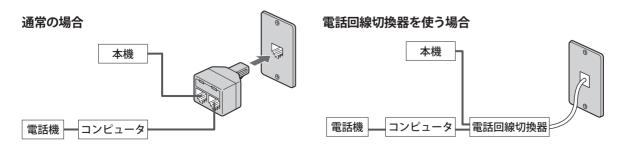
モジュラーコンセントに接続する場合

❖ 壁のモジュラーコンセントが別の形状の場合は、市販の変換プラグなどをお使いください。

注意
- **電話機コードは、Ether 端子にはつながないでください。Ether 端子が壊れる場合があります。**
- **電話機コードを抜き差しするときは、本機と接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

❖ 本機がセンターと通信しているときは、電話機やファクシミリは使用できません。
❖ 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、PHS には接続できません。
❖ 構内交換機（PBX）には、使用できないものがあります。
❖ ホームテレホンを接続する場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
❖ ダイヤル式電話機をお使いの場合は、本機が放送局と通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。呼出音が鳴らないようにするには、電話回線との接続に、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器を使用してください。
❖ 電話機コードは、冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くには近づけないでください。ノイズが混入して誤動作することがあります。

その他の接続の場合

■ ADSL の場合

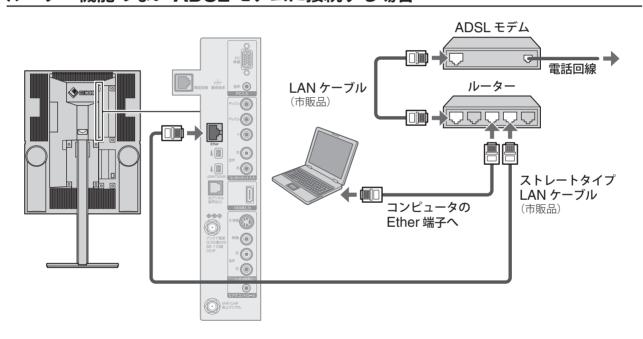
電話回線に ADSL モデムが接続されている場合は、ADSL 用スプリッター（市販品）を使用し、ADSL 用スプリッターの電話機用接続端子にモジュラー分配器（付属）をつないで、本機を接続してください。
詳しくは、スプリッターの取扱説明書をご覧ください。

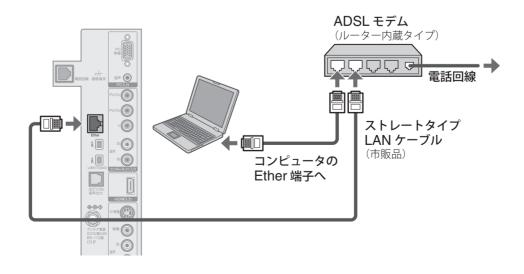
■ ISDN 回線の場合

ターミナルアダプターのアナログポートに電話機コードを接続してください。
詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

■ コンピュータをモジュラーコンセントに接続している場合

モジュラー分配器（付属）を使用して、本機を接続してください。

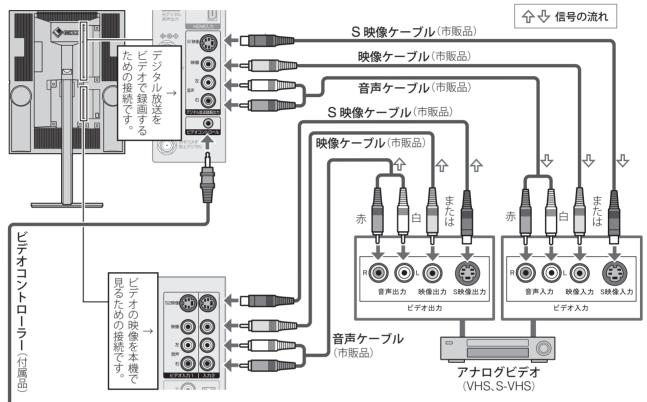
❖ 同じ電話回線に、電話機やコンピュータ、ファクシミリなどを一緒に接続すると、接続した機器の影響で電話機の呼出音が鳴ったり、正しく通信できなかったりすることがあります。このような場合は、モジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器（2 口）などを使用して、電話回線に接続してください。

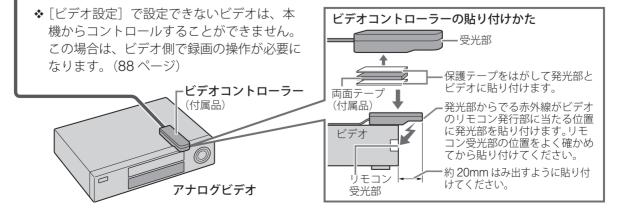
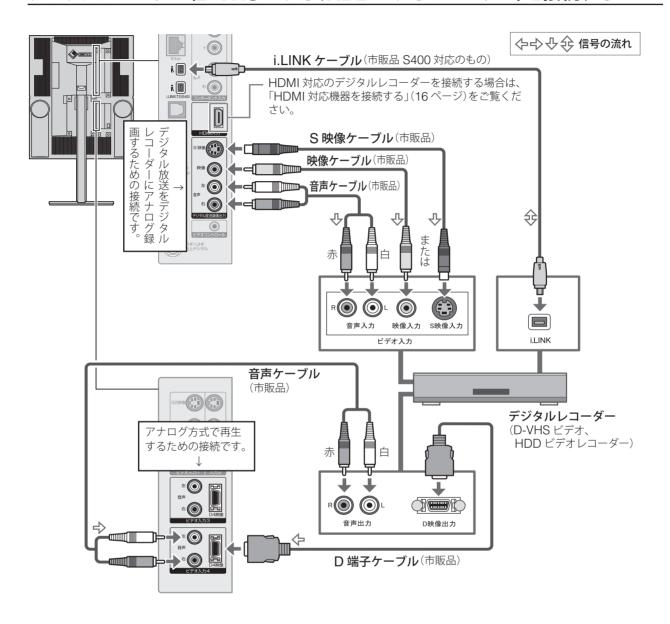
接続する（つづき）

ネットワークに接続する

ネットワーク接続を使用すると、電話回線によるダイヤルアップ接続よりも快適に地上デジタル放送の双方向通信サービス（36 ページ）を利用することができます。
ここでは、ネットワーク接続ができる環境であることを前提に、ADSL モデムに本機を接続する例を説明します。接続については、ADSL モデムやルーターの取扱説明書もご覧ください。

❖ ネットワーク接続ができる環境をお持ちでない場合、導入や契約については ADSL などの回線事業者にご相談ください。

❖ 本機では、ADSL モデムやルーターの設定はできません。ADSL モデムやルーターによっては、コンピュータでの設定が必要な場合があります。

❖ ケーブルテレビインターネットのケーブルモデムへの接続については、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

ルーター機能のない ADSL モデムに接続する場合

ルーター機能内蔵の ADSL モデムに接続する場合

いろいろな機器を接続する

アナログビデオ（VHS ビデオ、S-VHS ビデオ）を接続する

- ❖ S 映像ケーブルと映像ケーブルは同時に接続せず、どちらか一方を接続してください。S 映像入力端子に接続すると、映像入力端子より高画質な映像を楽しめます。
- ❖ 著作権保護された番組を本機のデジタル放送録画出力端子から録画する場合、著作権保護の機能が働き、正しく録画できません。また、この機能によりデジタル放送録画出力端子からの信号をアナログビデオなどを経由して、本機または他の機器に入力した場合、画質が劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。
- ❖ 地上アナログ放送を録画する場合は、市販の分配器を使用して、アナログビデオと本機の両方にアンテナを接続し、録画の操作はビデオ側で行ってください。

■ ビデオコントローラーを接続する

付属のビデオコントローラーを接続し、設定メニューの［ビデオ設定］（139 ページ）でビデオの設定を行うと、本機からビデオをコントロールして、デジタル放送を録画予約（76 ページ）したり、一発録画（89 ページ）したりすることができます。

- ❖［ビデオ設定］で設定できないビデオは、本機からコントロールすることができません。この場合は、ビデオ側で録画の操作が必要になります。（88 ページ）

接続する(つづき)

デジタルレコーダー(D-VHS ビデオ、HDD ビデオレコーダー)を接続する

❖ デジタル放送のデジタル録画 / 再生は、i.LINK ケーブルの接続だけで視聴できます。
i.LINK ケーブルを使って接続すると、次の機能を使うことができます。

- テレビ画面にデジタルレコーダーの操作パネルを表示させて、機器を操作する(66 ページ)
- デジタル放送を録画予約(デジタル録画)する(76 ページ)
- 今見ているデジタル放送をデジタル録画する(一発録画)(89 ページ)

❖ i.LINK 機器を接続したときは、必要に応じて設定メニューの[初期設定]の[外部機器設定]にある[i.LINK 設定](136 ページ)をしてください。

❖ デジタルレコーダーに i.LINK 端子がない場合は、機器の出力端子に合わせて、各入力端子にケーブルを接続してください。HDMI 入力端子、D 端子、S 映像入力端子、映像入力端子の順に、より高画質な映像を楽しめます。

注意

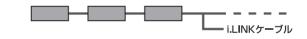
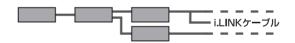
- **デジタルビデオカメラなどの DV 機器は、記録する映像フォーマットが異なるため、i.LINK ケーブルで接続しても、本機とデータをやりとりすることはできません。**

■ HDD ビデオレコーダーの接続のしかた

i.LINK ケーブルで HDD ビデオレコーダーを接続する場合は、次のように接続してください。
これ以外の方法で接続すると、正常に動作しない場合があります。

HDD ビデオレコーダーで録画をする場合

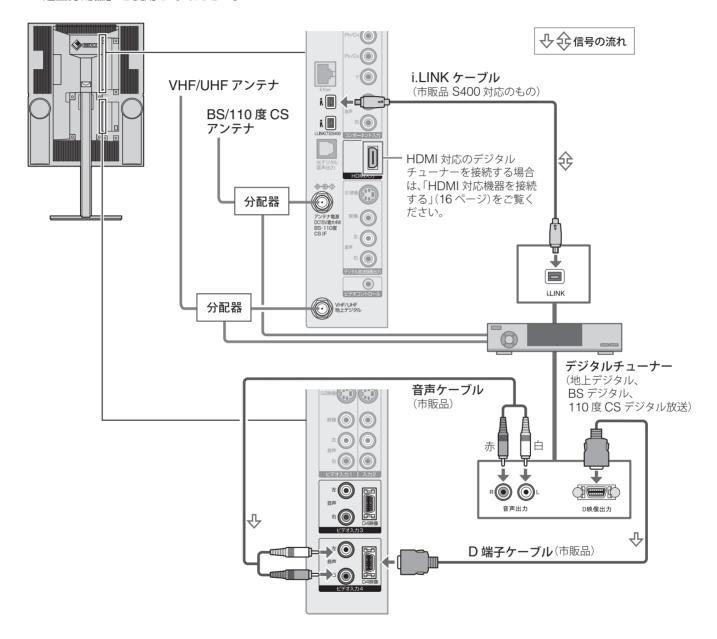
i.LINK ケーブルで接続するのは、本機と HDD ビデオレコーダー（1 台）のみにしてください。
録画時の転送速度は、S100（固定）になります。

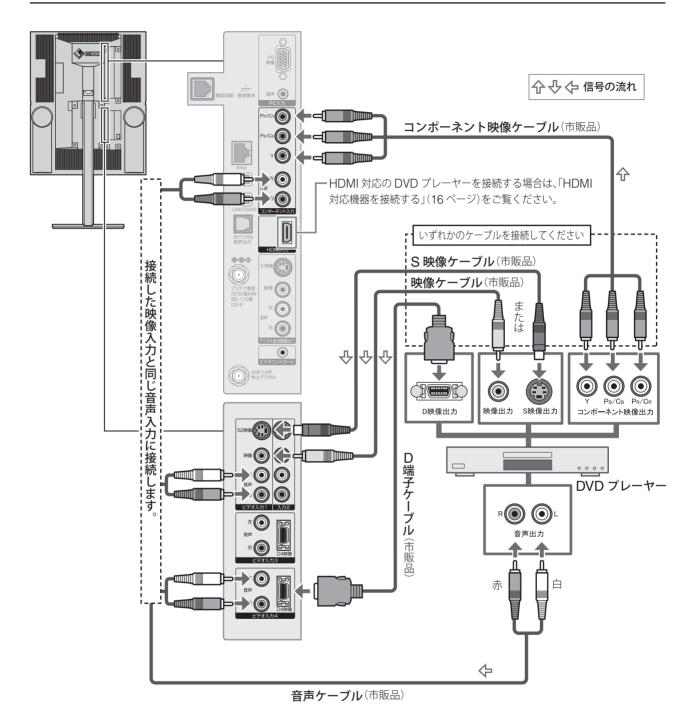
HDD ビデオレコーダーから D-VHS ビデオにコピーを行う場合（69 ページ）

右図のように i.LINK ケーブルで接続してください。

■ i.LINK 機器の接続のしかた

i.LINK ケーブルで直接つないだ機器だけでなく、i.LINK 機器を介して i.LINK ケーブルでつないだ機器も操作できます。ただし、接続する機器によっては、操作のしかたが異なったり、操作できない場合があります。

i.LINK 機器は、右図のように i.LINK ケーブルを使用してデイジーチェーン（直列つなぎ）でつなぎます。この場合、最大 15 台の機器を接続できます。

i.LINK 端子を 3 つ以上持つ機器の場合は、右図のように分岐してつなぐこともできます。この場合、最大 34 台の機器を接続できます。

注意

- 右図のようなループ（輪）状にはつながないでください。

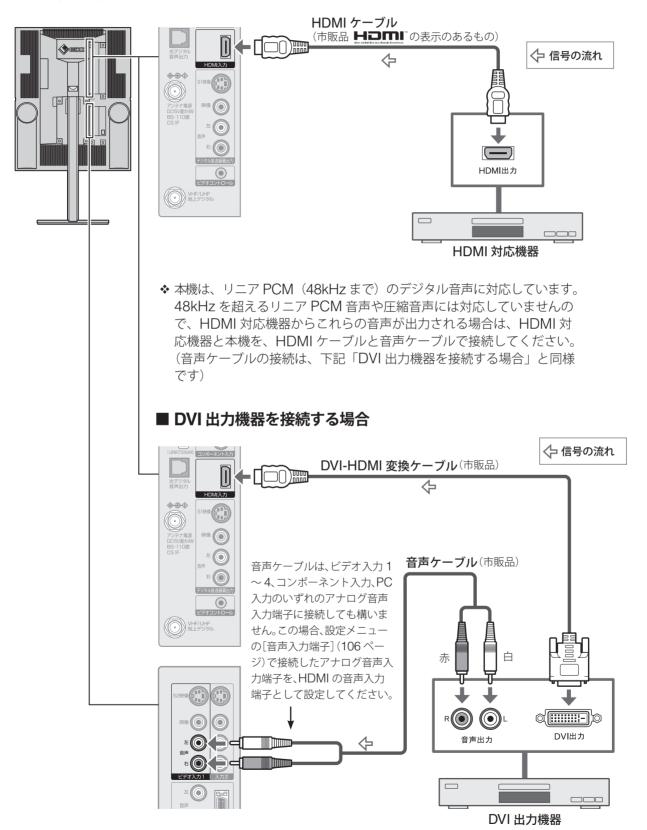
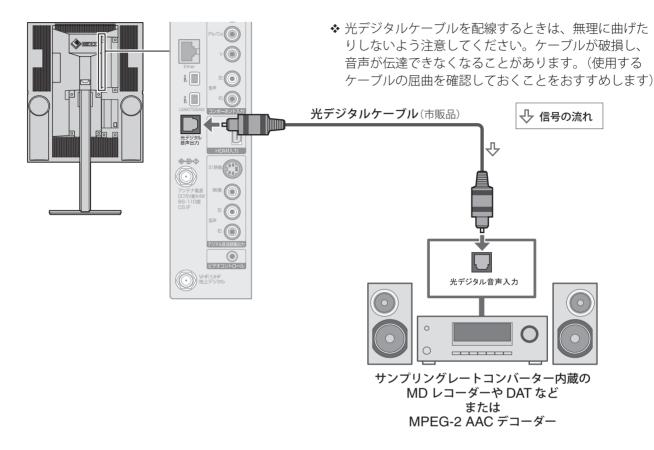
接続する（つづき）

デジタルチューナーを接続する

デジタルチューナーを接続する場合は、市販の分配器を使用して、デジタルチューナーと本機の両方にアンテナを接続してください。

❖ BS・110 度 CS デジタル放送を受信する場合は、周波数 2150MHz に対応した「全方向電流通過型分配器」を使用してください。

❖ デジタルチューナーは、i.LINK ケーブルの接続だけで視聴できます。
i.LINK ケーブルを使って接続すると、テレビ画面にデジタルチューナーの操作パネルを表示させて、機器を操作することができます。（71 ページ）

❖ i.LINK 機器を接続したときは、必要に応じて設定メニューの［初期設定］の［外部機器設定］にある［i.LINK 設定］（136 ページ）をしてください。

❖ デジタルチューナーに i.LINK 端子がない場合は、機器の出力端子に合わせて、各入力端子にケーブルを接続してください。HDMI 入力端子、D 端子、S 映像入力端子、映像入力端子の順に、より高画質な映像を楽しめます。

DVD プレーヤーを接続する

❖ DVD プレーヤーの出力端子に合わせて、各入力端子にケーブルを接続してください。HDMI 入力端子、D 端子 / コンポーネント映像入力端子、S 映像入力端子、映像入力端子の順に、より高画質な映像を楽しめます。

❖ DVD レコーダーにデジタル放送を録画するときは､S 映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って、DVD レコーダーの映像入力と本機のデジタル放送録画出力端子を接続し、本機と DVD レコーダーの両方で録画の操作（88 ページ）を行ってください。

接続する（つづき）

HDMI 対応機器を接続する

HDMI 対応機器では、HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号の両方を入力することができます。

❖ 本機は、リニア PCM（48kHz まで）のデジタル音声に対応しています。48kHz を超えるリニア PCM 音声や圧縮音声には対応していませんので、HDMI 対応機器からこれらの音声が出力される場合は、HDMI 対応機器と本機を、HDMI ケーブルと音声ケーブルで接続してください。（音声ケーブルの接続は、下記「DVI 出力機器を接続する場合」と同様です）

■ DVI 出力機器を接続する場合

光デジタル対応オーディオ機器を接続する

❖ 光デジタルケーブルを配線するときは、無理に曲げたりしないよう注意してください。ケーブルが破損し、音声が伝達できなくなることがあります。（使用するケーブルの屈曲を確認しておくことをおすすめします）

接続したオーディオ機器に応じて、設定メニューの［音声設定］の［光デジタル音声出力］設定（102 ページ）を次のように設定してください。

- MPEG-2 AAC デコーダーの場合
  ［AAC 優先］または［サラウンド AAC 優先］にすることをおすすめします。
- MPEG-2 AAC デコーダー以外のオーディオ機器（MD レコーダーや DAT）の場合
  ［PCM 固定］にしてください。

注意

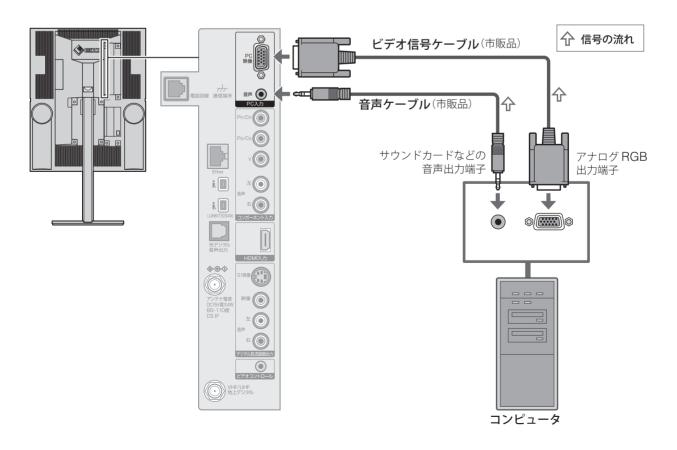
- **サンプリングレートコンバーターを内蔵していない MD レコーダーには、デジタル信号のままでの録音はできません。**
- **［光デジタル音声出力］（102 ページ）の設定が［AAC 優先］や［サラウンド AAC 優先］で、MPEG-2 AAC 音声の場合は、データ放送の一部の音声（効果音など）が出力されない場合があります。**
- **本機の光デジタル音声出力端子からは、デジタル放送（地上デジタル、BS、110 度 CS）、i.LINK の音声のみが出力されます。これ以外の場合は、光デジタル音声出力端子から音声が出力されません。また、2 画面表示中は、デジタル放送側の音声を選択しているときのみ、本機の光デジタル音声出力端子から音声が出力されます。**

❖ 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、PCM の場合、48kHz または 32kHz です。

❖ MPEG-2 AAC 音声の場合は、本機では主音声・副音声の切り換えはできません。MPEG-2 AAC デコーダー側で切り換えてください。

❖ 音量はオーディオ機器側で調節してください。（本機の音量は「0」にしてください）

接続する（つづき）

コンピュータを接続する

本機は、コンピュータのモニターとして使用することができます。

別のモニターから本機に置き換える場合、必ず本機と接続する前に、コンピュータの画面設定（解像度、周波数）を本機で表示できる設定（下表参照）に変更しておいてください。

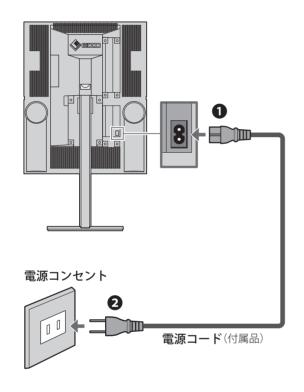
本機が対応している入力信号

解像度	垂直周波数
640 × 480	60Hz / 72Hz / 75Hz
720 × 400	70Hz
800 × 600	56Hz / 60Hz / 72Hz / 75Hz
1024 × 768	60Hz / 70Hz / 75Hz
1280 × 768	60Hz
1360 × 768	60Hz

❖ 上表以外の解像度および周波数の信号を入力した場合、正常に表示できない場合があります。

❖ 対応するタイミングは、ノンインターレースのみです。インターレースの信号は、正しく表示できません。

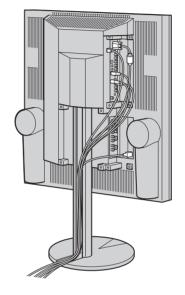
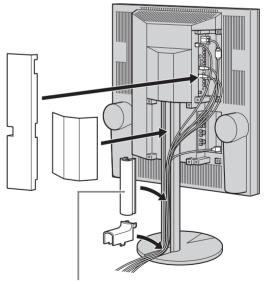
❖ 本機が対応している入力信号タイミングは、VESA Standard Timing です。ただし、1280 × 768 は、VESA Coordinated Video Timings Standard Proposal（CVT）となります。

❖ 接続するコンピュータにより表示位置などがずれた場合は、画面調整が必要になる場合があります。（その場合は、設定メニューの［入力設定］メニューにある［自動画面調整］（107 ページ）を行ってください）

電源コードを接続する

注意
- 電源コードは、必ずすべての機器の接続が終わった後で接続してください。

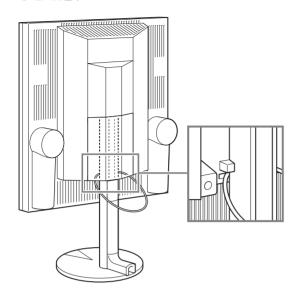
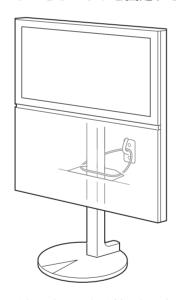
電源コードは、❶❷の順に接続してください。
電源コードを接続すると、電源ランプが赤く点灯し、待機状態になります。

⚠警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

ケーブル類をまとめる

接続が終わったら、スタンドの中にケーブル類をまとめ、カバーを取り付けます。

1 ケーブルをスタンドの中に入れる

2 コネクタカバー、スタンドカバー、ケーブルカバーを取り付ける

カバーは３本（長１本、短２本）あります。
スタンドの高さに応じて、取り付けてください。
- 896mm のとき：長１本
- 996mm のとき：長１本、短１本
- 1096mm のとき：長１本、短２本

転倒防止の処置をする

1 **本体背面の穴に、ワイヤー（直径 3 ～ 4mm）などを通す**

2 **壁面や柱にフックなどを取り付け、ワイヤーをしっかりと固定する**

❖ ワイヤーやフックは付属しておりません。別途ご用意ください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

リモコンの電源（または本体の電源ボタン）を押す

電源が入り、電源ランプが緑に点灯して、映像が表示されます。

❖ 映像が表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。

❖ 電源を入れたときに「FORIS.TV」ロゴが表示されることがあります。

はじめて電源を入れたときは、地上アナログ放送が表示されます。

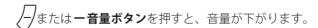
2 回目からは、前回電源を切ったときの放送または映像入力（58 ページ）の画面が表示されます。

電源を切る

リモコンの電源（または本体の電源ボタン）を押す

電源が切れ、待機状態になります。

⚠ 注意

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、電源を切った後、電源プラブも抜く

解説：音量の調節

音量の調節は、リモコンの（または本体の**－音量＋ボタン**）で行います。

＋または**音量ボタン＋**を押すと、音量が上がります。

－または**－音量ボタン**を押すと、音量が下がります。

はじめての設定をする

次の順序でテレビを見るために必要な設定を行い、チャンネルやデータ放送の設定をお住まいの地域の放送に合わせます。

地上放送チャンネル設定
↓
郵便番号の設定
↓
電話回線の設定
↓
簡易確認テスト

注意

- すでに本機をお使いになっていて、[はじめての設定] をやり直す場合は、それまでの設定が消去されますのでご注意ください。消去される内容については、121 ページをご覧ください。
- 電波が弱い場合には、チャンネルの設定はできても、正常に受信できない場合があります。

地上放送チャンネル設定

地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネルを同時に設定します。

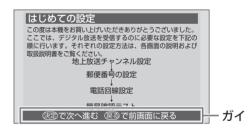
❖ 自動設定された内容の確認や変更は、[チャンネル設定] の [手動設定](131 ページ)で行ってください。

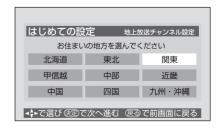
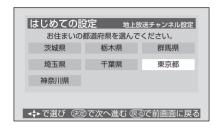
❖ 地上デジタル放送のチャンネルに変更があった場合は、[チャンネル設定] の [再スキャン](129 ページ)で地上デジタル放送のチャンネル設定のみを変更することができます。

地上アナログ放送では、入力された地方、地域に応じて、チャンネルがリモコンの数字ボタンに自動的に割り当てられます。
自動設定される内容については、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」(178 ページ)をご覧ください。

地上デジタル放送では、入力された地方、地域の情報と、実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従ってリモコンの数字ボタンにチャンネルが割り当てられます。設定されるチャンネルの目安については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧表」(185 ページ)をご覧ください。

1 **[メニュー]を押す**

メニューが表示されます。

2 **▲▼◀▶ で[設定メニュー]を選び、(決定)を押す**

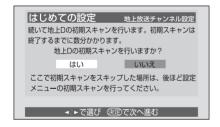
3 **◀▶ で[初期設定]を選び、▲▼ で[はじめての設定]を選んで(決定)を押す**

4 **画面の説明を読み、(決定)を押す**

画面下に表示されるガイドに従って、手順 5 の画面が表示されるまで進みます。

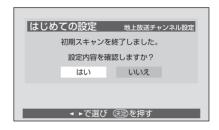
5 **▲▼◀▶ でお住まいの地方を選び、(決定)を押す**

次のページにつづく≫

はじめての設定をする(つづき)

6 ▲▼◀▶ でお住まいの都道府県を選び、(決定)を押す

7 ▲▼◀▶ でお住まいの地域を選び、(決定)を押す

はじめての設定 地上放送チャンネル設定
お住まいの地域を選んでください。
23区 八王子 多摩
で選び (決定)で次へ進む (戻る)で前画面に戻る

8 画面の説明を読み、◀▶ で[はい]を選んで(決定)を押す

チャンネルのスキャンが始まります。

初期スキャンが終了すると、内容確認の画面が表示されます。

次のような画面が表示された場合

はじめての設定 地上放送チャンネル設定
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。
メモリを割り当てたい放送局を9個選んでください。

	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
☑	6	―――	×	あり
☑	7	テレビ東京	○	あり
☑	8	―――	×	あり
☑	9	―――	×	あり
☑	10	―――	×	あり

選択した放送局の数:12個
で選び (決定)で選択/取消 ►で前画面に戻る

「データ放送用メモリの割り当て」(135 ページ)を行い、手順 9 に進んでください。

9 設定内容を確認する場合は[はい]、確認しない場合は[いいえ]を ◀▶ で選び、(決定)を押す

[はい] の場合は、設定内容が表示されます。

[いいえ] の場合は、「郵便番号の設定」に進みます。

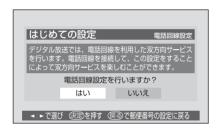
10 内容を確認したら、(決定)を押す

「郵便番号の設定」に進みます。

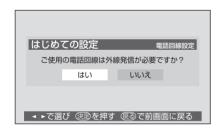
郵便番号の設定

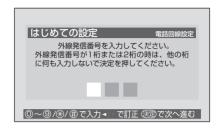
お住まいの地域に関するデータ放送(天気予報、選挙速報など)の受信や、電話回線を利用した双方向のデータ通信をするために必要な設定です。

数字ボタンの①～⑨と⑩(0)でお住まいの郵便番号を入力し、(決定)を押す

❖ 訂正する場合は、◀ を押して間違えた数字を選び、もう一度入力してください。

「電話回線設定」(次ページ)に進みます。

電話回線設定

電話回線を使って双方向サービスを利用するために必要な設定です。
外線発信番号とダイヤル方式を設定します。

1　電話回線を設定する場合は［はい］、設定しない場合は［いいえ］を ◀▶ で選び、(決定)を押す

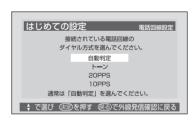
［はい］の場合は、手順２に進みます。

［いいえ］の場合は、「簡易確認テスト」（24 ページ）に進みます。

2　外線発信が必要な場合は［はい］、不要な場合は［いいえ］を ◀▶ で選び、(決定)を押す

［はい］の場合は、手順３に進みます。

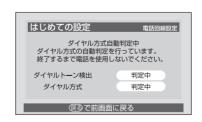
［いいえ］の場合は、手順４に進みます。

❖ 電話交換機をお使いで、０や＃などを押してから外部の電話番号を押す場合が外線発信です。

3　数字ボタンの①～⑨と⑩(0)、⑪(＊)、⑫(#)で外線発信番号を入力し、(決定)を押す

❖ 最大３桁の番号が設定できます。

❖ １桁または２桁の番号を設定する場合は、左詰めで入力し、右に空いた桁には何も入力しないで、(決定)を押してください。

❖ 訂正する場合は、◀ を押して間違えた数字を選び、もう一度入力してください。

❖「110」や「118」、「119」の入力は受け付けません。

4　▲▼ でご使用の電話回線のダイヤル方式を選び、(決定)を押す

通常は［自動判定］を選んでください。

❖ ISDN 回線の場合は、［トーン］に設定してください。

［自動判定］を選ぶと、次の画面が表示され、判定が始まります。

判定が終了すると、判定結果が表示されます。

❖ ３分以上たっても自動判定が終了しない場合は、(戻る)を押して自動判定を中止し、電話回線が正しく接続されているかどうか確認してください。（8 ページ）

次のページにつづく≫

はじめての設定をする（つづき）

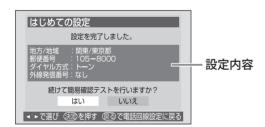
次の画面が表示された場合

ダイヤル方式判定エラー

ダイヤル方式の自動判定でダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話回線が正しく接続されているか確認してください。

決定を押す

電話回線が正しく接続されているかどうかを確認し、決定を押して再度自動判定を行ってください。
それでも自動判別できない場合は、ダイヤル方式（トーン /20PPS/10PPS）を選んで決定を押し、手順 5 に進んでください。

次の画面が表示された場合

ダイヤル方式判定エラー

外線発信番号の設定によりダイヤル方式自動判定ができません。

決定を押す

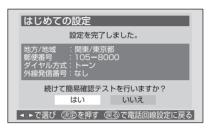
決定を押して手順 4 に戻り、ダイヤル方式（トーン /20PPS/10PPS）を選んで決定を押し、手順 5 に進んでください。

❖ ダイヤル方式がわからない場合は、NTT 営業所または局番なしの 116 番にお問い合わせください。

5 判定結果を確認し、決定を押す

［はじめての設定］の設定内容が表示されます。

6 内容を確認する

確認が終わったら、「簡易確認テスト」（右段）に進みます。

❖ 設定内容を変更する場合は、戻るを押して変更したい設定の画面に戻り、設定し直してください。

簡易確認テスト

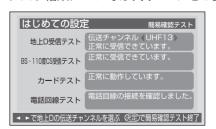
［はじめての設定］が終了したら、デジタル放送の受信や電話回線を使った通信ができるか、テストします。
テスト項目については次ページをご覧ください。

1 ◄► で［はい］を選び、決定を押す

簡易確認テストが始まります。

❖ ［いいえ］を選択すると、［はじめての設定］を終了します。手順 3 に進んでください。

❖ 簡易確認テストを中止する場合は、戻るを押します。

受信テストは、BS → 110 度 CS →地上 D の順に行われます。

❖ 地上デジタル放送の場合は、伝送チャンネルごとにテストすることができます。◄► でチャンネルを選び、受信テストを行ってください。

簡易確認テストが終了すると、結果が表示されます。

2 結果を確認し、決定を押す

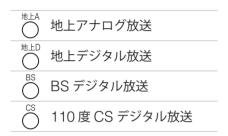
テスト結果については、次ページをご覧ください。

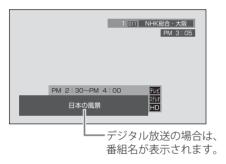
3 終了を押す

通常画面に戻ります。

以上で［はじめての設定］は終了です。

■ テスト結果の見かた

テスト項目	表示	意味や対処
地上 D 受信テスト（地上デジタル放送が受信できるかどうかのテスト）	「正常に受信できています。」	地上デジタル放送が受信できています。
	「正しく受信できません。」	アンテナが正しく接続されているかどうか確認してください。なお、放送の停止や放送の変更などのために受信できなかった場合や、テストしたチャンネルがお住まい地域で放送されていない場合もあります。
BS・110 度 CS 受信テスト（BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送が受信できるかどうかのテスト）	「正常に受信できています。」	BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送が受信できています。
	「正しく受信できません。」または「BS（110 度 CS）は受信できますが 110 度 CS（BS）が受信できません。」	アンテナが正しく接続されているかどうか確認してください。また、［受信設定］（124 ページ）で、アンテナの設定を確認してください。アンテナが 110 度 CS デジタル放送に対応しているかどうか確認してください。
カードテスト（B-CAS カードが本機で使えるカードかどうかのテスト）	「正常に動作しています。」	B-CAS カードが正常に動作しています。
	「この B-CAS カードはご使用になれません。」	B-CAS カードを確かめてください。B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
	「B-CAS カードを正しく挿入してください。」	B-CAS カードを挿入し直して、もう一度簡易確認テストを行ってください
	「この IC カードはご使用になれません。正しい B-CAS カードを挿入してください。」	B-CAS カードを挿入して、もう一度簡易確認テストを行ってください
	「B-CAS カードが故障しています。」	B-CAS カードを交換してください。B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
電話回線テスト（電話回線が正しくつながっているかどうかのテスト）	「電話回線の接続を確認しました。」	正しく接続されています。
	「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」	電話回線が正しく接続されているかどうか確認してください。また、［電話回線設定］（23 ページ）で、もう一度接続・設定の状態を確認してください。
	「電話回線の接続を確認できませんでした。」	ダイヤル方式の設定が間違っているか、ターミナルアダプター（9 ページ）を使用していることが考えられます。
	「外線発信番号の設定により電話回線テストができませんでした。」	［外線発信番号あり］に設定（141 ページ）し、さらに外線発信後の待ち時間を設定（144 ページ）しています。この場合は、電話回線テストはできません。電話回線が正しくつながっていることを確認するには［センター接続テスト］（143 ページ）を行うことをおすすめします。ただし、センター接続テストは電話料金がかかります。

注意

- **デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要な場合があります。方向調整は、販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。詳しくは 124 ページをご覧ください。**

放送を選ぶ

放送の種類（地上アナログ、地上デジタル、BS、110 度 CS）を選ぶ

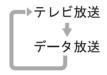
放送切換ボタン 地上A 地上D BS CS（または本体の放送切換ボタン）を押して放送を選ぶ

地上A 地上D BS CS を押したときは、それぞれの放送が表示されます。

ボタン	放送
地上A	地上アナログ放送
地上D	地上デジタル放送
BS	BS デジタル放送
CS	110 度 CS デジタル放送

（例：地上デジタル放送の場合）

❖ 地上アナログ放送では、番組名は表示されません。

本体の**放送切換ボタン**を押したときは、次の順序で放送が変わります。

放送メディア（テレビ放送、ラジオ放送、データ放送）を選ぶ

〔デジタル放送のみ〕

放送メディアについては、「デジタル放送の特徴」（xiv ページ）をご覧ください。

1 放送切換ボタン 地上D BS CS（または本体の放送切換ボタン）を押してデジタル放送を選ぶ

2 削除/メディア を押して放送メディアを選ぶ

削除/メディア を押すたびに、次のように変わります。

- 地上デジタル放送の場合

- BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合

チャンネルを選ぶ

チャンネルの選びかたには、次の方法があります。

- リモコンボタンで選ぶ（下記）
- 順送りで選ぶ（28 ページ）
- 3 桁番号指定で選ぶ（28 ページ）
- お気に入りチャンネルを選ぶ（29 ページ）
- チャンネル一覧で選ぶ（30 ページ）

注意

- ［初期スキャン］（21、128 ページ）を行わないと、地上デジタル放送の選局はできません。

❖「チャンネルを選ぶときの注意」（31 ページ）もご覧ください。

リモコンボタンで選ぶ

1 **放送切換ボタン 地上A 地上D BS CS（または本体の放送切換ボタン）を押して放送を選ぶ**

2 **①から⑫のいずれかを押す**

あらかじめボタンに割り当てられているチャンネルに変わります。

- 地上アナログ放送の場合
  お買い上げ時には、VHF 放送の 1 から 12 チャンネルが割り当てられています。

- 地上デジタル放送の場合
  ［はじめての設定］（21 ページ）や［チャンネル設定］（127 ページ）で設定したチャンネルが割り当てられています。
  チャンネルの割り当ては、「チャンネル一覧」（30 ページ）で確認できます。

- BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合
  お買い上げ時には、次のチャンネルが割り当てられています。

BS デジタル放送

ボタン	放送	チャンネル
①	NHK BS1	101
②	NHK BS2	102
③	NHK ハイビジョン	103
④	BS 日テレ	BS テレビのチャンネル
⑤	BS 朝日	
⑥	BS-i	
⑦	BS ジャパン	
⑧	BS フジ	
⑨	WOWOW	
⑩	スターチャンネル	

他のボタンには、BS デジタル放送のチャンネルは設定されていません。

110 度 CS デジタル放送

ボタン	放送	チャンネル
①	スカパー！ 110 メイト	001
②	スカパー！ 110 プロモ	100

他のボタンには、110 度 CS デジタル放送のチャンネルは設定されていません。

❖ デジタル放送では、数字ボタンにチャンネルではなく放送局を割り当てることができます。その場合は、ボタンを押すごとに、割り当てられている放送局のチャンネルが順に切り換えられます。

例：BS デジタル放送の⑨（WOWOW）の場合

⑨を押すごとに →191→192→193

❖ チャンネルの割り当てを変更する場合や、ケーブルテレビなどお住まいの地域で受信できるチャンネルを割り当てる場合は、［チャンネル設定］の［手動設定］（131 ページ）で設定してください。

準備
テレビを見る
便利な機能
予約と録画
調整と設定
トラブル時の対処
付録

チャンネルを選ぶ(つづき)

順送りで選ぶ

1 **放送切換ボタン 地上A 地上D BS CS(または本体の放送切換ボタン)を押して放送を選ぶ**

2 **デジタル放送で放送メディアを選ぶ場合は、削除/メディア を押して選ぶ**

3 **∧ ∨(または本体の ▼ チャンネル ▲ ボタン)を押す**

- 地上アナログ放送の場合
  リモコンのボタンに割り当てられているチャンネルが、順番に表示されます。

- デジタル放送の場合
  受信可能なすべてのチャンネルが、順番に表示されます。

❖ 選ぶ必要のない番号は、スキップする(飛ばす)ように設定できます。(134 ページ)

❖ デジタル放送で、一つの放送局が複数のチャンネルで同じ番組を放送しているときは、代表チャンネルだけが選べます。

❖ 110 度 CS デジタルの各放送メディア内では、放送の種類に区別なくチャンネルを選べます。

3 桁番号指定で選ぶ

〔デジタル放送のみ〕

1 **デジタル放送に切り換えて、3桁番号入力 を押す**

2 **続けて 3 桁チャンネル番号を押す**

例:BS デジタル放送の 103 チャンネルを選ぶ場合

BS 3桁番号入力 ① ⑩0 ③と押します。

❖ 存在しないチャンネルは選べません。

次のように放送一覧が表示された場合

地上デジタル放送の場合、同じ3桁チャンネル番号に、異なる放送局の放送があるときは、放送一覧が表示されます。

見たい放送を選んで 決定 を押してください。(リモコンの数字ボタンで枝番の数字(カッコ内の数字)を押しても選べます。枝番については、31 ページの解説「地上デジタル放送の枝番」をご覧ください)

準備
テレビを見る
便利な機能
予約と録画
調整と設定
トラブル時の対処
付録

見たいチャンネルの３桁の番号がはっきりとわからないとき

次のように、（＊）を使って選ぶことができます。どのデジタル放送を選んでいる場合でも、同じ手順で選べます。

例１：300番台のチャンネルを見たいとき
（下２桁がわからないとき）

3桁番号入力 ◯ ③⑪＊と押します。

300番台で放送されている最も小さい番号のチャンネルが選局されます。
300番台に放送されているチャンネルがない場合は、400番以降の最も小さい番号のチャンネルが選局されます。

例２：450番台のチャンネルを見たいとき
（下１桁がわからないとき）

3桁番号入力 ◯ ④⑤⑪＊と押します。

450番台で放送されている最も小さい番号のチャンネルが選局されます。
450番台に放送されているチャンネルがない場合は、460番以降の最も小さい番号のチャンネルが選局されます。

本機の出荷後に、追加されたり変更された110度CSデジタル放送のチャンネルを選ぶ場合

お買い上げ直後や、［設定の初期化］（155ページ）を行った後などには、３桁チャンネル番号の指定では、チャンネルを選べない場合があります。
その場合は、110度CSデジタル放送のチャンネル（どのチャンネルでも構いません）を選び、しばらくそのままにしてください。
チャンネルの情報が取得され、選局できるようになります。

お気に入りチャンネルを選ぶ

〔デジタル放送のみ〕

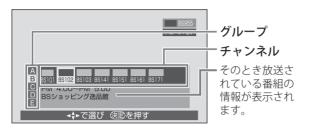
「お気に入り」チャンネルを登録して（最大40個）、その中から選ぶことができます。
お気に入りチャンネルは、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を混合して登録できます。

登録や変更は、設定メニューの［視聴設定］の［お気に入り選局設定］（110ページ）で行います。
お買い上げ時には、次のチャンネルが登録されています。

	1	2	3	4	5	6	7	8
A	日本BS放送（BS999ch）	メガポート放送（BS900ch）	日本データ放送（BS940ch）	DCI放送（BS933ch）	日本メディアーク（BS963ch）	ウェザーニューズ（BS910ch）	—	—
B	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—
D	—	—	—	—	—	—	—	—
E	—	—	—	—	—	—	—	—

1 **デジタル放送に切り換えて、選局プラス を押す**

選局プラスメニューが表示されます。

2 **［お気に入り］を選び、決定 を押す**

お気に入りチャンネルリストが表示されます。

（ここでは、すでにお気に入りチャンネルを登録している場合の例で説明します）

次のページにつづく≫

チャンネルを選ぶ(つづき)

3 **▲▼ でグループを選び、◀▶ でチャンネルを選ぶ**

選んだチャンネルが表示されます。

チャンネルを選んだ状態で［番組説明］を押すと、今そのチャンネルで放送されている番組の説明（35ページ）を見ることができます。

4 **［決定］を押す**

チャンネルリストが消えます。

❖ 地上デジタル放送で、チャンネル設定の初期化や初期スキャン、再スキャン、自動スキャンなどを行ってチャンネルがなくなったときは、「ーーー」が表示されます。その場合は、チャンネルを登録し直してください。

チャンネル一覧で選ぶ

〔デジタル放送のみ〕

チャンネル一覧には、現在受信可能なチャンネルが表示されます。

1 **デジタル放送に切り換えて、［選局プラス］を押す**

選局プラスメニューが表示されます。

2 **［チャンネル一覧］を選び、［決定］を押す**

手順１で選んだ放送のチャンネル一覧が表示されます。

❖ デジタル放送によって、チャンネル一覧の表示は異なります。

3 **チャンネルを選ぶ**

（例：地上デジタル放送の場合）

- 放送メディアを切り換えるには、［削除/メディア］を押します。
- 別のデジタル放送のチャンネル一覧に切り換えるには、［地上D］［BS］［CS］を押します。

❖ 一覧の右端には、チャンネルに割り当てられているリモコンの数字ボタンが表示されます。複数のボタンに同じチャンネルが登録されているときは、一番小さい番号のボタンが表示されます。

4 **［決定］を押す**

選んだチャンネルが表示されます。

解説：地上デジタル放送の枝番

枝番について

BS デジタル、110 度 CS デジタル放送は全国どこでも同じ放送を受信するため、チャンネルが重複することはありませんが、地上デジタル放送は地域の放送局から発信されるため、複数の地域の放送が受信できる場所では、3 桁チャンネル番号が重複する場合があります。
そこで、地上デジタル放送では、枝番と呼ばれる 1 桁の番号を 3 桁チャンネル番号の後に付けてチャンネルを区別し、選局できるようにしています。

枝番の意味は、次のとおりです。

枝番	意味
(0)	お住まいの地域の放送
(1) ～ (2)	地域外の放送

❖ 枝番は「チャンネル一覧」(30 ページ) で確認できます。ただし、通常選局する際には、枝番は表示されません。

順送りで選局するときのチャンネルの順番について

一つの放送局の放送のみを受信している場合は、3 桁チャンネル番号の順番になります。
複数の地域の放送を受信している場合は、3 桁チャンネル番号の順番にならない場合があります。このときの順番は、放送運用規定の順番になります。

チャンネルを選ぶときの注意

❖ 録画予約や一発録画の実行中や i.LINK ケーブルで接続した機器の操作中は、チャンネルを変えたり、3 桁番号指定ができない場合があります。

❖ 受信できるチャンネルは、「チャンネル一覧」(30 ページ) で確認できます。

❖ チャンネルの割り当てを変更する場合や、ケーブルテレビなどお住まいの地域で受信できるチャンネルを割り当てる場合は、[チャンネル設定] の [手動設定] (131 ページ) で設定してください。

❖ デジタル放送でペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。ペイ・パー・ビュー番組については 44 ページをご覧ください。

❖ 地上デジタル放送で、「自動スキャン」(130 ページ) が行われた場合や、新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。
受信できるチャンネルは、「チャンネル一覧」(30 ページ) で確認できます。

❖ 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは、チャンネル一覧には表示されません。

番組を選ぶ 〔デジタル放送のみ〕

番組の選びかたには、次の方法があります。

- 番組表で選ぶ（下記）
- 番組チェックで選ぶ（34 ページ）
- ジャンルで検索して選ぶ（34 ページ）

❖ 最新の情報を表示させるために、毎日 2 時間以上本機の電源を待機状態にしておくことをおすすめします。詳しくは xiii ページをご覧ください。

❖「番組を選ぶときの注意」（35 ページ）もご覧ください。

番組表で選ぶ〈番組表〉

1 デジタル放送に切り換えて、（番組表）を押す

番組表が表示されます。

❖ 本機の電源を入れた直後や、デジタル放送を切り換えた直後、地上デジタル放送のチャンネルを切り換えた直後は、番組表の表示に時間がかかる場合があります。

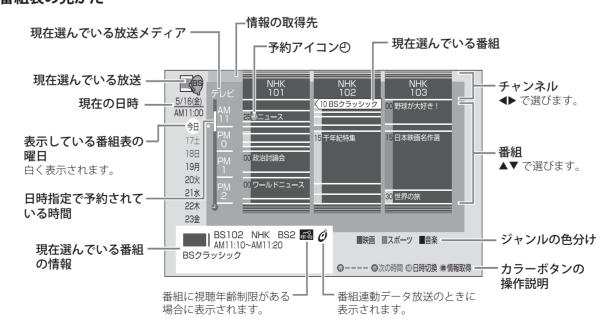
2 ◀▶ でチャンネルを選び、▲▼ で番組を選ぶ

❖ ▼ を押し続けると先の時間帯に進みます。戻るときは ▲ を押します。（現在の日時よりも前の時間帯には戻れません）

❖ 3 桁番号指定（28 ページ）でチャンネルを選ぶこともできます。

❖ 番組表は、映画やスポーツなどのジャンルごとに色分けされています。色分けは、設定メニューの［視聴設定］の［番組表色分け設定］（110 ページ）で変更することができます。

❖ 番組表に表示されるチャンネルの順番については、次ページをご覧ください。

❖ 番組表データのないチャンネルは、表示されません。

3 （決定）を押す

現在放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。

今後放送される番組を選んだときは、予約画面が表示されます。予約については、「番組を指定して予約する」（77 ページ）をご覧ください。

注意

- **データ放送を選んでいるときは、番組表が呼び出せない場合があります。その場合は、データ放送を終了してから操作してください。**

番組表の見かた

番組表の表示中は、次の操作が行えます。

- 先（次）の時間帯の番組表を見るには、赤を押します。青を押すと戻ります。（現在の日時よりも前の時間帯には戻れません）
- 日時を指定して番組表を見るには、次のように操作します。

❶ 緑を押す
次の画面が表示されます。

❷ 日付と時間帯を選び、決定を押す
放送メディアがテレビのときは 7 日先まで、それ以外では 2 日先まで選ぶことができます。

- 放送メディアを切り換えるには、削除/メディアを押します。
- 別のデジタル放送の番組表に切り換えるには、地上D BS CSを押します。
- 番組の説明を見るには、番組説明を押します。選んだ番組の説明（35 ページ）が表示されます。

❖ 番組表で表示できるのは、最大 7 日先までですが、チャンネルや放送メディアによって異なる場合があります。

❖ 番組が予告なく変更されたときは、番組表の内容が実際の番組と異なってしまう場合があります。

❖ 移動体受信サービス（xiv ページ）については、数番組しか表示されない場合があります。

番組表に表示されるチャンネルの順番

■ 地上デジタル放送の場合

最初にお住まいの地域の放送が放送運用規定の順番に従って表示され、次に地域外の放送が同様の順番で表示されます。（3 桁チャンネル番号順には表示されない場合があります）

受信できるチャンネルは、「チャンネル一覧」（30 ページ）で確認できます。

■ BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合

3 桁チャンネル番号の順番に表示されます。

番組表の内容更新について

番組表の右下に「黄情報取得」が表示されているときに黄を押すと、そのとき選んでいる放送や番組表で選んでいるチャンネルの番組情報を取得して、番組表の内容を更新します。

❖ 番組情報の取得中にもう一度黄を押すと、取得を中止します。

❖ 番組情報の取得中は、映像や音声が出ない場合があります。

❖ 更新される内容は、放送によって異なります。

注意

- **番組情報取得中に、番組説明の表示や番組表の日時の変更、放送や放送メディアの切り換え操作をすると、取得を中止します。**

準備
テレビを見る
便利な機能
予約と録画
調整と設定
トラブル時の対処
付録

番組を選ぶ(つづき)

番組チェックで選ぶ〈番組チェック〉

現在放送している番組のリストを表示して、番組を選ぶことができます。(「放送局名」リスト表示に切り換えてチャンネルを選ぶこともできます)

1 デジタル放送に切り換えて、(番組チェック)を押す

番組のリストが表示されます。

2 ◀▶ でリストの種類を選び、▲▼ で番組(またはチャンネル)を選ぶ

- リストの内容を更新するには、リストの下部に「黄情報取得」が表示されているときに、(黄)を押します。
  内容の更新は、番組表の内容更新と同様の方法で行われます。詳しくは、「番組表の内容更新について」(33 ページ)をご覧ください。
- 放送メディアを切り換えるには、(削除/メディア)を押します。
- 別のデジタル放送の番組リストに切り換えるには、(地上D)(BS)(CS)を押します。
- 番組の説明を見るには、(番組説明)を押します。
  選んだ番組の説明(35 ページ)が表示されます。

❖ 放送局リストのときはこの操作はできません。

3 (決定)を押す

［今の番組］のリストで選んだときは、選んだ番組が表示されます。

［次の番組］のリストで選んだときは、予約画面が表示されます。予約については、「番組を指定して予約する」(77 ページ)をご覧ください。

［放送局名］のリストで選んだときは、選んだチャンネルで現在放送中の番組が表示されます。

ジャンルで検索して選ぶ

映画やスポーツなどのジャンルを指定し、番組を検索して選ぶことができます。

1 デジタル放送に切り換えて、(選局プラス)を押す

選局プラスメニューが表示されます。

2 ［ジャンル検索］を選び、(決定)を押す

ジャンル指定画面が表示されます。

3 ジャンルを選び、(決定)を押す

(決定)を押すと、ジャンル検索が始まり、その日の検索結果が表示されます。

- 翌日のジャンル検索結果を見るには、(赤)を押します。
- 検索結果を一日前に戻すには、(青)を押します。

❖ 現在よりも前の日には戻れません。

- ジャンル検索結果を更新するには、次のように操作します。

❶ 黄〇を押す

確認画面が表示されます。

❷［はい］を選んで(決定)を押す

ジャンル検索の更新が始まります。

更新を途中で中止する場合は、もう一度黄〇を押してください。

❖ 更新には、時間がかかります。特に時間がかかるのは地上デジタル放送で、40 分程度かかる場合もあります。

❖ 更新中は、映像や音声が出ない場合があります。

- 放送メディアを切り換えるには、削除/メディア〇を押します。
- 別のデジタル放送をジャンル検索するには、地上D〇 BS〇 CS〇を押します。
- 番組の説明を見るには、(番組説明)を押します。選んだ番組の説明（35 ページ）が表示されます。

4 番組を選び、(決定)を押す

現在放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。

今後放送される番組を選んだときは、予約画面が表示されます。予約については、「番組を指定して予約する」（77 ページ）をご覧ください。

注意

- **お買い上げ直後や電源コードを長時間取り外していた後は、検索される番組が少ないことがあります。また、デジタル放送を切り換えた直後も、検索される番組が少ないことがあります。これは、本機に記憶されている番組情報の量が少ないためです。**

❖ ジャンルの色分けは、設定メニューの［視聴設定］の［番組表色分け設定］（110 ページ）で変更することができます。

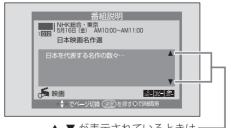
❖ ジャンル検索できるのは、最大 7 日先までですが、チャンネルによって異なる場合があります。

❖ ジャンル情報が送られていない番組は、ジャンル検索されません。

番組を選ぶときの注意

❖ i.LINK モード、録画予約、一発録画のときなど、番組表を呼び出せなかったり、番組チェックやジャンル検索ができない場合があります

❖ 地上デジタル放送の場合、「自動スキャン」（130 ページ）が行われた場合や、新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが変更される場合があります。
受信できるチャンネルは、「チャンネル一覧」（30 ページ）で確認できます。

❖ 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは、番組表、番組のリスト、放送局リストには表示されません。また、ジャンル検索もできません。

解説：番組についての説明を見る

デジタル放送番組の視聴中に(番組説明)を押すと、その番組についての説明が表示されます。
(決定)を押すと、説明画面は消えます。

さらに詳しい説明を見るには

▼ を押すと、詳細情報が表示されます。
画面右下に「黄で詳細取得」が表示されているときは、黄〇を押して詳細情報を取得してください。
詳細情報がない場合は、「黄で詳細取得」は表示されません。

❖ 詳細情報取得中は、映像や音声が出ない場合があります。

❖ 詳細情報取得中にもう一度黄〇を押すと、詳細情報の取得を中止します。

▲、▼ が表示されているときは、▲▼ を押すと、説明のページを切り換えることができます。

録画や録音が制限されているときは

番組によっては、録画や録音が制限される場合があり、その場合は、番組説明画面にアイコンが表示されます。アイコンについては、177 ページをご覧ください。

データ放送を見る ［デジタル放送のみ］

データ放送について

データ放送には、次の種類があります。

■ 番組連動データ放送

デジタル放送の番組に関連したデータ放送です。
例えば、野球放送中に他球場の速報を放送したり、番組のアンケートやクイズに答えたりといったことができます。

■ 独立データ放送

番組とは無関係の独立したデータ放送です。
例えば、天気予報やショッピング（オンライン通販）、交通情報などの放送があります。

双方向通信サービス

番組連動データ放送と独立データ放送の両方で行われている、電話回線などを使用した双方向のサービスです。

双方向通信サービスを利用するための通信方式には、次の 3 種類があります。サービスを利用する場合は、使用する通信方式に応じて接続・設定してください。

❖ 使用される通信方式は、双方向通信サービスを行う事業者によって異なります。詳しくは、各事業者にお問い合わせください。

（1）電話回線を使用した基本通信
- 本機の電話回線端子を使った通信です。
- 地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送で使用されます。
- 接続は「電話回線を接続する」（8 ページ）、設定は［電話回線設定］（23、141 ページ）をご覧ください。

（2）ダイヤルアップ通信
- 本機の電話回線端子を使用し、インターネットサービスプロバイダと契約して行うネットワーク通信です。
- 地上デジタル放送で使用されます。
- 接続は「電話回線を接続する」（9 ページ）、設定は［通信接続設定］（145 ページ）をご覧ください。

（3）イーサネット通信
- 本機の Ether 端子を使用したネットワーク通信です。ADSL やケーブルテレビなどによる通信があります。
- 地上デジタル放送で使用されます。
- 接続は「ネットワークに接続する」（10 ページ）、設定は［通信接続設定］（145 ページ）をご覧ください。

❖ 将来は、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送でも、ダイヤルアップ通信やイーサネット通信が使用される可能性があります。

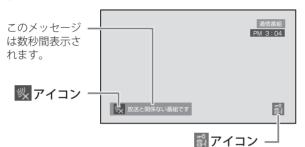
■ ダイヤルアップ通信、イーサネット通信について

- ダイヤルアップとイーサネットは、使用環境に合わせて設定してください。（145 ページ）
- ダイヤルアップは、無通信時間が 3 分経過すると、自動的に切断されます。ただし［通信自動切断設定］で無通信時に切断する時間を変更することができます。（153 ページ）
- ダイヤルアップの接続や切断のときに、メッセージを表示させることができます。（153 ページ）
- ダイヤルアップ接続を禁止することができます。（154 ページ）
- ダイヤルアップの ISP 設定は、放送局により上書きされることがあります。上書きを禁止することもできます。（145 ページ）
- ダイヤルアップ通信時に［画面表示］を押すと、接続されている時間を画面に表示します。（53 ページ）

注意
- **録画予約や一発録画の実行中は、データ放送の操作ができない場合があります。**
- **2 画面や静止画表示などでは、データ放送は操作できません。**
- **データ放送サービスの中には、放送局からの情報を本機に記憶し、更新できる番組があります。（例：ゲームのスコアやお客様のポイントなど）情報の更新は、本機の電源を切ったとき（待機状態になったとき）に行われる場合があります。電源コードを取り外す場合は、すぐに取り外さず、電源を切った後 3 秒以上たってから取り外すようにしてください。**

❖ 電話回線を使用しているときは、本体前面の回線使用中ランプが緑に点灯します。

❖ 番組によって、電話回線の使用料がかかる場合とかからない場合があります。

■ 地上デジタル放送の双方向通信サービスについて

地上デジタル放送の双方向通信サービスには、リンク型と非リンク型があります。

リンク型サービス

番組に関連した通信サービスです。

非リンク型サービス(通信番組)

番組とは無関係な通信サービスです。
このサービスの利用中は、放送の映像や音声などは出ません。(下図のようにアイコンなどが表示されます)

❖ 本機は SSL（Secure Sockets Layer）などの暗号通信に対応しています。SSL を利用したサービスは、画面右下にアイコンが表示されます。
❖ 運用規程に則していないサービスの場合は、正しく表示されないことがあります。

データ放送を操作する

番組連動データ放送を見る

1 **を押して、番組連動データ放送があることを確認する**

番組連動データ放送がある場合は、画面にアイコンが表示されます。

❖ アイコンが表示されていても、放送信号に番組連動データ放送がない場合があります。

2 **を押す**

番組連動データ放送がはじまります。

❖ 放送によっては、を押さなくても自動的にデータ放送が始まる場合もあります。
❖ 画面にマークが表示されている場合は、番組連動データ放送のデータ取得中です。取得が終了すると、マークは消えます。

3 **画面の指示に従って操作する**

4 **を押す**

データ放送を終了します。

❖ データ放送受信中は、リモコンや本体の一部のボタンが動作しない場合があります。
❖ 画面に表示される操作指示では、「ボタン」ではなく「データボタン」や「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。その場合もを押して操作してください。

独立データ放送を見る

1 **データ放送番組を選ぶ**

番組は、番組表（32 ページ）や番組チェック（34 ページ）などで選んでください。

❖ 画面にマークが表示されている場合は、独立データ放送のデータ取得中です。取得が終了すると、マークは消えます。

2 **画面の指示に従って操作する**

❖ データ放送を受信し直すときは、を押します。

データ放送を見る（つづき）

ブックマーク機能を使う

ブックマークは、現在視聴しているデータ放送やデータ放送に関連したサービスなどを記録しておく機能です。記録したデータ放送やサービスは、リストから選ぶことができます。

■ ブックマークを記録するには

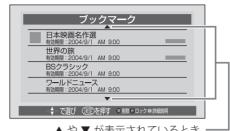
1 データ放送やサービスに、ブックマークがあることを確認する

ブックマークは、データ放送視聴中に、ブックマークがあるという画面表示が出ているときに記録できます。

❖ ブックマークの画面表示は、データ放送サービスによって異なります。

2 画面の指示に従ってブックマークの記録を行う

■ ブックマークを選ぶには

1 （クイックメニュー）を押し、[データ放送の機能] を選んで（決定）を押す

2 [ブックマーク] を選び、（決定）を押す

ブックマーク画面が表示されます。

❖ 記録されたブックマークがない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

❖ 有効期限が切れたブックマークがあるときは、削除する旨のメッセージが表示されます。

3 ブックマークを選び、（決定）を押す

- 選んでいるブックマークの説明を見るには、（緑）を押します。

選んだデータ放送やサービスにジャンプします。

> **注意**
> - 通信サービスにジャンプするときは、電話料金がかかる場合があります。

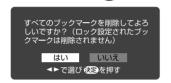
❖ データ放送やサービスがなくなっている場合は、ジャンプできません。その場合は、その旨のメッセージが表示されます。

❖ [このブックマークは有効期限を過ぎています。このブックマークを削除しますか ?] というメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖ ロックされているブックマークは削除できません。ロックを解除した後（次ページ参照）、削除してください。

■ ブックマークを削除するには

1 ブックマーク画面で、削除したいブックマークを選び、（青）を押す

❖ ブックマークがロックされている場合は、次ページ「ブックマークをロックする / ロックを解除する」をご覧になり、ロックを解除してください。

確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び、(決定)を押す

ブックマークが削除されます。

- 記録されているブックマークをすべて削除するには、次のように操作します。

❶ **手順２で[すべて削除]を選び、(決定)を押す**
確認画面が表示されます。

❷ **[はい]を選び、(決定)を押す**

ブックマークがすべて削除されます。

❖ ロックされているブックマークは削除されません。

■ ブックマークをロックする / ロックを解除する

記録されているブックマークを、削除できないようにすることができます。

1 ブックマーク画面で、ロックしたいブックマークを選び、(赤)を押す

ブックマークがロックされます。
ロックされると、ロックアイコン🔒が表示されます。

ロックを解除するには、ロックされているブックマークを選んで(赤)を押します。

2 (終了)を押す

通常画面に戻ります。

登録発呼機能を使う

登録発呼は、双方向通信機能を使って本機から送信を行う際に、送信する内容を本機に保存しておき、後で送信する機能です。

例えば、回線が混み合っていてアンケートの回答が送信できなかった場合など、本機に保存しておけば、後から送信することができます。

登録発呼には、発呼したい項目を選んですぐに発呼する方法と予約発呼する方法があります。（予約発呼では、発呼する時間は指定できません）

■ 登録発呼（または登録発呼予約）をするには

1 (クイックメニュー)を押し、[データ放送の機能]を選んで、(決定)を押す

2 [登録発呼]を選び、(決定)を押す

登録発呼画面が表示されます。

❖ 記録された登録発呼がない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

❖ 有効期限が切れた登録発呼があるときは、削除する旨のメッセージが表示されます。

次のページにつづく≫

データ放送を見る（つづき）

3 登録発呼を選び、決定を押す

▲、▼ が表示されているときは、▲▼ でページを切り換えることができます。

- 選んでいる登録発呼の説明を見るには、緑を押します。

4 ［発呼する］または［予約する］を選び、決定を押す

［発呼する］を選んだ場合は、すぐに登録発呼します。

❖ 通信回線を他で使用しているときは、発呼はできません。

［予約する］を選んだ場合は、登録発呼の予約が完了し、メッセージが表示されます。

メッセージを読んで決定を押してください。

登録発呼を予約すると、登録発呼画面にアイコンが表示されます。

注意

- 登録発呼するときに、電話料金がかかる場合があります。
- 登録発呼の予約設定を行った場合は、発呼されるまで電源コードを抜かないでください。
- 予約した登録発呼が、3 回発呼に失敗すると、画面のアイコンがに変わります。この場合は、これ以上登録発呼を行いませんので、再度登録発呼の操作を行ってください。

❖ 発呼先のチャンネルが存在しない場合（休止中の場合など）は、チャンネル番号が「－－－」になりますが、発呼は通常どおり行われます。

■ 登録発呼を削除するには

1 登録発呼画面で、削除したい登録発呼を選び、青●を押す

❖ 登録発呼がロックされている場合は、次ページ「登録発呼をロックする / ロックを解除する」をご覧になり、ロックを解除してください。

確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選び、決定を押す

登録発呼が削除されます。

注意

- 選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、削除できません。

- 記録されている登録発呼をすべて削除するには、次のように操作します。

❶ 手順 2 で［すべて削除］を選び、決定を押す
確認画面が表示されます。

❷ ［はい］を選び、決定を押す
登録発呼がすべて削除されます。

❖ ロックされている登録発呼は削除されません。

デジタル放送の番組内の信号を切り換える

〔デジタル放送のみ〕

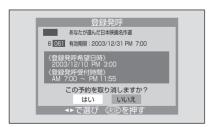
■ 登録発呼をロックする / ロックを解除する

登録されている登録発呼を、削除できないようにすることができます。

1 登録発呼画面で、ロックしたい登録発呼を選び、(赤)を押す

登録発呼がロックされます。
ロックされると、ロックアイコンが表示されます。

注意
- 選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、ロックできません。

ロックを解除するには、ロックされている登録発呼を選んで(赤)を押します。

2 (終了)を押す

通常画面に戻ります。

■ 登録発呼の予約を取り消すには

1 登録発呼画面で、予約済みの登録発呼を選ぶ

2 [はい]を選び、(決定)を押す

予約されていた登録発呼が取り消されます。

注意
- 選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、予約の取り消しはできません。

3 (終了)を押す

通常画面に戻ります。

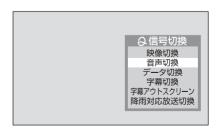
映像、音声、データを切り換える

デジタル放送では、一つの番組の中に複数の信号（映像や音声、データ）がある場合があり、好みに応じて切り換えることができます。

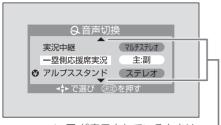
❖ 映像、音声、データの切り換えは、放送の受信時と、i.LINK 入力時に行えます。

❖ 映像の切り換えに伴って音声が自動的に変わるサービス（マルチビューサービス）もあります。

1 (画面表示)を押して、複数の信号があることを確認する

複数の信号がある場合は、画面に［信号切換］アイコンが表示されます。

2 (クイックメニュー)を押し、[信号切換]を選んで、(決定)を押す

3 [映像切換][音声切換][データ切換]のいずれかを選び、(決定)を押す

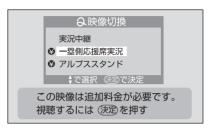
ここでは、[音声切換]を選んだ場合で説明します。

次のページにつづく≫

デジタル放送の番組内の信号を切り換える(つづき)

4 信号を選び、(決定)を押す

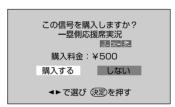
❖ ¥が表示されている信号を視聴するには、追加料金が必要です。「信号の視聴に追加料金が必要な場合」(下記)の操作を行ってください。

❖ [音声切換] で [主:副] を選んだ場合の主音声と副音声の切り換えかたについては、「音声多重放送の音声を切り換える」(56 ページ)をご覧ください。

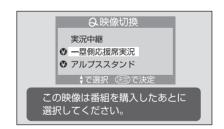
選んだ信号に変わります。

❖ 信号を変更して(決定)を押す前にテレビのチャンネルを選ぶと、左段の手順 4 で選んだ状態は取り消されます。

注意

- アナログ方式(VHS や S-VHS など)で録画予約や一発録画による録画を実行しているときなど、信号切換ができない場合があります。

■ 信号の視聴に追加料金が必要な場合

手順 4 で追加料金が必要な信号を選んだ場合、次のような画面が表示されます。

1 (決定)を押す

確認画面が表示されます。

2 [購入する]を選び、(決定)を押す

選んだ信号が購入されます。

❖ 購入金額が、あらかじめ設定してある限度額を超えた場合は、暗証番号の入力画面が表示されます。購入する場合は、(1)〜(9)と(10)(0)(0)で暗証番号を入力してください。

■ ペイ・パー・ビュー番組の購入がまだ行われていない場合

ペイ・パー・ビュー番組の購入がまだ行われていない場合、次のようなメッセージが表示されます。

次の操作で先にペイ・パー・ビュー番組を購入してから、映像や音声、データを購入してください。

1 (終了)を押す

通常画面に戻ります。

2 ペイ・パー・ビュー番組を購入する(44 ページ)

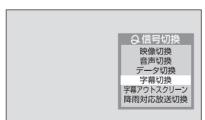
3 もう一度信号切換の操作をする

デジタル放送の字幕を見る 〔デジタル放送のみ〕

字幕を見る

デジタル放送で字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。お買い上げ時は［字幕オフ］に設定されています。

1 （画面表示）を押して、字幕があることを確認する

字幕サービスがある場合は、画面に［字幕］アイコンが表示されます。

［字幕］アイコン

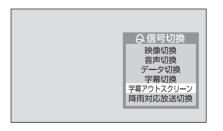
2 （クイックメニュー）を押し、［信号切換］を選んで（決定）を押す

3 ［字幕切換］を選び、（決定）を押す

4 表示したい字幕を選び、（決定）を押す

- ❖ 受信する番組によって、選べる言語が異なります。
- ❖ 番組によっては、メニュー上に言語名ではなく、［字幕 1］［字幕 2］と表示される場合があります。
- ❖ 番組によっては、最大 2 つの言語の字幕が選べます。
- ❖ 字幕付きペイ・パー・ビュー番組（44 ページ）は、購入後に字幕表示ができます。

通常画面に戻り、字幕が表示されます。

■ 字幕と画面の文字などが重なって見づらいときには

画面を通常よりも小さく表示させ、字幕と画面表示の重なりを少なくすることができます。これを「字幕アウトスクリーン表示」と呼びます。

- ❖ 字幕アウトスクリーン表示をするには、番組がこの機能に対応している必要があります。

1 （クイックメニュー）を押し、［信号切換］を選んで（決定）を押す

2 ［字幕アウトスクリーン］を選び、（決定）を押す

画面が縮小表示され、字幕と画面表示の重なりが少なくなります。
画面の位置は、▲▼ を押して動かすことができます。

通常画面に戻すには、（終了）を押します。

次のページにつづく≫

デジタル放送の字幕を見る（つづき）

次のような場合にも、通常の表示に戻ります。

- チャンネル、映像入力、放送メディアを変えたとき
- メニューや番組表などを表示したときや、静止画、2 画面表示にしたとき
- 字幕をオフにしたとき
- 本機の電源を切った後

注意

- 本機のデジタル放送録画出力からは、字幕は出力されません。
- 2 画面表示中は、音声の出ている画面の字幕が表示されます。
- 2 画面表示中は、字幕がはみ出すことがあります。
- 字幕表示中、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）では、字幕表示が欠けることがあります。
- 字幕アウトスクリーン表示中は、画面の上部または下部が欠けることがあります。
- 字幕アウトスクリーン表示中でも、字幕の表示位置によっては、画面と重なることがあります。

ペイ・パー・ビュー番組を見る

〔デジタル放送のみ〕

ペイ・パー・ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
有料チャンネルを契約しなくても、見たい番組だけ料金を払って見ることができます。

ペイ・パー・ビュー番組のサービス

ペイ・パー・ビュー番組の録画について

ペイ・パー・ビュー番組の録画には、次の 3 通りのサービスがあります。

- 視聴も録画もできる
- 視聴はできるが録画できない
- 追加料金を払えば録画できる（録画購入）

❖ ペイ・パー・ビュー番組によっては、デジタル録画ができない場合があります。

ペイ・パー・ビュー番組のプレビューについて

ペイ・パー・ビュー番組の中には、番組を選ぶとしばらくの間視聴できるものがあります。これをプレビューといいます。（プレビューが終わった後は、もう一度同じ番組を選んでも、プレビューを見ることはできません）

ペイ・パー・ビュー番組を購入する

❖ ペイ・パー・ビュー番組を購入するには、本機に電話回線を接続している必要があります。電話回線の接続については、8 ページをご覧ください。

❖ 購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合、基本以外の信号の視聴に追加料金が必要な場合があります。

❖ 番組によっては、購入できる時間が、番組開始からある時間までに限られている場合があります。その場合は、購入時間が過ぎると購入できなくなりますのでご注意ください。

❖ 1 番組ごとの購入限度額を設定することができます。（112 ページ）

注意

- 番組購入後の取り消しはできません。ただし、録画予約したペイ・パー・ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取り消しができます。(83 ページ)
- 番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。

1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ

次のような画面が表示されます。

- プレビュー中の場合

プレビュー中 決定で購入

手順２に進みます。

- 番組が始まっている場合

ペイ・パー・ビュー番組が始まっています。

購入するには 決定を押す

手順２に進みます。

- 視聴制限がはたらいている場合

この番組には視聴制限があります。

・視聴年齢制限を超えています。
・番組購入限度額を超えています。

視聴するには 決定を押す

次の操作を行ってください。

❶ 決定を押す
暗証番号の入力画面が表示されます。

暗証番号を入力してください。
■■■■
0～9で入力 ◂でやり直し 戻るで中止

❷ 数字ボタンの①～⑨と⑩₀(0)で暗証番号を入力し、手順３に進む

次の画面が表示された場合

次の設定をしてください。

・暗証番号設定
・視聴年齢制限設定

設定の方法は取扱説明書をご覧ください

暗証番号の設定（111 ページ）や視聴年齢制限の設定（111 ページ）をしてください。

注意

- 次の場合は、番組を購入できません。(画面にメッセージが表示されます)
  - 契約していない番組の場合
  - 番組を購入できる時間が終了している場合
  - 電話回線が正しく接続されていない場合
    電話回線を正しく接続してください。(8 ページ)
  - 購入情報が送信されていない場合
    番組購入情報を送信してください。(47 ページ)

2 決定を押す

次の画面が表示された場合

この番組には視聴制限があります。

・番組購入限度額を超えています。

視聴するには 決定を押す

❶ 決定を押す
暗証番号の入力画面が表示されます。

❷ 数字ボタンの①～⑨と⑩₀(0)で暗証番号を入力する

3 次の操作を行い、決定を押す

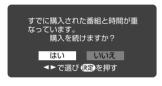
- 次の画面が表示されている場合

この番組はペイ・パー・ビュー番組です。
購入料金：￥500
購入しますか？
購入する　しない
◂▸で選び 決定を押す

［購入する］を選びます。

次のページにつづく≫

ペイ・パー・ビュー番組を見る(つづき)

- 次の画面が表示されている場合

［視聴購入］または［録画購入］を選びます。ただし、この番組を録画するには、視聴とは別に料金がかかります。

「番組を購入しました。」と表示されます。

これで購入の操作は終了です。

■ 選んだ番組が重なった場合

すでに購入している番組や予約している番組と時間が重なっている場合は、次のような画面が表示されます。

［はい］または［いいえ］を選び、決定を押してください。

■ デジタル録画できない番組を選んだ場合

デジタル録画できない番組を選んだ場合、本機にD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーをi.LINKケーブルで接続し、それらの機器が本機に登録（136ページ）されていると、次の画面が表示されます。

購入する場合は、［はい］を選び、決定を押してください。

❖ アナログ録画、デジタル録画については、「今見ている番組を録画する」(89ページ)をご覧ください。

❖ 番組によっては、録画が制限される場合があります。内容は、番組説明画面（35ページ）で確認できます。

購入した番組を確認する

ペイ・パー・ビュー番組の購入履歴を画面で見ることができます。

1 メニューを押し、[設定メニュー]を選んで決定を押す

設定メニューが表示されます。

2 ◀▶ で[視聴設定]を選び、▲▼ で[番組購入履歴]を選んで決定を押す

番組購入履歴が表示されます。

3 番組購入履歴を見る

購入状況が、次のように表示されます。

[購入済み]

[購入エラー]
録画予約の実行時に、何らかの理由で購入されなかった場合に表示されます。この場合は購入料金はかかりません。

[取消]
録画予約の実行前に、購入が取り消された場合に表示されます。

- 番組購入履歴をすべて削除するときは、次のように操作します。

❶ 青●を押す
確認画面が表示されます。

❷ [はい]を選んで(決定)を押す
番組購入履歴がすべて削除されます。

4 (終了)を押す

通常画面に戻ります。

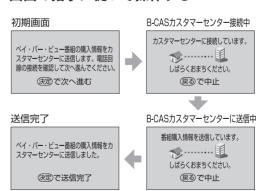
終了せずに前画面に戻るには、(決定)を押してください。

❖ 番組購入履歴には、32 番組まで表示されます。32 番組を超えた場合は、リスト表示された古いものから順番に削除されます。

❖ 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金も含まれています。

購入情報を送信する

通常、番組購入情報は自動的に電話回線を通じてセンターに送られます。
何らかの理由で自動送信されなかった場合は、「本機に関するお知らせ」（49 ページ）でお知らせします。その場合は、電話回線が正しく接続されていることを確認して、次の操作で送信してください。

1 (メニュー)を押し、[設定メニュー]を選んで(決定)を押す

設定メニューが表示されます。

2 ◀▶ で[視聴設定]を選び、▲▼ で[番組購入情報の送信]を選んで(決定)を押す

視聴設定

3 画面の指示に従って操作する

送信が終了後、(決定)を押すと、設定メニュー画面に戻ります。

次のページにつづく≫

ペイ・パー・ビュー番組を見る

（つづき）

次の画面が表示された場合

現在は、番組購入情報を送信する必要はありません。

センターと通信できません

電話機コードの接続が正しくない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
コード：E301

決定を押す

「電話回線を接続する」（8 ページ）と［電話回線設定］（141 ページ）をご覧になり、もう一度接続の状態を確認してください。

B-CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。

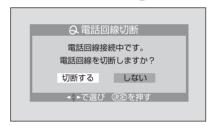
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

決定を押す

B-CAS カスタマーセンターとの通信中にエラーが発生しました。もう一度電話回線の接続を確認してください。

❖ B-CAS カスタマーセンターについては、付属の B-CAS カード説明紙（台紙）をご覧ください。

4 （終了）を押す

通常画面に戻ります。

解説：電話回線の接続を切断するには

本機では、番組購入情報をセンターに送る場合やデータ放送の通信などに電話回線を使います。通常は通信が終了すると、自動的に電話回線の接続が切断されます。通信中に接続を切断したい場合には、次の操作を行ってください。

❶ （クイックメニュー）を押し、［電話回線切断］を選んで（決定）を押す

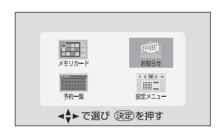
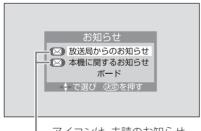
❷ ［切断する］を選んで（決定）を押す

電話回線の接続が切断されます。

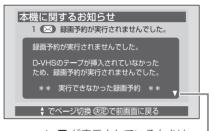
❖ ［電話回線テスト］（143 ページ）などで電話回線の接続を切断したい場合は、それぞれの機能で行ってください。

お知らせを見る 〔デジタル放送のみ〕

お知らせには、［放送局からのお知らせ］、［本機に関するお知らせ］、［ボード］の 3 種類があります。

❖［ボード］は、110 度 CS デジタル放送のご案内やお知らせなどを見ることができます。（地上デジタル、BS デジタル放送には［ボード］はありません）

お知らせが来ると、チャンネルを切り換えたときや（画面表示）を押したときに、「お知らせ」アイコンが表示されます。

未読の「お知らせ」アイコン

1 （メニュー）を押し、［お知らせ］を選んで（決定）を押す

2 お知らせの種類を選び、（決定）を押す

アイコンは、未読のお知らせがあることを示しています。

選んだお知らせのリストが表示されます。

リストから［お知らせ］画面に戻るには、（戻る）を押します。

3 読みたいお知らせを選び、（決定）を押す

お知らせの本文が表示されます。

▲、▼ が表示されているときは、▲▼ で次のページを見ることができます。

リストに戻るには、（決定）を押します。

4 （終了）を押す

通常画面に戻ります。

❖［放送局からのお知らせ］は、地上デジタルが 7 通、BS デジタルと 110 度 CS デジタル放送が合わせて最大 24 通まで記憶されますが、放送局の運用によってはそれより少ない場合があります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。

❖［本機に関するお知らせ］は最大で 41 通まで記憶されます。最大数を超えて受信した場合は、既読の古いものから順に削除されます。すべてが未読のときは、そのうちの古いものから削除されます。

❖［ボード］は、110 度 CS デジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが 50 通まで表示されます。

いろいろな表示のしかた

画面を静止する〈静止〉

文字/静止 ◯ を押す

押した場面で画面が静止し、動画が子画面で表示されます。

動画の位置は、▲▼◀▶ で移動することができます。

終了（または 文字/静止 ◯）を押すと､通常の画面に戻ります。

画面静止中に 青 ● を押すと、動画が消えてアイコン表示に変わります。

アイコンの位置は、▲▼◀▶ で移動することができます。
もう一度 青 ● を押すと、動画が表示されます。

❖ 2 画面表示中に 文字/静止 ◯ を押すと、2 画面が終了し、♪（音符アイコン）が表示されている方の画面が静止画面になります。

❖ 文字/静止 ◯ を押すと、デジタル放送録画出力端子からの出力映像が一瞬静止することがあります。

注意

- 映像入力がコンポーネントや HDMI、PC の場合や、デジタルカメラの画像表示中、ラジオ放送またはデータ放送の視聴中は、画面の静止はできません。
- i.LINK モード、録画予約、一発録画のときなど、画面の静止ができない場合があります。
- 画面の静止中は､データ放送の操作はできません。
- 画面の静止中は、画面サイズ、映像モード、音声モードの切り換えはできません。
- 画面の静止中は、字幕は表示されません。

画面を消して音声だけを聞く〈消画〉

音声は通常どおり出力したまま、画面表示を消します。
デジタル放送のラジオを聞く場合や、本機に接続した DVD プレーヤーでオーディオ CD を聞く場合などに使用すると、電力消費を抑えることができます。

消画 ◯を押す

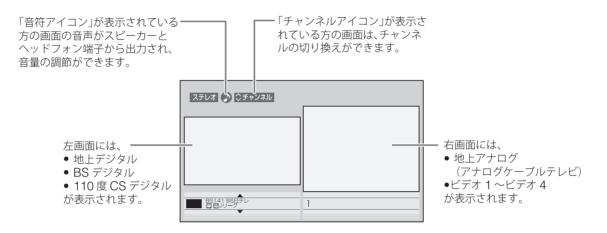
画面表示が消えます。

リモコンのボタンや本体の操作ボタン（音量調節と順送りでのチャンネル選択以外）を押すと、消画が解除されます。なお、消音 を押した場合は、消画が解除されると同時に音声が消えます。

注意

- 消音中は、消画できません。

❖ 視聴予約をしている番組が始まったときや、デジタル放送の視聴中に録画予約の録画が始まったときには、消画が解除されます。

❖ オフタイマーや設定メニューの［省電力設定］を設定しているときに、「まもなく電源が切れます。」というメッセージが表示されると、消画が解除されます。

2 画面表示にする〈2 画面〉

[2画面] を押す

2 画面表示になります。
(終了)（または [2画面]）を押すと、音符アイコンが表示されている画面の 1 画面表示に戻ります。

❖ アイコン表示は、2 画面表示にしたときや、◀▶、[画面表示] を押したときに数秒間表示されます。

❖ 左画面には、最後に選んでいたデジタル放送が表示されます。右画面には、地上アナログ放送またはビデオ 1 ～ビデオ 4 のうちで最後に選んでいた映像入力が表示されます。なお、左右を入れかえることはできません。

❖ 2 画面で [画面表示] を押すと、番組情報などを見ることができます。ただし、アナログ放送は放送局名だけが表示されます。

❖ 2 画面で 文字/静止 ◯ を押すと、2 画面表示が終了し、音符アイコンが表示されている画面が静止画面になります。

❖ コンポーネント、HDMI、PC、i.LINK の映像は、2 画面では表示されません。

■ チャンネルアイコンと音符アイコンを移動させるには

◀▶ を押す

チャンネルアイコンと音符アイコンが移動します。

例：デジタル放送視聴中に 2 画面にしたときは、次のように表示されます。

- ▶ を押すと、チャンネルアイコンが右に移動します。

❖ この状態のまま数秒間操作がないと、一つ前の状態に戻ります。

- 続けて ▶ を押すと、音符アイコンが右に移動します。

❖ 左画面に戻す場合は、上記と同様に ◀ を押して戻します。

いろいろな表示のしかた(つづき)

■ チャンネルを変えるには

1 **チャンネルを変えたい画面にチャンネルアイコンを移動させる**

2 **▲▼ を押す**

チャンネルリストが表示されます。
このリストは、数秒後に元に戻ります。

3 **続けて ▲▼ を押してチャンネルを選び、決定を押す**

❖ リモコンボタンによる選局もできます。

❖ デジタル放送の場合は、チャンネルアイコンが表示されていなくても、3 桁番号入力でチャンネルを変えることができます。

■ 音量を調節するには

1 **音量を調節したい画面に音符アイコンを移動させる**

2 **+/−で調節する**

■ 映像入力を変えるには

左画面の場合は 地上D BS CS のいずれかを、右画面の場合は 地上A ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3 ビデオ4 のいずれかを押す

映像入力が変わります。

■ 画面の大きさを変えるには

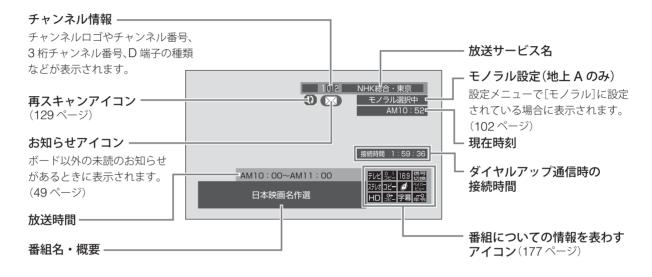
1 **大きくしたい画面にチャンネルアイコンと音符アイコンを移動させる**

2 **アイコンを右画面に移動させた場合は ▶ を押す**

右画面が大きくなります。

アイコンを左画面に移動させた場合は ◀ を押す

左画面が大きくなります。

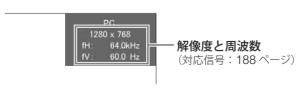
注意

- 映像入力をコンポーネント、HDMI、PC、i.LINK にしている場合は、2 画面表示はできません。
- 2 画面表示中は、ラジオ放送やデータ放送は選べません。
- 2 画面表示中は、画面サイズ、映像モード、音声モードの切り換えはできません。(ただし、音声モード、音声レベルについては、音符アイコンの移動や映像入力の切り換えに応じて、表示された映像のそれぞれの設定に自動的に変わります)

❖ ラジオ放送やデータ放送を選んでいたときに 2画面 を押すと、最後に選んでいたテレビのチャンネルが表示されます。

放送や映像入力の情報を見る〈画面表示〉

[画面表示]を押すと、そのとき選んでいた放送や映像入力についての情報が表示されます。
数秒経過すると情報は消えます。表示中にもう一度[画面表示]を押して消すこともできます。

表示の内容は、テレビ放送や映像入力によって次のように異なります。

■ テレビ放送、ビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK のとき

■ コンポーネントのとき

■ HDMI のとき

■ PC のとき

画面を調整 / 設定する

画質を選ぶ〈映像〉

本機には、好みに合わせて選ぶことができる画質設定が、映像モードとして登録されています。
映像モードは、設定メニューの［映像設定］（96 ページ）で調整することができます。

映像モード
◯ **を押す**

押すたびに、次のように変わります。

● テレビ放送とビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK の場合

標準 → ソフト → ダイナミック → お好み → 標準

標準	標準的な画質設定です。
ソフト	映画などのフィルム映像に適した設定です。
ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした設定です。
お好み	映像入力ごとの設定です。

● コンポーネントと HDMI、PC の場合

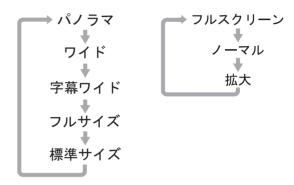
お好み 1 → お好み 2 → お好み 1

❖ お買い上げ時は、［お好み 1］と［お好み 2］は同じ設定になっています。［映像］メニュー（98、100 ページ）で好みの設定に調整してください。

注意
- **画面静止中や 2 画面表示中、デジタルカメラの画像表示中は、映像モードは選べません。**

画面の明るさを自動的に調整する

周囲の明るさの変化に合わせて、画面の明るさを自動で調整することができます。
明るさの変化は、本体前面の明るさセンサーで監視します。

この機能は、設定メニューの［その他］の［省電力設定］にある［明るさ自動調整］（116 ページ）で設定します。

画面サイズを選ぶ〈画面サイズ〉

画面サイズ **を押す**

押すたびに、次のように変わります。

注意
- **画面静止中や 2 画面表示中、デジタルカメラの画像表示中は、画面サイズは切り換えられません。**
- **次の場合は、自動的にフルサイズに設定され、画面サイズを切り換えることはできません。**
  - **デジタル放送で、16:9 サイズの信号を受信したとき**
  - **ビデオ 3、ビデオ 4、コンポーネント、HDMI で 1125i（1080i）、750p（720p）の信号を受信したとき**

画面サイズの自動切り換えについて

映像入力がビデオ 1 ～ビデオ 4、HDMI の場合、入力された信号のアスペクト情報を判断して、次のように画面サイズが自動的に切り換えられます。

- 入力信号が 16:9 サイズの映像であると判別された場合は、「フルサイズ」に切り換えられます。
- ビデオ 1 ～ビデオ 4 では、入力信号がレターボックスの映像であると判別された場合「ワイド」に切り換えられます。

❖ 画面サイズは、自動で切り換えられた後、手動で切り換えることができます。

❖ 接続されている機器によっては、画面サイズの自動切り換えが正しく行われない場合があります。

画面サイズの種類

画面サイズの種類と見えかたは次のとおりです。映像の種類に合わせて最適なサイズを選んでください。

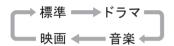
■ 映像入力が PC 以外の場合

画面サイズ ＼ 映像の種類		4:3 サイズ	レターボックス（16:9 サイズの映像を縦横比を保ったまま 4:3 サイズに収めたもの）	16:9 サイズ
パノラマ	4：3 サイズの映像をできるだけ保ったまま画面いっぱいに表示します。左右に行くほど横に広げられます。 16:9 サイズの映像は、逆に中央部分が縦長になります。			
ワイド	レターボックスの上下の黒帯部分をカットして、映像を画面いっぱいに表示します。 レターボックス以外は上下が切れます。			
字幕ワイド	レターボックスの字幕付きの映像を上の部分をカットして、字幕部分が残るように画面いっぱいに表示します。映像によっては、左右に黒帯が残ります。 レターボックス以外は上の部分が切れます。		字 幕	
フルサイズ	画面いっぱいに表示します。16:9 サイズの映像が正しく表示されます。 4:3 サイズの映像は横に広げられます。			
標準サイズ	4:3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。16:9 サイズの映像は横に圧縮されます。			

■ 映像入力が PC の場合

画面サイズ ＼ 入力信号（解像度）：例		800 × 600	1360 × 768（「1360 × 768」の解像度では、画面サイズを変更しても見えかたは同じです）
フル スクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。		
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。		
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。		

音声を調整 / 設定する

音質を選ぶ〈音声〉

本機には、好みに合わせて選ぶことができる音質設定が、音声モードとして登録されています。
音声モードは、設定メニューの［音声設定］（102 ページ）で調整することができます。

音声モード ◯ を押す

押すたびに、次のように変わります。

● テレビ放送とビデオ 1 〜ビデオ 4、i.LINK の場合

標準	標準的な音質設定です。
ドラマ	ニュースやドラマなどの人の声が聞こえやすくなるような設定です。
音楽	低音から高音までバランスよく聞こえるような設定です。
映画	迫力ある低音を再生し、かつ人の声が聞こえやすくなるような設定です。

● コンポーネント、HDMI、PC の場合

お好み 1 → お好み 2

❖ お買い上げ時は、［お好み 1］と［お好み 2］は同じ設定になっています。［音声］メニュー（104 ページ）で好みの設定に調整してください。

注意
- **画面静止中や 2 画面表示中、デジタルカメラの画像表示中は、音声モードは選べません。**

ステレオ / モノラルを切り換える

〔地上 A のみ〕

地上アナログ放送で、ステレオ放送を受信しているときは、音声をステレオで聞くかモノラルで聞くか選択できます。

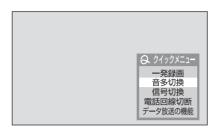
ステレオ / モノラルの設定は、設定メニューの［音声設定］（102 ページ）で行います。

音声多重放送の音声を切り換える

音声多重の切り換えは、次の場合に行えます。

- 音声多重放送の受信時
- i.LINK ケーブルで接続している機器からの入力時に二重音声がある場合
（ただし、i.LINK 入力の信号が地上アナログ放送の場合は、音声多重の切り換えはできません）

1 画面表示 を押して、音声多重放送であることを確認する

音声多重放送の場合は、画面に［二重音声］アイコンが表示されます。

● 地上アナログ放送の場合

● デジタル放送の場合

［二重音声］アイコン

2 **を押し、[音多切換]を選んで 決定 を押す**

[音多切換]のメニューが表示されます。

3 **音声を選び、決定 を押す**

選んだ音声に変わり、メニューが消えます。

❖ デジタル放送では、一つの番組の中に複数の音声信号がある場合があり、英語放送などが別の音声信号で送られてくることがあります。その場合の音声信号の選びかたは、41 ページをご覧ください。

❖ [音多切換]で選んだ音声の設定は、地上アナログ放送、デジタル放送、それぞれで保持されます。チャンネルや放送を変えるなどの操作を行っても、最後に設定した状態が保たれます。

注意

- **アナログ方式（VHS や S-VHS など）で録画予約や一発録画による録画を実行しているときには、デジタル放送の音声多重の切り換えはできません。**
- **設定メニューの［音声設定］（102 ページ）で「光デジタル音声出力端子」を［AAC 優先］や［サラウンド AAC 優先］に設定していて、MPEG-2 AAC 音声が出力されている場合には、本機では主音声・副音声の切り換えはできません。その場合は、MPEG-2 AAC デコーダー側で切り換えてください。**

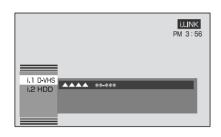
音声を消す〈消音〉

を押す

音声が消えます。

もう一度 消音 を押すと、音声が出ます。

❖ ＋（または本体の**音量＋ボタン**）を押して音量を上げても音声が出ます。

準備 / テレビを見る / 便利な機能 / 予約と録画 / 調整と設定 / トラブル時の対処 / 付録

接続した機器の映像を見る

映像入力を切り換える

i.LINK で接続している機器の映像を見るには

i.LINK を押す

i.LINK モードになります。

❖ i.LINK モードでの操作のしかたは、「i.LINK 接続している機器を操作する」（63 ページ）をご覧ください。

注意

- 2 画面表示中、デジタルカメラの画像表示中は、i.LINK は選べません。

ビデオ 1 ～ビデオ 4 に接続した機器の映像を見るには

ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3 ビデオ4 のいずれか（または本体の入力切換ボタン）を押す

それぞれの映像入力に接続した機器からの映像が表示されます。

入力切換ボタンを押したときは、次の順序で変わります。

ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → コンポーネント → HDMI → PC → ビデオ1

コンポーネントや HDMI、PC に接続した機器の映像を見るには

コンポーネント HDMI PC （または本体の入力切換ボタン）のいずれかを押す

それぞれの映像入力に接続した機器からの映像が表示されます。

入力切換ボタンを押したときは、次の順序で変わります。

ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → コンポーネント → HDMI → PC → ビデオ1

❖ HDMI を選んだ場合、接続した機器から入力されている信号が本機に対応していないときには、次のような画面が表示されます。機器のデジタル信号のフォーマットを確認してください。本機の対応フォーマットは、188 ページをご覧ください。

HDMI
信号エラー

❖ PC を選んだ場合は、画面の表示後に設定メニューの［入力設定］メニューにある［自動画面調整］（107 ページ）を行うことをおすすめします。

❖ PC を選んだ場合、コンピュータから入力されている信号が本機に対応していないときには、次のような画面が表示されます。コンピュータ側の設定を確認し、本機に対応した表示モードに変更してください。本機の対応信号は、188 ページをご覧ください。

PC
信号エラー
fH: 0.0kHz
fV: 0.0 Hz

PC
信号エラー
fH: xx.xkHz
fV: xx.x Hz

注意

- 画面静止中や 2 画面表示中、デジタルカメラの画像表示中は、コンポーネントや HDMI、PC は選べません。

デジタルカメラで撮った画像を見る

本機で使えるメモリカードと静止画

本機では、メモリカードに記録したデジタルカメラの静止画を見ることができます。
本機で使えるメモリカードと本機で再生できる静止画ファイルは、次のとおりです。

本機で使えるメモリカード

メモリカードの種類	本機が対応している容量	規格
「SD メモリカード」	8/16/32/64/128/256/512MB	SD Memory Card Specifications Part 1 Version 1.01 SD Memory Card Specifications Part 2 Version 1.01
「MMC」（マルチメディアカード）	16/32/64/128MB	The MultiMediaCard System Specification Version 3.2
「メモリースティック」	下記をご覧ください。	MemoryStickStandard MemoryStick FormatSpecifications ver.1.31

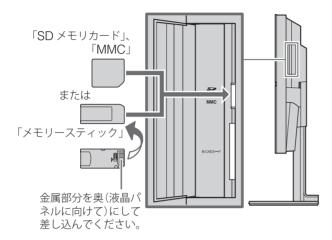
■ **本機が対応している「メモリースティック」の種類と容量**

本機が対応している種類	本機が対応している容量
「メモリースティック」 「メモリースティック デュオ」 「マジックゲート メモリースティック」 「マジックゲート メモリースティック デュオ」	16/32/64/128MB

注意
- 「メモリースティック PRO」は、本機では使用できません。
- マジックゲート機能が必要なデータは、本機では再生できません。
- 「メモリースティック デュオ」、および「マジックゲート メモリースティック デュオ」は、専用のアダプターを装着のうえ、ご使用ください。
- すべての「メモリースティック」の動作を保証するものではありません。

❖「メモリースティックについて」（174 ページ）もあわせてご覧ください。

本機で再生できる静止画ファイル

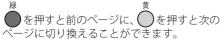
圧縮形式	画像ファイルフォーマット	互換ルール
JPEG 準拠	Exif ver2.2 準拠	DCF ver1.0 準拠

注意
- コンピュータのアプリケーションソフトで加工や編集をしたファイルは、再生できないことがあります。
- ファイル名に全角文字が含まれている画像は、見ることができません。
- メモリカード内に全角文字を含んだファイル名の画像がある場合、メモリカード内の他の画像も見ることができないことがあります。
- JPEG 圧縮以外の画像は見ることができません。

デジタルカメラで撮った画像を見る(つづき)

画像を見る

1 **背面のスロットカバーを開き、メモリカードスロットにメモリカードを差し込む**

注意

- メモリカードは、表裏と向きに注意して差し込んでください。
- メモリカードの取り扱いについては、各メモリカードの取扱説明書をご覧ください。

2 **(メニュー)を押し、[メモリカード]を選んで、(決定)を押す**

メモリカードに記録された画像が一覧表示されます。

▲、▼が表示されているときは、▼▲で次の表示ページに切り換えることができます。

緑(●)を押すと前のページに、黄(○)を押すと次のページに切り換えることができます。

一つの画像を表示する

画像を選んで(決定)を押す

選んだ画像が拡大され、一画面表示されます。

- 次の画像を見るには、▲▼で画像を選びます。
- 画像を回転させるには、赤(○)を押します。
  拡大表示している画像が、時計回りに 90 度ずつ回転します。
- BGM(背景音楽)をオン / オフするには、青(●)を押します。
  青(●)を押すごとに、[BGM オン]と[BGM オフ]が交互に変わります。

- 画像以外の画面表示を消すには、(画面表示)を押します。もう一度(画面表示)を押すと、再び表示されます。

一覧表示に戻るには、(戻る)を押します。

スライドショーで表示するには

一覧表示のときに（赤）を押す

（赤）を押したときに選んでいた画像から、順番に拡大表示されます。

- スライドショーを一時停止するには、（緑）を押します。もう一度（緑）を押すと、スライドショーが再開されます。
- 一時停止中に別の画像を見るには、▲▼で画像を選びます。
- スライドショーの表示間隔（一枚の画像が表示される時間）を変えるには、次のように操作します。

❶（黄）を押す

スライドショーが一時中断され、[間隔設定]画面が表示されます。

❷ 表示間隔の時間を選んで（決定）を押す

スライドショーに戻ります。

スライドショーを終了して一覧画面に戻るには、（赤）または（戻る）を押します。

通常の画面に戻るには

（終了）を押す

メモリカードを取り出すには

メモリカードを押し込んでから取り出す

注意

- メモリカードにアクセスしている（画像を読み込む動作をしている）ときは、メモリカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊される可能性があります。
  アクセスしているときには、アイコンが表示されます。

- メモリカードの画像を見ているときは、メモリカードを取り出したり、本機の電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。記録されているデータが破壊される可能性があります。
- メモリカードの金属部（金色の部分）には、ゴミや異物がつかないように、また触れないように注意してください。汚れは乾いた柔らかい布でふいてください。
- メモリカードにインデックスラベルを貼る場合は、各メモリカードに付属のインデックスラベルを使用し、市販のラベルなどは貼らないでください。カードの出し入れの際、故障の原因となります。

デジタルカメラで撮った画像を見る(つづき)

画像が見られないときは

次のメッセージが表示されたときは、画像を見ることができません。

■ メモリカード共通のメッセージ

メッセージ	原因や対処
「画像データがありません。」	メモリカードに本機で再生できる画像データがありません。画像データが記録されたメモリカードを使用してください。
「ファイルエラー」	本機で対応している規格の画像ではありません。「本機で再生できる静止画ファイル」(59 ページ) のフォーマットの画像を使用してください。
「ファイルがありません。」	メモリカードに何もファイルがありません。画像データが記録されたメモリカードを使用してください。
「異常なメディアが挿入されました。」	次のような原因が考えられます。 ・メモリカードが本機に対応していない ・メモリカードに異常がある ・メモリカードが正しく挿入されていない ・異物などが挿入されている 本機で対応しているメモリカードを正しく挿入してください。
「フォーマットエラー」	フォーマットのエラーがありました。「本機で再生できる静止画ファイル」(59 ページ) のフォーマットのメモリカードを使用してください。
「メディアが挿入されていません。」	「SD メモリカード」、「MMC」、「メモリースティック」のいずれかのメモリカードを挿入してください。

■「メモリースティック」のメッセージ

メッセージ	原因や対処
「メモリースティックエラー」	壊れている「メモリースティック」を挿入しています。「メモリースティック」を交換してください。
「メモリースティックタイプエラー」	対応していない種類や容量の「メモリースティック」を挿入しています。「本機が対応している「メモリースティック」の種類と容量」(59 ページ) の「メモリースティック」を使用してください。 または、アクセスコントロールがかけられた「メモリースティック」を挿入しています。アクセスコントロールをかけた機器で解除してから挿入してください。
「メモリースティックがありません。」	「メモリースティック」を挿入してください。

❖ メモリカードに記録されている容量によっては、記録されているファイルをすべて再生できない場合があります。

❖ メモリカードの容量やメーカーによっては、使用できない場合があります。

❖ 画像が正しく再生されないときは、メモリカードの金属部分(金色の部分)の汚れを取って挿入してください。

❖ 画像を拡大して一画面で表示しているときだけでなく、スライドショーや一覧表示中も、リモコンの●(青)で「BGM」をオン / オフできますが、その場合は再生が止まる場合があります。

❖ メモリカードの画像表示中は、デジタル放送録画出力用の S 映像出力端子と映像出力端子、音声出力端子からは、信号が出力されません。

i.LINK 接続している機器を操作する

i.LINK 端子を持つ機器を i.LINK ケーブルで接続すると、デジタル映像信号やデジタル音声信号、データ信号をやり取りできます。i.LINK ケーブルは、1 本で映像も音声も送ることができます。

❖ i.LINK 機器の接続については 12 〜 14 ページをご覧ください。

❖「i.LINK についての注意」（176 ページ）もご覧ください。

本機で可能な操作

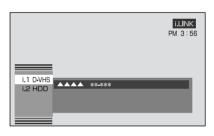
i.LINK ケーブルで接続している機器に対して、次のような操作をすることができます。

- i.LINK 機器の電源入／切（待機）
- D-VHS ビデオや HDD ビデオレコーダーの再生、停止、早送り・早戻しなど
  - ❖ i.LINK モード（63 ページ）では、録画の操作はできません。
- デジタルチューナーのチャンネルの切り換えなど

注意

- **複数の機器を i.LINK ケーブルで接続して使用する場合、機器の動作が安定しないことがあります。**
- **デジタルビデオカメラなどの DV 機器は、記録する映像フォーマットが異なるため、接続しても本機ではデータのやりとりはできません。**

操作をする前に

接続する i.LINK 機器や i.LINK 機器の使用状況によっては、あらかじめ設定が必要な場合があります。詳しくは、「i.LINK 設定」（136 ページ）をご覧ください。

基本の操作

注意

- **機器によっては、ブロードキャスト出力していても出力信号が異なるために本機では見ることができない場合があります。**

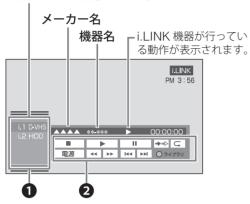
❖ 他の i.LINK 機器から本機が操作されているときは、本機からの機器の操作はできません。本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。

1 i.LINK を押す

i.LINK モードになり、操作パネルが表示されます。

i.LINK モードとは、i.LINK 機器を操作したり、i.LINK 機器からの映像を見たりできる状態のことです。

❖ 操作パネルの表示は、操作する機器によって異なります。

❖ 一時的に操作パネルを消すには、i.LINK を押します。もう一度 i.LINK を押すと、再び表示されます。

次のページにつづく≫

i.LINK 接続している機器を操作する(つづき)

2 操作パネルを使って、機器を操作する

基本的な操作のしかたは、次のとおりです。

❶ ◀ でこの欄を選び、▲▼ で操作する機器を選んで ▶ を押す

ブロードキャスト入力を見る場合は、[ブロードキャスト]を選びます。

❷ ▲▼◀▶ で操作ボタンを選び、(決定)を押す

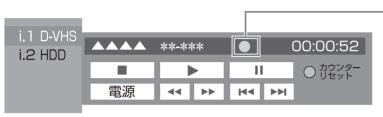
i.LINK 機器が動作します。

❖ 接続している機器が 1 台で［ブロードキャスト入力設定］（138 ページ）が［オフ］のときは、手順❶の操作はありません。

❖ i.LINK 機器によって操作パネルの機能が異なります。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

- D-VHS ビデオの場合：65 ページ
- HDD ビデオレコーダーの場合：66 ページ
- デジタルチューナーの場合：71 ページ

❖ 機器によっては、操作パネルにメーカー名や機器名が表示されない場合があります。

注意
- **操作パネルでは、録画の操作はできません。**

3 i.LINK モードを終了する

次の操作を行うと、通常の画面に戻ります。

- (地上A)(BS)(CS)(地上D) のいずれかを押す
- チャンネル操作をする

❖ i.LINK 機器の操作中に、i.LINK ケーブルで接続する機器を変えると、画面が途切れる場合があります。そのときに「選ばれた機器に i.LINK 接続できません。」というメッセージが表示された場合は、次の操作を行ってください。

❶ **チャンネル操作などをして、i.LINK モードを終了する**

❷ **i.LINK ケーブルを接続し直した後、(i.LINK)を押す**

❖ i.LINK 機器からのデータ放送を再生しているときにデータ放送上の操作によって選局などの操作が行われた場合は、i.LINK モードを終了して通常の画面に戻る場合があります。

❖［登録モード設定］（137 ページ）で［手動］に設定している場合は、i.LINK 機器は自動では登録されません。［i.LINK 機器の登録］（136 ページ）で機器を登録してください。

❖ 接続された i.LINK 機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINK ケーブルを抜き、［i.LINK 機器の削除］（136 ページ）の手順で登録を一度削除してから、i.LINK ケーブルを接続し直してください。

D-VHS ビデオを操作する

D-VHS ビデオの操作パネルの例

表示の意味は次のとおりです。

表示	動作
●	録画中
▶	再生中
▶▶	早送り中
◀◀	巻戻し中
▶▶▶	早送り再生中
◀◀◀	早戻し再生中
❚❚	一時停止中

本機でできる操作には、次のようなものがあります。

ボタン表示	動作
電源	電源の入 / 待機
▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止 / 解除
❙◀◀	前に戻って、頭出し再生
▶▶❙	1 つ先に進んで、頭出し再生
▶▶	早送り（再生中に押すと早送り再生できます）
◀◀	巻戻し（再生中に押すと巻戻し再生できます）
●カウンターリセット	カウンター表示をリセット

❖ HDD ビデオレコーダーを D-VHS モードで使用している場合は、電源、再生、停止、一時停止ボタン以外の操作ボタンは、通常の D-VHS 機器と動作が異なる場合があります。

❖ 一時停止の操作では、映像信号だけが一時停止されます。データ放送を再生している場合は、データ放送が選局し直され、静止画像は表示されません。また、信号が不安定な場合は、静止画像は表示されません。

❖ 番組連動データ番組の再生中に、一時停止の操作をして静止画にする場合は、(終了) を押し、データ放送を終了してから一時停止の操作を行ってください。（D-VHS ビデオに一時停止の機能がない場合は、静止画にはなりません）

i.LINK 接続している機器を操作する(つづき)

HDD ビデオレコーダーを操作する

HDD ビデオレコーダーの操作パネルの例

表示	動作
●	録画中
▶	再生中
▶⊂	リピート再生中
●▶	録画中に別の番組を再生中
➔▪▪▷	追っかけ再生中
▶▶ 3	早送り再生中

本機でできる操作には、次のようなものがあります。

ボタン表示	動作
電源	電源の入 / 待機
▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止 / 解除
❙◀◀	前に戻って、頭出し再生（5 秒以上再生したときには、その番組の先頭に戻ります）
▶▶❙	1 つ先に進んで、頭出し再生
▶▶	早送り再生（押すごとに速さが変わります）
◀◀	巻戻し再生（押すごとに速さが変わります）
➔▪▪▷	追っかけ再生 録画中に、その録画している番組の録画済み部分を最初から再生します。 例えば、予約録画中のときは、予約録画が終了するまで待たずに再生して見ることができます。
⊂	リピート再生 再生中の番組を繰り返して再生します。もう一度押すと解除されます。他の i.LINK 機器に切り換えた場合や i.LINK モードを終了した場合にも、リピート再生は解除されます。
◯ライブラリ	ライブラリ 録画されている番組の一覧を表示します。ライブラリでは、録画番組の再生や削除、D-VHS ビデオへのコピーなどができます。詳しくは、次ページをご覧ください。

❖ 追っかけ再生中は、データ放送部分の再生はできません。また、追っかけ再生中は、データ放送は起動しません。

❖ 追っかけ再生ができるようになるまでは、数分間ハードディスクへの記録が必要になります。

❖ 追っかけ再生時に、早送りなどによって現在録画中の地点まで進むと HDD ビデオレコーダーによっては、追っかけ再生を停止する機器があります。このような機能は、HDD ビデオレコーダーによって動作が異なります。

❖ 録画するときは、［録画予約］（76 ページ）や［一発録画］（89 ページ）で行ってください。

❖ 一時停止の操作では、映像信号だけが一時停止されます。データ放送を再生している場合は、データ放送が選局し直され、静止画像は表示されません。また、信号が不安定な場合は、静止画像は表示されません。

❖ 番組連動データ番組の再生中に、一時停止の操作をして静止画にする場合は、(終了)を押し、データ放送を終了してから一時停止の操作を行ってください。（HDD ビデオレコーダーに一時停止の機能がない場合は、静止画にはなりません）

❖ HDD ビデオレコーダーは、使用していないと自動的に待機状態になる場合があります。詳しくは、HDD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

❖ 早送り / 早戻し再生（60 倍、120 倍など）できる残りの時間が少なくなると、再生スピードが変わる場合があります。

ライブラリを使う

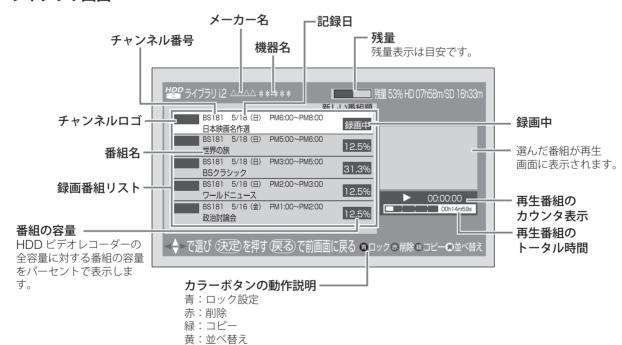
HDD ビデオレコーダーのライブラリの使いかたを説明します。

注意
- 絶対に、複数の機器から同時に HDD ビデオレコーダーを操作しないでください。特に番組の削除（68 ページ）を行うと、意図しない番組が削除されてしまう場合があります。
  大切な番組は、あらかじめロック（68 ページ）しておくと、誤った削除を防止することができます。

❖ HDD ビデオレコーダーでは、再生している位置の情報が保たれなくなる場合があります。

❖ HDD ビデオレコーダーの電源が切れると、番組の並び順に関係なく、固定の番組（一番古い番組など）を選択していた状態になる場合があります。

操作パネルの［ライブラリ］を選び、(決定)を押す

ライブラリ画面が表示されます。

ライブラリ画面では、次の操作が行えます。

- 録画されている番組を再生する（68 ページ）
- 録画されている番組をロックする（68 ページ）
- ライブラリに表示される順番を変える（68 ページ）
- 録画されている番組を削除する（68 ページ）
- 録画されている番組を D-VHS ビデオにコピーする（69 ページ）

ライブラリを終了して通常画面に戻るには、を押します。

ライブラリ画面

❖ ライブラリには、128 番組まで表示できます。128 番組以上録画されている HDD ビデオレコーダーを使用する場合は、ライブラリが正しく表示されない場合がありますのでご注意ください。実際の録画番組の最大数は、HDD ビデオレコーダーの仕様によって異なります。

❖ 番組の表示時刻は、実際の録画情報から算出していますので、HDD ビデオレコーダーの録画動作時間とは一致しない場合があります。

❖ ライブラリではデータ放送は操作できません。

❖ 録画した地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定に変更があると正しく表示されない場合があります。

❖ 他の機器で録画した地上デジタル放送のチャンネル番号などは、正しく表示されない場合があります。

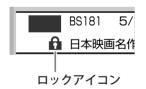
i.LINK 接続している機器を操作する（つづき）

■ 録画されている番組を再生する

ライブラリ画面を表示させ、番組を選んで（決定）を押す

番組の再生が始まります。
このとき、操作パネルは表示されません。操作パネルを表示するには、（i.LINK）を押します。

■ 録画されている番組をロックする

「ロック」は、HDD ビデオレコーダーに録画されている番組を削除されないようにする機能です。

注意
- ロックは、HDD ビデオレコーダーによっては操作できない場合があります。詳しくは、HDD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ライブラリ画面を表示させ、ロックしたい番組を選んで（青）を押す

番組がロックされ、ロックアイコンが表示されます。

ロックアイコン

ロックを解除するには、ロックされている番組を選んで（青）を押します。

■ ライブラリに表示される順番を変える

番組の並び順を、「新しい番組順」（記録した日時の新しい番組順）か、「古い番組順」（記録した日時の古いもの順）のどちらかに設定できます。

1 **ライブラリ画面を表示させ、（黄）を押す**

2 **［新しい番組順］または［古い番組順］を選び、（決定）を押す**

指定された並び順に変わります。

■ 録画されている番組を削除する

注意
- 削除された番組は、元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

1 **ライブラリ画面を表示させ、（赤）を押す**

番組リストの左側にチェックボックスが表示されます。

チェックボックス

2 **削除する番組を選び、（決定）を押す**

選んだ番組にチェックマークが付きます。

チェックマーク

もう一度(決定)ボタンを押すと、チェックマークは消えます。

❖ ロックされている番組はチェックできません。ロックを外す場合は、番組を選んで(青)を押してください。

- すべての番組を一度に削除するには、(赤)を押します。ロックされている番組以外のすべての番組にチェックマークが付きます。

❖ 録画した番組数が 128 個を超える場合は、録画した順番の古いものから数えて 129 番目以降の番組は、一つずつしか選択できません。一つずつ選択して、削除の操作を行ってください。(128 番目までは、まとめて選択されます)

❖ 録画番組数が多い場合は、すべての番組にチェックマークが付くまでに時間がかかります。

❖ 録画番組の情報取得に失敗した場合は、チェックマークが付きません。このようなときは、もう一度(赤)を押すか、一つずつチェックマークを付けてください。

削除の操作をやめて通常のライブラリ画面に戻るには、(戻る)を押します。

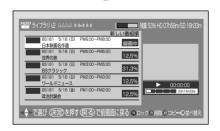
3 **[削除する]を選び、(決定)を押す**

4 **[はい]を選び、(決定)を押す**

番組が削除され、通常のライブラリに戻ります。

■ 録画されている番組を D-VHS ビデオにコピーする

HDD ビデオレコーダーに録画されている番組を、i.LINK 経由で D-VHS ビデオにコピーすることができます。
機器の接続については、12 ページをご覧ください。

注意

- **1 回だけしか録画が許可されていない番組は、コピーはできません。**
- **本機のコピー機能は簡易的なものです。条件によっては正しくコピーできない場合があります。**

❖ 録画された一つの番組単位の中に、コピーできる番組と 1 回だけしか録画が許可されていない番組が混在している場合には、正しくコピーできません。

コピーする前に

次の操作を行ってください。

- D-VHS ビデオテープを D-VHS ビデオに入れる
- D-VHS ビデオ側で i.LINK 入力の設定を HDD ビデオレコーダーにする
  操作については、D-VHS ビデオの取扱説明書をご覧ください。

1 **ライブラリ画面を表示させ、コピーしたい番組を選んで(緑)を押す**

次のメッセージが表示された場合

「録画実行中はコピーできません。」
録画中のため、コピーできません。

「コピー先の録画機器が登録されていません。」
コピー先の D-VHS ビデオを本機に接続し、必要なら手動操作で i.LINK 登録(136 ページ)をしてください。

「この番組はコピーできません。」
コピー制限によって、この番組はコピーできません。

次のページにつづく≫

準備
テレビを見る
便利な機能
予約と録画
調整と設定
トラブル時の対処
付録

i.LINK 接続している機器を操作する（つづき）

2 コピー先の録画機器が表示されていることを確認する

録画機器を変更する場合は、次のように操作します。

❶ ［録画機器］を選び、（決定）を押す

❷ コピー先の録画機器を選び、（決定）を押す

❖「録画機器が動作を受け付けません。」のメッセージが表示された場合は、D-VHS ビデオの i.LINK 入力が HDD ビデオレコーダーに設定されているかどうかを確認してください。
詳しくは、D-VHS ビデオの取扱説明書をご覧ください。

3 ［コピーする］を選び、（決定）を押す

コピーが始まります。

次のメッセージが表示された場合

「録画予約が登録されています。」
コピーを行う場合は、［はい］を選んで（決定）を押してください。
ただし、録画予約の開始時間になると、コピーを中止して録画予約を実行します。

「ソフトウェアのダウンロード予約が登録されています。」
コピーを行う場合は、［はい］を選んで（決定）を押してください。
この場合は、ダウンロード開始時間になってもコピーを継続し、ダウンロードを実行しません。

❖ 上記以外のメッセージが表示される場合もあります。その際は、メッセージに従って操作してください。

コピーを途中で中止するには

1 （終了）を押す

「コピー実行中です。もう一度（終了）を押すとコピーを中止します。」というメッセージが表示されます。

❖ データ放送が起動しているときは、（終了）を押すと、まずデータ放送が終了します。その場合は、もう一度（終了）を押してください。

2 上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、（終了）を押す

コピーが中止されます。

❖ コピー終了後、D-VHS ビデオの i.LINK 入力が HDD ビデオレコーダー側になっている場合があります。

❖ コピー先の D-VHS の機種によっては、番組の先頭部分が記録されない場合があります。

❖ コピー中の番組を視聴しているときにデータ放送による選局が行われた場合は、i.LINK モードが終了する場合があります。再度コピー中の番組を視聴するには、i.LINK ボタンを押してください。

❖ コピー実行中は、予約の登録や一発録画はできません。

❖ コピー実行中に HDD ビデオレコーダー側でエラーが発生した場合には、「本機に関するお知らせ」（49 ページ）でご連絡します。（エラーによっては、お知らせが発行されない場合もあります）

❖ 視聴予約と時間が重なったときは、コピーを優先して実行します。

❖ 使用する D-VHS ビデオや番組によっては、正しくコピーできない場合があります。

デジタルチューナーを操作する

デジタルチューナー（地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送用）の場合は操作パネルが 2 種類あり、［チューナーの選局方法］（138 ページ）で選ぶことができます。

［チューナーの選局方法］を［選局 1］に設定したとき

お買い上げ時はこの設定になっています。
また、この設定の場合は、デジタルチューナーのチャンネルの選びかたに 2 種類あります。

- ダイレクト選局ボタンで直接選ぶ（72 ページ）
- 3 桁番号を指定して選ぶ（73 ページ）

［選局 1］の操作パネルの例

本機でできる操作には、次のようなものがあります。

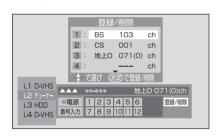
ボタン表示	動作
電源	電源の入 / 待機
番号入力	デジタルチューナーのチャンネルを 3 桁、または 4 桁（3 桁のチャンネル番号と 1 桁の枝番）の番号で選局する際に使用します。（73 ページ）
ダイレクト選局 1～12（0）	デジタルチューナーのチャンネルを直接選びます。（72 ページ） 3 桁、または 4 桁（3 桁のチャンネル番号と 1 桁の枝番）番号の入力にも使用します。（73 ページ）
登録／削除	ダイレクト選局ボタンへのチャンネルの登録・削除を行います。（72 ページ）

❖ i.LINK ケーブルで接続されているデジタルチューナーが電波を正しく受信していない場合は、操作パネルのボタンを使ってチャンネルを切り換えることはできません。その場合は、デジタルチューナー側でチャンネルを切り換えてください。

❖ 電波が受信できないときには、チャンネル番号は表示されません。

❖ 接続される機器や、放送形式によっては、本機から操作できない場合もあります。

i.LINK 接続している機器を操作する（つづき）

■ デジタルチューナーのチャンネルを直接選ぶ場合

操作パネルのダイレクト選局ボタンにチャンネルを登録し、選局する方法です。（お買い上げ時には、チャンネルは登録されていません）

ダイレクト選局ボタンにチャンネルを登録する

本機に接続されているデジタルチューナーごとに、登録できます。（最大 15 台）

1 デジタルチューナー側で登録したいチャンネルを選ぶ

2 操作パネルの［登録 / 削除］を選び、決定を押す

［登録 / 削除］画面が表示されます。

❖ 手順 1 で選んだチャンネルが受信できていない場合は、登録画面は表示されず、その旨のメッセージが表示されます。

3 登録したいボタン（未登録のもの）を選び、決定を押す

受信しているチャンネルが登録されます。

チャンネルの選びかた

操作パネルのダイレクト選局ボタンを選び、決定を押す

❖ 接続されたチューナーの受信チャンネルに変更があった場合は、選局できない場合があります。

❖ 放送休止中などにより受信できない場合には、「現在このチャンネルを表示することはできません。」というメッセージが表示されます。

登録されているチャンネルを削除するには

1 操作パネルの［登録 / 削除］を選び、決定を押す

2 削除したいチャンネルを選び、決定を押す

すべてをまとめて削除する場合は、［すべて削除］を選んで決定を押します。

3 ［はい］を選び、決定を押す

チャンネルが削除されます。

■ **3 桁(地上デジタルの場合は 4 桁)の番号を指定して選ぶ場合**

1 操作パネルの[番号入力]を選び、(決定)を押して、放送の種類を選ぶ

(決定)ボタンを押すたびに、次のように変わります。

BSデジタル
↓
110度CSデジタル
↓
地上デジタル

❖ デジタルチューナーが対応していない放送は選べません。

2 ボタン(1～12(0))を選び、(決定)を押す操作を繰り返して、3 桁(地上デジタルの場合は 3 桁＋ 1 桁の枝番)のチャンネル番号を指定する

❖ 接続しているデジタルチューナーで設定しているチャンネル番号を指定してください。

❖ 手順 1 の操作後、チャンネル番号を指定しないまま数秒経過すると、手順 1 の操作は取り消されます。

❖ 1～12（0）以外のボタンを選んで(決定)を押すと手順 1 の操作は取り消されます。

❖ 放送休止中などにより受信できない場合には、「現在このチャンネルを表示することはできません。」というメッセージが表示されます。

[チューナーの選局方法]を[選局 2]に設定したとき

［選局 2］の操作パネルの例

本機でできる操作には、次のようなものがあります。

ボタン表示	動作
電源	電源の入 / 待機
∧（チャンネル）	上方向に選局
∨（チャンネル）	下方向に選局

❖ i.LINK ケーブルで接続されているデジタルチューナーが電波を正しく受信していない場合は、操作パネルのボタンを使ってチャンネルを切り換えることはできません。その場合は、デジタルチューナー側でチャンネルを切り換えてください。

❖［選局 2］では、受信しているネットワーク（デジタル放送の放送の単位）以外を選局することはできません。ネットワークを変えたい場合は、接続機器側でチャンネルを切り換えるか、［選局 1］で選局してください。

❖ チャンネルを順送りで変えられるデジタルチューナーでは、操作パネルに表示されるチャンネル番号と順送りで選局するときの順番が一致しない場合があります。

❖ 接続される機器や、放送形式によっては、操作できない場合もあります。

省電力機能を使う

自動的に電源を切る〈オフタイマー〉

オフタイマーは、一定の時間が経つと自動的に本機の電源を切る機能です。

1 オフタイマー ◯ **を押す**

現在のオフタイマーの設定が 3 秒間表示されます。

オフタイマー オフ

2 **表示中に** オフタイマー ◯ **を押す**

オフタイマー 30分

オフタイマー ◯ を押すたびに、30 分刻みで時間が変わります。最長 120 分まで指定できます。

オフタイマー オフ
↓
オフタイマー 30分
↓
オフタイマー 60分
↓
オフタイマー 90分
↓
オフタイマー 120分
（オフタイマー オフに戻る）

表示が消えるとオフタイマーが設定され、設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。

❖ 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます」と表示されます。

オフタイマーを解除するには

[オフタイマー オフ]が表示されるまで オフタイマー ◯ **を押す**

［オフタイマー オフ］を選ぶと、オフタイマーは解除されます。

残り時間を確認するには

オフタイマーの設定中に オフタイマー ◯ **を押す**

電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

オフタイマー 5分

❖ 残り時間は、秒を切り捨てた分単位で表示されます。

オフタイマー時間を延長するには

残り時間の表示中に オフタイマー ◯ **を押す**

オフタイマー ◯ を押すたびに 30 分刻みで時間が延長されます。

この他の電源オフ機能

本機では、オフタイマー機能以外に、次のような電源を自動的に切る機能が使えます。

■ 無放送電源オフ

テレビ放送（地上アナログ放送とデジタル放送）を選んでいるときに、放送がない（信号がない）状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源が切れます。

■ 無信号電源オフ

映像入力がビデオ 1 ～ビデオ 4、コンポーネント、HDMI、PC のときに、ビデオ信号の入力がない状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源が切れます。

■ i.LINK 無信号電源オフ

映像入力が i.LINK のときに、i.LINK 接続した機器からの信号入力がない状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源が切れます。

■ 無操作電源オフ

リモコンや本体でのボタン操作がない状態が 3 時間続くと、自動的に電源が切れます。

❖ これらの機能は、設定メニューの［省電力設定］で、それぞれの項目を［オン］に設定すると使えるようになります。（116 ページ）

録画予約と視聴予約

録画予約と視聴予約について

本機では、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の番組を予約して、録画したり、視聴したりすることができます。

■ 録画予約とは

録画したい番組を予約することです。
予約した番組が始まると、本機が録画機器をコントロールして、自動的に予約した番組を録画します。

■ 視聴予約とは

視聴したい番組を予約することです。
予約した番組が始まると、他の放送や番組を見ているときでも、自動的に予約した番組に画面が切り換わります。

❖ 視聴予約は、本機の電源が入っているときだけ実行されます。

予約の方法

録画予約、視聴予約とも、次の方法で予約できます。

■ 番組指定予約

番組表（32 ページ）やジャンル検索（34 ページ）などで番組を指定して予約します。7 日先まで予約できます。

■ 日時指定予約

日付と時間を指定して予約します。番組の一部だけ録画する場合や、同じ時間帯の番組を毎日予約する場合に使います。6 週間先まで予約できます。

❖ 録画予約、視聴予約合わせて最大 32 番組予約できます。

録画予約をする前に

あらかじめ録画機器を本機に接続しておく必要があります。

■ アナログ方式（VHS や S-VHS など）で録画する場合

「アナログビデオを接続する」（11 ページ）をご覧になり、接続してください。

また、本機からビデオをコントロールして録画予約するには、付属のビデオコントローラーを接続し（11 ページ）、設定メニューの［初期設定］の［外部機器設定］にある［ビデオ設定］（139 ページ）でビデオの設定を行う必要があります。

❖［ビデオ設定］で設定できない場合は、本機からビデオをコントロールすることができませんので、本機で録画予約の設定を行った後、ビデオ側でも録画予約の設定を行う必要があります。（88 ページ）

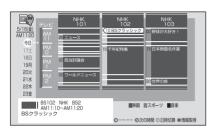
■ i.LINK ケーブルを使ってデジタル録画する場合

「デジタルレコーダーを接続する」（12 ページ）をご覧になり、接続してください。

❖「i.LINK についての注意」（176 ページ）もご覧ください。

i.LINK ケーブルを使って D-VHS ビデオなどにデジタル録画する場合は、以下の点にご注意ください。

- 録画モードは、番組の情報量に合わせて自動的に最適な状態に設定されます。ただし、機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードに設定されることがあります。その場合の画質については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 番組によっては録画できない場合があります。（その場合には、メッセージが表示されます）
- 番組情報が送られていない場合、データ放送がデジタル録画予約できない場合があります。

注意

- **独立データ放送は、アナログ方式（VHS や S-VHS など）では録画予約できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式では録画できません。**
- **通常 i.LINK 端子からはメニュー表示などは出力されません。**

❖「予約についての注意」（85 ページ）もご覧ください。

番組を指定して予約する

1 **（番組表）を押す**

番組表が表示されます。

2 **予約したい番組を選び、（決定）を押す**

今後放送される番組を選んでください。現在放送中の番組は、予約できません。

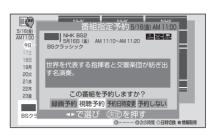
次のメッセージが表示された場合

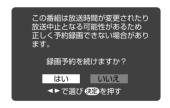
「番組購入情報がいっぱいのため、番組予約はできません。」

（決定）を押して番組表に戻り、［番組購入情報の送信］（47 ページ）をしてください。

「番組予約ができません。次の設定をしてください。」

［暗証番号設定］（111 ページ）、［視聴年齢制限設定］（111 ページ）をしてください。

次のメッセージが表示された場合の操作は、「予約設定時にメッセージが表示された場合には」（83 ページ）をご覧ください。

「予約数がいっぱいです。他の予約を取り消しますか？」
「すでに購入された番組と時間が重なっています。」
「他の予約と時間が重なっています。」
「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」

❖ ジャンル検索（34 ページ）や番組チェック（34 ページ）でも番組を選ぶことができます。

3 **［録画予約］または［視聴予約］を選び、（決定）を押す**

❖［予約日時変更］を選ぶと、予約する日時が変更できます。詳しくは、「番組指定予約設定で予約日時を変更するには」（80 ページ）をご覧ください。

❖ 録画が禁止されている番組の場合には、録画予約はできません。（その場合は、メッセージでお知らせします）

［録画予約］を選んだ場合は、手順 4 に進みます。

［視聴予約］を選んだ場合は、以上で設定終了です。

次の画面が表示された場合

録画予約を続ける場合は、［はい］を選んで（決定）を押してください。ただし、本機は放送時間の繰上げには対応していませんので、繰り上げになった場合は、番組の一部または全部が録画できないことになります。

次のページにつづく≫

録画予約と視聴予約(つづき)

4 予約設定内容を確認する

①［録画機器］

- アナログ方式（VHS や S-VHS など）で録画する場合

  ［ビデオ（連動）］または［ビデオ（非連動）］が表示されていることを確認してください。

［ビデオ機種設定］（139 ページ）で、メーカーを設定した場合は、［ビデオ（連動）］が表示されます。［該当なし］に設定した場合は、［ビデオ（非連動）］が表示されます。（この場合は、本機からビデオをコントロールできませんので、本機で録画予約の設定を行った後、ビデオ側でも録画予約の設定を行う必要があります）

- i.LINK ケーブルでデジタル録画する場合

  録画に使用する i.LINK 機器が表示されていることを確認してください。

i.LINK 機器を変更する場合は、次の手順で変更してください。

❶ ［録画機器］を選び、(決定)を押す

❷ 表示されたリストで録画に使う i.LINK 機器を選び、(決定)を押す

②［放送時間変更］

［連動する］または［連動しない］が表示されていることを確認してください。

［連動する］に設定すると、予約番組の放送時間が変更された（遅れる）場合に、自動的にその時間に合わせて録画します。最大 3 時間までの遅れに対応します。（開始時刻の繰り上げには対応しません）

❖ ペイ・パー・ビュー番組を予約する場合は、自動的に［連動する］になります。

❖ ［連動する］に設定した番組は、放送時間が変更されて［連動しない］設定の番組と放送時間が重なった場合、優先して予約実行されます。詳しくは、「予約番組の優先順位」（85 ページ）をご覧ください。

設定を変更する場合は、次の手順で変更してください。

❶ ［放送時間変更］を選び、(決定)を押す

❷ ［連動する］または［連動しない］を選び、(決定)を押す

③［信号設定］

複数の信号がある番組の場合、録画する映像信号や音声信号の設定を変更できます。
（i.LINK ケーブルで接続した D-VHS ビデオなどにデジタル録画する場合は不要です）

❖ ［信号設定］については、設定内容は表示されません。

❖ 変更しない場合は、放送局が指定した基本の映像・音声信号が録画されます。

設定を変更する場合は、次の手順で変更してください。

❶ ［信号設定］を選び、(決定)を押す

❷ 設定する項目を選び、(決定)を押す

設定できる項目は、次のとおりです。

- 映像信号
- 音声信号
- 二重音声

❸ 信号を選び、(決定)を押す

❖ 選択できる信号がない場合は、設定できません。

❹ ［信号設定完了］を選び、(決定)を押す

❖ 選んだ信号に追加料金が必要な場合については、42 ページをご覧ください。

5 ［録画予約する］を選び、(決定)を押す

「予約が完了しました。」の画面が表示されます。

次の画面が表示された場合

視聴制限があります。

・視聴年齢制限を超えています。
・番組購入限度額を超えています。
暗証番号を入力してください。

□□□□

⓪～⑨で入力　◀でやり直し

番組に設定された視聴制限が機能しています。録画予約をする場合は、①～⑨と⑩(0)で暗証番号を入力してください。

転送レートを超えているため
録画予約できません。
録画機器を変更してください。
(決定)を押す

選んだ番組の情報量が、指定した機器の処理能力を超えているため、デジタル録画予約はできません。複数のi.LINK機器が登録されている場合は、前ページの手順4の①［録画機器］の操作で、他のi.LINK機器を選んでください。

選んだ番組はペイ・パー・ビュー番組です。録画予約する場合は、［購入する］を選んで(決定)を押してください。

❖ 録画するには画面に表示された料金がかかります。

❖ ［合計金額］の表示は、信号を追加で購入した場合の料金（42ページ）も含まれています。

次のメッセージが表示された場合

「この番組は1回のみ録画できます。そのためHDDに録画した後、他の録画機器にデジタル録画できません。」

i.LINKケーブルで接続されているHDDビデオレコーダーを録画機器に選び、1回だけデジタル録画できる番組を録画した場合は、HDDビデオレコーダーからさらに他の録画機器にデジタル録画することはできません。

「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」

i.LINKの制御に必要な内部情報が壊れています。お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。

---

6 画面の説明を読み、録画機器の準備をして(決定)を押す

録画予約をした場合は、本体前面の録画ランプが赤く点灯します。

❖ アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合の注意

- ビデオの入力を本機と接続している入力に切り換え、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- 手順4で［録画機器］を［ビデオ（非連動）］に設定したときは、本機からビデオをコントロールすることができませんので、ビデオ側でも録画予約の設定を行ってください。（88ページ）

録画予約と視聴予約(つづき)

番組指定予約設定で予約日時を変更するには

番組の一部だけを録画 / 視聴する場合や、毎日または毎週同じ時間帯に放送される連続ドラマなどを毎回録画 / 視聴する場合には、番組指定予約設定で予約日や予約時間を変更します。

1 **77 ページの手順 3 の画面で、[予約日時変更] を選び、(決定)を押す**

2 **説明を読み、[はい] を選んで(決定)を押す**

日時指定予約の画面が表示されます。

3 **右段「日時を指定して予約する」の手順 6 以降の操作を行う**

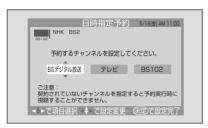
> **注意**
> - [予約日時変更] で予約を変更した場合は、次の点にご注意ください。
>   – ペイ・パー・ビュー番組は購入できません。
>   – 視聴制限の解除はできません。
>   – 放送時間変更の設定はできません。

日時を指定して予約する

番組の一部だけを予約したり、同じ時間の番組を毎日、毎週、月～金、月～土で予約したりといった指定ができます。

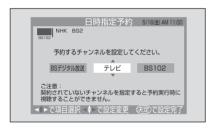
> **注意**
> - 現在時刻情報を取得していないと、日時指定予約はできません。取得していない場合は、しばらくデジタル放送を視聴してください。
> - 受信可能なチャンネルのみ設定することができます。
> - 日時指定で予約した場合は、次の点にご注意ください。
>   – ペイ・パー・ビュー番組は購入できません。
>   – 放送時間変更の設定はできません。

1 **(メニュー)を押し、[予約] を選んで(決定)を押す**

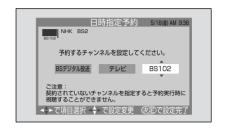
2 **[日時指定予約] を選び、(決定)を押す**

次のメッセージが表示された場合

「予約数がいっぱいです。他の予約を取り消しますか？」

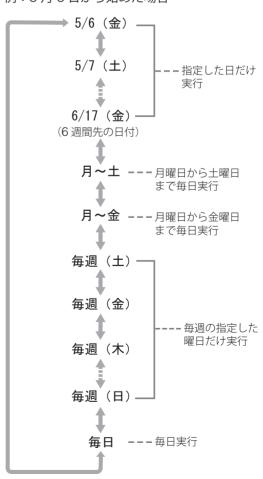
「予約設定時にメッセージが表示された場合には」(83 ページ) をご覧ください。

3 ◀ で左端の項目を選び、▲▼ で放送の種類を選ぶ

▲▼ を押すごとに、次のように変わります。

❖ 地上デジタル放送の［初期スキャン］（128 ページ）が行われていない場合は、［地上デジタル放送］は選べません。

4 ◀▶ で中央の項目を選び、▲▼ で放送メディアを選ぶ

▲▼ を押すごとに、次のように変わります。

❖ 地上デジタル放送の場合は、［ラジオ］は選べません。

5 ▶ で右端の項目を選び、▲▼ でチャンネル番号を選び、(決定)を押す

日時の設定画面が表示されます。

6 ◀ で左端の項目を選び、▲▼ で予約を実行する日を選ぶ

▲▼ を押すごとに、次のように変わります。

例：5 月 6 日から始めた場合

次のページにつづく≫

録画予約と視聴予約(つづき)

7 ◀▶ で予約を開始する時・分と終了する時・分をそれぞれ選び、▲▼ で設定する

画面下には、予約時間が表示されます。
設定できる時間は最大 23 時間 59 分です。

8 開始時刻と終了時刻の設定が終わったら、(決定)を押す

時刻設定に誤りがあるというメッセージが表示された場合
(決定)を押してメッセージを消し、時刻設定をやり直してください。

他のメッセージが表示された場合
「予約設定時にメッセージが表示された場合には」(83 ページ)をご覧ください。

9 [録画予約]または[視聴予約]を選び、(決定)を押す

[録画予約]を選んだ場合は、手順 10 に進みます。

[視聴予約]を選んだ場合は、以上で設定終了です。

10 予約設定内容を確認する

①[録画機器]

- アナログ方式(VHS や S-VHS など)で録画する場合
  [ビデオ(連動)]または[ビデオ(非連動)]が表示されていることを確認してください。
  [ビデオ機種設定](139 ページ)で、メーカーを設定した場合は、[ビデオ(連動)]が表示されます。[該当なし]に設定した場合は、[ビデオ(非連動)]が表示されます。(この場合は、本機からビデオをコントロールできませんので、本機で録画予約の設定を行った後、ビデオ側でも録画予約の設定を行う必要があります)
- i.LINK ケーブルでデジタル録画する場合
  録画に使用する i.LINK 機器が表示されていることを確認してください。

i.LINK 機器を変更する場合は、次の手順で変更してください。

❶ [録画機器]を選び、(決定)を押す
❷ 表示されたリストで録画に使う i.LINK 機器を選び、(決定)を押す

②[信号設定]

日時指定予約では、二重音声の設定のみ変更できます。
(i.LINK ケーブルで接続した D-VHS ビデオなどにデジタル録画する場合は不要です)

❖ 二重音声以外に、映像や音声に複数の信号がある番組は、放送局が指定した基本の信号だけが録画・録音されます。
❖ [信号設定]については、設定内容は表示されません。
❖ 変更しない場合は、放送局が指定した基本の音声が録画されます。

注意
- **番組に二重音声がない場合でも設定できますが、その場合は、この設定は無効となります。**

設定を変更する場合は、次の手順で変更してください。

❶ [信号設定]を選び、(決定)を押す
❷ [二重音声]を選び、(決定)を押す
❸ 音声を選び、(決定)を押す
選べる音声は、次のとおりです。
- 主音声と副音声
- 主音声
- 副音声

❹ [信号設定完了]を選び、(決定)を押す

11 ［録画予約する］を選び、(決定)を押す

「予約が完了しました。」の画面が表示されます。

> 次のメッセージが表示された場合
>
> **「i.LINK 制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」**
>
> i.LINK の制御に必要な内部情報が壊れています。お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。

12 画面の説明を読み、録画機器の準備をして(決定)を押す

録画予約をした場合は、本体前面の録画ランプが赤く点灯します。

❖ アナログ方式（VHS や S-VHS など）で録画する場合の注意

- ビデオの入力を本機と接続している入力に切り換え、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- 手順 10 で［録画機器］を［ビデオ（非連動）］に設定したときは、本機からビデオをコントロールすることができませんので、ビデオ側でも録画予約の設定を行ってください。（88 ページ）

予約設定時にメッセージが表示された場合には

次のようなメッセージが表示された場合の操作を説明します。

「予約がいっぱいです。他の予約を取り消しますか？」

その場合は、次の手順で他の予約を取り消してください。

❶ **［はい］を選び、(決定)を押す**

予約一覧画面になります。

❷ **他の予約を取り消す**

予約の取り消しかたは、「予約の確認と取り消し」（83 ページ）をご覧ください。

「すでに購入された番組と時間が重なっています。予約を続けますか ?」

［はい］を選び、(決定)を押します。
［いいえ］を選んだ場合は、日時指定予約が終了します。

「他の予約と時間が重なっています。他の予約を取り消しますか ?」

◀▶ で［はい］を選び、(決定)を押します。

予約が重複している番組のリストが表示されます。

重複している番組が 5 個以上ある場合は、
▲▼ でリストページを切り換えることができます。

重複している番組を取り消す場合は、◀▶ で［はい］を選んで(決定)を押すと、すべての重複している番組の予約が取り消されます。

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。このダウンロード予約を取り消しますか ?」

［はい］を選び、(決定)を押します。
ダウンロード予約が取り消されます。
［いいえ］を選んだ場合は、日時指定予約が終了します。

❖ ダウンロードについては、118 ページをご覧ください。

録画予約と視聴予約(つづき)

予約の確認と取り消し

予約を確認する

1 メニューを押し、[予約]を選んで決定を押す

2 [予約一覧]を選び、決定を押す

[予約一覧]画面が表示され、予約の状況が確認できます。

録画予約に設定した録画機器が表示されます。

❖ 地上デジタル放送で、初期スキャン、再スキャン、自動スキャンを行った結果チャンネルがなくなった場合は、次のようになります。

- チャンネル番号が[―――]で表示されます。
- リストが薄く表示されます。
- 予約が実行されません。

- 番組指定で予約した番組の場合は、[予約一覧]画面で番組の説明を見ることができます。

❶ [予約一覧]画面で番組を選ぶ

❷ を押す

説明が表示されます。詳しくは、35 ページをご覧ください。

❖ 日時指定予約の場合は、説明は表示できません。

3 終了を押す

通常画面に戻ります。

❖ 日時指定で予約した場合は、番組表の時間表示欄に設定時間が表示されます。

予約を取り消す

1 「予約を確認する」の手順 1 ～ 2 を行う

[予約一覧]画面が表示されます。

2 予約を取り消す番組を選び、決定を押す

予約内容の画面が表示されます。

❖ 画面は予約の種類によって異なります。

(例：録画予約の場合)

録画予約の場合は、録画に関する設定情報が表示されます。

❖ 番組表やジャンル検索結果のリスト、または番組チェックの[次の番組]のリストで予約されている番組を選んだ場合も、この画面が表示されます。

3 [はい]を選び、決定を押す

予約が取り消され、[予約一覧]画面に戻ります。

4 終了を押す

通常画面に戻ります。

❖ 予約時間を過ぎると、予約が実行された場合も時間変更などで予約が実行されなかった場合も、予約一覧から削除されます。

予約についての注意

予約した後の本機の動作

■ 予約設定後

録画予約をした場合は、本体前面の録画ランプが赤く点灯します。

■ 予約番組放送開始直前

- 録画予約の場合

  デジタル放送または i.LINK からの映像を視聴しているときは、予約番組の放送時刻が近づくと、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。

  地上アナログ放送や外部機器からの映像を視聴しているときは、何も表示されません。

- 視聴予約の場合

  予約番組の開始時刻が近づくと、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。

■ 予約番組放送開始

本機の電源が入っているときは、予約番組の放送時刻になると画面が自動的に予約した番組に切り換わり、予約が実行されます。
ただし、録画予約の場合に、地上アナログ放送や外部機器からの映像を視聴しているときは、画面は切り換わりません。

録画予約の場合は、録画が開始されると、本体前面の録画ランプが緑に点灯します。

■ 予約実行中

予約実行中にできる操作は、次のとおりです。

- 録画予約の場合

  録画中は、地上アナログ放送の選局や、映像入力（ビデオ、コンポーネント、HDMI、PC）の切り換えはできますが、それ以外の操作にはできないものがあります。

  ❖ リモコンなどでそのとき操作できないボタンを押したときは、録画中であることを示すメッセージが表示されます。

- 視聴予約の場合

  通常どおり操作できます。

■ 予約番組放送終了後

予約番組が終了すると、本機を通常どおり使用できます。

録画予約が終了した場合は、前面の録画ランプが消えます。ただし、他の録画予約が残っている場合は、赤く点灯したままになります。

実行中の録画予約を中止するには

1 **(終了)を押す**

「**録画実行中です。もう一度（終了）を押すと録画を中止します。**」と表示されます。

2 **表示中に、もう一度(終了)を押す**

録画予約が中止されます。

注 意

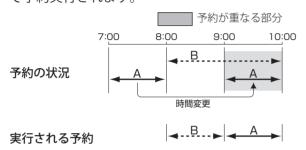
- **映像入力をコンポーネント、HDMI、PC にしているときは、上記の操作を行うことはできません。**
- **録画予約の実行中に、リモコンで電源を入 / 切すると、録画中の信号にノイズが入る場合があります。**

予約番組の優先順位

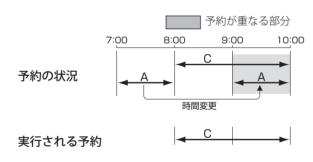
予約時に［放送時間変更］を［連動する］（78 ページ）に設定した予約番組は、放送時間が変更された場合、他の予約番組と重なることがあります。その場合には、予約番組に優先順位をつけて予約を実行します。

❖ 予約時に［放送時間変更］を［連動する］に設定した番組は、［連動しない］に設定している番組より優先して予約が実行されます。

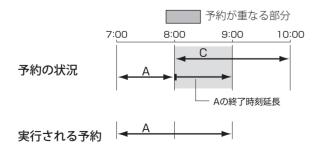
❖ 日時指定予約は［放送時間変更］を［連動しない］にした場合と同じ動作になります。

予約が重なった場合の例を説明します。
図中の矢印の意味は、次のとおりです。

◀──▶：［放送時間変更］を［連動する］に設定した予約番組
◀----▶：［放送時間変更］を［連動しない］に設定した予約番組

次のページにつづく≫

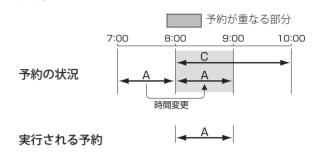
録画予約と視聴予約(つづき)

■ [放送時間変更]を[連動する]に設定した予約番組と[連動しない]に設定した予約番組が重なった場合

[連動する] に設定した予約番組が優先されます。

以下の例では、[連動しない] 設定の番組 B が 8 〜 9 時、[連動する] 設定の番組 A が 9 〜 10 時で予約実行されます。

■ [放送時間変更]を[連動する]に設定した予約番組どうしが重なった場合

- 開始時刻が変更された場合

  開始時刻の早い予約が優先されます。

  以下の例では、開始時刻の早い番組 C の予約が優先され、番組 A の予約は取り消されます。

- 終了時刻が延長された場合

  先に予約が実行された番組の終了時刻が優先されます。

  以下の例では、先に予約を実行した番組 A が優先され、番組 C の予約は取り消されます。

- 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

  先に予約設定した番組が優先されます。

  以下の例では、先に予約設定した番組 A が優先され、後に設定した番組の予約は取り消されます。

その他の注意事項

■ 予約全般について

- ライブラリ(67 ページ)でのコピー実行中は、予約の設定はできません。
- 予約実行前に、本機の電源が入っていた場合は、予約が実行された後も電源は入ったままです。
- 天候・停電・放送局の都合などで、予約を実行できない場合は、「本機に関するお知らせ」(49 ページ)でご連絡します。
- 地上デジタル放送で放送局の変更があったときは、正常に予約を実行できない場合があります。また、設定メニューの [チャンネル設定] で [地上 D 自動設定] を [自動スキャンする] (131 ページ) に設定していても、自動スキャンのタイミングによっては正常に予約を実行できない場合があります。

万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

■ 視聴予約について

- ライブラリでのコピー実行中は、視聴予約は実行されません。
- 一発録画中(89 ページ)は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続します。
- 録画予約の [放送時間変更] が [連動する] に設定されている場合で、録画している予約番組の放送時間が予定より延長されたために視聴予約の開始時刻と重なった場合、視聴予約が取り消されます。

■ 録画予約について

共通事項

- アナログ方式での録画予約や一発録画を実行しているときだけ、デジタル放送録画出力端子（xvi ページ）から映像信号が出るように設定できます。詳しくは、117 ページをご覧ください。
- ライブラリでのコピー実行中は、コピーを中止して、録画予約を実行します。
- 本機の電源を切っている（待機状態にしている）場合は、予約が開始されても本体からは映像や音声は出ません。予約が実行された後には、待機状態に戻ります。
- ［放送時間変更］を［連動する］に設定した予約番組の開始時刻が遅れている場合は、「予約番組の開始が遅れています。このままの状態でお待ちください。」と表示される場合があります。
- ［放送時間変更］を［連動する］に設定した場合、リレーサービス（番組終了後に別のチャンネルでその番組の続きを放送するサービス）には自動で対応します。ただし、リレーサービスの情報送信が遅れた場合は、対応できない場合があります。
- 予約番組の［放送時間変更］を［連動する］に設定しても、追従できる開始時刻は最大 3 時間です。3 時間を超えると、予約は取り消されます。また、放送局から時間変更情報が送信されていない場合は、放送時間の変更に対応できません。
- 放送時間が繰上げになった場合や放送が中止された場合は、予約は正しく実行されません。
- 前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約で録画された最後の部分が少し欠けます。
- 録画予約実行中は、ご案内チャンネル（192 ページ）に切り換えることはできません。
- 録画予約実行中は、緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害になったときや、番組が契約されていないときは、無信号状態で録画が行われます。
- 録画予約実行中は、データ放送へは切り換えられません。
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号を、HDD ビデオレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、１回の録画しか許可されていない番組をさらにコピーすることはできません。

ビデオコントローラーを使ってアナログ方式（VHS や S-VHS など）で録画予約をする場合

- ビデオの入力を本機と接続している入力に切り換え、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- 録画予約実行中に、停電が起きた場合や電源プラグを抜き差しした場合、本機の電源が再び入った（または待機状態に戻った）ときに予約番組が終了していた場合は、その予約が録画予約であっても、本機はビデオに対して、録画停止や電源を切るといったコントロールを行いません。これは、録画機器で設定されている予約が中止されるのを防ぐためです。したがって、その場合にはビデオが録画状態のままになることがあります。
- ビデオで予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）は、正しく動作しない場合があります。
- 録画予約実行中に、雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換えます。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 録画された番組は、複数映像、複数音声、二重音声、字幕を切り換えることはできません。

i.LINK ケーブルを使ってデジタル録画予約をする場合

- HDD ビデオレコーダーへの録画開始直前は、i.LINK 端子からの信号は視聴できません。
- i.LINK 設定（136 ページ）の［外部機器からの制御］が［なし］になっていると、i.LINK ケーブルで接続された機器の動作が不安定になり、録画予約が正しく実行されない場合があります。このような場合は、［あり］に設定してください。
- 接続された i.LINK 機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINK ケーブルを抜き、「i.LINK 機器を削除するには」（136 ページ）の手順で登録を一度削除してから、i.LINK ケーブルを接続し直してください。
- 録画予約実行時に、D-VHS ビデオのテープが走行中の場合は、録画できません。
- 録画予約実行時に、D-VHS ビデオなどが他機器からの制御を受けない設定になっているときは、予約は実行されません。
- 録画予約実行時には、i.LINK ケーブルを抜き差ししないでください。
- 録画予約実行時に、録画機器側の i.LINK 入力設定が他の i.LINK 機器になっている場合は、録画できません。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく≫

録画予約と視聴予約（つづき）

- D-VHS ビデオへの録画予約実行中は、i.LINK 端子からの信号は視聴できません。
- ペイ・パー・ビュー番組を HDD ビデオレコーダーに録画予約設定している場合は、録画予約実行時にハードディスクの残量を自動判定して、録画ができないと判断されたときには、番組の購入を行いません。
- 複数の i.LINK 機器が接続されている場合、i.LINK 機器の i.LINK 入力が本機以外に設定されていると、録画予約や一発録画ができません。
- HDD ビデオレコーダーによっては、本機には D-VHS ビデオと認識される機器があります。
- i.LINK ケーブルを使ったデジタル録画予約の実行中に i.LINK モードにすると、デジタル放送録画出力からは、i.LINK モードで視聴中の信号が出力されます。
- 録画予約終了後、D-VHS ビデオなどの電源は録画開始直前の状態になります。（追っかけ再生などで、その i.LINK 機器を操作している場合は電源は入ったままになります）
- 著作権保護のため、1 回だけ録画を許された番組は、さらにコピーすることはできません。HDD ビデオレコーダーなどに録画する際はご注意ください。（HDD にコピーワンスプログラムを録画や録画予約する際は、その旨の確認メッセージが表示されます）
- HDD ビデオレコーダーに D-VHS モードで録画した場合は、ハードディスクレコーダーモードでは正しくライブラリ表示できない場合があります。また、ハードディスクレコーダーモードで録画した場合は、D-VHS モードでは正しく表示できない場合があります。

■ ペイ・パー・ビュー番組の予約について

- ［放送時間変更］は、自動的に［連動する］に設定されます。
- ペイ・パー・ビュー番組は、番組が開始した時点で購入されます。最後まで視聴しなくても料金は請求されますのでご注意ください。

解説：ビデオ側の録画操作
（ビデオコントローラーを使った録画ができない場合）

ビデオコントローラーを使ってビデオをコントロールし、デジタル放送を録画するには、ビデオコントローラーを接続した後、設定メニューの［初期設定］の［外部機器設定］にある［ビデオ設定］（139 ページ）でビデオの設定を行う必要があります。

［ビデオ設定］で設定できない場合には、本機からビデオをコントロールすることができませんので、ビデオ側で録画の操作が必要になります。

番組を録画予約するとき

❶ 本機で番組を録画予約する
❷ ビデオ側で録画予約する
（本機が接続されている入力で、番組が放送される時間を設定する）

今見ている番組を録画するとき

❶ ビデオの入力を、本機が接続されている入力に切り換える
❷ ビデオ側で録画を始める

❖ 上記の方法で録画する場合、［デジタル放送の録画出力］（117 ページ）の設定は［設定しない］にしておいてください。

❖ DVD レコーダーに録画する場合も、同様の操作方法となります。

今見ている番組を録画する

一発録画について

本機では、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の今視聴している番組を簡単な操作でビデオに録画することができます。この操作を「一発録画」と呼びます。

一発録画をする前に

あらかじめ録画機器を本機に接続しておく必要があります。

■ アナログ方式(VHS や S-VHS など)で録画する場合

「アナログビデオを接続する」(11 ページ)をご覧になり、接続してください。

また、本機からビデオをコントロールして一発録画するには、付属のビデオコントローラーを接続し(11 ページ)、設定メニューの[初期設定]の[外部機器設定]にある[ビデオ設定](139 ページ)でビデオの設定を行う必要があります。

❖ [ビデオ設定]で設定できない場合は、本機からビデオをコントロールすることができませんので、ビデオ側で録画(開始 / 終了)の操作が必要になります。

❖ デジタル放送録画出力からは、文字画面表示(番組名表示やメニュー表示など)や字幕信号、データ放送は出力されません。

■ i.LINK ケーブルを使ってデジタル録画する場合

「デジタルレコーダーを接続する」(12 ページ)をご覧になり、接続してください。

❖ 「i.LINK についての注意」(176 ページ)もご覧ください。

注意

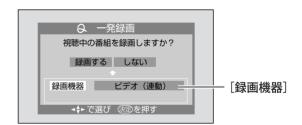
- 独立データ放送は、アナログ方式(VHS や S-VHS など)では一発録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式では録画できません。
- 通常 i.LINK 端子からはメニュー表示などは出力されません。

❖ 「一発録画についての注意」(91 ページ)もご覧ください。

一発録画のしかた

1 デジタル放送の番組を視聴しているときに、(クイックメニュー)を押す

クイックメニューが表示されます。

2 [一発録画]を選び、(決定)を押す

[一発録画]画面が表示されます。

❖ 番組によっては、録画できない場合があります。その場合は、メッセージが表示されます。

3 お使いの録画機器に合わせて、以下のことを行う

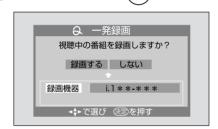
- アナログ方式(VHS や S-VHS など)で録画する場合

  [録画機器]を確認します。

「ビデオ機種設定」(139 ページ)でメーカーを設定した場合は[ビデオ(連動)]が表示されます。「該当なし」にした場合は[ビデオ(非連動)]が表示されます。

どちらも表示されていない場合は、次の操作で指定してください。

❶ [録画機器]を選んで(決定)を押す

❷ [ビデオ(連動)]または[ビデオ(非連動)]を選んで(決定)を押す

次のページにつづく≫

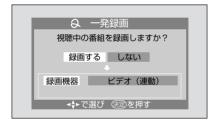
今見ている番組を録画する（つづき）

❖［ビデオ（連動）］の場合は、ビデオが次の状態になっていることを確認して手順 6 に進んでください。

- ビデオの入力が本機と接続している入力になっている
- ビデオの電源が切（待機状態）になっている

❖［ビデオ（非連動）］の場合は、ビデオ側で録画を開始してから手順 6 に進んでください。

- i.LINK ケーブルでデジタル録画する場合

録画機器を指定します。

指定のしかたは、次のとおりです。

❶ **［録画機器］を選び、決定を押す**

❷ **表示されたリストで録画に使う i.LINK 機器を選び、決定を押す**

4 ［録画する］を選び、決定を押す

録画が始まります。

録画が開始されると、本体前面の録画ランプが緑に点灯します。

❖ 録画機器によっては、録画が開始されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

❖ 番組が終了すると、録画も自動的に終了します。録画機器の電源は、一発録画前の状態になります。（本機からの操作で、i.LINK 接続した HDD ビデオレコーダーの追っかけ再生などを行っているときは、電源は入ったままになります）

❖ i.LINK 接続した機器の場合は、i.LINK の接続状態が不安定になると、電源が録画開始前の状態にならない場合があります。

❖［録画機器］が［ビデオ（非連動）］の場合は、番組が終了しても録画は終了しませんので、ビデオ側で録画を終了してください。

次のメッセージが表示された場合（i.LINK 接続した機器のみ）

「転送レートを超えているため録画できません。録画機器を変更してください。」

選んだ番組の情報量が、指定した機器の処理能力を超えているためデジタル録画できません。
複数の録画機器が接続されている場合は、手順 5 で他の i.LINK 機器に変更してください。

「この番組は 1 回のみ録画できます。そのため HDD に録画した後、他の録画機器にデジタル録画できません。」

i.LINK ケーブルで接続されている HDD ビデオレコーダーを録画機器に選び、1 回だけデジタル録画できる番組を録画した場合は、HDD ビデオレコーダーからさらに他の録画機器にデジタル録画することはできません。

「i.LINK 制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」

i.LINK の制御に必要な内部情報が壊れています。お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。

一発録画を中止するには

1 終了を押す

「録画実行中です。もう一度 終了 を押すと録画を中止します。」と表示されます。

2 上記メッセージが表示されている間にもう一度終了を押す

一発録画についての注意

- i.LINK ケーブルを使って、デジタル録画する場合は、録画機器側の i.LINK 入力設定が他の i.LINK 機器になっていないことを確認してください。（詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください）
- アナログ方式での録画予約や一発録画を実行しているときだけ、デジタル放送録画出力端子（xvi ページ）から映像信号が出るように設定できます。詳しくは、117 ページをご覧ください。
- 録画機器のビデオテープが走行中のときは、一発録画できません。
- HDD ビデオレコーダーへの録画開始直前は、i.LINK 端子からの信号は視聴できません。
- ペイ・パー・ビュー番組の場合は、購入してから一発録画の操作をしてください。（購入しないと一発録画はできません）
  また、番組によっては、コピー禁止のため録画できない場合があります。購入する前に、画面表示を押して番組情報をご確認ください。
- 番組によっては、デジタル録画できない場合があります。
- 録画機器側で予約設定をしている（録画機器が予約待機状態になっている）ときは、正しく動作しない場合があります。
- 一発録画中に、停電が起きた場合や電源プラグを抜き差しした場合は、一発録画を中止します。このとき、本機は録画機器に対して、録画停止や電源を切るといったコントロールを行いません。したがって、その場合は録画機器が録画状態のままとなることがあります。
- アナログ方式（VHS や S-VHS など）で録画中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換えます。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 一発録画中は、地上アナログ放送やケーブルテレビ放送の選局はできますが、それ以外の操作にはできないものがあります。
- 一発録画中は、データ放送には切り換えられません。
- 一発録画中にリモコンの電源が押されると、電源は待機状態になりますが、録画はそのまま続行されます。また、その状態でリモコンの電源ボタンを押して電源を入れても、録画は続行されます。
- D-VHS ビデオへの一発録画中は、i.LINK 端子からの信号は視聴できません。
- 一発録画中に録画予約の開始時刻になると、一発録画は中止されます。
- 一発録画中に視聴予約またはダウンロード予約の開始時刻になると、その予約を取り消して「本機に関するお知らせ」（49 ページ）でご連絡します。
- 一発録画中に受信障害が発生したり、B-CAS カードが抜かれたりした場合でも、録画動作は継続されますが、番組は録画できていません。
- 一発録画中は、i.LINK ケーブルを抜き差ししないでください。
- i.LINK ケーブルを使ってデジタル放送を一発録画しているときに i.LINK モードにすると、デジタル放送録画出力からは、i.LINK モードで視聴中の信号が出力されます。
- 一発録画では緊急警報放送は受信できません。
- HDD ビデオレコーダーによっては、本機には D-VHS ビデオと認識される機器があります。
- ライブラリ（67 ページ）でのコピー中は、一発録画できません。
- 著作権保護のため、1 回だけ録画を許された番組は、さらにコピーすることはできません。
  HDD ビデオレコーダーなどに録画する際はご注意ください。（HDD にコピーワンスプログラムを録画や録画予約する際は、その旨の確認メッセージが表示されます）
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号を HDD ビデオレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、1 回の録画しか許可されていない番組をさらにコピーすることはできません。
- HDD ビデオレコーダーにデジタル録画した場合、ライブラリに表示される情報が正しく記録されなかったときは、ライブラリにそれらの情報は表示されません。
- HDD ビデオレコーダーに D-VHS モードで録画した場合は、ハードディスクレコーダーモードでは正しくライブラリ表示できないことがあります。

万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

設定メニューのメニュー一覧

設定メニューでは、画質や音質の調整、チャンネル設定、外部機器の設定、通信についての設定など、本機に関するさまざまな設定を行います。

設定メニューの呼び出しかた

設定メニューは、呼び出したときに選んでいる映像入力によって、呼び出しかたや表示される内容が異なります。

テレビ放送､ビデオ１～ビデオ４､i.LINK のとき

1 **を押す**

メニューが表示されます。

2 **[設定メニュー]を選び､決定を押す**

設定メニューが表示されます。

コンポーネント､HDMI､PC のとき

を押す

設定メニューが表示されます。

設定メニュー一覧

■ **テレビ放送､ビデオ１～ビデオ４､i.LINK**

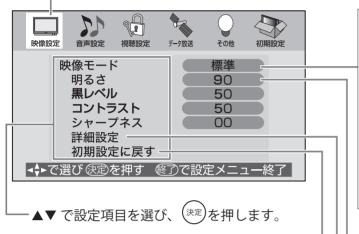
メニュー	設定項目
映像設定 （96 ページ）	映像モード 　明るさ 　黒レベル 　コントラスト 　シャープネス 　詳細設定 　初期設定に戻す
音声設定 （102 ページ）	音声モード 　BBE 　AGC 　詳細設定 ステレオ／モノラル 光デジタル音声出力 *** 音声レベル
視聴設定 （109 ページ）	お気に入り選局設定 番組表色分け設定 暗証番号設定 視聴年齢制限設定 番組購入限度額設定 番組購入履歴 番組購入情報の送信
データ放送 （113 ページ）	郵便番号と地域の設定 文字スーパー表示設定 ルート証明書番号
その他 （115 ページ）	省電力設定 簡易確認テスト開始 デジタル放送録画出力 ビデオ入力表示設定 B-CAS カード番号表示 ソフトウェアのダウンロード
初期設定 （121 ページ）	はじめての設定 受信設定 チャンネル設定 外部機器設定 通信設定 設定の初期化

■ コンポーネント

メニュー	設定項目
映像 （98 ページ）	映像モード 明るさ 黒レベル コントラスト シャープネス 色の濃さ 色あい 詳細設定 初期設定に戻す
音声 （104 ページ）	音声モード バランス イコライザー サラウンド BBE AGC 初期設定に戻す
入力設定 （106 ページ）	音声レベル

■ HDMI

メニュー	設定項目
映像 （98 ページ）	映像モード 明るさ 黒レベル コントラスト シャープネス 色の濃さ 色あい 詳細設定 初期設定に戻す
音声 （104 ページ）	音声モード バランス イコライザー サラウンド BBE AGC 初期設定に戻す
入力設定 （106 ページ）	カラースペース 音声入力端子 音声レベル

■ PC

メニュー	設定項目
映像 （100 ページ）	映像モード 明るさ 黒レベル コントラスト 色の濃さ 色あい 詳細設定 初期設定に戻す
音声 （104 ページ）	音声モード バランス イコライザー サラウンド BBE AGC 初期設定に戻す
入力設定 （107 ページ）	自動画面調整 クロック フェーズ 画面位置 音声レベル

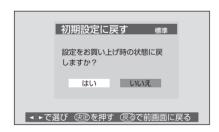
❖［視聴設定］、［データ放送］、［その他］、［初期設定］の各メニューは、映像入力をテレビ放送、ビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK にしているときにのみ表示されます。

❖［入力設定］は、映像入力をコンポーネント、HDMI、PC にしているときにのみ表示されます。

❖［その他］の［省電力設定］で行った設定は、映像入力がコンポーネント、HDMI、PC のときにも機能します。

❖［初期設定］の［設定の初期化］を行った場合、コンポーネント、HDMI、PC の設定メニューの設定値もお買い上げ時の状態に戻ります。詳しくは、123、155 ページをご覧ください。

設定メニューの基本操作

テレビ放送、ビデオ 1 〜ビデオ 4、i.LINK の場合

メニュータブが選択状態（黄色表示）のときに ◀▶ を押すと、メニューを選ぶことができます。

▲▼ で設定項目を選び、決定を押します。

設定値を選ぶ項目で決定を押すと、選択メニューが表示されます。

▲▼ で設定値を選び、決定を押して決定します。

数値を設定する項目で決定を押すと、調整メニューが表示されます。（調整メニューの表示中は設定メニューは表示されません）

明るさ +21 暗 明

◀▶ で調整し、決定または戻るを押して決定します。

［初期設定に戻す］で決定を押すと、そのとき表示されているメニューの設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

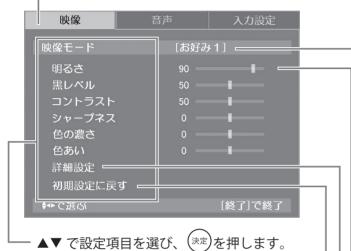
❶ 決定を押す

確認画面が表示されます。

❷ ◀▶ で［はい］を選び、決定を押す

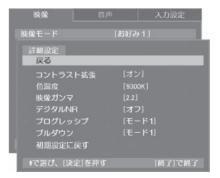
［詳細設定］で決定を押すと、詳細設定メニューが表示されます。

各項目の設定が終わったら、戻るを押して元のメニューに戻ります。

準備
テレビを見る
便利な機能
予約と録画
調整と設定
トラブル時の対処
付録

コンポーネント、HDMI、PC の場合

メニュータブが選択状態（黄色表示）のときに ◀▶ を押すと、メニューを選ぶことができます。

▲▼ で設定項目を選び、(決定)を押します。

設定値を選ぶ項目で(決定)を押すと、選択メニューが表示されます。

▲▼ で設定値を選び、(決定)を押して決定します。

数値を設定する項目で(決定)を押すと、調整メニューが表示されます。（調整メニューの表示中は設定メニューは表示されません）

明るさ　90

◀▶ で調整し、(決定)または(戻る)を押して決定します。

［初期設定に戻す］で(決定)を押すと、そのとき表示されているメニューの設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

❶ (決定)を押す

確認画面が表示されます。

❷ ◀▶ で［はい］を選び、(決定)を押す

［詳細設定］で(決定)を押すと、詳細設定メニューが表示されます。

各項目の設定が終わったら、［戻る］を選んで(決定)を押すか、(戻る)を押して元のメニューに戻ります。

映像設定

映像モードを調整するメニューです。

項目説明一覧

（テレビ放送、ビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK の場合）

お買い上げ時の設定では、それぞれの映像モード（[標準]、[ソフト]、[ダイナミック]、[お好み]）に合わせた設定がされていますが、好みに応じて変更することができます。

❖ 映像モードの設定（[お好み] を除く）は、テレビ放送とビデオ 1 ～ビデオ 4、i.LINK のすべてに共通した設定です。

はじめに［映像モード］で調整する映像モードを選び、各設定を調整してください。

設定項目	設定値	説明
映像モード	標準	標準的な画質で表示されるように設定されています。
	ソフト	映画などのフィルム映像に適したソフトな表示に設定されています。
	ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。
	お好み（xxx※）	映像入力ごとに専用の設定ができます。ただし、地上 A、地上 D、BS、CS、i.LINK は共通の設定となります。 お買い上げ時には、［標準］と同じ設定になっています。
明るさ	0 ～ 100	バックライトの明るさを調整します。値が高いほど明るく、低いほど暗くなります。
黒レベル	0 ～ 100	映像の黒色の状態を調整します。値が高いほど黒が明るくなり、低いほど黒の沈んだ映像になります。
コントラスト	0 ～ 100	映像の明暗を調整します。値が高いほど明暗がはっきりし、低いほど明暗の差が少なくなります。
シャープネス	－３～＋３	映像の輪郭を調整します。値が高いほど輪郭がはっきりし、低いほど輪郭がぼやけます。
詳細設定		詳細設定メニュー（次ページ）を表示します。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる映像モードの内容をお買い上げ時の状態に戻します。（[詳細設定] を除く）

※「xxx」には、設定メニューを呼び出したときに選んでいる映像入力が表示されます。地上 A、地上 D、BS、CS、i.LINK の場合は「放送」が表示され、ビデオ 1 ～ビデオ 4 の場合はそれぞれの名称が表示されます。

注意

- **[黒レベル]、[コントラスト]、[色の濃さ]、[色あい] の調整で、設定値を上げすぎたり下げすぎたりすると、画面が見づらくなる場合があります。**

詳細設定メニュー

詳細設定　標準
色の濃さ　00
色あい　00
コントラスト拡張　オン
色温度　中
映像ガンマ　標準
デジタルNR　弱
プログレッシブ　モード1
プルダウン　モード1

設定項目	設定値	説明
色の濃さ	－50～＋50	映像の色の濃さを調整します。値が高いほど色が濃くなり、低いほど色が淡くなります。
色あい	－50～＋50	色相を調整します。［＋］方向では緑がかった映像になり、［－］方向では紫がかった映像になります。
コントラスト拡張	オン / オフ	入力された信号に応じて、自動的にコントラストと明るさの調整を行います。 暗いシーンでも、黒浮きを抑えた明暗のはっきりした映像が得られます。
色温度	高 / 中高 / 中 / 中低 / 低	映像の白色温度を調整します。設定値が高いほど青みがかった白になり、低いほど赤みがかった白になります。
映像ガンマ	ハイライト / 標準 / ダーク	ガンマ補正の効かせかたを選びます。 ［標準］は標準的なガンマ補正（γ =2.2）を行います。 ［ハイライト］は映像の明るい部分の階調を重視した補正を行います。（明るい部分の補正を行うと、画面が全体的に暗くなります） ［ダーク］は映像の暗い部分の階調を重視した補正を行います。（暗い部分の補正を行うと、画面が全体的に明るくなります）
デジタルNR	強 / 中 / 弱 / オフ	映像の暗部に発生する細かいノイズを低減する度合いを設定します。 ただし、［デジタルNR］の設定によっては、画面が見づらくなる場合があります。
プログレッシブ※1	モード1/ モード2/ モード3	IP（インターレースープログレッシブ）変換の処理方法を選びます。 ［モード1］は静止画と動画の中間設定で、自然な画像を表示します。 ［モード2］は静止画をきれいに表示する設定で、画像のちらつきを軽減します。［モード1］でちらつきが気になる場合に、［モード2］にすると軽減することがあります。 ［モード3］は動画に適した設定で、残像を軽減します。
プルダウン※2	モード1/ モード2/ オフ	フィルム映像やCGを自然でなめらかに表示します。 ［モード1］は映画などのフィルム撮影された映像、［モード2］はCGやアニメーションに適した設定です。 なお、映像がすだれ状に見えたり動きがぎこちなく感じる場合、［オフ］にすることで状態が改善されることがあります。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる映像モードの［詳細設定］の内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※1［プログレッシブ］は、525i（480i）、1125i（1080i）の信号に対してのみ機能が働きます。
※2［プルダウン］は、1125i（1080i）の信号に対してのみ機能が働きます。

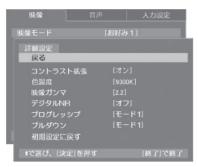
映像設定(つづき)

映像モードを調整するメニューです。

項目説明一覧

(コンポーネント、HDMI の場合)

お買い上げ時の設定では、それぞれの映像モード([お好み 1]、[お好み 2])は同じ設定になっています。好みの設定に調整してご利用ください。

はじめに[映像モード]で調整する映像モードを選び、各設定を調整してください。

設定項目	設定値	説明
映像モード	お好み 1/ お好み 2	調整する映像モードを選びます。
明るさ	0 〜 100	バックライトの明るさを調整します。値が高いほど明るく、低いほど暗くなります。
黒レベル	0 〜 100	映像の黒色の状態を調整します。値が高いほど黒が明るくなり、低いほど黒の沈んだ映像になります。
コントラスト	0 〜 100	映像の明暗を調整します。値が高いほど明暗がはっきりし、低いほど明暗の差が少なくなります。
シャープネス	− 3 〜+ 3	映像の輪郭を調整します。値が高いほど輪郭がはっきりし、低いほど輪郭がぼやけます。
色の濃さ	− 50 〜+ 50	映像の色の濃さを調整します。値が高いほど色が濃くなり、低いほど色が淡くなります。
色あい	− 50 〜+ 50	色相を調整します。[+]方向では緑がかった映像になり、[−]方向では紫がかった映像になります。
詳細設定		詳細設定メニュー(次ページ)を表示します。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる映像モードの内容をお買い上げ時の状態に戻します。([詳細設定]を除く)

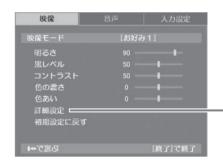
注意

- [黒レベル]、[コントラスト]、[色の濃さ]、[色あい]の調整で、設定値を上げすぎたり下げすぎたりすると、画面が見づらくなる場合があります。

詳細設定メニュー

設定項目	設定値	説明
コントラスト拡張	オン / オフ	入力された信号に応じて、自動的にコントラストと明るさの調整を行います。 暗いシーンでも、黒浮きを抑えた明暗のはっきりした映像が得られます。
色温度	5500K ～ 12000K	映像の白色温度を調整します。設定値が高いほど青みがかった白になり、低いほど赤みがかった白になります。
映像ガンマ	2.4/2.2/2.0/1.8/1.6	ガンマ補正の効かせかたを選びます。 値が高いほど暗い映像になり、低いほど明るい（白っぽい）映像になります。
デジタル NR	強 / 中 / 弱 / オフ	映像の暗部に発生する細かいノイズを低減する度合いを設定します。 ただし、[デジタル NR］の設定によっては、画面が見づらくなる場合があります。
プログレッシブ※	モード 1/ モード 2/ モード 3	IP（インターレースープログレッシブ）変換の処理方法を選びます。 ［モード 1］は静止画と動画の中間設定で、自然な画像を表示します。 多くの映像で最適の設定です。 ［モード 2］は静止画をきれいに表示する設定で、画像のちらつきを軽減します。［モード 1］でちらつきが気になる場合に、［モード 2］にすると軽減することがあります。 ［モード 3］は動画に適した設定で、残像を軽減します。
プルダウン※	モード 1/ モード 2/ オフ	フィルム映像や CG を自然でなめらかに表示します。 ［モード 1］は映画などのフィルム撮影された映像、［モード 2］は CG やアニメーションに適した設定です。 なお､映像がすだれ状に見えたり動きがぎこちなく感じる場合､［オフ］にすることで状態が改善されることがあります。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる映像モードの［詳細設定］の内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※［プログレッシブ］、［プルダウン］は、525i（480i）、1125i（1080i）の信号に対してのみ機能が働きます。

映像設定（つづき）

映像モードを調整するメニューです。

項目説明一覧

（PC の場合）

お買い上げ時の設定では、それぞれの映像モード（[お好み 1]、[お好み 2]）は同じ設定になっています。好みの設定に調整してご利用ください。

はじめに［映像モード］で調整する映像モードを選び、各設定を調整してください。

設定項目	設定値	説明
映像モード	お好み 1/ お好み 2	調整する映像モードを選びます。
明るさ	0 ～ 100	バックライトの明るさを調整します。値が高いほど明るく、低いほど暗くなります。
黒レベル	0 ～ 100	映像の黒色の状態を調整します。値が高いほど黒が明るくなり、低いほど黒の沈んだ映像になります。
コントラスト	0 ～ 100	映像の明暗を調整します。値が高いほど明暗がはっきりし、低いほど明暗の差が少なくなります。
色の濃さ	－ 50 ～＋ 50	映像の色の濃さを調整します。値が高いほど色が濃くなり、低いほど色が淡くなります。
色あい	－ 50 ～＋ 50	色相を調整します。［＋］方向では緑がかった映像になり、［－］方向では紫がかった映像になります。
詳細設定		詳細設定メニュー（次ページ）を表示します。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる映像モードの内容をお買い上げ時の状態に戻します。（[詳細設定］を除く）

注意

- **[黒レベル]、[コントラスト]、[色の濃さ]、[色あい］の調整で、設定値を上げすぎたり下げすぎたりすると、画面が見づらくなる場合があります。**

詳細設定メニュー

設定項目	設定値	説明
コントラスト拡張	オン / オフ	入力された信号に応じて、自動的にコントラストと明るさの調整を行います。 暗いシーンでも、黒浮きを抑えた明暗のはっきりした映像が得られます。
色温度	5500K ～ 12000K	映像の白色温度を調整します。設定値が高いほど青みがかった白になり、低いほど赤みがかった白になります。
映像ガンマ	2.4/2.2/2.0/1.8/1.6	ガンマ補正の効かせかたを選びます。 値が高いほど暗い映像になり、低いほど明るい（白っぽい）映像になります。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる映像モードの［詳細設定］の内容をお買い上げ時の状態に戻します。

音声設定

音声モードの調整と、音声に関する設定を行うメニューです。

項目説明一覧

（テレビ放送、ビデオ 1 〜ビデオ 4、i.LINK の場合）

音声モードの調整について

お買い上げの設定では、それぞれの音声モード（[標準]、[ドラマ]、[音楽]、[映画]）に合わせた設定がされていますが、好みに応じて変更することができます。

はじめに［音声モード］で調整する音声モードを選び、各設定を調整してください。

設定項目	設定値	説明
音声モード	標準	標準的な音質で聞こえるように設定されています。
	ドラマ	ニュースやドラマなどの人の声が聞こえやすくなるように設定されています。
	音楽	低音から高音までをバランスよく聞こえるように設定されています。
	映画	迫力ある低音を再生し、かつ人の声が聞こえやすくなるように設定されています。
BBE	オン / オフ	減衰しやすい高音域分を補い位相補正することで本来の自然な音に近づけ、人の声などを聞きやすくします。
AGC	オン / オフ	テレビ番組と CM との切り換え時などに感じられる音量の違いを軽減し、音声レベルを均一化します。
詳細設定		詳細設定メニュー（次ページ）を表示します。
ステレオ / モノラル	ステレオ / モノラル	地上アナログ放送のステレオ放送を、モノラルに切り換えます。ステレオ放送の電波が弱い場合に音声にノイズが入るようなときは、モノラルにすると聞きやすくなります。
光デジタル音声出力	PCM 固定 /AAC 優先 / サラウンド AAC 優先	光デジタル音声出力端子から出力される信号を選択します。 ［PCM 固定］にすると、PCM 信号を出力します。 ［AAC 優先］にすると、MPEG-2 AAC 信号の場合、MPEG-2 AAC 信号を出力します。 ［サラウンド AAC 優先］にすると、MPEG-2 AAC 信号でマルチチャンネルステレオ音声（5.1CH や 4.1CH ステレオ音声など）の場合に、MPEG-2 AAC 信号を出力します。それ以外の MPEG-2 AAC 信号の場合には、リニア PCM 信号を出力します。
xxx※音声レベル	－３〜＋３	ビデオ 1 〜ビデオ 4 の音声レベルを調整します。（テレビ放送、i.LINK のレベル調整はできません） 例えば DVD プレーヤーを接続している場合、テレビ放送と DVD の映画では平均的な音声レベルが異なるため、DVD からテレビに切り換えたときに大音量になることがあります。このような場合には、DVD プレーヤーを接続している映像入力の音声レベルを上げると、音量差を軽減することができます。

※「xxx」には、設定メニューを呼び出したときに選んでいる映像入力（ビデオ 1 〜ビデオ 4）が表示されます。

注意

- **設定値を［オン］にしたり、高くしたりすると音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてみてください。ひずみが解消されることがあります。**

詳細設定メニュー

設定項目	設定値	説明
バランス	－６～＋６	左右のスピーカーの音量バランスを調整します。［－］方向では左側の音量が大きくなり、［＋］の方向では右側の音量が大きくなります。
イコライザー高音	－６～＋６	設定値が高いほど高音域の音が強調され、低いほど高音域の音が弱くなります。
イコライザー中高音	－６～＋６	設定値が高いほど中高音域の音が強調され、低いほど中高音域の音が弱くなります。
イコライザー中音	－６～＋６	設定値が高いほど中音域の音が強調され、低いほど中音域の音が弱くなります。
イコライザー中低音	－６～＋６	設定値が高いほど中低音域の音が強調され、低いほど中低音域の音が弱くなります。
イコライザー低音	－６～＋６	設定値が高いほど低音域の音が強調され、低いほど低音域の音が弱くなります。
サラウンド	強 / 中 / 弱 / オフ	音の広がり感の強さを設定します。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる音声モードの［詳細設定］の内容をお買い上げ時の状態に戻します。

音声設定（つづき）

音声モードを調整するメニューです。

項目説明一覧

（コンポーネント、HDMI、PC の場合）

お買い上げの設定では、それぞれの音声モード（［お好み 1］、［お好み 2］）は同じ設定になっています。好みの設定に調整してご利用ください。

はじめに［音声モード］で調整する音声モードを選び、各設定を調整してください。

設定項目	設定値	説明
音声モード	お好み 1/ お好み 2	調整する音声モードを選びます。
バランス	－6～＋6	左右のスピーカーの音量バランスを調整します。［－］方向では左側の音量が大きくなり、［＋］の方向では右側の音量が大きくなります。
イコライザー		イコライザーメニュー（次ページ）を表示します。
サラウンド	強 / 中 / 弱 / オフ	音の広がり感の強さを設定します。
BBE	オン / オフ	減衰しやすい高音域分を補い位相補正することで本来の自然な音に近づけ、人の声などを聞きやすくします。
AGC	オン / オフ	テレビ番組と CM との切り換え時などに感じられる音量の違いを軽減し、音声レベルを均一化します。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる音声モードの内容をお買い上げ時の状態に戻します。（［イコライザー］を除く）

注意

- **設定値を［オン］にしたり、高くしたりすると音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてみてください。ひずみが解消されることがあります。**

イコライザーメニュー

設定項目	設定値	説明
高音	－６～＋６	設定値が高いほど高音域の音が強調され、低いほど高音域の音が弱くなります。
中高音	－６～＋６	設定値が高いほど中高音域の音が強調され、低いほど中高音域の音が弱くなります。
中音	－６～＋６	設定値が高いほど中音域の音が強調され、低いほど中音域の音が弱くなります。
中低音	－６～＋６	設定値が高いほど中低音域の音が強調され、低いほど中低音域の音が弱くなります。
低音	－６～＋６	設定値が高いほど低音域の音が強調され、低いほど低音域の音が弱くなります。
初期設定に戻す		そのとき選んでいる音声モードの［イコライザー］の内容をお買い上げ時の状態に戻します。

入力設定（コンポーネント、HDMI、PC のみ）

コンポーネント、HDMI、PC ごとに、入力に関する設定を行うメニューです。

項目説明一覧

■ コンポーネント

■ HDMI

■ PC

コンポーネント

設定項目	設定値	説明
音声レベル	－３～＋３	現在の映像入力の音声レベルを調整します。 例えば DVD プレーヤーを接続している場合、テレビ放送と DVD の映画では平均的な音声レベルが異なるため、DVD からテレビに切り換えたときに大音量になることがあります。このような場合には、音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減することができます。

HDMI

設定項目	設定値	説明
カラースペース	自動 /YUV 4:2:2/ YUV 4:4:4/ RGB フルレンジ	映像信号のカラースペース（色空間）を指定します。 通常は「自動」のまま変更する必要はありません。「自動」では色が異常となる場合に、正常になるように設定を変更します。
音声入力端子	HDMI/ ビデオ 1/ ビデオ 2/ ビデオ 3/ ビデオ 4/ コンポーネント /PC	次のような場合に、音声ケーブルを接続したアナログ音声入力端子を HDMI の音声入力端子として設定します。 ● 48kHz を超えるリニア PCM 音声や圧縮音声が出力される HDMI 対応機器と本機を、HDMI ケーブル / 音声ケーブルで接続した場合 ● DVI 出力機器と本機を、DVI-HDMI 変換ケーブル / 音声ケーブルで接続した場合 なお、音声モードの設定は、HDMI の設定が適用されます。
音声レベル	－３～＋３	現在の映像入力の音声レベルを調整します。 例えば、映像入力を HDMI からテレビ放送に切り換えたときに音量が大きくなった場合には、音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減することができます。

PC

設定項目	設定値	説明
自動画面調整		画面のサイズ、表示位置を自動で調整します。 設定のしかたは次のとおりです。 **❶［自動画面調整］を選んで（決定）を押す** 「自動画面調整を実行しますか ?」と表示されます。 **❷［はい］を選び、（決定）を押す** 入力している信号の解像度が 1360 × 768 または 1280 × 768、1024 × 768 のときは、「入力信号の解像度を選択してください」と表示されることがあります。その場合は、手順❸に進みます。 それ以外の解像度の場合は、自動調整が実行されます。 **❸ 解像度を選び、（決定）を押す**
クロック		映像に横縞が出る場合に調整します。 調整のしかたは次のとおりです。 **❶［クロック］を選んで（決定）を押す** 次のように表示されます。 クロック ◀ 1588 ▶ **❷ 画面を見ながら、◀▶ で横縞が出なくなるように調整する** 調整後の映像にちらつきやにじみが出た場合は、［フェーズ］を調整してください。
フェーズ		映像にちらつきやにじみが出る場合に調整します。 調整のしかたは次のとおりです。 **❶［フェーズ］を選んで（決定）を押す** 次のように表示されます。 フェーズ ◀ 16 ▶ **❷ 画面を見ながら、◀▶ でちらつきやにじみが出なくなるように調整する**
画面位置		画面の表示位置を調整します。 調整のしかたは次のとおりです。 **❶［画面位置］を選んで（決定）を押す** 次のように表示されます。 画面位置 ◀水平方向▶ / ▲ 垂直方向 ▼ **❷ ▲▼◀▶ で位置を調整する**

次のページにつづく≫

入力設定（つづき）

PC（つづき）

設定項目	設定値	説明
音声レベル	－３～＋３	現在の映像入力の音声レベルを調整します。 例えば、映像入力を PC からテレビ放送に切り換えたときに音量が大きくなった場合には、音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減することができます。

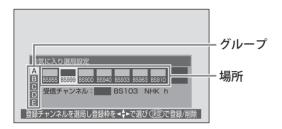
注意

- ［入力設定］には［初期設定に戻す］項目はありません。
- ［音声レベル］の設定によっては、音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてみてください。ひずみが解消されることがあります。

視聴設定

デジタル放送の視聴に関する設定を行うメニューです。

項目説明一覧

はじめに［視聴設定］で設定項目を選び、決定を押して設定画面を表示します。
設定のしかたについては、参照先のページをご覧ください。

設定項目	説明	参照先
お気に入り選局設定	選局プラスメニューのお気に入りチャンネルを登録 / 削除します。 8 チャンネル× 5 グループで、最高 40 のチャンネルを登録できます。 地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のチャンネルを混合して登録できます。	110 ページ
番組表色分け設定	番組表のジャンルの色を設定します。	110 ページ
暗証番号設定	ペイ・パー・ビュー番組の購入、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、すべての初期化で使用する共通の暗証番号を設定します。 お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。	111 ページ
視聴年齢制限設定	大人向けの番組には、視聴できる年齢が設定されているものがあります。あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないとそれらの番組を視聴できないようにすることができます。（年齢の設定値は、4 歳〜 20 歳です） お買い上げ時には設定されていません。この状態では、視聴年齢制限付き番組は視聴できません。 視聴年齢制限機能を使わないときは、［20 歳（制限しない）］に設定してください。	111 ページ
番組購入限度額設定	ペイ・パー・ビュー番組の 1 番組ごとの購入限度額を設定できます。限度額を超える番組の場合、購入するためには暗証番号の入力が必要になります。 また、金額に関係なく、すべてのペイ・パー・ビュー番組について暗証番号の入力が必要となるように設定することもできます。 お買い上げ時には設定されていません。	112 ページ
番組購入履歴	ペイ・パー・ビュー番組の購入履歴を表示します。	46 ページ
番組購入情報の送信	ペイ・パー・ビュー番組の番組購入情報をセンターに送信します。	47 ページ

視聴設定(つづき)

お気に入り選局設定

❖ 同じグループ内に同じチャンネルを複数登録することはできません。

1 **[お気に入り選局設定]画面で、登録したいチャンネルを∧∨で選ぶ**

2 **▲▼ で登録するグループ、◀▶ で場所を選び、(決定)を押す**

表示されているチャンネルがその場所に登録されます。

すでに登録されている場所を選ぶ場合は、登録されているお気に入りチャンネルを削除（下記参照）してから登録してください。

❖ 他のチャンネルを登録するときは、手順 1 ～ 2 をくり返します。

3 **(終了)を押す**

■ 登録されているお気に入りチャンネルを削除するには

上記手順 2 の画面で、削除したいチャンネルを選び、(決定)を押す

番組表色分け設定

❖ 同じジャンルを複数の色に登録することはできません。各色に設定できるジャンルは、それぞれ一つのみです。

❖ 設定は、次に番組表を表示させたときから反映されます。

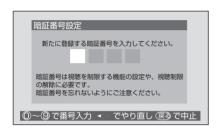
1 **[番組表色分け設定]画面で、色を設定するジャンルを選び、(決定)を押す**

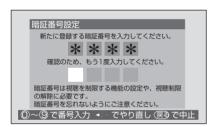
2 **色を選び、(決定)を押す**

❖ 他のジャンルを設定するときは、手順 1 ～ 2 をくり返します。

3 **(終了)を押す**

■ ジャンルの色分け表示を取り消すには

上記手順 1 の画面で、取り消したいジャンルを選び、(決定)を押す

「選ばれたジャンルはすでに色分け設定されています。色分け設定を解除しますか？」というメッセージ表示されたら、[はい] を選んで(決定)を押します。

暗証番号設定

❖ すでに暗証番号を設定している場合は、［暗証番号設定］を選ぶと、暗証番号の入力を求められます。暗証番号を入力して次の操作を行ってください。

1 ［暗証番号設定］画面で、暗証番号を入力する

間違って入力した場合は、◀ を押して 1 桁目から入力し直してください。

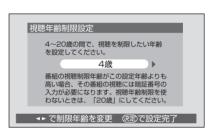
2 もう一度同じ暗証番号を入力する

3 「暗証番号を登録しました。」というメッセージが表示されたら、決定を押す

4 終了を押す

❖ ここで設定した暗証番号は、ペイ・パー・ビュー番組の購入、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、すべての初期化で使われます。

❖ 暗証番号を削除するには、［すべての初期化］（155 ページ）を行ってください。

視聴年齢制限設定

❖ ［視聴年齢制限設定］を設定するには、あらかじめ暗証番号を設定（左段）しておく必要があります。

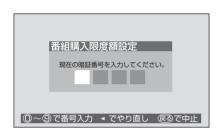
1 ［視聴年齢制限設定］画面で、暗証番号を入力する

2 ◀▶ で年齢を選んで決定を押す

年齢は、［4 歳］から［20 歳（制限しない）］の間で設定できます。

3 終了を押す

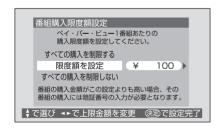
■ 視聴年齢制限が設定されている番組を選んだとき

- 本機の設定以下の年齢が設定されている番組の場合
  通常どおり番組を受信できます。
- 本機の設定よりも上の年齢が設定されている番組の場合
  メッセージが表示され、番組を見ることはできません。番組を見るには、決定を押し、暗証番号を入力してください。
- 本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていない場合
  メッセージが表示され、番組を見ることはできません。決定を押すと、設定の必要な項目がメッセージ表示されます。内容を確認した後、必要な設定を行ってください。

視聴設定(つづき)

番組購入限度額設定

❖ [番組購入限度額設定] を設定するには、あらかじめ暗証番号を設定 (111 ページ) しておく必要があります。

1 **[番組購入限度額設定] 画面で、暗証番号を入力する**

2 **制限モードを選ぶ**

[すべての購入を制限する]

すべてのペイ・パー・ビュー番組の購入に、暗証番号の入力が必要になります。

[限度額を設定]

限度額を設定するときは、金額を選びます。

金額は、

100 円~ 1,000 円は 100 円単位、
1,000 円~ 3,000 円は 500 円単位、
3,000 円~ 10,000 円は 1,000 円単位

で設定できます。

限度額を超える番組の場合は、暗証番号の入力が必要になります。

[すべての購入を制限しない]

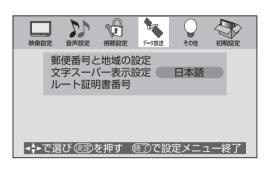
制限をしません。

3 **(決定)を押す**

番組購入限度額が設定されます。

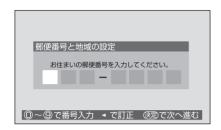
4 **(終了)を押す**

❖ 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は、高い方の金額で購入限度額の判定を行います。

❖ 複数映像、複数音声、複数データで課金対象になっている番組は、映像、音声、データを切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

データ放送

データ放送の視聴に関する設定を行うメニューです。

項目説明一覧

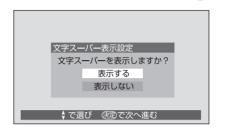
はじめに［データ放送］で設定項目を選び、決定を押して設定画面を表示します。
設定のしかたについては、参照先のページをご覧ください。

設定項目	設定値	説明	参照先
郵便番号と地域の設定		お住まいの地域に応じたデータ放送（天気予報や選挙速報など）や緊急警報放送の受信、また、電話回線を使った双方向のデータ通信をするための設定を行います。 この設定は、［はじめての設定］（21 ページ）を行った場合は、設定する必要はありません。なお、このメニューから行う操作は、［はじめての設定］の場合と操作のしかたが異なります。データ放送を受信している状態でこの設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容が反映されません。その場合は、設定終了後に再度データ放送を選局し直してください。	114 ページ
文字スーパー表示設定	表示する / 表示しない	デジタル放送の番組には、文字スーパーを表示させるサービスがあります。複数言語の文字スーパーに対応した番組を受信した場合に、本機で表示する言語を選択することができます。 お買い上げ時は、「日本語」に設定されています。	114 ページ
ルート証明書番号		ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向通信サービスで、本機がサーバに接続する際の認証に使用されます。これによって、双方向通信の安全性を高めることができます。 ルート証明書は、地上デジタル放送にのせて放送局から送られ、本機内に記憶されます。この記憶されたルート証明書の番号を確認することができます。	114 ページ

データ放送(つづき)

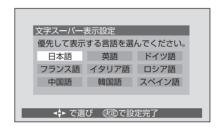
郵便番号と地域の設定

1 **[郵便番号と地域の設定]画面で、お住まいの場所の郵便番号を入力し、決定を押す**

2 **お住まいの地方を選び、決定を押す**

郵便番号と地域の設定
お住まいの地方を選んでください。
北海道 東北 関東
甲信越 中部 近畿
中国 四国 九州・沖縄
設定しない
で選び 決定で次へ進む

3 **お住まいの地域を選び、決定を押す**

郵便番号と地域の設定
お住まいの地域を選んでください。
茨城県 栃木県 群馬県
埼玉県 千葉県 東京都
神奈川県 東京都島部
で選び 決定で設定完了

伊豆、小笠原諸島地域の方は［東京都島部］、南西諸島の鹿児島県地域の方は［鹿児島県島部］を選んでください。

4 **終了を押す**

文字スーパー表示設定

1 **[文字スーパー表示設定]画面で、[表示する]または[表示しない]を選び、決定を押す**

2 **言語を選び、決定を押す**

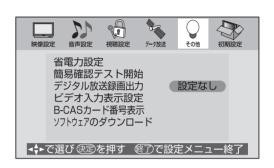
3 **終了を押す**

❖［表示する］に設定した場合、受信している放送に設定した言語がないときは、送信データに従って表示されます。

ルート証明書番号

1 **[ルート証明書番号]画面で、ルート証明書番号を確認して決定を押す**

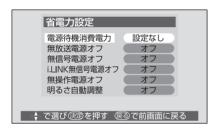
❖ 最大８個のルート証明書番号が表示されます。

2 **終了を押す**

その他

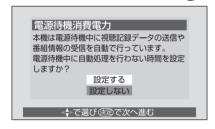
省電力の設定や、簡易確認テスト、ソフトウェアのダウンロードに関する設定などを行うメニューです。

項目説明一覧

はじめに［その他］で設定項目を選び、決定を押して設定画面を表示します。
設定のしかたについては、参照先のページをご覧ください。

設定項目		設定値	説明	参照先
省電力設定				116 ページ
	電源待機消費電力	設定しない / 設定する	本機は、電源が待機状態（電源ボタンで電源を切っただけの状態）のときに視聴記録データの送信や番組情報の受信を自動的に行いますが、それらを一定時間行わないように設定することができます。設定することで待機時の電力消費を抑えられます。 お買い上げ時は、［設定しない］に設定されています。	
	無放送電源オフ	オン / オフ	テレビ放送（地上 A、地上 D、BS、CS）を選んでいるときにテレビの放送がない（信号がない）状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源を切ります。 お買い上げ時は、［オン］に設定されています。	
	無信号電源オフ	オン / オフ	映像入力がビデオ 1 〜ビデオ 4、コンポーネント、HDMI、PC のときにビデオ信号の入力がない状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源を切ります。 お買い上げ時は、［オン］に設定されています。	
	i.LINK 無信号電源オフ	オン / オフ	映像入力が i.LINK のときに信号の入力がない状態が 15 分続き、その間リモコンや本体でのボタン操作がなかった場合に、自動的に電源を切ります。ビデオなどでの一時停止の状態も信号がないとみなされます。 お買い上げ時は、［オン］に設定されています。	
	無操作電源オフ	オン / オフ	リモコンや本体での操作がない状態が 3 時間続いた場合に、自動的に電源を切ります。 お買い上げ時は、［オフ］に設定されています。	
	明るさ自動調整	通常 / 暗 / オフ	［通常］を選ぶと、周りの明るさを監視し、バックライトの明るさを自動調整します。［暗］を選ぶと、少し暗めの表示となります。 お買い上げ時は、［通常］に設定されています。	
簡易確認テスト開始			「地上 D 受信テスト」、「BS・110 度 CS 受信テスト」、「B-CAS カードテスト」、「電話回線テスト」をまとめて行います。	116 ページ
デジタル放送録画出力		設定する / 設定しない	録画予約や一発録画を使ってアナログ方式で録画するときだけ、本機のデジタル放送録画出力から映像信号が出るように設定することができます。 お買い上げ時は、［設定しない］に設定されています。	117 ページ
ビデオ入力表示設定			ビデオ 1 〜ビデオ 4 を選んだときに、画面に表示される機器名（「VTR」や「DVD」など）を設定することができます。	117 ページ
B-CAS カード番号表示			B-CAS カードの登録番号を画面に表示します。	117 ページ
ソフトウェアのダウンロード		放送からのダウンロード	機能アップや機能の改善などのため、本機のソフトウェアを書き換えます。	118 ページ
		ソフトウェアバージョン	現在の本機のソフトウェアのバージョンが確認できます。	118 ページ

省電力設定

ここでは例として、[電源待機消費電力] の設定のしかたを説明します。

❖ その他の省電力設定の項目は、この操作の手順１～２と同じ操作で設定できます。

1 [省電力設定]画面で、[電源待機消費電力]を選び、(決定)を押す

❖ [電源待機消費電力] 以外の項目を設定する場合は、その項目を選んで(決定)を押します。

2 [設定する]または[設定しない]を選び、(決定)を押す

❖ [電源待機消費電力] 以外の項目の場合は、それぞれの設定値を選んで(決定)を押します。

[設定しない] を選んだ場合は、手順４に進みます。

3 次の操作で自動処理を行わない時間を設定する

開始時刻（[時]、[分]）と時間（[時間]）を設定します。自動処理を行わない時間は、１～９時間の間で設定できます。

❶ ◀▶ で[時]を選ぶ

❷ ▲▼ で時間を設定する

❸ 同じ手順で[分]と[時間]を設定し、(決定)を押す

4 (終了)を押す

注意

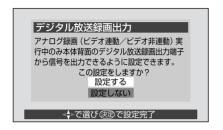
- 電源待機消費電力の機能が動作中は、i.LINK ケーブルで接続されている他の機器からは制御できません。
- 設定中でも録画予約、視聴予約、任意ダウンロードは実行されます。

簡易確認テスト開始

1 [簡易確認テスト開始]を選び、(決定)を押す

簡易確認テストが開始されます。

受信テストは、BS → 110 度 CS →地上 D の順序で行われます。

❖ 地上デジタル放送の場合は、伝送チャンネルごとにテストすることができます。◀▶ でチャンネルを選び、受信テストを行ってください。

結果については、「はじめての設定」の「簡易確認テスト」（24 ページ）をご覧ください。

2 簡易確認テストが終了したら、(決定)を押す

3 (終了)を押す

デジタル放送録画出力

1 **[デジタル放送録画出力]画面で、[設定する]または[設定しない]を選び、(決定)を押す**

❖ [設定する] にしたときでも、音声信号は出力されます。

❖ [設定しない] にしたときでも、デジタルカメラの画像表示時などは、映像が出力されない場合があります。

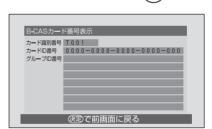
❖ どちらに設定した場合でも、電源コードを抜いているときは信号は出力されません。

2 **(終了)を押す**

ビデオ入力表示設定

1 **[ビデオ入力表示設定]画面で、ビデオ入力を選び、(決定)を押す**

機器名のリストが表示されます。

2 **機器名を選び、(決定)を押す**

❖ 機器名を表示させない場合は、[表示しない] を選んでください。

❖ 他のビデオ入力を設定するときは、手順 1 ～ 2 をくり返します。

❖ お買い上げ時の状態に戻す場合は、手順 1 で [初期設定に戻す] を選んでください。

3 **(終了)を押す**

B-CAS カード番号表示

1 **[B-CAS カード番号表示]画面で、B-CAS カード番号を確認し、(決定)を押す**

2 **(終了)を押す**

その他(つづき)

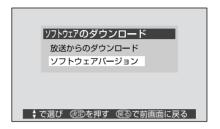
ソフトウェアのダウンロード

本機では、現在の本機のソフトウェアのバージョンを確認したり、本機のソフトウェアを新しいバージョンのものに書き換えて、機能アップや機能の改善をすることができます。
バージョンアップ用のソフトウェアは、放送局が地上または BS デジタル放送の電波の中に入れて送信します。本機では、それを取得(ダウンロード)して、内部のソフトウェアを書き換えます。
ダウンロードには、次の 2 種類の方法があります。

■ 自動ダウンロード

あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが放送局から送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。
お買い上げ時は、自動ダウンロードを行う設定になっています。
ダウンロードを自動で行わない設定にした場合、自動ダウンロードについての情報があるときは、「本機に関するお知らせ」(49 ページ)でお知らせします。

■ 任意ダウンロード

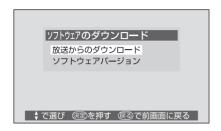
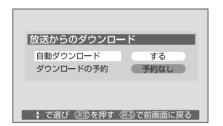
任意ダウンロードについての情報があるときは、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。ダウンロードをする場合は、119 ページの操作でダウンロードの予約を行ってください。

❖ ダウンロードは、本機が電源待機状態のときのみ実行されます。

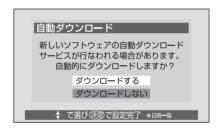
❖ ダウンロードを行うには、あらかじめ本機の電源を入れて地上または BS デジタル放送を数分間受信し、ダウンロード情報を取得しておく必要があります。

注意

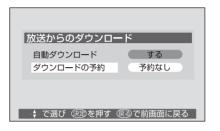
- **ダウンロード中は、電源コードを抜かないでください。**
  ソフトウェアの書き込みが中断し、誤動作を起こす場合があります。本機が動作しない状態になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- **ソフトウェアをバージョンアップすると、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。**

現在の本機のソフトウェアバージョンを確認する

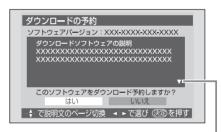
1 **[ソフトウェアのダウンロード画面]で、[ソフトウェアバージョン]を選び、(決定)を押す**

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

2 **(終了)を押す**

自動ダウンロードを設定する

1 **［ソフトウェアのダウンロード］画面で、［放送からのダウンロード］を選び、(決定)を押す**

2 **［自動ダウンロード］を選び、(決定)を押す**

3 **［ダウンロードする］または［ダウンロードしない］を選び、(決定)を押す**

❖ ［自動ダウンロード］画面が表示されているときに(青)を押すと、自動ダウンロードが行われる日時の一覧を見ることができます。

(戻る)を押すと、［自動ダウンロード］画面に戻ります。

4 **(終了)を押す**

❖ ［ダウンロードしない］（任意ダウンロード）に設定した場合、自動ダウンロードについての情報があるときは、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。

任意ダウンロードを予約する

1 **［ソフトウェアのダウンロード］画面で、［放送からのダウンロード］を選び、(決定)を押す**

2 **［ダウンロードの予約］を選び、(決定)を押す**

3 **画面の説明を読み、［はい］を選んで(決定)を押す**

説明文の上下に▲▼が表示されているときは、▲▼ でページを切り換えることができます。

4 **予約する日時を選び、(決定)を押す**

ダウンロードの予約
ダウンロード予約の日時を選んでください。

日付	時間	
5月16日（金）	AM0:00~AM0:30	BS
5月16日（金）	AM1:00~AM1:30	BS
5月16日（金）	AM2:00~AM2:30	BS
5月16日（金）	AM3:00~AM3:30	BS
5月16日（金）	AM4:00~AM4:30	BS
5月16日（金）	AM5:00~AM5:30	BS

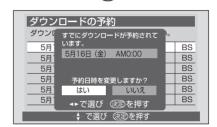
で選び 決定を押す

ダウンロードが予約されます。

❖ 複数の予約はできません。

❖ ダウンロードの予約が録画予約や視聴予約と重なる場合は、メッセージが表示されます。その場合は、ダウンロードの予約日時を変更してください。

5 **表示されるメッセージを読んだ後、(決定)を押す**

次のページにつづく≫

その他（つづき）

6 （終了）を押す

- ❖ ダウンロードの予約時刻の前には、本機の電源を切って待機状態にしてください。
  本機の電源が入っているときには、ダウンロードの予約時刻の少し前に、リモコンの電源ボタンを押して待機状態にすることをお願いするメッセージが表示されます。
- ❖ 録画予約した番組の放送時間が変更されて任意ダウンロード予約と重なった場合や、悪天候の場合などには、任意ダウンロードは実行されません。
  ダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- ❖ 一発録画中やライブラリでのコピー中（69 ページ）などに、任意ダウンロード予約の開始時刻になると、任意ダウンロード予約は取り消されます。
- ❖ 任意ダウンロード予約によるバージョンアップの実行中は、録画予約や視聴予約は実行されません。

■ 任意ダウンロード予約の日時変更や取り消しをするには

1 前のページの「 任意ダウンロードを予約する 」の手順 4 の画面で、次の操作を行う

- 日時を変更する場合

❶ 予約されている日時とは別の日時を選び、（決定）を押す

❷ ［はい］を選び、（決定）を押す

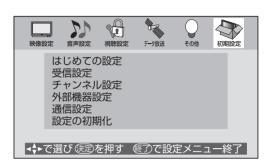
❸ 表示されるメッセージを読み、（決定）を押す

- 任意ダウンロード予約を削除する場合

❶ 予約されている日時を選び、（決定）を押す

❷ ［はい］を選び、（決定）を押す

ダウンロードの予約
このダウンロード予約を取り消しますか？
4月23日（水） AM0:00～
はい
いいえ
◄►で選び 決定を押す
▲▼で選び 決定を押す

2 （終了）を押す

初期設定

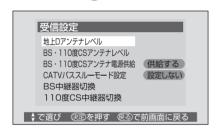
放送の受信に関する設定や本機に接続する機器の設定、通信に関する設定を行うメニューです。

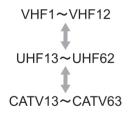
項目説明一覧

はじめに［初期設定］で設定項目を選び、(決定)を押して設定画面を表示します。
設定のしかたについては、参照先のページをご覧ください。

設定項目	設定値	説明	参照先
はじめての設定		チャンネルやデータ放送の設定など、本機を使用するために必要な設定をまとめて行います。 なお、すでに本機を使用している状態で、改めて［はじめての設定］を行うと、それまでに設定されていた次の項目の設定は、すべて消去されますのでご注意ください。 ● 地上放送チャンネル設定 ● 郵便番号の設定 ● 電話回線設定 ただし、本機に記憶された各放送局ごとの個人情報（例えば視聴ポイント数など）（135 ページ）については、消去されません。	21 ページ
受信設定			
地上 D アンテナレベル		地上デジタル用アンテナを設置したときに、アンテナの方向調整に使用します。	124 ページ
BS・110 度 CS アンテナレベル		BS・110 度 CS デジタル用アンテナを設置したときに、アンテナの方向調整に使用します。	124 ページ
BS・110 度 CS アンテナ電源供給	供給する / 供給しない	BS・110 度 CS デジタル用アンテナのコンバーターに電源を供給するかどうかを設定します。 お買い上げ時は、［供給する］に設定されています。	125 ページ
CATV パススルーモード設定	設定しない / 標準モードに設定 / 手動設定	ケーブルテレビから送られてくる BS デジタル放送を本機で視聴する場合は、本機に周波数アップコンバーターを接続し、「CATV パススルーモード」を設定する必要があります。 お買い上げ時は、［設定しない］に設定されています。	126 ページ
BS 中継器切換		BS（放送衛星）の中継器が故障した場合に、他の中継器に切り換えます。通常は設定の必要はありません。	127 ページ
110 度 CS 中継器切換		CS（通信衛星）の中継器が故障した場合に、他の中継器に切り換えます。通常は設定の必要はありません。	127 ページ

初期設定（つづき）

設定項目		設定値	説明	参照先
チャンネル設定				
	地上 A 自動設定		地上アナログ放送のチャンネルを自動設定します。 なお、［はじめての設定］の［地上放送チャンネル設定］（21 ページ）を行った場合は、この設定は必要ありません。 また、本機の購入後に放送局が変更になった場合には、自動では設定できません。その場合は、後述の［手動設定］で設定してください。	127 ページ
	地上 D 自動設定 初期スキャン 再スキャン 自動スキャン		地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動設定します。 なお、［はじめての設定］の［地上放送チャンネル設定］（21 ページ）を行った場合は、この設定は必要ありません。 また、リモコンボタンの割り当て変更など、設定を変更したい場合は、後述の［手動設定］で設定してください。	128 ページ
	手動設定 地上 A 地上 D BS 110 度 CS		チャンネル設定内容の確認、リモコンボタンへのチャンネルの割り当ての変更、画面に表示されるチャンネル番号や放送局名の表示の変更が行えます。	131 ページ
	チャンネルスキップ設定 地上 A 地上 D BS 110 度 CS		チャンネルを順送りで選ぶときに、不要なチャンネルをスキップする（飛ばす）ようにします。 なお、ハイビジョン放送など一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネル（一番小さい番号のチャンネル）をスキップするように設定すると、その次のチャンネルが選ばれるようになります。	134 ページ
	GR 設定	モード 1/ モード 2/ オフ	地上アナログ放送およびケーブルテレビ放送でゴーストが発生する場合に ゴーストリダクション（GR）を使用します。 ただし、放送にゴースト除去信号が含まれていない場合は効果がありません。 なお、ゴーストリダクションは、チャンネルを切り換えてから数秒後に効果が現れます。 次の場合は、GR 設定を［オフ］にしてください。 ● ゴーストが軽減できず画面が見づらい場合（強いゴーストや電波状況が悪いとき） ● アンテナの設定・調整が適切でないとき（室内アンテナなど） ● アンテナの設置・調整時	134 ページ
	初期設定に戻す		お買い上げ時のチャンネル設定に戻します。	135 ページ
外部機器設定				
	i.LINK 設定 i.LINK 機器の登録 登録モード設定 外部機器からの制御 ブロードキャスト入力設定 最大データ転送速度設定 D-VHS テープ検出 チューナーの選局方法		i.LINK ケーブルを使って本機に接続した i.LINK 機器を本機から制御できるようにするための設定を行います。	136 ページ
	ビデオ設定 ビデオ機種設定 ビデオ動作確認		付属のビデオコントローラーを使って、本機に接続されたビデオ機器をコントロールし、録画予約や一発録画でデジタル放送を録画できるようにするための設定を行います。	139 ページ

設定項目		設定値	説明	参照先
通信設定				
	電話回線設定 ダイヤル方式 外線発信番号 電話会社の設定 電話番号通知設定 電話回線テスト 待ち時間の設定		デジタル放送で双方向通信サービス（36 ページ）を利用したり番組購入情報を送信（47 ページ）したりするために、電話回線の設定を行います。	141 ページ
	通信接続設定 通信環境設定 ダイヤルアップ設定 イーサネット設定 MAC アドレス		ダイヤルアップ通信やイーサネット通信で地上デジタル放送の双方向通信サービスなどを利用するための設定を行います。 ただし、これらの通信を利用するには、あらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約が必要です。	145 ページ
	通信確認メッセージ設定	表示する / 表示しない	ダイヤルアップ通信の接続や切断をする際に、確認のメッセージを表示させるかどうかを設定します。 お買い上げ時は、［表示する］に設定されています。	153 ページ
	通信自動切断設定	1 分〜 20 分	ダイヤルアップで通信中、通信のない状態が一定時間続いたときに、自動的に回線を切断するまでの時間を設定します。 お買い上げ時は、［3 分］に設定されています。	153 ページ
	双方向サービス制限設定	禁止する / 禁止しない	双方向通信サービスや、ブックマーク（38 ページ）、登録発呼（39 ページ）をダイヤルアップ通信で行うと、電話料金がかかります。そこで、通信を制限するため、接続を禁止することができます。 お買い上げ時は、［禁止しない］に設定されています。	154 ページ
	通信エラー履歴		本機は、回線接続の際に接続エラーが生じた場合、一番新しい接続エラーを 1 件だけ記録します。この通信エラー履歴を表示します。 通信エラー履歴は、放送局へのお問い合わせの際に必要になる場合があります。	154 ページ（操作方法） 156 ページ（対処方法）
設定の初期化				
	初期化 1 初期化 2		［初期化 1］を選ぶと、次の項目を除いた設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ● ［チャンネル設定］、［暗証番号設定］、［視聴年齢制限設定］、［番組購入限度額設定］、［双方向サービス制限設定］ ［初期化 2］を選ぶと［初期化 1］に加えて［チャンネル設定］も初期化されます。 また、すべての設定を初期化することもできます。（155 ページ）ただし、PC 入力時の「入力設定」（音声レベル除く）をお買い上げ時の状態に戻すことはできません。	155 ページ

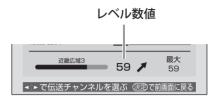
初期設定（つづき）

受信設定

地上 D アンテナレベル（アンテナの方向調整）

❖ マンションなど共同受信の場合は、この操作は必要ありません。

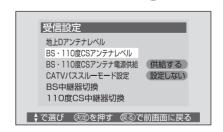
❖ アンテナの方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

1 **［受信設定］画面で、［地上 D アンテナレベル］を選び、（決定）を押す**

2 **◀▶ を押して［伝送チャンネル］で視聴するチャンネルを一つ選ぶ**

ボタンを押すごとに、次のように変わります。

3 **アンテナをゆっくりと動かして、レベル数値が最大になるようにする**

アンテナレベルが大きくなると ➚ が表示され、小さくなると ➘ が表示されます。

4 **アンテナを固定する**

アンテナを固定した後は、レベル数値を確認してください。レベル数値が下がっている場合は、手順 3 に戻って再度調整してください。

5 **（決定）を押す**

6 **（終了）を押す**

BS・110 度 CS アンテナレベル（アンテナの方向調整）

❖ マンションなど共同受信の場合は、この操作は必要ありません。

❖ アンテナの方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

1 **［受信設定］画面で、［BS・110 度 CS アンテナレベル］を選び、（決定）を押す**

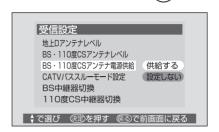
2 BSまたはCSを押して、受信する放送を選ぶ

（例：BS を選んだ場合）

3 ∧∨を押して、現在放送が行われているチャンネルを選ぶ

無料のチャンネルまたは契約しているチャンネルを選んでください。

4 アンテナをゆっくりと動かして、レベル数値が最大になるようにする

アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され、小さくなると ↘ が表示されます。

❖ 画面に「アンテナ線がショートしています」というメッセージが表示された場合は、本機の電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、ショートの原因を取り除いてから、もう一度電源を入れ、手順 1 からやり直してください。

5 アンテナを固定する

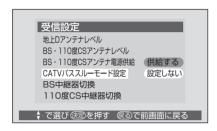
アンテナを固定した後は、レベル数値を確認してください。レベル数値が下がっている場合は、手順 4 に戻って再度調整してください。

6 決定を押す

7 終了を押す

BS・110 度 CS アンテナ電源供給

1 ［受信設定］画面で、［BS・110 度 CS アンテナ電源供給］を選び、決定を押す

2 ［供給する］または［供給しない］を選び、決定を押す

3 終了を押す

❖ マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは［供給しない］に設定してください。

❖ 本機の電源コードを抜いた状態では、アンテナ電源は供給されません。

❖［供給する］に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常アンテナ電源が供給されませんが、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際には、自動的にアンテナ電源が供給されます。

初期設定（つづき）

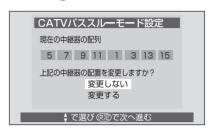
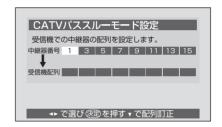
CATV パススルーモード設定

❖ ケーブルテレビで行われている BS デジタル放送サービスを視聴する場合の設定です。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

1 ［受信設定］画面で、［CATV パススルーモード設定］を選び、（決定）を押す

2 設定項目を選び、（決定）を押す

［設定しない］
CATV パススルーモードを設定せずに、設定を終了します。
手順 5 に進みます。

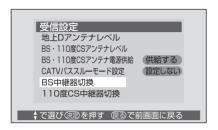
［標準モードに設定］
ケーブルテレビでの標準的な CATV パススルー方式です。標準モードの設定内容は右段をご覧ください。
こちらを選んだ場合は、以上で設定終了です。
手順 5 に進みます。

［手動設定］
伝送する BS-IF チャンネルとその並びを指定します。
こちらを選んだ場合は、現在の中継器の配列が表示されます。
手順 3 に進みます。

3 ［手動設定］を選んだ場合は、現在の設定を確認し、［変更する］または［変更しない］を選んで（決定）を押す

［変更しない］を選んだ場合は、手順 5 に進みます。

4 設定する中継器を選び、（決定）を押す

選んだ中継器の番号が、受信機の配列の左から順次設定されます。

訂正する場合は、▼ を押して［受信機配列］の段に移り、◀ を押すと一つずつ左に戻ります。訂正したら ▲ を押して［中継器番号］の段に戻ってください。

すべての設定欄に登録されると、手順 2 の画面に戻ります。

標準モードの設定内容

項目	BS-IF							
中心周波数（MHz）	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00
衛星直接受信チャンネル	BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15
CATV パススルー方式受信チャンネル	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-1	BS-3	BS-13	BS-15

5 （終了）を押す

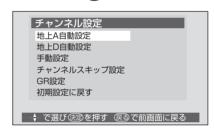
BS 中継器 /110 度 CS 中継器切換

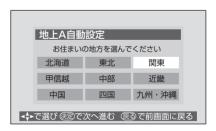
1 ［受信設定］画面で、［BS 中継器切換］または［110 度 CS 中継器切換］を選び、決定を押す

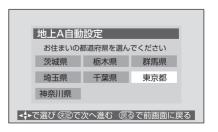
2 中継器を選ぶ

- BS デジタル放送の場合
  選べる中継器は「BS01、BS03、BS05、BS07、BS09、BS11、BS13、BS15」です。
- 110 度 CS デジタル放送の場合
  選べる中継器は「ND02、ND04、ND06、ND08、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24」です。

3 放送が受信できることを確認したら、決定を押す

4 終了を押す

チャンネル設定

［はじめての設定］（21 ページ）を行ってチャンネルを設定した場合、特に問題がなければ、チャンネル設定を行う必要はありません。
また、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のチャンネルについては、お買い上げ時に設定されています。設定を変更する場合は［手動設定］（131 ページ）で行ってください。

地上 A 自動設定

自動設定される内容については、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（178 ページ）をご覧ください。

1 ［チャンネル設定］画面で、［地上 A 自動設定］を選び、決定を押す

2 お住まいの地方を選び、決定を押す

3 お住まいの都道府県を選び、決定を押す

次のページにつづく≫

初期設定（つづき）

4 お住まいの地域または都市を選び、決定を押す

チャンネル設定確認画面が次々に表示され、チャンネルが設定されます。

設定が終了すると、「自動チャンネル設定を終了しました。」というメッセージが表示されます。

5 終了を押す

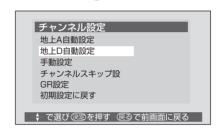
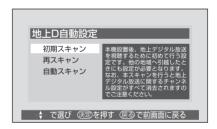
❖ 自動設定された内容の確認や設定の変更は、［手動設定］（131 ページ）で行ってください。

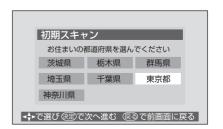
❖ 自動チャンネル設定は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」の内容で設定されますが、チャンネルが変更になり、受信できなくなることがあります。受信できないチャンネルがあるときは［手動設定］で設定してください。

地上 D 自動設定

地上デジタル放送の自動設定には、［初期スキャン］、［再スキャン］、［自動スキャン］の 3 種類があります。

■ 初期スキャン

地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンの数字ボタンに割り当てます。［はじめての設定］の［初期スキャン］（21 ページ）と同じ機能です。
設定されるチャンネルの目安については、「地上デジタル放送の放送（予定）一覧表」（185 ページ）をご覧ください。

注意

- ［初期スキャン］を行うと、それまでのチャンネルの設定はすべて消去され、設定し直されますのでご注意ください。ただし、各放送局ごとに本機に記載された個人情報（視聴ポイント数など）は消去されません。
  新たに開局したチャンネルを登録する場合や、中継器が新設・変更された場合の変更は、［再スキャン］（129 ページ）で設定してください。

1 ［チャンネル設定］画面で、［地上 D 自動設定］を選び、決定を押す

2 ［初期スキャン］を選び、決定を押す

3 お住まいの都道府県を選び、決定を押す

4 お住まいの地域または都市を選び、決定を押す

初期スキャンが開始されます。
終了するまで、しばらくお待ちください。

初期スキャンが終了すると、手順 5 の画面が表示されます。

次のような画面が表示された場合

初期スキャン
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。
メモリを割り当てたい放送局を9個選んでください。

	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
✓	1	NHK総合・東京	○	あり
✓	2	―――	×	あり
✓	3	NHK教育・東京	○	あり
✓	4	日本テレビ	○	あり
✓	5	MXテレビ	○	あり

選択した放送局の数：12個
で選び 決定で選択／取消 ►で次へ進む

「データ放送用メモリの割り当て」(135 ページ)を先に行い、手順 5 に進んでください。

5 設定内容を確認する場合は [はい]、確認しない場合は [いいえ] を選んで (決定) を押す

[はい] の場合は、設定内容が表示されます。

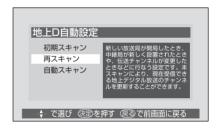
初期スキャン

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK教育・東京
3	テレビ	TVKテレビ
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS

でページ切換 決定で設定終了

[いいえ] の場合は、手順 7 に進みます。

6 内容を確認したら、(決定) を押す

7 (終了) を押す

❖ 自動設定された内容の確認や設定の変更は、初期スキャンの後に [手動設定] (131 ページ) で行ってください。

❖ 初期スキャン後の各チャンネルの構成については、「チャンネル一覧」(30 ページ) で確認できます。

❖ 電波が弱い場合には、初期スキャンによってチャンネルの設定はできても、正常に受信できない場合があります。

■ 再スキャン

新たな放送局の開局や中継局の新設などで増えたチャンネルを、自動的に探して追加設定します。設定されるチャンネルの目安については、「地上デジタル放送の放送（予定）一覧表」(185 ページ) をご覧ください。

注意

- **再スキャンは、新しいチャンネルのみを追加設定する機能です。あらかじめ [初期スキャン] で設定されていないと、再スキャンできません。**

1 [地上 D 自動設定] 画面で、[再スキャン] を選び、(決定) を押す

再スキャンが開始されます。
終了するまで、しばらくお待ちください。

再スキャンが終了すると、手順 2 の画面が表示されます。

「初期スキャン実行後に行ってください。」 というメッセージが表示された場合
[初期スキャン] を先に行ってください。

次のページにつづく≫

初期設定（つづき）

次のような画面が表示された場合

再スキャン
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。
メモリを割り当てたい放送局を9個選んでください。

	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
✓	1	NHK総合・東京	○	あり
✓	2	―――	×	あり
✓	3	NHK教育・東京	○	あり
✓	4	日本テレビ	○	あり
✓	5	MXテレビ	○	あり

選択した放送局の数：12個
で選び 決定で選択／取消 ►で次へ進む

「データ放送用メモリの割り当て」（135 ページ）を先に行ってください。

再スキャン
スキャンした放送局をダイレクト選局用ボタン(1～12)に設定します。
設定方法を選んでください。
設定内容をリセットする
設定内容を保持する
ダイレクト選局用ボタンの設定内容をリセットし、放送局が指定するボタンに設定し直します。
で選び 決定を押す

リモコンの数字ボタンへのチャンネル割り当てをすべて設定し直す場合は、［設定内容をリセットする］を選んで(決定)を押してください。

チャンネルが割り当てられていない数字ボタンのみ設定する場合は、［設定内容を保持する］を選んで(決定)を押してください。この場合は、すでに放送局が設定されている数字ボタンについては、新たな設定は行われません

2 設定内容を確認する場合は［はい］、確認しない場合は［いいえ］を選び、(決定)を押す

［はい］の場合は、設定内容が表示されます。

［いいえ］の場合は、手順 4 に進みます。

3 内容を確認したら、(決定)を押す

4 (終了)を押す

❖ 再スキャン後の各チャンネルの構成については、「チャンネル一覧」（30 ページ）で確認できます。

❖ 再スキャンを行っても、通常は枝番（31 ページ）は変更されません。

❖ 電波が弱い場合には、再スキャンによってチャンネルの設定はできても、正常には受信できない場合があります。

■ 自動スキャン

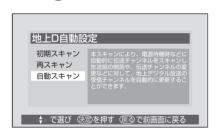
自動スキャンは、本機の電源待機時に自動的にチャンネルのスキャンを行う機能です。
放送局の開局や中継局の変更などの変更が見つかったときは、チャンネル設定を自動的に変更して、同時に「本機に関するお知らせ」で次のようにお知らせします。（「本機に関するお知らせ」については、49 ページをご覧ください）

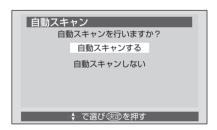
①
放送局の変更がありました。

放送局の変更（追加・削除など）がありました。チャンネル一覧で受信チャンネルをご確認ください。ダイレクト選局ボタンの設定を変更する場合は、設定メニューの［再スキャン］や「手動設定」を行ってください。

②
放送局の変更がありました。

放送局の変更（追加・削除など）がありました。放送局の変更によりデータ放送用のメモリが割り当てられていない放送局がありますので、設定メニューの「再スキャン」を行ってください。

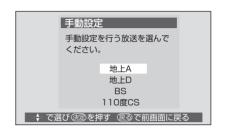
②のお知らせの場合は、チャンネル設定の内容は変更しましたが、データ放送用メモリの割り当て（135 ページ）は変更していません。これは、受信できている放送局の数が、データ放送用メモリを割り当てられる数を超えているためです。
また、この場合には、チャンネルの変更時などに「再スキャンアイコン」を表示してお知らせします。

データ放送用メモリの割り当てを変更するには、再スキャン（129 ページ）を行ってください。（「データ放送用メモリの割り当て」は再スキャンの最後に行います）

注意

- **自動スキャンは、新しいチャンネルのみを追加設定する機能です。あらかじめ［初期スキャン］で設定されていないと、自動スキャンできません。**

❖ 自動スキャンは不定期に行われます。したがって、開局や中継局の変更直後などはチャンネル設定が最新になっていない場合があります。特に録画予約の際にはご注意ください。放送局から中継局の変更があるなどの情報を得た場合は、再スキャンをされることをおすすめします。

お買い上げ時には、自動スキャンをするように設定されていますが、自動スキャンしないように設定することもできます。

1 **[地上 D 自動設定]画面で[自動スキャン]を選び、(決定)を押す**

2 **[自動スキャンする]または[自動スキャンしない]を選び、(決定)を押す**

3 **(終了)を押す**

手動設定

■ 地上アナログ放送の手動設定

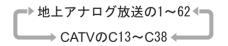
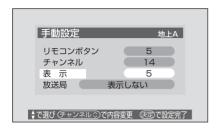
1 **[手動設定]画面で、[地上 A]を選び、(決定)を押す**

現在設定されているチャンネルの一覧が表示されます。

2 **設定したいリモコンの数字ボタン(1 ～ 12 のいずれか)を選び、(決定)を押す**

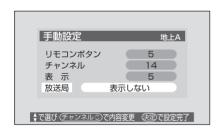
手動設定 地上A

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	1	
2	2	2	
3	3	3	
4	4	4	
5	5	5	
6	6	6	

で選び (決定)で次へ進む (戻る)で前画面に戻る

3 **[チャンネル]を選び、(∧)(∨)を押して割り当てるチャンネルを選ぶ**

チャンネルは、次の順番で変わります。

❖ 色が消えたり画像が不安定になる場合にチャンネルを微調整するには、[チャンネル] を選んでいる状態で、◀▶ を押してください。
調整前の状態に戻すには、(∧)(∨)でチャンネルを選び直してください。

次のページにつづく≫

初期設定（つづき）

4 **［表示］を選び、∧∨を押して画面に表示させる番号を選ぶ**

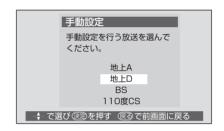
番号は、次の順番で変わります。

5 **［放送局］を選び、∧∨で画面に表示させる放送局名を選んで決定を押す**

放送局名を表示しない場合は、［表示しない］を選んでください。

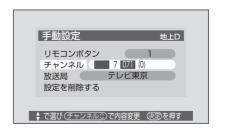
❖ 他の数字ボタンのチャンネルを設定する場合は、手順 2 ～ 5 をくり返します。

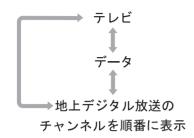
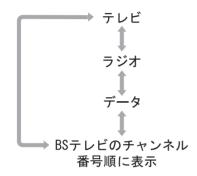
6 **終了を押す**

❖ ケーブルテレビは、サービスが行われている地域でのみ受信が可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
さらに、スクランブルのかかった有料放送を視聴・録画するには、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。

■ 地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の手動設定

ここでは、地上デジタル放送を手動設定するときの画面を使って説明します。BS デジタル、110 度 CS デジタル放送もほぼ同じ操作で設定できます。
チャンネル設定の内容を削除する場合は、133 ページをご覧ください。

❖ 地上デジタル放送の手動設定は、あらかじめ［初期スキャン］でチャンネルが設定されていないとできません。

1 **［手動設定］画面で、手動設定を行う放送を選び、決定を押す**

現在設定されているチャンネルの一覧が表示されます。

2 **設定したいリモコンの数字ボタン（1 ～ 12 のいずれか）を選び、決定を押す**

3 **［チャンネル］を選び、∧∨で割り当てるチャンネルを選ぶ**

チャンネルは、次の順番で変わります。

- 地上デジタル放送の場合

- BS デジタル放送の場合

- 110 度 CS デジタル放送の場合
  CS テレビのチャンネル番号順に表示

［テレビ］または［ラジオ］または［データ］を選んだ場合

一つの数字ボタンに、同じ放送局のテレビ放送 / ラジオ放送 / データ放送のチャンネルが、複数まとめて設定されます。
選局するときは、数字ボタンを押すごとにその放送局のチャンネルが順番に表示されます。
手順４に進みます。

テレビのチャンネルを選んだ場合

数字ボタンを押したときに、選んだチャンネルだけが表示されるように設定されます。
この場合、放送局名の表示は変更できません。
手順５に進みます。

4 ［放送局］を選び、∧∨で画面に表示させる放送局名を選ぶ

放送局名を表示しない場合は、［表示しない］を選んでください。

5 (決定)を押す

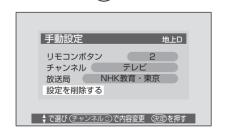
❖ 他の数字ボタンのチャンネルを設定する場合は、手順２～５をくり返します。

地上デジタル放送の場合は手順６に進みます。

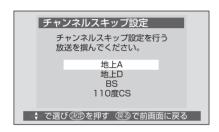
BS デジタル放送 /110 度 CS デジタル放送の場合は手順７に進みます。

6 ▶ を押す

設定が完了して、手順１の画面に戻ります。

次のような画面が表示された場合

「データ放送用メモリの割り当て」（135 ページ）を先に行ってください。

7 (終了)を押す

■ チャンネル設定の内容を削除するには

地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定の内容（数字ボタンへの割り当ての内容）を削除するときは、次のように行います。

「地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の手動設定」の手順３の画面で、［設定を削除する］を選び、(決定)を押します。

初期設定（つづき）

チャンネルスキップ設定

❖ ケーブルテレビチャンネルは、お買い上げ時には［スキップ］になっています。ケーブルテレビを受信するには、この設定で［受信］にしてください。

❖ 地上デジタル放送の場合は、「初期スキャン」が行われていないと、ここでの設定はできません。

1 **［チャンネルスキップ設定］画面で、チャンネルのスキップを設定する放送を選び、（決定）を押す**

2 **スキップさせたい（またはスキップを解除したい）チャンネルを選び、（決定）を押す**

（例：地上アナログ放送の場合）

地上Aチャンネルスキップ設定

リモコン	チャンネル	放送局	スキップ
1	1	NHK総合	受信
2	2		スキップ
3	3	NHK教育	受信
4	4	日本テレビ	受信
5	5	MXテレビ	受信
6	6	TBS	受信

▲▼で選び （決定）で設定/解除 （戻る）で前画面に戻る

（例：BS デジタル放送で放送メディアが「テレビ」の場合）

BSチャンネルスキップ設定

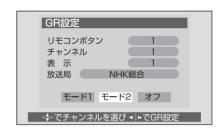
チャンネル	放送局	スキップ
BS101	NHK BS1	受信
BS102	NHK BS2	受信
BS103	NHK h	受信
BS141	BS日テレ	受信
BS142	BS日テレ	受信
BS143	BS日テレ	受信

▲▼（メディア）で選び （決定）で設定/解除 （戻る）で前画面に戻る

- 放送メディアを変えたいときは、（削除/メディア）を押します。

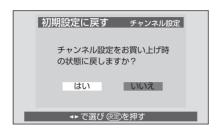
（決定）を押すごとに、［受信］と［スキップ］が入れかわります。

❖ 他のチャンネルも設定する場合は、この手順をくり返します。

3 **（終了）を押す**

GR 設定

1 **［GR 設定］画面で、ゴーストリダクションを設定するチャンネル選び、（決定）を押す**

（例：チャンネル 1 の場合）

2 **［モード 1］または［モード 2］または［オフ］を選ぶ**

［モード 2］は、［モード 1］に比べてゴーストが軽減されるまでの時間がかかりますが、ゴーストリダクション開始後に新たなゴーストが出る場合には、［モード 1］よりも軽減することができます。

❖ 他のチャンネルも設定する場合は、手順 1 ～ 2 をくり返します。

3 **（終了）を押す**

❖ ケーブルテレビチャンネルを選んだときに、「設定済み」と表示された場合、そのケーブルテレビのチャンネルはリモコンボタンに割り当てられています。▲▼ で割り当てられているリモコンボタンを選んで、GR 設定を行ってください。

初期設定に戻す

1 ［初期設定に戻す］画面で、［はい］を選び、(決定)を押す

お買い上げ時のチャンネル設定に戻ります。

2 (終了)を押す

データ放送用メモリの割り当て

データ放送用メモリの割り当て画面が表示されたときの設定方法です。

■ 個人情報とデータ放送用メモリの割り当てについて

地上デジタル放送では、放送局ごとに視聴者個人情報（例えば視聴ポイント数など）を利用したサービスが行われる場合があり、本機は、その個人情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリに記憶しています。
通常はメモリは足りていますが、例えば引っ越しをした場合などに、以前受信していた放送局の設定が残っていると、放送局の数が本機のメモリに記録できる数を超えてしまうことがあります。その場合、初期スキャンのときなどにデータ放送用メモリの割り当て画面が表示されますので、メモリを割り当てる放送局を設定してください。

注意
- メモリを割り当てなかった放送局については、個人情報がすべて消去されます。

1 データ放送用メモリの割り当て画面が表示されたら、メモリを割り当てる放送局を選び、(決定)を押す

画面の名称は、この画面が表示されたときの操作によって異なります。

初期スキャン
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。
メモリを割り当てたい放送局を9個選んでください。

	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
✓	11	テレビ埼玉	○	あり
✓	12	テレビ東京	○	あり
□	－－	－－－	○	あり
□	－－	－－－	○	あり
□	－－	－－－	○	あり

選択した放送局の数：12個
▲▼ で選び (決定)で選択／取消 ► で次へ進む

選んだ放送局にチェックマーク「✓」が付きます。もう一度(決定)を押すと、チェックマークが消えます。

❖［リモコン］の欄に 1 ～ 12 の数字が表示されている放送局は、はじめからメモリが割り当てられるように設定されています。設定を取り消すことはできません。

注意
- これ以降の手順 2 ～ 3 の操作をすると、メモリの割り当てを指定しなかった放送局の個人情報は、すべて消去されます。
  消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

2 手順 1 の操作で、メモリを割り当てる放送を 9 個指定し、▶ を押す

［リモコン］の欄に 1 ～ 12 の数字が表示されている放送局については、自動的に設定されますので、それ以外の放送局を 9 個指定します。

確認のメッセージが表示されます。

3 ［はい］を選んで(決定)を押す

初期スキャン

リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
5	MXテレビ	○	あり
6	TBS	○	あり
7	TVKテレビ	○	あり

メモリを割り当てる放送局は上記でよろしいですか？
はい　いいえ
メモリを割り当てなかった放送局に関するデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻すことができませんのでご注意ください。
▲▼ でページ切換 ◄► で選び (決定)を押す (戻る)で前画面に戻る

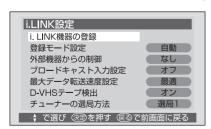
4 この操作に移る前の操作に戻る

外部機器設定

i.LINK 設定

❖ 録画実行中やライブラリ（67 ページ）でのコピー実行中は、i.LINK 設定はできません。

❖ 設定した内容は、次に i.LINK モードにしたときから反映されます。

■ i.LINK 機器の登録

通常は、本機に i.LINK 機器が接続されると自動的に登録されますので、この操作は必要ありません。この操作は、次の場合に行います。

- ［登録モード設定］（137 ページ）を［手動］にしているときに、新たな i.LINK 機器を接続した場合
- 16 台以上の i.LINK 機器を接続する場合

❖ 登録できるのは、最大 15 台です。

❖ 登録できる i.LINK 機器は、D-VHS ビデオ、HDD ビデオレコーダー、デジタルチューナー（BS、110 度 CS、地上デジタル用）などです。それ以外の機器は登録できない場合があります。

1 **［外部機器設定］画面で、［i.LINK 設定］を選び、決定を押す**

2 **［i.LINK 機器の登録］を選び、決定を押す**

［i.LINK 機器の登録］画面が表示されます。

この画面に、［未登録一覧］と表示されている場合には、i.LINK 機器の登録ができます。

i.LINK機器の登録

	種別	メーカー	型名	ビデオ1	接続状態
i.1					
i.2					
i.3					
i.4					
i.5					
i.6					
i.7					

で選び 決定を押す 青 未登録一覧

登録を変更する場合は、登録されている i.LINK 機器を削除（下記）してから、登録操作を行ってください。

3 **青●を押す**

未登録機器一覧が表示されます。

4 **登録したい機器を選び、決定を押す**

i.LINK機器の登録　未登録機器一覧

種別	メーカー	型名
D-VHS	▲▲▲	*******
D-VHS	▲▲▲	*******

で登録する機器を選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

5 **登録場所を選び、決定を押す**

i.LINK機器の登録

	種別	メーカー	型名	ビデオ1	接続状態
i.1	D-VHS	△△△	****		接続
i.2	D-VHS	△△△	****		接続
i.3					
i.4					
i.5					
i.6					
i.7					

で選び 決定を押す

❖ 他の i.LINK 機器も登録する場合は、手順 2 〜 5 をくり返します。

6 **終了を押す**

i.LINK 機器を削除するには

❖ i.LINK 機器を接続したままの状態で登録リストから削除する場合は、［登録モード設定］を［手動］にしてから削除してください。（137 ページ）

❖ 録画予約されている i.LINK 機器は削除できません。

1 **［i.LINK 機器の登録］画面で、削除したい機器を選び、決定を押す**

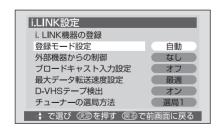
2 削除の方法を選び、(決定)を押す

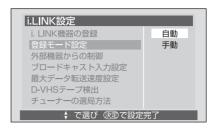
［この登録を削除する］
手順 1 で選んだ機器だけを削除します。

［すべての登録を削除する］
登録されているすべての機器を削除します。
こちらを選んだ場合は、手順 4 に進みます。

3 「この機器の登録を削除しますか？」というメッセージが表示されたら、［削除する］を選び、(決定)を押す

❖ 他の機器も削除する場合は、手順 1 ～ 3 をくり返します。

4 (終了)を押す

■ 登録モード設定

i.LINK 機器の登録を自動で行うか、手動で行うかの設定をします。
お買い上げ時には［自動］に設定されており、通常はこのままでかまいません。
複数の i.LINK 機器を接続している場合に一部の機器だけを登録したいときや、自動登録の動作が安定しないときは、［手動］に設定してください。

1 ［i.LINK 設定］画面で、［登録モード設定］を選び、(決定)を押す

2 ［自動］または［手動］を選び、(決定)を押す

［自動］
i.LINK 機器が本機に接続されると、自動的に登録します。

［手動］
自動では登録しません。［i.LINK 機器の登録］（136 ページ）で登録します。

3 (終了)を押す

■ 外部機器からの制御

i.LINK 接続されている機器から本機を制御するかどうかを設定します。お買い上げ時には［なし］に設定されています。

❖ 設定のしかたは、［登録モード設定］と同様です。

［なし］
i.LINK 機器からは、本機は制御できません。

［あり］
i.LINK 機器から本機を制御できます。

❖ ［外部機器からの制御］を［あり］に設定している場合でも、［省電力設定］の［電源待機消費電力］（116 ページ）を設定している場合、その設定時間に電源を待機にしていたときは、i.LINK ケーブルで接続している他の機器からの制御は受け付けません。

❖ ［外部機器からの制御］を［なし］に設定した場合は、本体の電源を「待機」にし、その後「入」にすると、他機器から認識できない場合があります。
［外部機器からの制御］を［なし］に設定したときに、本機の電源を「待機」から「入」にすると動作が不安定になる場合は、i.LINK ケーブルを抜き差ししてください。

初期設定(つづき)

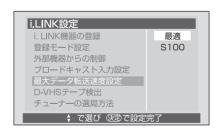
■ ブロードキャスト入力設定

ブロードキャストとは、接続している複数の i.LINK 機器に同じ信号を同時に送り、それぞれの機器でその信号を受けるようにする機能です。
ブロードキャスト操作については、63 ページをご覧ください。
お買い上げ時には［オフ］に設定されています。

❖ 設定のしかたは、［登録モード設定］と同様です。

［オン］
他の機器からのブロードキャストを受けることができます。

［オフ］
他の機器からのブロードキャストを受けられません。

❖ 接続する機器によっては、本機で［ブロードキャスト入力設定］を［オン］に設定しても、ブロードキャストを見ることができない場合があります。

■ 最大データ転送速度設定

通常は設定の必要はありません。
転送速度が 100Mbps のケーブルや機器を使用する場合は、［S100］に設定します。
お買い上げ時には［最適］に設定されています。

❖ 設定のしかたは、［登録モード設定］と同様です。

■ D-VHS テープ検出

録画予約や一発録画を使って D-VHS ビデオにデジタル録画する際、D-VHS テープが入っているかどうかを自動検出する機能です。
お買い上げ時には［オン］に設定されています。

❖ この機能を使うには、D-VHS ビデオがテープの自動検出機能を持っている必要があります。

❖ D-VHS ビデオに自動検出機能がない場合は、D-VHS テープを入れても､入っていないというメッセージが表示されることがあります。その場合は、［オフ］に設定してください。

❖ 自動検出の判定は、本機ではなく D-VHS ビデオが行います。

❖ 設定のしかたは、［登録モード設定］と同様です。

［オン］
自動検出を行います。

［オフ］
自動検出を行いません。

■ チューナーの選局方法

本機から i.LINK ケーブルで接続しているデジタル放送チューナー（地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送用）の選局操作を行う際の選局方法を設定します。
お買い上げ時には［選局 1］に設定されています。

❖ 設定のしかたは、［登録モード設定］と同様です。

［選局 1］
i.LINK 機器の操作パネルに数字ボタン（1 ～ 12）が表示されます。（71 ページ）
3 桁チャンネル番号での選局や、数字ボタンに登録しているチャンネルでの選局などができます。

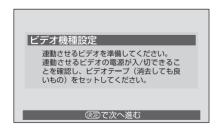
［選局 2］
i.LINK 機器の操作パネルにチャンネルボタンが表示されます。（73 ページ）
チャンネルを順送りで選ぶことができます。

ビデオ設定

付属のビデオコントローラーを使ってビデオをコントロールし、録画予約や一発録画を行う場合は、あらかじめこの設定をしておくことが必要です。［ビデオ機種設定］を行った後は、必ず［ビデオ動作確認］を行ってください。

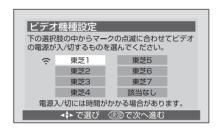
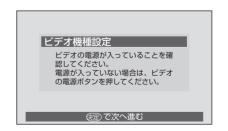
❖ ここでビデオの設定ができない場合は、本機からビデオをコントロールすることができません。ビデオ側で録画の操作が必要になります。

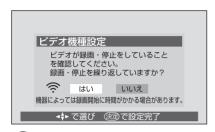
❖ DVD レコーダーは設定できません。

■ ビデオ機種設定

1 ［外部機器設定］画面で、［ビデオ設定］を選び、(決定)を押す

2 ［ビデオ機種設定］を選び、(決定)を押す

ビデオ設定
ビデオ機種設定　東芝1
ビデオ動作確認
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

3 画面の指示に従って、ビデオの準備をし、(決定)を押す

4 ビデオのメーカーを選び、(決定)を押す

❖ 該当するメーカーがない場合は、本機からビデオをコントロールすることができません。

5 リモコンの信号形式を選び、(決定)を押す

自動的に電源が入ったり切れたり（または待機状態になったり）する形式を選びます。

❖ 選んだ形式によっては、電源が切（待機）になるまで時間がかかる場合があります。（信号形式によっては、1 分ほどかかる場合もあります）

❖ 電源が入 / 切（待機）する形式がない場合は、［該当なし］を選んでください。該当する信号形式がない場合は、本機からビデオをコントロールすることができません。

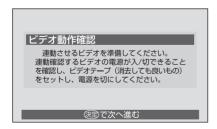
6 ビデオの電源が入っていることを確認して、(決定)を押す

次のページにつづく≫

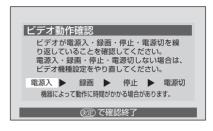
初期設定（つづき）

7 ビデオが録画と停止をくり返していることを確認し、［はい］を選んで決定を押す

決定を押すと、手順 2 の画面に戻ります。

続いて、「ビデオ動作確認」を行ってください。

- ❖ ビデオが録画と停止をくり返さない場合は、手順 5 に戻って別の信号形式を選んでください。
- ❖ どの信号形式でも録画と停止をくり返さない場合は、本機からビデオをコントロールすることができません。
  終了を押して操作を中止してください。

■ ビデオ動作確認

1 ［ビデオ設定］画面で、［ビデオ動作確認］を選び、決定を押す

2 画面の指示に従って、ビデオの準備をし、決定を押す

ビデオコントローラーからリモコン信号が送信され、ビデオが自動的に動作を開始します。

画面の表示どおりに動作することを確認してください。この動作は、手順 3 の操作をするまでくり返されます。

画面表示どおりに動作しない場合は、ビデオコントローラーの接続（11 ページ）と［ビデオ機種設定］（139 ページ）を確認してください。

- ❖ ビデオによっては、それぞれの動作にしばらく（1 分ほど）時間がかかる場合があります。
- ❖ ビデオによっては、画面表示の動作を 1 回目しか行わないことがありますが、1 回でも動作することが確認できれば、問題ありません。

3 決定を押す

手順 1 の画面に戻ります。

- ❖ ビデオの録画が続いている場合は、ビデオ側で停止の操作をしてください。

4 終了を押す

通信設定

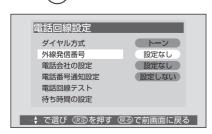
電話回線設定

「ダイヤル方式の設定」と「外線発信番号の設定」については、[はじめての設定]（21ページ）を行った場合、ここでの設定は必要ありません。

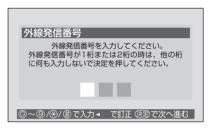
■ ダイヤル方式

1 [電話回線設定]画面で、[ダイヤル方式]を選び、(決定) を押す

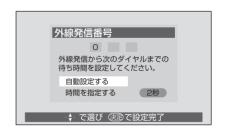
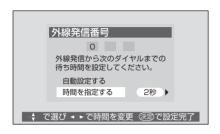
2 「はじめての設定」の「電話回線設定」(23ページ)の手順4～5を行う

3 (終了)を押す

■ 外線発信番号

電話交換機を使用していて、外部に電話をかける際に0や#などの外線発信番号を押す必要がある場合に設定します。
なお、外線発信を出した後、回線が外線に変わるまでにかかる時間を、外線発信後の待ち時間と呼びます。
お買い上げ時には［外線発信番号なし］に設定されています。

1 [電話回線設定]画面で、[外線発信番号]を選び、(決定)を押す

2 [外線発信番号あり]を選び、(決定)を押す

3 外線発信番号を入力して(決定)を押す

数字ボタンの(1)～(9)と(10)(0)、(11)(＊)、(12)(#)で入力します。

❖ 最大3桁の番号が設定できます。
❖ 1桁または2桁の番号を設定する場合は、左詰めで入力し、右に空いた桁には何も入力しないで、(決定)を押してください。
❖「110」や「118」、「119」の入力は受け付けません。

続いて、外線発信後の待ち時間を設定します。

4 [自動設定する]または[時間を指定する]を選び、(決定)を押す

通常は［自動設定する］を選びます。

次のページにつづく≫

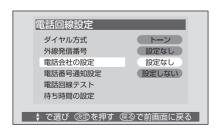
初期設定（つづき）

❖［自動設定する］にすると「電話回線テスト」（143ページ）が失敗する場合は、待ち時間を指定します。

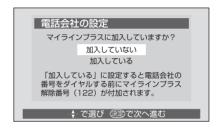
◀▶ で待ち時間（2秒〜9秒）を選んで(決定)を押してください。

❖［時間を指定する］に設定した場合は、ダイヤルトーン検出を行いません。
ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、この設定にしてください。この場合、次の判定方法では回線の接続と設定の確認はできません。

- 「ダイヤル方式の設定」（141ページ）の自動判定
- 「電話回線テスト」（143ページ）
- 「簡易確認テスト」（24ページ）の電話回線テスト

接続を確認するには、「センター接続テスト」（143ページ）を行ってください。

5 (終了)を押す

■ 電話会社の設定

マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社を使用する場合は、この設定は不要です。
それ以外に契約している電話会社を使う場合は、電話会社を指定できます。
お買い上げ時には［電話会社を設定しない］に設定されています。

1 ［電話回線設定］画面で、［電話会社の設定］を選び、(決定)を押す

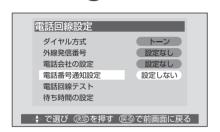
2 ［電話会社を設定する］を選び、(決定)を押す

3 ［加入していない］を選び、(決定)を押す

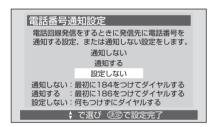
4 電話会社番号を入力して(決定)を押す

数字ボタンの①〜⑨と⑩(0)で、左詰めで入力します。

❖ 最大8桁の番号が設定できます。

❖ 電話会社番号を入力しないと、自動的に手順2の［電話会社を設定しない］に設定されます。

5 (終了)を押す

❖ マイラインプラスで登録している電話会社に選び直す場合は、手順3で必ず［加入している］を選んでください。［加入していない］を選ぶと、回線発信ができなくなります。

❖［加入している］を選んだ場合は、本機からの電話発信時にマイラインプラス解除番号（122）が自動的に付け加えられます。

■ **電話番号通知設定**

本機から電話の発信をする際に、電話番号を通信相手（センター）に通知するかどうかを設定します。お買い上げ時には［設定しない］に設定されています。

1 ［電話回線設定］画面で、［電話番号通知設定］を選び、決定を押す

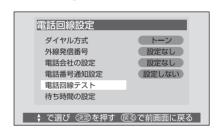
2 設定を選び、決定を押す

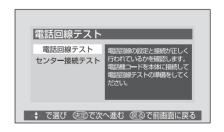
［通知しない］
最初に「184」を付けてダイヤルします。

［通知する］
最初に「186」を付けてダイヤルします。

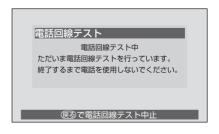
［設定しない］
何も付けずにダイヤルします。

❖［設定しない］のときは、NTT との「ナンバーディスプレイ」契約のとおりになります。

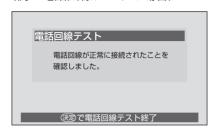
3 終了を押す

■ **電話回線テスト / センター接続テスト**

［電話回線テスト］では、以下のテストを行うことができます。

- 電話回線テスト
  電話回線の接続と設定が正しく行われているかどうかを確認します。
- センター接続テスト
  センター（本機が通信する相手）に接続できるかどうかを確認します。

注 意
- ［センター接続テスト］には、電話料金がかかります。

1 ［電話回線設定］画面、で［電話回線テスト］を選び、決定を押す

2 ［電話回線テスト］または［センター接続テスト］を選ぶ

3 電話機コードの接続を確認して、決定を押す

テストが開始されます。

（例：電話回線テストの場合）

❖ テストが終了するまでは、電話は使用しないでください。

次のページにつづく≫

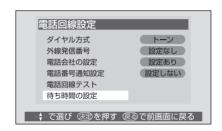
初期設定（つづき）

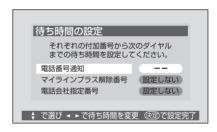
4 テストが終了したら、決定を押す

（例：電話回線テストの場合）

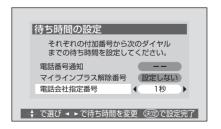
電話回線テスト結果の見かたについては、「はじめての設定」の「テスト結果について」（34 ページ）をご覧ください。

センター接続テスト結果の見かたは、次のとおりです。

センター接続テストの結果の見かた

表示	意味や対処
「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」	正しく接続されています。
「センターと通信できませんでした。」	電話回線の接続（8 ページ）や「電話回線設定」（141 ページ）を確認してください。
「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。」	しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。
「ただいまセンターと通信できません。」	しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。

5 を押す

■ 待ち時間の設定

電話回線発信の際、電話番号通知番号（184/186）やマイラインプラス解除番号（122）、電話会社番号を発信した後に、ダイヤル待ち時間（ダイヤルポーズ）が必要な場合に設定します。
お買い上げ時には、設定されていません。

1 ［電話回線設定］画面で、［待ち時間の設定］を選び、決定を押す

2 設定する項目を選ぶ

❖ ［－－］が表示されている項目は設定できません。［－－］になるのは、次の場合です。

- ［電話番号通知設定］（143 ページ）を［設定しない］にした場合
- ［電話会社の設定］（142 ページ）で、［電話会社を設定しない］に設定した場合や、マイラインプラスに［加入していない］に設定した場合

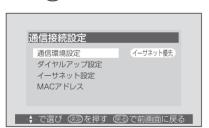
3 ダイヤル待ち時間を設定し、決定を押す

1 秒～ 9 秒で設定します。

❖ 他の項目も設定する場合は、手順 2 ～ 3 をくり返します。

4 を押す

通信接続設定

地上デジタル放送の双方向通信サービスなどをダイヤルアップ通信またはイーサネット通信で行うための設定です。（双方向通信サービスについては、36 ページをご覧ください）
なお、これらの通信を使用するには、あらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約が必要です。

- 「ダイヤルアップ通信」は、本機の電話回線端子を使った通信です。接続については、「電話回線を接続する」（8 ページ）をご覧ください。
- 「イーサネット通信」は、本機の Ether 端子を使った通信です。ダイヤルアップ通信と区別するために「イーサネット通信」と呼びます。接続については、「ネットワークに接続する」（10 ページ）をご覧ください。

はじめにご利用の通信方式を設定し、それぞれ（「ダイヤルアップ」、「イーサーネット」）の環境を設定します。

■ 通信環境設定

ご利用のインターネット接続環境に応じて、ダイヤルアップ通信とイーサネット通信を選びます。
お買い上げ時には［イーサネット優先］に設定されています。

1 ［通信接続設定］画面で、［通信環境設定］を選び、(決定)を押す

2 通信方式を選び、(決定)を押す

［ダイヤルアップ］

ダイヤルアップのみで契約し、接続・設定している場合に選びます。

［イーサネット］

ADSL などブロードバンドのみで契約し、接続・設定している場合に選びます。

［イーサネット優先］

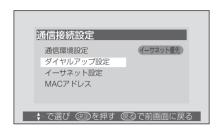
イーサネット通信を優先します。ただし、データ放送で、ダイヤルアップを指定する特殊なコンテンツを利用する場合には、自動的にダイヤルアップ接続に切り換えます。

電話回線を接続していない、または［ダイヤルアップ設定］（145 ページ）が設定されていない場合は、ダイヤルアップでの通信は行われません。

3 (終了)を押す

❖ 通常は、［イーサネット優先］にしてください。
［ダイヤルアップ］にすると、イーサネット通信を指定しているデータ放送、ブックマーク、登録発呼などは行えません。
［イーサネット］にすると、ダイヤルアップ通信を指定しているデータ放送、ブックマーク、登録発呼などは行えません。

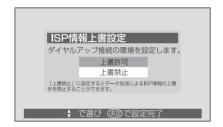
❖ ［イーサネット優先］にした場合、何らかの原因（例えば ADSL モデムの故障など）でイーサネット通信ができないときには、ダイヤルアップ通信もできなくなる場合があります。

❖ 実際に接続・設定している環境と異なる項目を選ぶと、正常に動作しません。

■ ダイヤルアップ設定

ISP 情報上書設定

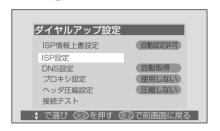
地上デジタル放送の双方向通信サービスの場合、番組によっては、プロバイダの設定情報（ISP 情報）を上書きすることがあります。本機では、必要に応じて上書きを許可または禁止できます。
お買い上げ時には［上書許可］に設定されています。

次のページにつづく≫

初期設定（つづき）

1 ［通信接続設定］画面で、［ダイヤルアップ設定］を選び、決定を押す

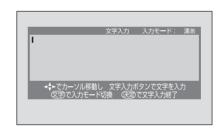
2 ［ISP 情報上書設定］を選び、決定を押す

3 ［上書許可］または［上書禁止］を選んで決定を押す

❖［上書許可］に設定して、ISP 設定（次項）をまだ設定していない場合は、データ放送によって設定内容が上書きされます。

4 終了を押す

ISP 設定

契約したプロバイダからの資料をもとに、プロバイダの設定を手動で行う場合の設定です。

❖ 電話回線設定の［外線発信番号］の設定（141 ページ）で設定した外線発信番号や［電話会社の設定］（142 ページ）で設定した電話会社番号は、アクセスポイント番号の前に自動的に反映されます。

1 「ダイヤルアップ設定」画面で、［ISP 設定］を選び、決定を押す

2 ［ISP 名］を選び、決定を押す

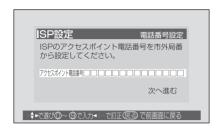
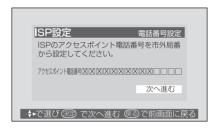
3 文字入力画面（169 ページ）で ISP 名を入力する

ISP 名に記号を使う場合は、次の記号を使ってください。

全角記号

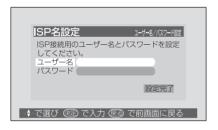
、。・ー —「」

半角記号

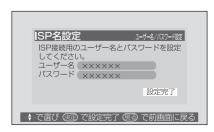
!"#%&()*+,-.:;<=>@[\]^{}~?_/

4 ［次へ進む］を選び、決定を押す

［電話番号設定］画面になります。

5 ［アクセスポイント番号］を選び、アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する

❖ 最初の数字が「0」でない場合は、エラーとなります。

6 ［次へ進む］を選び、決定を押す

［ユーザー名 / パスワード設定］画面になります。

7 ［ユーザー名］を選び、決定を押す

8 文字入力画面でユーザー名とパスワードを入力する

入力可能な文字は、半角英字、半角数字と、次の半角記号です。

!"#%&()*+,-.:;<=>@[\]^{}~?_/

9 ［設定完了］を選び、決定を押す

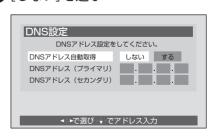
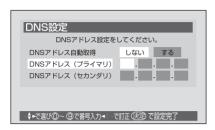
設定が完了し、［ダイヤルアップ設定］画面に戻ります。

10 終了を押す

DNS 設定

ドメイン名（xxx.co.jp など）を IP アドレスに置き換える機能を持つ DNS サーバを設定します。
本機では自動的に取得されます。
［イーサネット設定］でも同じ設定（150 ページ）がありますが、それぞれ別に記憶されます。
自動で取得できない場合は手動で設定します。

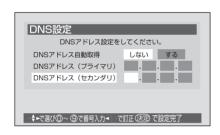
1 「ダイヤルアップ設定」画面で、［DNS 設定］を選び、決定を押す

2 DNS アドレスを自動で取得する場合は、［する］を選ぶ

DNS アドレスが表示されます。

手順 3 に進みます。

DNS アドレスが自動で取得できない場合は、次の手順で手動設定してください。

❶ ［しない］を選ぶ

次のページにつづく≫

初期設定(つづき)

❷ [DNS アドレス(プライマリ)]を選び、DNS アドレス(プライマリ)を入力する

最大 3 桁を一組として、4 箇所入力してください。一組が 2 桁以下の場合は、2 桁を入力後 ▶ を押して次の組へ移動してください。

❖ プロバイダからの資料を確認して、正しく入力してください。

❸ 同様に[DNS アドレス(セカンダリ)]を入力する

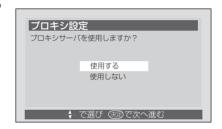
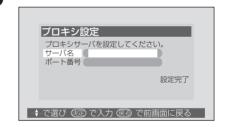
プロバイダによっては、入力が不要な場合もあります。

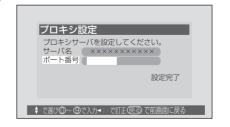
3 (決定)を押す

設定が完了し、[ダイヤルアップ設定]画面に戻ります。

4 (終了)を押す

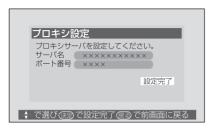
プロキシ設定

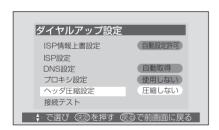
プロキシ(代理)サーバを経由してインターネットに接続する場合に設定します。
ここでのプロキシ設定は、HTTP に関するものです。
[イーサネット設定]でも同じ設定(150 ページ)がありますが、それぞれ別に記憶されます。

❖ プロバイダから指定がある場合にだけ、設定してください。

1 [ダイヤルアップ設定]画面で、[プロキシ設定]を選び、(決定)を押す

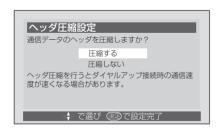
2 [使用する]を選び、(決定)を押す

3 [サーバ名]を選び、(決定)を押す

4 文字入力画面(169 ページ)でサーバ名を入力する

入力可能な文字は、半角英字、半角数字と、次の半角記号です。

!"#%&()*+,-.:;<=>@[\]^{}~?_/

5 [ポート番号]を選び、ポート番号を入力する

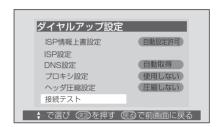
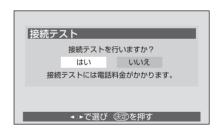
6 ［設定完了］を選び、(決定)を押す

設定が完了し、［ダイヤルアップ設定］画面に戻ります。

7 (終了)を押す

ヘッダ圧縮設定

ヘッダ圧縮を行うと、ダイヤルアップ通信の速度が速くなる場合があります。状況に応じて設定してください。

1 ［ダイヤルアップ設定］画面で、［ヘッダ圧縮設定］を選び、(決定)を押す

2 ［圧縮する］または［圧縮しない］を選び、(決定)を押す

設定が完了し、［ダイヤルアップ設定］画面に戻ります。

3 (終了)を押す

接続テスト

契約しているプロバイダのサーバに接続して、ダイヤルアップ設定が正しく設定されているかどうかテストすることができます。

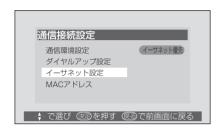
注意
- ［接続テスト］には、電話料金がかかる場合があります。

1 ［ダイヤルアップ設定］画面で［接続テスト］を選び、(決定)を押す

2 ［はい］を選び、(決定)を押す

接続テストが開始されます。

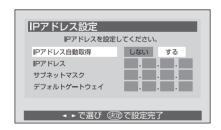
3 接続テストが終了したら、(終了)を押す

接続テストの結果の見かた

表示	意味や対処
「接続を確認しました。」	正しく接続されています。
「ただいま回線がこみあっているため接続できません。」	しばらくしてから、もう一度接続テストを行ってください。
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」	電話回線の接続（8ページ）や［電話回線設定］（141ページ）を確認してください。
「接続できませんでした。通信設定をご確認ください。」	電話回線の接続（8ページ）や［電話回線設定］（141ページ）を確認してください。
「認証エラーのため接続できませんでした。」	電話回線の接続（8ページ）や［電話回線設定］（141ページ）、［ダイヤルアップ設定］（145ページ）を確認してください。

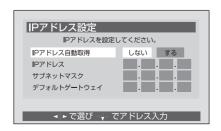
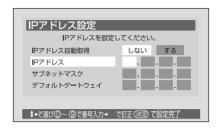
初期設定(つづき)

■ イーサネット設定

IP アドレス設定

インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

1 **[通信接続設定]画面で、[イーサネット設定]を選び、(決定)を押す**

2 **[IP アドレス設定]を選び、(決定)を押す**

3 **IP アドレスを自動で取得する場合は、[する]を選ぶ**

[する]に設定すると、IP アドレスは、DHCP サーバから自動的に本機に割り当てられます。

手順 4 に進みます。

IP アドレスが自動で取得できない場合は、次の手順で手動設定してください。

❶ [しない] を選ぶ

❷ [IP アドレス]を選び、IP アドレスを入力する

最大 3 桁を一組として、4 箇所入力してください。一組が 2 桁以下の場合は、2 桁を入力後 ▶ を押して次の組へ移動してください。

❸ 同様に[サブネットマスク]と[デフォルトゲートウェイ]を入力する

4 **(決定)を押す**

設定が完了し、[通信接続設定] 画面に戻ります。

5 **本機の電源を切り、電源コードを一度抜いて、差し直す**

設定が有効になります。

IP アドレス設定について

ルーターの DHCP 機能が ON になっているか OFF になっているかで、IP アドレスの設定のしかたが異なります。

- 本機に接続されたルーターの DHCP 機能が ON のとき

  「自動取得」が [する] / [しない] のどちらでも設定できます。
  通常は [する] に設定してください。[しない] に設定した場合は、手動での設定になります。

- 本機に接続されたルーターの DHCP 機能が OFF のとき

  「自動取得」を [しない] にして、手動で設定してください。

❖ 手動で設定する場合は、他の接続機器と IP アドレスが重複しないように設定してください。また、設定する固定 IP アドレスは、プライベートアドレスでなければなりません。

❖ 設定終了後、本機に設定された IP アドレスとルーターのローカル側に設定された IP アドレスのネットワーク部が、同じであることを確認してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

設定例

ルーターのローカル IP アドレス	本機に設定した IP アドレス
xxx.xxx.x. 1	xxx.xxx.x. 11
xxx.xxx.xxx. 0	xxx.xxx.xxx. 0
サブネットマスク	サブネットマスク

網掛け部分が同じ設定になっていることを確認します。

DNS 設定

ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバを設定します。
［ダイヤルアップ設定］でも同じ設定（145 ページ）がありますが、それぞれ別に記憶されます。

1 ［イーサネット設定］画面で、［DNS 設定］を選び、(決定)を押す

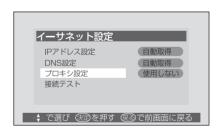
2 147 ページ「DNS 設定」の手順 2 ～ 3 を行う

3 本機の電源を切り、電源コードを一度抜いて、差し直す

設定が有効になります。

DNS 設定について
ルーターの DHCP 機能が ON になっているか、OFF になっているかで、DNS 設定のしかたが異なります。（ルーターに設定されている DNS サーバ、プロキシサーバの設定が正しいことが前提です）

- 本機に接続されたルーターの DHCP 機能が ON のとき
  DNS アドレスの「自動取得」が［する］/［しない］のどちらでも設定できます。
  通常は［する］に設定してください。［しない］に設定した場合は手動での設定になります。
  また、［プロキシ設定］を［使用しない］に設定します。

- 本機に接続されたルーターの DHCP 機能が OFF のとき
  DNS アドレスの「自動取得」を［しない］にして、プロバイダから指定されたものを手動で設定してください。（プロバイダにより設定方法が異なります。プロバイダの契約内容に従って設定してください）

プロキシ設定

プロキシ（代理）サーバを経由してインターネットに接続する場合に設定します。
ここでのプロキシ設定は、HTTP に関するものです。
［ダイヤルアップ設定］でも同じ設定（145 ページ）がありますが、それぞれ別に記憶されます。

❖ プロバイダから指定がある場合にだけ、設定してください。

1 ［イーサネット設定］画面で、［プロキシ設定］を選び、(決定)を押す

2 148 ページ「プロキシ設定」の手順 2 ～ 6 を行う

3 本機の電源を切り、電源コードを一度抜いて、差し直す

設定が有効になります。

初期設定(つづき)

接続テスト

イーサネット設定が正しく設定されているかどうかテストすることができます。

注意

- ISDN 回線を利用している場合などは、電話料金がかかることがあります。

1 **[イーサネット設定]画面で、[接続テスト]を選び、(決定)を押す**

接続テストが開始されます。

2 **接続テストが終了したら、(終了)を押す**

接続テストの結果の見かた

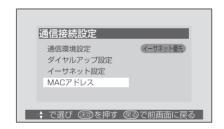
表示	意味や対処
「接続を確認しました。」	正しく設定されています。
「接続できませんでした。通信設定をご確認ください。」	ネットワーク機器の接続(10 ページ)や「イーサネット設定」(150 ページ)を確認してください。
「接続できませんでした。LAN ケーブルの接続をご確認ください。」	イーサネットの各設定を有効にするには、必ず、設定後に本機の電源を切り、電源コードを一度抜いて、差し直してください。

接続テストの結果、正しく通信できなかったときは、次の 2 点を確認してください。

- [イーサネット設定] を確認する
  IP アドレス設定(150 ページ)が正しく設定されているかどうかを確認してください。
  ルーターの設定内容に関しては、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワーク環境を確認する
  次の手順で、本機と同一ネットワーク上に接続されたコンピュータからインターネットへ接続できるかどうかを確認してください。

  ❶ **コンピュータのインターネットブラウザ(Internet Explorer など)を起動する**

  ❷ **URL 欄に「http://www.eizo.co.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する**
  ページが正しく表示されない場合は、接続されているコンピュータやルーターが正しく設定されているかどうかを確認してください。

コンピュータやルーターが正しく設定されていてページが正しく表示されない場合は、本機の問題ではない可能性があります。

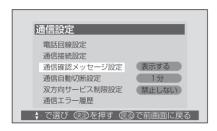
■ MAC アドレス確認

イーサネット回線などの配線上につながっている機器を識別するために、本機に割り当てられている番号を確認します。

1 **[通信接続設定]画面で、[MAC アドレス]を選び、(決定)を押す**

2 **MAC アドレスを確認して、(決定)を押す**

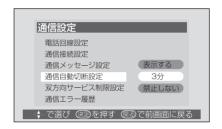
「通信接続設定」画面に戻ります。

3 **(終了)を押す**

通信確認メッセージ設定

1 **［通信設定］画面で、［通信確認メッセージ設定］を選び、(決定)を押す**

2 **［表示する］または［表示しない］を選び、(決定)を押す**

3 **(終了)を押す**

❖［通信確認メッセージ設定］を［表示する］に設定した場合、電話回線の接続や切断時に、次のようなメッセージ画面が表示されます。

例：接続時の画面

❖ 次の場合は、［表示する］に設定されていてもメッセージは表示されません。

- ［通信自動切断設定］（右段）で設定した時間になったとき
- メニューからの接続テストの実行時（152 ページ）
- 番組購入情報の送信時（47 ページ）
- ［ブックマーク］（38 ページ）や［登録発呼］（39 ページ）が行われたとき
- データ放送のダイヤルアップ以外の通信時

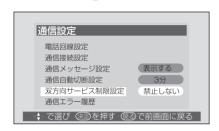
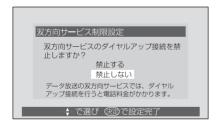
通信自動切断設定

1 **［通信設定］画面で、［通信自動切断設定］を選び、(決定)を押す**

2 **切断時間を選び、(決定)を押す**

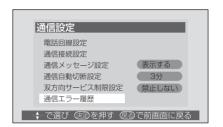
1 ～ 20 分の間で設定できます。

3 **(終了)を押す**

初期設定（つづき）

双方向サービス制限設定

❖「双方向サービス制限設定」を設定するには、あらかじめ暗証番号を設定（111 ページ）しておく必要があります。

1 **[通信設定] 画面で、[双方向サービス制限設定] を選び、(決定)を押す**

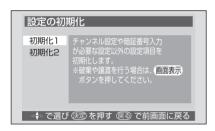
2 **暗証番号を入力する**

3 **[禁止する] または [禁止しない] を選び、(決定)を押す**

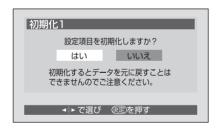
4 **(終了)を押す**

通信エラー履歴

1 **[通信設定] 画面で、[通信エラー履歴] を選び、(決定)を押す**

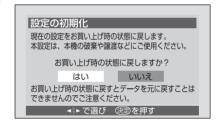
2 **通信エラー履歴を確認して(決定)を押す**

3 **(終了)を押す**

設定の初期化

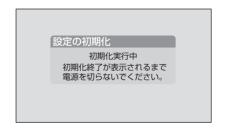
❖ PC の入力設定（音声レベルを除く）を初期化することはできません。

初期化 1/ 初期化 2

注意
- 初期化を行うと、初期化前の設定に戻すことはできません。

1 **[設定の初期化] 画面で、[初期化 1] または [初期化 2] を選び、決定を押す**

2 **[はい] を選び、決定を押す**

初期化が開始されます。

3 **「設定の初期化終了」というメッセージが表示されたら決定を押す**

4 **終了を押す**

すべての初期化

注意
- 初期化を行うと、初期化前の設定に戻すことはできません。
- ［すべての初期化］では、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、双方向サービス制限設定、データ放送などでの個人情報（視聴ポイント数など）についてもすべて初期化されます。本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にのみ行ってください。

1 **[設定の初期化] 画面で、画面表示を押す**

❖ 暗証番号の入力画面が表示された場合は、暗証番号を入力します。

2 **[はい] を選び、決定を押す**

初期化が開始されます。

初期化にはしばらく時間がかかることがあります。

初期化中は、次の画面が表示されます。

3 **「お買い上げ時の状態に戻りました。」というメッセージが表示されたら決定を押す**

4 **終了を押す**

トラブル時の対処

修理をご依頼になる前に、もう一度次の項目を確認してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

全般

症状	原因や対処
本体の電源ボタンで電源が入らない	電源コードがコンセントや電源コネクタから外れていませんか？ ➔ 電源コードの接続を確認してください。（19 ページ）
リモコンの電源ボタンで電源が入らない / リモコン操作ができない	リモコン受光部に向けていますか？ ➔ 本体にあるリモコン受光部に向けて電源ボタンを押してください。（4 ページ） リモコン受光部との間に障害物がありませんか？ 乾電池が消耗していませんか？ 乾電池を入れる方向が間違っていませんか？ ➔ 乾電池を確認してください。（4 ページ）
地上アナログ放送が映らない	アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。（6 ページ） チャンネルは設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。（127 ページ） ビデオやコンポーネント、HDMI、PC、i.LINK が選ばれていませんか？ ➔ 映像入力を確認してください。（58 ページ）
地上アナログ放送の映りが悪い	アンテナが劣化していませんか？ ➔ アンテナを確認してください。 アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。（6 ページ）
ケーブルテレビが映らない	受信契約はお済みですか？　受信契約とケーブル引込工事がされていないと、ケーブルテレビの視聴はできません。 チャンネルは設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。（127 ページ） 契約されているチャンネルですか？　スクランブルのかかっているチャンネルは、契約されていないと視聴できません。
映像が乱れる	近くで携帯電話を使っていませんか？ ➔ 携帯電話の使用場所や備え付け場所を変えてみてください。 映像信号ケーブルが断線しかかっていませんか？ ➔ ケーブルの状態を確認してみてください。ケーブルを触ったり振ったりしたときに映像が乱れる場合は、ケーブルが断線していることがあります。
画面にはん点が出る	自動車やオートバイ、電車、高圧線、ドライヤー、蛍光灯などが発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 設置場所を変えてみてください。
画面にしま模様が出たり、色が消えたりする	他のテレビやコンピュータ、AV 機器、電子レンジなどの電子機器が発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 本機や電子機器の設置場所を変えてみてください。
チャンネルや映像入力を切り換えたときに一瞬画面が黒くなる	チャンネルや映像入力を切り換えるときに発生する画像の乱れを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。故障ではありません。

症状	原因や対処
音が出ない	ヘッドフォンがヘッドフォン端子に接続されていませんか？ 消音にしていませんか？ 音量が最小になっていませんか？ ➔ 音量を確認してください。（20 ページ）
接続した機器の映像や音声が出ない	機器は正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。（11 ページ） ビデオ入力 1、ビデオ入力 2 では、映像入力端子に入力される信号を表示する場合、S 映像入力端子と映像入力端子の両方に接続すると、S 映像端子が優先して表示されます。 機器を接続した映像入力を選んでいますか？ ➔ 映像入力を確認してください。（58 ページ） 接続した機器は正常に動作していますか？ ➔ 機器の動作を確認してください。
AV 機器の早送りや早戻し、静止などの特殊再生で映像が乱れる	ハイビジョン対応以外のビデオや、TBC（タイムベースコレクタ）が装備されていない機器を接続したときに、症状が発生する場合があります。
映像入力を切り換えると音量が変わる（映像入力によって音量に差がある）/ 接続した DVD などからテレビ放送に切り換えると大音量になる	テレビ放送や外部機器（DVD など）によっては、平均的な音声レベルが異なるために、音量が変化します。 ➔ 音声レベルの設定を確認してください。（102、106、108 ページ）
リモコンで映像モード / 音声モードが選べない	次の機能を使っていませんか？　その場合は映像モード / 音声モードは選べません。 • 画面静止 • 2 画面表示 • デジタルカメラの画像表示 • 番組表 • ジャンル検索 • i.LINK のライブラリ
メニュー / 設定メニューで項目が選べない	映像入力によっては、操作できない設定項目は選べないようになっています。
画面サイズが切り換えられない	次の機能を使っていませんか？　その場合は画面サイズは切り換えられません。 • 画面静止 • 2 画面表示 • デジタルカメラの画像表示 • 番組表 • ジャンル検索 • i.LINK のライブラリ 次の信号を受信または入力していませんか？　その場合は「フルサイズ」に画面が固定され、画面サイズは切り換えられません。 • デジタル放送で 16:9 の信号を受信している • ビデオ 3、ビデオ 4、コンポーネント、HDMI で 1125i（1080i）、750p（720p）の信号を入力している

トラブル時の対処(つづき)

症状	原因や対処
画面静止ができない	次の機能を使っていませんか？　その場合は画面静止できません。 ● デジタルカメラの画像表示 映像入力がコンポーネント、HDMI、PC、i.LINK ではありませんか？その場合は画面静止できません。
光デジタル音声出力端子に接続した機器から音声が出ない	光デジタルケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。(17 ページ) 光デジタルケーブルを折り曲げていませんか？　光デジタルケーブルを折り曲げると破損することがあります。 ➔ ケーブルを確認してください。 映像入力が地上アナログ、コンポーネント、HDMI、PC ではありませんか？　その場合は光デジタル音声出力端子から音声は出ません。 接続した機器の対応フォーマットを確認してください。本機が出力するサンプリング周波数は、PCM の場合、48kHz または 32kHz です。
突然電源が切れた	オフタイマー機能を使っていませんか？ 設定メニューで省電力機能を設定していませんか？ ➔ 設定メニューを確認してください。(116 ページ)
テレビ上部や液晶パネル面が熱くなる	テレビ上部や液晶パネル面が熱くなりますが、故障ではありません。また、性能、品質には問題ありません。
画面が変わっても、変わる前に表示されていた画像の残像が表示される	静止画状態が続くと、画面を切り換えたときに静止していた画像が残像となって見える場合がありますが、しばらくすると消えていきます。液晶パネルの特性であり故障ではありません。
電源コードを抜いても、電源ランプが消えない	本機の待機状態（電源ボタンで電源を切った状態）から電源コードを抜いたときには、数秒～数十秒電源ランプが点灯したままとなります。その後、電源ランプは消灯しますので故障ではありません。

デジタル放送

■ デジタル放送全般

症状	原因や対処
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	多少の時間がかかる場合があります。特に、電源コードを抜き差ししたときは、しばらく時間がかかります。
デジタル放送だけが映らない / 映りが悪い	電波の種類（地上デジタル、BS、110 度 CS）に適合したアンテナを使用していますか？ 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか？ アンテナをさえぎる障害物はありませんか？ BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のアンテナを直接接続している場合、設定メニューの［アンテナ電源供給］が［供給しない］になっていませんか？ アンテナ線は外れていませんか？ アンテナの方向は正しいですか？ アンテナ線がショートしていませんか？ ➔ 設定メニューの［BS・110 度 CS アンテナレベル］（124 ページ）を確認してください。 B-CAS カードは正しく装着されていますか？（4 ページ） 積雪や豪雨、雷などで電波が弱くなっていませんか？　または降雨対応放送にしていませんか？　降雨対応放送の場合、映像の品質は通常の場合に比べて悪くなります。
デジタル放送のチャンネルが変えられない	録画予約や一発録画による録画の実行中ではありませんか？
ビデオコントローラーを使ってデジタル放送の予約録画ができない	ビデオの入力切換を正しく設定していますか？ ビデオの電源を「切」（待機）にしていましたか？ ビデオ本体での予約設定が行われていて、予約待機状態になっていたり、予約が実行されていませんでしたか？ ビデオ機種設定が正しく行われていますか？（139 ページ） ビデオコントローラーは正しく接続・設置されていますか？（11 ページ） ビデオによっては、電源が入ってから録画が開始されるまでしばらく時間がかかる場合があります。 ビデオテープの録画防止用のツメは折れていませんか？
未読の「お知らせ」がなくなっている	「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は削除されることがあります。（49 ページ） ［ボード］には、そのとき受信したものしか表示されません。 ［設定の初期化］をしませんでしたか？（155 ページ）
光デジタル音声が出ない	［光デジタル音声出力］の設定は、接続する機器に合わせて正しく設定されていますか？（102 ページ）

トラブル時の対処(つづき)

■ デジタル放送全般(つづき)

症状	原因や対処
有料放送が視聴できない	B-CAS カードは正しく挿入されていますか？(4 ページ) 有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ 電話回線の接続や設定は正しいですか？(8、141 ページ)
「放送局からのお知らせ」が見られない	B-CAS カードは正しく挿入されていますか？(4 ページ)
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルなどを使用していませんか？ 携帯電話など、本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。デジタル放送に対応したケーブルなどを使用してください。 ［CATV パススルーモード設定］は正しいですか？(126 ページ)
引越しをしたら、データ放送や字幕が表示されなくなった	データ放送用の地域設定は正しいですか？ ➔「郵便番号と地域の設定」(114 ページ)を行ってください。

■ 地上デジタル放送の受信や予約など

症状	原因や対処
地上デジタル放送がまったく受信できない / 地上デジタルの番組表、チャンネル一覧などが表示されない / 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に変わらない	放送は行われていますか？ ➔ 地上デジタル放送が行われているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？ アンテナの方向は正しいですか？ ➔ アンテナレベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。(124 ページ) B-CAS カードは正しく挿入されていますか？(4 ページ) 初期スキャンを行いましたか？(128 ページ) 受信できるチャンネルについては、「チャンネル一覧」(30 ページ)で確認してください。 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタル放送に対応(パススルー方式)になっていますか？ ➔ ケーブルテレビの場合はご契約のケーブルテレビ会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	放送は行われていますか？ ➔ 上記項目の方法で確認してください。
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	県外に引越した場合は初期スキャン(128 ページ)、県内で引越した場合は再スキャン(129 ページ)を行ってください ➔ 上記の「地上デジタル放送がまったく受信できない」も確認してください。
複数台のテレビで、数字ボタンのチャンネルまたは枝番(31 ページ)が異なっている	初期スキャンなどを行った時間が異なる場合は、同じにならない場合があります。本機を複数台お使いの場合は、初期スキャン(128 ページ)を同時に行ってください。 異なるメーカーのテレビでは、同じにならない場合があります。

■ 地上デジタル放送の受信や予約など（つづき）

症状	原因や対処
［地上 D アンテナレベル］画面では受信できるチャンネルが、それ以外のときには受信できない	再スキャンを行ってください。（129 ページ）
数字ボタンに設定してあった放送局が、別の放送局に変わった / 以前選局できた放送がなくなっている	放送変更があった場合、放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 ➔「本機に関するお知らせ」（49 ページ）を確認してください。
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	初期スキャンを行ってください。（128 ページ）
チャンネルボタンでの選局時やお気に入り選局での設定時に、同じ 3 桁チャンネル番号のチャンネルが複数選局される	枝番（31 ページ）で区別されているチャンネルではありませんか ? 枝番があれば正常な動作です。 ➔「チャンネル一覧」（30 ページ）で枝番の有無を確認してください。
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	初期スキャン（128 ページ）を行いませんでしたか ? 再スキャン（129 ページ）で［設定内容をリセットする］を選びませんでしたか ?
番組表などを表示させても、番組名などが表示されなかったり、実際の内容と違っていたりする場合が多い	毎日 2 時間以上本機の電源を待機状態にしてください。（xiii ページ） 黄 ◯を押して、情報を取得してください。 情報の取得には、時間がかかる場合があります。
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、［放送時間変更］を［連動する］に設定していたのに、連動して録画が行われなかった	本機は、放送時間の繰上げには対応していません。

トラブル時の対処(つづき)

■ 通信、双方向通信、通信設定など

症状	原因や対処
ダイヤルアップ通信ができない	電話回線は正しく接続されていますか？ ［通信環境設定］は、［ダイヤルアップ］に設定されていますか？（145 ページ） ［ダイヤルアップ設定］（145 ページ）は正しく行われていますか？ ［接続テスト］（149 ページ）で、正しく通信できましたか？
イーサネット通信ができない / Ether 端子を使った双方向サービスができない	Ether 端子は正しく接続されていますか？（10 ページ） ［通信環境設定］は、［イーサネット］または［イーサネット優先］に設定されていますか？（145 ページ） ［イーサネット設定］は正しく行われていますか？（150 ページ） ［接続テスト］（152 ページ）で、正しく通信できましたか？
通信速度が遅い、不安定	接続ケーブルが長すぎると、通信速度が遅くなる場合があります。 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。（データ量が多い場合など） イーサネット通信の場合、通信環境によるもの（ADSL の場合は局から遠いなど）ではありませんか？ 回線が混んでいるためではありませんか？
ダイヤルアップ通信がすぐに切断される	［通信自動切断設定］（153 ページ）が設定されていませんか？ また、設定時間が短くはありませんか？
通信が勝手に切れてしまう	［通信自動切断設定］（153 ページ）が設定されていませんか？ また、設定時間が短くはありませんか？ ［通信確認メッセージ設定］（153 ページ）を行うと、通信切断前に確認画面を表示させることができます。

HDMI 入力時

症状	原因や対処
次のような画面が表示される	
HDMI 信号エラー	入力されている信号が本機の仕様に対応していないことを示す表示です。 HDMI 対応機器の取扱説明書を参照し、デジタル信号のフォーマットを確認してください。
音が出ない	［音声入力端子］（106 ページ）は正しく設定されていますか？ （HDMI ケーブルのみで接続しているときに、アナログ音声入力端子が選択されていませんか？）

PC 入力時

症状	原因や対処
次のような画面が表示される	
PC 信号エラー fH: 0.0kHz fV: 0.0 Hz	コンピュータの電源が入っているか確認してください。
PC 信号エラー fH: xx.xkHz fV: xx.x Hz	入力されている信号が周波数仕様の範囲外であることを示す表示です。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
画面がずれている	［自動画面調整］（107 ページ）で調整してみてください。 それでも症状が解消されない場合は、［画面位置］（107 ページ）で調整してみてください。
画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	［自動画面調整］（107 ページ）で調整してみてください。 それでも症状が解消されない場合は、［クロック］（107 ページ）で調整してみてください。
画面全体がちらつく、にじんでいるように見える	［自動画面調整］（107 ページ）で調整してみてください。 それでも症状が解消されない場合は、［フェーズ］（107 ページ）で調整してみてください。

メッセージ一覧

全般

代表的なエラーメッセージを説明します。(静止画などの場合は一部省略される場合があります)

メッセージ	原因	対処など
「受信できません。コード：E202」	● 適合したアンテナでないため。 ● 雨や雷などの気象条件により一時的に受信できない。 ● アンテナ線が外れたり、切れたりしている。 ● アンテナの設定値が合ってない。 ● アンテナの方向ずれや故障。	● 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 ● アンテナの接続や設定が合っているかどうか確認してください。 ● アンテナ線を確認してください。 ● アンテナの方向を確認してください。 選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示されることがあります。
「このチャンネルはご覧になれません。コード：E210」	● 部分受信サービスを選局したため。	● 本機が対応していないため、受信できません。
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	● 気象条件などにより信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	● 降雨対応放送に切り換えることができます。(168 ページ)
「現在放送されていません。コード：E203」	● 選局したチャンネルでの放送が休止中。 ● 放送時間が終了している。	● 番組表などで放送時間を確認してください。 ● 放送中のチャンネルを選局してください。 ● 雨や雷などの気象条件により、一時的に受信できない場合も表示されることがあります。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	● 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 ● ホテル客など特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	● 通常の放送チャンネルを選局してください。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	● 選局した有料の放送事業者またはチャンネルが未契約の場合。	● 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
「表示するチャンネルがありません。」	● 番組表または番組チェックで、表示するチャンネルがまったくないため。	● 放送切換ボタンやメディアボタンで表示できるチャンネルを選んでください。
「B-CAS カードが正しく挿入されていません。B-CAS カードをご確認ください。」	● B-CAS カードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	● カードを抜き差ししてください。 ● B-CAS カードの装着を確認してください。
「B-CAS カードの交換が必要です。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400 または 6581」	● B-CAS カードが故障している、または交換の必要がある。	● カードを抜き差ししてください。 ● それでも正常にならない場合は、B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
「この B-CAS カードはご使用になれません。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。コード：A104 または A105 または A106 または A107」	● B-CAS カードが登録されていない。	● B-CAS カードの登録を行ってください。 B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
「この IC カードはご使用になれません。使用可能な B-CAS カードを挿入してください。」	● 付属の B-CAS カード以外のカードを挿入している。	● 付属の B-CAS カードを挿入してください。

全般(つづき)

メッセージ	原因	対処など
「この IC カードはご使用になれません。使用可能なカードを挿入してください。コード：EC01」	● この IC カードは無効です。	● 付属の B-CAS カードを挿入してください。
「この B-CAS カードはご使用になれません。コード：A1FF または A102」	● 使用できない B-CAS カードを挿入している。	● 付属の B-CAS カードを挿入してください。
「B-CAS カードが故障しています。」	● B-CAS カードの故障、または交換が必要な場合。	● B-CAS カードの交換は、B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。
「この番組には視聴制限があります。」	● 設定されている視聴年齢を超えた番組を選局した。 ● 設定した購入限度額よりも高い料金の番組を選局した。	● ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。(111 ページ)
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903 または 8503 または 8303」	● 選んだチャンネル(番組)の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	● 詳しくは、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
「番組購入情報がいっぱいのため、新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、カスタマーセンターへご連絡ください。コード：8109」	● B-CAS カード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリがいっぱいになっている。	●「番組購入情報の送信」を行ってください。(47 ページ)
「購入受付時刻を過ぎたためご覧になれません。コード：8108」	● ペイ・パー・ビューの購入可能時間が終了したため。	● 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。その場合は、それ以降は購入できません。 ● 別の時間帯でも放送していて購入できる場合があります。詳しくは、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターに確認してください。
「データが受信できません。コード：E400」	● データ放送の情報が取得できない場合。	● 選局し直してください。
「データを表示できません。コード：E401」	● 本機では対応していないデータ放送の場合。	● このデータは受信できません。
「データの表示に失敗しました。コード：E402」	● データ放送を表示中に何らかのエラーが生じた場合。	● 選局し直してください。
「ダイヤルトーンの検出ができません でした。電話機コードが正しく接続されているかをご確認ください 。」	● ダイヤルトーンの検出ができなかったため。	●「電話回線の接続」(8 ページ) および [電話回線設定](141 ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。
「接続に失敗しました。電話回線の設定 をご確認ください。」	● 電話回線を使用した通信ができなかったため。	●「電話回線の接続」(8 ページ) および [電話回線設定](141 ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。
「サーバに接続できませんでした。」	● 回線が混みあっているなどで、接続ができず認証ができなかったため。	● 電話回線の接続・設定(8 ページ、141 ページ)および [ダイヤルアップ設定](145 ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。

メッセージ一覧（つづき）

i.LINK に関するメッセージ

メッセージ	原因	対処など
「選ばれた機器は i.LINK 接続されていません。」	● 一度登録された i.LINK 機器の i.LINK ケーブルが外れている。	● i.LINK 接続の状態を確認してください。
「選ばれた機器に i.LINK 接続できません。」	● i.LINK 操作パネルの機器リストで選んだ機器への接続に失敗した。 ● i.LINK 操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	● i.LINK 機器の接続を確認してください。 ● もう一度操作パネルでこの機器を選び直してください。 ● 相手機器の電源を入れ直してください。 ● 相手機器の i.LINK 設定を確認してください。
「i.LINK 機器が登録されていません。」	● i.LINK 機器が登録されていません。	● i.LINK 接続、設定を行ってください。（12 〜 14 ページ、136 ページ）
「ブロードキャスト出力機器はありません。」	● ブロードキャスト出力している機器がない。	● i.LINK 接続機器を確認してください。
「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	● 対応されていないブロードキャスト信号を入力したため。	● この機器から出力されている信号は本機では受信できません。 ● 本機が対応する信号を出力する i.LINK 機器を接続してください。
「i.LINK 機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	● i.LINK ケーブルが外れている、または接続が不十分。 ● i.LINK 接続に変更があった。	● 接続状態を確認中です。1 分たっても終了しない場合は、(決定)を押して中止し、i.LINK 機器の接続、設定を確認してください。
「i.LINK 機器の接続を確認してください。」	● i.LINK 機器との接続が正しくない。	● i.LINK 機器はループ状態に接続できません。正しく接続してください。
	● i.LINK 機器を 64 台以上接続している。	● 64 台以上の i.LINK 機器接続はできません。63 台以下にしてください。
「外部機器から接続されています。」	● 外部の i.LINK 機器から接続されているため、i.LINK 操作ができません。	● i.LINK 機器を操作するには、外部機器から本機への i.LINK 接続を終了させてください。
「使用可能な帯域を超えているため操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。」	● 使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。	● 使用していない i.LINK 機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を［切］にしてください。 ● 同時使用する機器の数を少なくしてください。 ● 接続機器の電源プラグを抜き差ししてください。
「対応したデジタル信号が入力されていません。」	● DV 機器などフォーマットの異なる機器をつないだため。	● DV 機器などフォーマットの異なる機器は、接続してもデータのやりとりなどはできません。
「i.LINK 制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	● i.LINK 処理に用いる内部情報が壊れているため。	● お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。
「i.LINK モードでは切り換えられません。」	● 静止画や番組表、番組チェック、選局プラス、2 画面などのリモコン操作をしたため。	● i.LINK モードを終了してから、選局などの操作をしてください。
「録画機器が操作を受け付けません。録画機器を確認してください。」	● 録画機器の制御ができないため。	● 録画機器側が外部制御できない設定になっていないか確認してください。録画機器の取扱説明書を確認してください。
「接続機器の電源を入れてください。」	● 接続機器の電源の制御ができないため。	● 接続機器本体の操作で電源を入れてください。

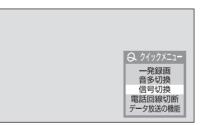
HDMI に関するメッセージ

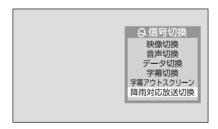
メッセージ	原因	対処など
「現在入力されている音声信号には対応していません。」	● 本機の仕様に対応していない音声信号が入力されている。	● HDMI 対応機器からの音声がリニア PCM（48kHz まで）であるか確認してください。48kHz を超えるリニア PCM 音声や圧縮音声の場合は、本機のスピーカーやヘッドフォン端子から音声が出力されません。 HDMI 対応機器から本機が対応していない音声が出力される場合は、HDMI 対応機器と本機のアナログ音声入力端子を接続して、HDMI 用の音声入力として設定してください。（106 ページ） DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して、機器を接続する場合も同様です。

電話回線や Ether 端子を使った通信に関するメッセージ

メッセージ	原因	対処など
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバに接続できません。」	● 本機にルート証明書が設定されていない。	● ルート証明書を確認してください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバの安全性を確認できないため、接続できません。」	● ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバ証明書との検証が取れない。	● ルート証明書を確認してください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバに接続できません。」	● ルート証明書の有効期限が切れている。	● ルート証明書を確認してください。
「サーバの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	● 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	● 接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（動作は正常です）
「サーバの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	● サーバ証明書に表示しようとしているページの名前がない。	● 接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（動作は正常です）
「サーバの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	● 接続先の証明書が改ざんされている。	● 接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（動作は正常です）
「サーバの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	● 認証エラーが発生した。	● 接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（動作は正常です）
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	● 本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	● 本機の通信環境設定を正しく設定し直してください。（145 ページ）

メッセージ一覧(つづき)

降雨対応放送に切り換えるには

衛星を利用した放送では、雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。その場合、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送では、降雨対応放送を行うことがあります。

BS デジタルまたは 110 度 CS デジタル放送を選んでいるときに、右のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えることができます。

電波の受信状態が良くありません。
クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。

1 クイックメニューを押す

クイックメニューが表示されます。

2 [信号切換]を選び、決定を押す

3 [降雨対応放送切換]を選び、決定を押す

4 [降雨対応放送]を選び、決定を押す

降雨対応放送に変わります。

通常の放送に戻すときは、同じ手順で［通常の放送］を選んでください。

5 終了を押す

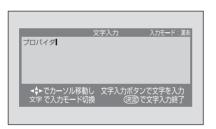
❖ 電波が強くなると、自動的に降雨対応放送から通常の放送に戻ります。

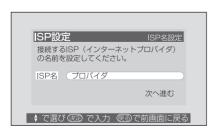
❖ 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品位が落ちる場合があります。

❖ 録画予約や一発録画の実行中は、この操作で降雨対応放送に切り換えることはできません。（自動的に切り換えられることはあります）

文字入力のしかた

データ放送や通信接続設定で文字入力が必要になったときは、次のように入力してください。
本機の文字入力は、携帯電話の文字入力と似た方法になっています。

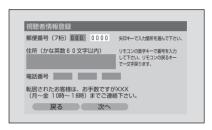
文字を入力する

1 文字入力が必要な画面が表示されたら、▲▼◀▶ で文字を入力する部分を選び、(決定)を押す

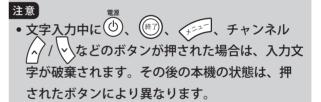
（例：ISP 設定画面の場合）

文字入力画面が表示されます。

2 文字入力画面を使って文字を入力する

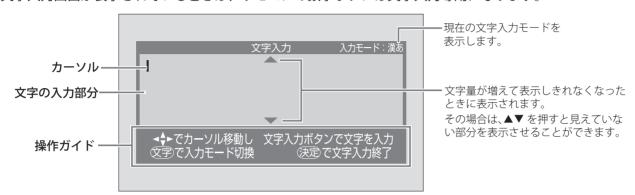
❖ 文字の入力方法は、「文字入力画面での操作」（170 ページ）をご覧ください。

3 文字入力画面中のすべての文字が確定されている状態で(決定)を押す

文字入力画面が消え、画面に手順 2 で入力した文字が入力されます。

❖ データ放送によっては、この操作ではなく、放送内で指定された操作で文字入力する場合があります。

データ放送画面の文字入力

データ放送によっては、数値を入力する場合など、文字入力画面を表示させず、画面に直接入力する場合があります。

（直接入力する画面の例）

この場合は、次のように入力してください。

1 ▲▼◀▶ で文字を入力する部分を選ぶ

2 数字ボタン①～⑨と⑩(0)を押して直接入力する

注意

- 文字入力中に(電源)、(終了)、(メニュー)、チャンネル(∧)/(∨)などのボタンが押された場合は、入力文字が破棄されます。その後の本機の状態は、押されたボタンにより異なります。

文字入力のしかた(つづき)

文字入力画面での操作

文字入力画面の各部の意味は、次のとおりです。
文字入力画面が表示されているときは、リモコンの数字ボタンは文字入力専用になります。

文字入力モードを選ぶには

1 文字/静止 ◯ **を押す**

文字入力モードのリストが表示されます。

2 **▲▼◀▶ で文字入力モードを選び、決定を押す**

入力モードの意味は次のとおりです。

表示	モード名	入力できる文字
漢あ	漢字変換モード	ひらがなや漢字
カナ	全角カナモード	カタカナ
ａＡ	全角英字モード	全角の英字
abAB	半角英字モード	半角の英字
１２	全角数字モード	全角の数字
1234	半角数字モード	半角の数字
全角記号	全角記号モード	全角の記号
半角記号	半角記号モード	半角の記号

❖ 文字入力の画面によって、使用できる入力モードは異なります。

文字を入力するには

ここでは、漢字変換モードでの入力例を説明します。他のモードでも同様の方法で入力できます。(全角記号モードと半角記号モードを除く)

1 **文字入力画面で数字ボタンを押す**

数字ボタンは、一つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すごとに文字が変わります。

❖ 数字ボタンの文字の割り当てについては、173 ページの表をご覧ください。

例 1：「ふね」と入力するとき
(はMNO 6)を 3 回押し、(なJKL 5)を 4 回押します。

例 2：「あい」と入力するとき
(あ 1)を 1 回押し、▶ を押して入力位置を一つずらし、(あ 1)を 2 回押します。

2 **決定を押す**

文字が確定されます。

❖ 全角カナ、全角英字、半角英字モードのときは、◀▶ または入力したときと別のボタンを押すと、確定されます。

❖ 文字入力時に 文字/静止 ◯ を押すと、入力中のすべての未確定文字が確定されます。

❖ 全角数字、半角数字モードのときは、確定の操作は不要です。

漢字を入力するには

ここでは、漢字で「明日」と入力する例を説明します。

1 文字入力画面で 文字/静止 を押す

2 ▲▼◀▶ で[漢あ]を選び、決定を押す

漢字変換モードになります。

3 「あした」と入力する

あ 1を1回、さDEF 3を2回、たGHI 4を1回押します。

4 ▼ を押す

変換の候補が表示されます。候補が多い場合は、▲▼ で選んでください。

希望する漢字に変換されないときは、◀▶ を押すと、変換する範囲が変わります。範囲を変えて ▲▼ を押し、変換してください。

5 希望の漢字に変換されたら、決定を押す

漢字が確定されます。

❖ 漢字変換モードで一度に入力可能な文字数は最大16文字です。

❖ 一度に変換できるのは4文節までです。4文節以上の文章をまとめて変換する場合は、最初の4文節を変換して決定を押して確定した後、次の4文節を変換する操作をくり返してください。

❖ 漢字変換時に、削除/メディア（または戻る）を押した場合は、変換中のすべての文字列を未確定状態に戻します。

❖ 未確定文字列内にカーソルがある状態で、戻るを押すと、すべての未確定文字列をまとめて削除します。

文字を挿入するには

▲▼◀▶ で文字を挿入する場所にカーソルを置き、文字を入力する

確定されている文字列に挿入できます。
漢字変換モードのときには、未確定の文字列にも挿入できます。

文字を削除するには

1 ▲▼◀▶ で削除したい文字の横にカーソルを置く

基本的には、カーソルの右にある文字が削除されます。カーソルの右に文字がない場合のみ、カーソルの左の文字が削除されます。

2 削除/メディア を押す

文字が削除されます。

削除/メディア を押し続けると、次のようになります。

- カーソルより右に文字列がある場合は右側の文字列をすべて削除します。
- カーソルより右に文字列がない場合は左側の文字列をすべて削除します。

文字入力のしかた(つづき)

濁音、半濁音、小文字を入力するには

❖ 半濁音に変換できる文字は、「は」行の文字のみです。
❖ 濁音に変換できる文字は、「か」行、「さ」行、「た」行、「は」行の文字と「ウ」です。
❖ 小文字に変換できる文字については、173 ページの表をご覧ください。

漢字変換モードまたは全角カナモードで文字を入力した後、(10)を押します。

(10)を押すたびに、次のように変わります。
濁音や半濁音にできない文字、小文字がない文字では、(10)を押しても変わりません。

全角、半角記号モードで記号を入力するには

全角記号モードと半角記号モードでは、様々な記号を入力することができます。

❖「、」「。」「—」「␣」(スペース) については、漢字変換、全角カナ、全角英字モードなどでも入力できます。

1 文字入力画面で 文字/静止 を押す

2 ▲▼◀▶ で[全角記号]または[半角記号]を選び、(決定)を押す

記号一覧が表示されます。

3 ▲▼◀▶ で記号を選び、(決定)を押す

全角記号モードと半角記号モードでは、入力できる記号が異なります。

全角記号モードの記号一覧

半角記号モードの記号一覧

❖ パスワードの入力では、「␣」(スペース) は使えません。

入力できる文字

数字ボタン	文字入力モード					
	漢字変換モード	全角カナモード	全角英字モード	半角英字モード	全角数字モード	半角英字モード
①	あ→い→う→え→お →ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ →ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	－	－	1	1
②	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ	ａ→ｂ→ｃ→Ａ→Ｂ→Ｃ	a→b→c→A→B→C	2	2
③	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	ｄ→ｅ→ｆ→Ｄ→Ｅ→Ｆ	d→e→f→D→E→F	3	3
④	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	ｇ→ｈ→ｉ→Ｇ→Ｈ→Ｉ	g→h→i→G→H→I	4	4
⑤	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	ｊ→ｋ→ｌ→Ｊ→Ｋ→Ｌ	j→k→l→J→K→L	5	5
⑥	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	ｍ→ｎ→ｏ→Ｍ→Ｎ→Ｏ	m→n→o→M→N→O	6	6
⑦	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	ｐ→ｑ→ｒ→ｓ →Ｐ→Ｑ→Ｒ→Ｓ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7	7
⑧	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	ｔ→ｕ→ｖ→Ｔ→Ｕ→Ｖ	t→u→v→T→U→V	8	8
⑨	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	ｗ→ｘ→ｙ→ｚ →Ｗ→Ｘ→Ｙ→Ｚ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9	9
⑪	わ→を→ん→ゎ→、→。 →ー→␣（スペース）	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー →␣（スペース）	、→。→ー→␣（スペース）	,→.→-→␣（スペース）	－	＊
⑩	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	小文字変換	0	0
⑫	逆方向へ入力※	逆方向へ入力※	逆方向へ入力※	逆方向へ入力※	－	#

※ 文字入力変換中に文字を送り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

「メモリースティック」について

「メモリースティック」とは？

「メモリースティック」は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代の IC 記録メディアです。「メモリースティック」対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの一つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

「メモリースティック」には、標準サイズのものとその小型サイズの「メモリースティック デュオ」があります。「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの「メモリースティック」と同じサイズになり、標準サイズの「メモリースティック」対応機器でもお使いいただけます。

「メモリースティック」の種類

「メモリースティック」には、用途に応じて次の 4 種類があります。

■「メモリースティック」

著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる「メモリースティック」です。

■「マジックゲート メモリースティック」

著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した「メモリースティック」です。

■「メモリースティック -ROM」

あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の「メモリースティック」です。データの記録や消去はできません。

■「メモリースティック PRO」

「メモリースティック PRO」対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した「メモリースティック」です。
本機ではご使用になれません。

「メモリースティック デュオ」について

- 「メモリースティック デュオ」を本機でお使いの場合は、必ず「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- 「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認ください。
- 「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに「メモリースティック デュオ」が装着されていない状態で、「メモリースティック」対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

マジックゲートについて

マジックゲートは、「メモリースティック」と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。マジックゲートを搭載した機器と「メモリースティック」の間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認する認証と、データの暗号化を行います。本機はマジックゲートを搭載していないため、マジックゲートが必要なデータの再生はできません。

注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
- 「メモリースティック デュオ」の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- データのアクセス中には「メモリースティック」を取り出さないでください。
- 次の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中に「メモリースティック」を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。

- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- 「メモリースティック デュオ」のメモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。

–高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
–直射日光のあたる場所
–湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

i.LINK についての注意

■ 接続について

- 接続の際は、必ず 4 ピン、「S400」対応の i.LINK 専用ケーブル（市販品）を使用してください。「S400」対応以外の i.LINK ケーブルを使うと、信号が不安定な状態になり、正しく動作しない場合があります。
- 複数の機器を接続している場合、一部の機器で電源が切られていると、他の機器のデータを中継しないことがあります。
- i.LINK 機器には、その機器が対応している最大データ転送速度が、i.LINK 端子の周辺に記載されています。データ転送速度には、S100（100Mbps）、S200（200Mbps）、S400（400Mbps）の 3 種類が定められています。最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様によっては、実際の転送速度が遅くなる場合があります。

■ i.LINK での再生について

本機で扱うことのできるデジタル信号は、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送で使用されている MPEG-TS 信号のみです。したがって、DV 信号（DV カメラの信号など）については、再生できません。
また、MPEG-TS 信号であっても、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送以外のもの（アナログ信号を独自にエンコードした MPEG-TS 信号など）については、正常に再生できません。

■ i.LINK 機器の使用の際の注意

- 機器の使用中は、使用していない他の機器の i.LINK ケーブルを抜き差ししたり、新しい機器を接続したりしないでください。
- 正しく制御できなくなったときは、接続している機器のいずれかが影響をおよぼしていることが考えられます。（各機器の i.LINK ケーブルの抜き差し（リセット動作）で正常に戻る場合があります）
- 登録機器名の表示が正しくない場合は、一度 i.LINK ケーブルを抜き、機器を削除（136 ページ）した後、再度機器を接続・登録してください。
- ソフトウェアのダウンロード（118 ページ）が行われた後は、自動的にリセット動作（本機の電源の入 / 切）が行われます。本機以外の i.LINK 機器の間で操作しているときに、リセット動作が行われると誤動作する場合には、［自動ダウンロード］の設定（118 ページ）を［ダウンロードしない］にしてください。
- 複数の機器を接続していて機器の動作が不安定なときは、使用していない機器を取り外したり接続を変更したりすると、安定する場合があります。
- HDD ビデオレコーダーによっては、動作モード（D-VHS モードとハードディスクレコーダーモード）を切り換えられるものがあります。動作モードの切り換えを行ったときは、必ず登録（136 ページ）をやり直してください。
本機での登録時のモードと異なっていると、正しく動作しません。このような機種は、ハードディスクレコーダーモードで使用してください。
- HDD ビデオレコーダーによっては、追っかけ再生または録画中の別番組の再生や、録画中のライブラリ表示などの操作ができない機種があります。
- HDD ビデオレコーダーによっては、機器を切り換えたり、i.LINK モードを終了したりすると、自動的に再生を停止する場合があります。
- D-VHS ビデオや HDD ビデオレコーダーで地上デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の録画ができるかどうかは、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- HS モード対応ではない D-VHS ビデオの場合、デジタルハイビジョン放送のハイビジョンでのデジタル録画はできません。

■ 他機から本機を i.LINK 制御する際の注意

- ［外部機器からの制御］（137 ページ）を［あり］に設定すると、i.LINK ケーブルで接続している他の機器から本機を制御できるようになります。ただし、本機の電源コードを差しておく必要があります。
- ［電源待機消費電力］（116 ページ）を設定している場合、電源待機時のその設定時間中は、i.LINK ケーブルで接続している他の機器からは制御できません。

■ ダビングする際の注意

［外部機器からの制御］（137 ページ）を［なし］に設定しているときに、下図のように本機の 2 個の i.LINK 端子にそれぞれ録画機器を接続し、本機のコピー機能（69 ページ）を使わずに 2 台の録画機器のみでダビングを行う場合は、本機の電源を入れた状態で行ってください。
なお、本機の電源を切った状態でソフトウェアダウンロード（118 ページ）が実行されると、ダビングは中止されます。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
テレビ	テレビ放送	サラウンド	サラウンド音声放送
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	SD	デジタル標準テレビ放送
d	番組連動データ放送がある場合	字幕	字幕放送
16:9	画面の横と縦の比が 16：9 の信号	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
4:3	画面の横と縦の比が 4：3 の信号	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
ステレオ	ステレオ音声放送	年令	視聴年齢制限が設定されている番組の場合
二重音声	二重音声放送		

お知らせ、予約、録画、ライブラリ、その他についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	未読の「お知らせ」	コピー	光デジタル録音できます
	既読の「お知らせ」	¥コピー	録画購入すれば光デジタル録音できます
	予約	Xコピー	光デジタル録音できません
重複	予約が重なっています		ライブラリの番組にロックをかけた場合
コピー	アナログ録画できます		地上デジタル放送選局時または画面表示ボタンを押したときで再スキャン操作をおすすめする場合（129 ページ）
¥コピー	録画購入すればアナログ録画できます		非リンク型サービス（通信番組）（37 ページ）
Xコピー	アナログ録画できません		SSL などの暗号通信をしている場合（37 ページ）
Dコピー	デジタル録画できます		登録発呼の予約設定をしている場合（39 ページ）
D¥コピー	録画購入すればデジタル録画できます		登録発呼の予約設定して 3 回接続に失敗した場合（40 ページ）
D1コピー	1 回のみデジタル録画できます		データ放送のデータ取得中（37 ページ）
DXコピー	デジタル録画できません		

地上アナログ放送の自動設定一覧表

［チャンネル設定］の［地上 A 自動設定］（127 ページ）を設定すると、この表にある放送局が各チャンネルポジションに自動設定されます。
この表にない放送局を設定するときは、［手動設定］（131 ページ）で設定してください。

❖ お住まいの地域がこの表にない場合は、近くの地域名・都市名で設定してください。正しく設定できないときは［手動設定］で設定してください。

❖ この表の地域名・都市名を指定して自動設定を行っても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は､「正しく受信できないときは」（184 ページ）をご覧ください。

❖ ソフトウェアのバージョンアップによって、この表の内容（自動設定される内容）が変わる場合があります。

［2005 年 11 月 1 日現在］

	リモコンボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県名	地域都市名	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※
北海道・北部	旭川		2 2 NHK 教育		33 33 テレビ北海道（TVh）	37 37 北海道文化放送（UHB）	39 39 北海道テレビ放送（HTB）	7 7 札幌テレビ放送（STV）		9 9 NHK総合		11 11 北海道放送（HBC）	
	釧路		2 2 NHK 教育	39 39 北海道テレビ放送（HTB）	41 41 北海道文化放送（UHB）			7 7 札幌テレビ放送（STV）		9 9 NHK総合		11 11 北海道放送（HBC）	
	北見		2 2 NHK 教育		61 61 北海道テレビ放送（HTB）	59 59 北海道文化放送（UHB）		7 7 札幌テレビ放送（STV）		9 9 NHK総合		53 53 北海道放送（HBC）	
	網走	1 1 北海道放送（HBC）		3 3 NHK総合		5 5 札幌テレビ放送（STV）		27 27 北海道文化放送（UHB）		35 35 北海道テレビ放送（HTB）			12 12 NHK 教育
	稚内		26 26 北海道文化放送（UHB）		28 28 NHK総合		22 22 札幌テレビ放送（STV）		24 24 北海道テレビ放送（HTB）		10 10 北海道放送（HBC）		30 30 NHK 教育
	名寄		26 26 北海道文化放送（UHB）		4 4 NHK総合		6 6 札幌テレビ放送（STV）		24 24 北海道テレビ放送（HTB）		10 10 北海道放送（HBC）		12 12 NHK 教育
	根室		2 2 NHK 教育			62 62 北海道文化放送（UHB）	60 60 北海道テレビ放送（HTB）	7 7 札幌テレビ放送（STV）		9 9 NHK総合		11 11 北海道放送（HBC）	
北海道・南部	札幌	1 1 北海道放送（HBC）		3 3 NHK総合	17 17 テレビ北海道（TVh）	5 5 札幌テレビ放送（STV）		27 27 北海道文化放送（UHB）			35 35 北海道テレビ放送（HTB）		12 12 NHK 教育
	函館	27 27 北海道文化放送（UHB）		35 35 北海道テレビ放送（HTB）	4 4 NHK総合	21 21 テレビ北海道（TVh）	6 6 北海道放送（HBC）				10 10 NHK 教育		12 12 札幌テレビ放送（STV）
	帯広	32 32 北海道文化放送（UHB）		34 34 北海道テレビ放送（HTB）	4 4 NHK総合		6 6 北海道放送（HBC）				10 10 札幌テレビ放送（STV）		12 12 NHK 教育
	苫小牧		49 49 NHK 教育		61 61 北海道テレビ放送（HTB）	53 53 北海道文化放送（UHB）		57 57 札幌テレビ放送（STV）		51 51 NHK総合		55 55 北海道放送（HBC）	47 47 テレビ北海道（TVh）
	小樽		2 2 NHK 教育		4 4 北海道テレビ放送（HTB）	26 26 北海道文化放送（UHB）		7 7 札幌テレビ放送（STV）		9 9 北海道放送（HBC）		11 11 NHK総合	24 24 テレビ北海道（TVh）
	室蘭		2 2 NHK 教育		29 29 テレビ北海道（TVh）	37 37 北海道文化放送（UHB）	39 39 北海道テレビ放送（HTB）	7 7 札幌テレビ放送（STV）		9 9 NHK総合		11 11 北海道放送（HBC）	
青森	青森	1 1 青森放送（RAB）		3 3 NHK総合	34 34 青森朝日放送（ABA）	5 5 NHK 教育							38 38 青森テレビ（ATV）
	八戸		2 2 アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）	37 37 テレビ岩手	29 29 岩手めんこいテレビ		27 27 岩手朝日テレビ	7 7 NHK 教育		9 9 NHK総合	31 31 青森朝日放送（ABA）	11 11 青森放送（RAB）	33 33 青森テレビ（ATV）
	むつ				4 4 NHK総合		56 56 青森朝日放送（ABA）		58 58 青森テレビ（ATV）		10 10 青森放送（RAB）		12 12 NHK 教育
岩手	盛岡	35 35 テレビ岩手			4 4 NHK総合		6 6 アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）		8 8 NHK 教育		33 33 岩手めんこいテレビ		31 31 岩手朝日テレビ
	釜石		2 2 NHK総合		62 62 岩手朝日テレビ		60 60 岩手めんこいテレビ		58 58 テレビ岩手		10 10 アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）		12 12 NHK 教育
	二戸		2 2 アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）		27 27 岩手朝日テレビ	5 5 NHK総合			29 29 岩手めんこいテレビ		37 37 テレビ岩手		12 12 NHK 教育
宮城	仙台	1 1 東北放送（TBCテレビ）		3 3 NHK総合		5 5 NHK 教育		32 32 東日本放送		34 34 宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）			12 12 仙台放送
	石巻	59 59 東北放送（TBCテレビ）		51 51 NHK総合		49 49 NHK 教育		61 61 東日本放送		55 55 宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）			57 57 仙台放送
	気仙沼		2 2 NHK総合		4 4 東北放送（TBCテレビ）		6 6 仙台放送		43 43 東日本放送		10 10 NHK 教育		37 37 宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）

※ カッコ内は画面に略号で表示される場合

	リモコンボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県名	地域都市名	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※
秋田	秋田		2 2 NHK 教育			31 31 秋田朝日放送				9 9 ＮＨＫ総合		11 11 秋田放送（ＡＢＳテレビ）	37 37 秋田テレビ（ＡＫＴ）
	大館				4 4 ＮＨＫ総合	59 59 秋田朝日放送	6 6 秋田放送（ＡＢＳテレビ）		8 8 NHK 教育				57 57 秋田テレビ（ＡＫＴ）
	大曲・横手		43 43 NHK 教育			41 41 秋田朝日放送				45 45 ＮＨＫ総合		47 47 秋田放送（ＡＢＳテレビ）	51 51 秋田テレビ（ＡＫＴ）
山形	山形				4 4 NHK 教育		36 36 テレビュー山形（ＴＵＹ）		8 8 ＮＨＫ総合		10 10 山形放送（ＹＢＣ山形放送）	30 30 さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	38 38 山形テレビ
	鶴岡・酒田	1 1 山形放送（ＹＢＣ山形放送）		3 3 ＮＨＫ総合			6 6 NHK 教育		22 22 テレビュー山形（ＴＵＹ）			24 24 さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	39 39 山形テレビ
	米沢		60 60 さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）		50 50 NHK 教育		56 56 テレビュー山形（ＴＵＹ）		52 52 ＮＨＫ総合		54 54 山形放送（ＹＢＣ山形放送）		58 58 山形テレビ
	新庄		2 2 NHK 教育		28 28 さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）		26 26 テレビュー山形（ＴＵＹ）			9 9 ＮＨＫ総合		11 11 山形放送（ＹＢＣ山形放送）	58 58 山形テレビ
福島	福島・郡山		2 2 NHK 教育		31 31 テレビュー福島		33 33 福島中央テレビ			9 9 ＮＨＫ総合	35 35 福島放送（ＫＦＢ）	11 11 福島テレビ（ＦＴＶ）	
	いわき				4 4 ＮＨＫ総合		34 34 福島中央テレビ	32 32 テレビュー福島	8 8 福島テレビ（ＦＴＶ）		10 10 NHK 教育		36 36 福島放送（ＫＦＢ）
	会津若松	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 NHK 教育	47 47 テレビュー福島		6 6 福島テレビ（ＦＴＶ）		37 37 福島中央テレビ		41 41 福島放送（ＫＦＢ）		
茨城	水戸	44 1 ＮＨＫ総合		46 3 NHK 教育	42 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		40 6 東京放送（ＴＢＳ）		38 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		36 10 テレビ朝日		32 12 テレビ東京
	日立	52 1 ＮＨＫ総合		50 3 NHK 教育	54 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		56 6 東京放送（ＴＢＳ）		58 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
栃木	宇都宮	51 1 ＮＨＫ総合		49 3 NHK 教育	53 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	31 31 とちぎテレビ	55 6 東京放送（ＴＢＳ）		57 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		41 10 テレビ朝日		44 12 テレビ東京
	矢板	40 1 ＮＨＫ総合		30 3 NHK 教育	36 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	33 31 とちぎテレビ	42 6 東京放送（ＴＢＳ）		45 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京
群馬	前橋	52 1 ＮＨＫ総合	40 40 放送大学	50 3 NHK 教育	54 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		56 6 東京放送（ＴＢＳ）	38 38 テレビ埼玉	58 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		60 10 テレビ朝日	48 48 群馬テレビ	62 12 テレビ東京
	桐生	51 1 ＮＨＫ総合	40 40 放送大学	57 3 NHK 教育	53 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		55 6 東京放送（ＴＢＳ）		35 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		59 10 テレビ朝日	41 48 群馬テレビ	61 12 テレビ東京
埼玉	さいたま	1 1 ＮＨＫ総合	16 16 放送大学	3 3 NHK 教育	4 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	14 14 東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	6 6 東京放送（ＴＢＳ）	38 38 テレビ埼玉	8 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	熊谷・児玉	51 1 ＮＨＫ総合		35 3 NHK 教育	53 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		55 6 東京放送（ＴＢＳ）	30 38 テレビ埼玉	57 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		59 10 テレビ朝日	48 48 群馬テレビ	61 12 テレビ東京
	秩父	14 1 ＮＨＫ総合		49 3 NHK 教育	16 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		18 6 東京放送（ＴＢＳ）	47 38 テレビ埼玉	29 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		38 10 テレビ朝日		44 12 テレビ東京
千葉	千葉・船橋	1 1 ＮＨＫ総合	16 16 放送大学	3 3 NHK 教育	4 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	14 14 東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	6 6 東京放送（ＴＢＳ）	42 42 テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	8 8 フジテレビジョン（フジテレビ）	46 46 千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	銚子	51 1 ＮＨＫ総合		49 3 NHK 教育	53 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		55 6 東京放送（ＴＢＳ）		57 8 フジテレビジョン（フジテレビ）	39 46 千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京
東京	東京 23 区	1 1 ＮＨＫ総合	16 16 放送大学	3 3 NHK 教育	4 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	14 14 東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	6 6 東京放送（ＴＢＳ）	42 42 テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	8 8 フジテレビジョン（フジテレビ）	46 46 千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	10 10 テレビ朝日	38 38 テレビ埼玉	12 12 テレビ東京
	八王子	33 1 ＮＨＫ総合		29 3 NHK 教育	35 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	40 14 東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	37 6 東京放送（ＴＢＳ）		31 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		45 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	多摩	49 1 ＮＨＫ総合		47 3 NHK 教育	51 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	61 14 東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	53 6 東京放送（ＴＢＳ）		55 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		57 10 テレビ朝日		59 12 テレビ東京
神奈川	横浜・川崎	1 1 ＮＨＫ総合	16 16 放送大学	3 3 NHK 教育	4 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）	14 14 東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	6 6 東京放送（ＴＢＳ）	42 42 テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	8 8 フジテレビジョン（フジテレビ）	46 46 千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	横浜みなと	52 1 ＮＨＫ総合	16 16 放送大学	50 3 NHK 教育	54 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		56 6 東京放送（ＴＢＳ）	48 42 テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	58 8 フジテレビジョン（フジテレビ）	46 46 千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	平塚・茅ヶ崎	33 1 ＮＨＫ総合		29 3 NHK 教育	35 4 日本テレビ放送網（日本テレビ）		37 6 東京放送（ＴＢＳ）	31 42 テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	39 8 フジテレビジョン（フジテレビ）		41 10 テレビ朝日		43 12 テレビ東京

※ カッコ内は画面に略号で表示される場合

地上アナログ放送の自動設定一覧表(つづき)

都道府県名	地域都市名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコンボタン	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※
神奈川	小田原	52 1 NHK総合		50 3 NHK教育	54 4 日本テレビ放送網 (日本テレビ)		56 6 東京放送 (TBS)	46 42 テレビ神奈川 (TVKテレビ)	58 8 フジテレビジョン (フジテレビ)		60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	秦野	47 1 NHK総合		49 3 NHK教育	51 4 日本テレビ放送網 (日本テレビ)		53 6 東京放送 (TBS)	61 42 テレビ神奈川 (TVKテレビ)	55 8 フジテレビジョン (フジテレビ)		57 10 テレビ朝日		59 12 テレビ東京
新潟	新潟			21 21 新潟テレビ21 (NT21)	29 29 テレビ新潟放送網 (TeNY)	5 5 新潟放送 (BSN新潟放送)			8 8 NHK総合		35 35 新潟総合テレビ		12 12 NHK教育
	上越	1 1 NHK教育		3 3 NHK総合			37 37 新潟テレビ21 (NT21)		27 27 テレビ新潟放送網 (TeNY)		10 10 新潟放送 (BSN新潟放送)		33 33 新潟総合テレビ
山梨	甲府	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育		5 5 山梨放送 (YBS)	37 37 テレビ山梨 (UTY)						
長野	長野 (美ヶ原)		2 2 NHK総合		20 20 長野朝日放送 (ABN)		30 30 テレビ信州			9 9 NHK教育	38 38 長野放送 (NBS)	11 11 信越放送	
	長野 (善光寺平)		44 44 NHK総合		50 50 長野朝日放送 (ABN)		40 40 テレビ信州			46 46 NHK教育	42 42 長野放送 (NBS)	48 48 信越放送	
	松本		44 44 NHK総合		50 50 長野朝日放送 (ABN)		48 48 テレビ信州			46 46 NHK教育	42 42 長野放送 (NBS)	40 40 信越放送	
	飯田			3 3 NHK教育	4 4 NHK総合		6 6 信越放送		42 42 テレビ信州		40 40 長野放送 (NBS)		44 44 長野朝日放送 (ABN)
	岡谷・諏訪	61 61 長野朝日放送 (ABN)			4 4 NHK総合		6 6 信越放送		8 8 NHK教育		59 59 テレビ信州		47 47 長野放送 (NBS)
富山	富山	1 1 北日本放送		3 3 NHK総合			32 32 チューリップ テレビ				10 10 NHK教育		34 34 富山テレビ放送 (BBT)
	高岡	50 1 北日本放送		48 3 NHK総合			42 32 チューリップ テレビ				46 10 NHK教育		44 34 富山テレビ放送 (BBT)
石川	金沢				4 4 NHK総合		6 6 北陸放送 (MRO)	25 25 北陸朝日放送 (HAB)	8 8 NHK教育		33 33 テレビ金沢		37 37 石川テレビ放送 (石川テレビ)
	七尾	57 57 テレビ金沢		59 59 北陸朝日放送 (HAB)		5 5 NHK教育		55 55 石川テレビ放送 (石川テレビ)		9 9 NHK総合		11 11 北陸放送 (MRO)	
福井	福井			3 3 NHK教育						9 9 NHK総合		11 11 福井放送 (FBCテレビ)	39 39 福井テレビジョン放送 (福井テレビ)
	敦賀						6 6 NHK総合		8 8 福井放送 (FBCテレビ)		38 38 福井テレビジョン放送 (福井テレビ)		12 12 NHK教育
岐阜	岐阜	1 1 東海テレビ放送 (東海テレビ)		39 3 NHK総合		5 5 中部日本放送 (CBC)		25 25 テレビ愛知		9 9 NHK教育	37 37 岐阜放送	11 11 名古屋テレビ放送 (メ～テレ)	35 35 中京テレビ放送 (中京テレビ)
	長良	57 57 東海テレビ放送 (東海テレビ)		53 53 NHK総合		55 55 中部日本放送 (CBC)				49 49 NHK教育	61 61 岐阜放送	59 59 名古屋テレビ放送 (メ～テレ)	47 47 中京テレビ放送 (中京テレビ)
	高山		2 2 NHK教育	26 26 中京テレビ放送 (中京テレビ)	4 4 NHK総合		6 6 中部日本放送 (CBC)		8 8 東海テレビ放送 (東海テレビ)		38 38 岐阜放送		12 12 名古屋テレビ放送 (メ～テレ)
	各務原	1 1 東海テレビ放送 (東海テレビ)		43 3 NHK総合		5 5 中部日本放送 (CBC)				9 9 NHK教育	41 37 岐阜放送	11 11 名古屋テレビ放送 (メ～テレ)	35 35 中京テレビ放送 (中京テレビ)
	中津川			26 26 中京テレビ放送 (中京テレビ)	4 4 NHK総合		6 6 名古屋テレビ放送 (メ～テレ)		8 8 中部日本放送 (CBC)		10 10 東海テレビ放送 (東海テレビ)	28 28 岐阜放送	12 12 NHK教育
静岡	静岡		2 2 NHK教育		31 31 静岡第一テレビ		33 33 静岡朝日テレビ			9 9 NHK総合		11 11 静岡放送 (SBSテレビ)	35 35 テレビ静岡
	浜松		30 30 静岡第一テレビ		4 4 NHK総合		6 6 静岡放送 (SBSテレビ)		8 8 NHK教育		28 28 静岡朝日テレビ		34 34 テレビ静岡
	三島・沼津		51 51 NHK教育	61 61 静岡第一テレビ		57 57 静岡朝日テレビ		59 59 テレビ静岡		53 53 NHK総合		55 55 静岡放送 (SBSテレビ)	
	島田	56 15 NHK総合		54 18 NHK教育		62 22 静岡放送 (SBSテレビ)		48 48 静岡第一テレビ			50 50 静岡朝日テレビ		58 58 テレビ静岡
	富士		54 54 NHK総合	27 27 静岡第一テレビ		29 29 静岡朝日テレビ		39 39 テレビ静岡		52 52 NHK総合		41 41 静岡放送 (SBSテレビ)	
	藤枝	42 42 NHK総合		44 44 NHK教育		40 40 静岡放送 (SBSテレビ)		24 24 静岡第一テレビ			26 26 静岡朝日テレビ		38 38 テレビ静岡

※ カッコ内は画面に略号で表示される場合

	リモコンボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県名	地域都市名	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※
愛知	名古屋	1 1 東海テレビ放送（東海テレビ）		3 3 ＮＨＫ総合		5 5 中部日本放送（ＣＢＣ）	33 33 三重テレビ放送（三重テレビ）	25 25 テレビ愛知		9 9 ＮＨＫ教育	37 37 岐阜放送	11 11 名古屋テレビ放送（メ～テレ）	35 35 中京テレビ放送（中京テレビ）
	豊橋	56 1 東海テレビ放送（東海テレビ）		54 3 ＮＨＫ総合		62 5 中部日本放送（ＣＢＣ）		52 25 テレビ愛知		50 9 ＮＨＫ教育		60 11 名古屋テレビ放送（メ～テレ）	58 35 中京テレビ放送（中京テレビ）
	豊田	57 1 東海テレビ放送（東海テレビ）		53 3 ＮＨＫ総合		55 5 中部日本放送（ＣＢＣ）		49 25 テレビ愛知		51 9 ＮＨＫ教育		61 11 名古屋テレビ放送（メ～テレ）	59 35 中京テレビ放送（中京テレビ）
三重	津	1 1 東海テレビ放送（東海テレビ）		31 31 ＮＨＫ総合		5 5 中部日本放送（ＣＢＣ）	33 33 三重テレビ放送（三重テレビ）			9 9 ＮＨＫ教育		11 11 名古屋テレビ放送（メ～テレ）	35 35 中京テレビ放送（中京テレビ）
	伊勢	57 1 東海テレビ放送（東海テレビ）		53 3 ＮＨＫ総合		55 5 中部日本放送（ＣＢＣ）	59 33 三重テレビ放送（三重テレビ）			49 9 ＮＨＫ教育		61 11 名古屋テレビ放送（メ～テレ）	47 35 中京テレビ放送（中京テレビ）
	名張	62 1 東海テレビ放送（東海テレビ）		52 3 ＮＨＫ総合		60 5 中部日本放送（ＣＢＣ）	58 33 三重テレビ放送（三重テレビ）			50 9 ＮＨＫ教育		56 11 名古屋テレビ放送（メ～テレ）	54 35 中京テレビ放送（中京テレビ）
滋賀	大津		28 2 ＮＨＫ総合		36 4 毎日放送		38 6 朝日放送（ＡＢＣ）	34 34 京都放送（ＫＢＳ京都）	40 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	30 30 びわ湖放送（ＢＢＣびわ湖放送）	42 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		46 12 ＮＨＫ教育
	彦根		52 2 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送		58 6 朝日放送（ＡＢＣ）		60 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	56 56 びわ湖放送（ＢＢＣびわ湖放送）	62 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		50 12 ＮＨＫ教育
京都	京都		32 2 ＮＨＫ総合	19 19 テレビ大阪	4 4 毎日放送		6 6 朝日放送（ＡＢＣ）	34 34 京都放送（ＫＢＳ京都）	8 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		10 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		12 12 ＮＨＫ教育
	山科		52 2 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送		56 6 朝日放送（ＡＢＣ）	62 62 京都放送（ＫＢＳ京都）	58 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		60 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		50 12 ＮＨＫ教育
	福知山		50 2 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送		58 6 朝日放送（ＡＢＣ）	56 56 京都放送（ＫＢＳ京都）	60 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		62 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		52 12 ＮＨＫ教育
	舞鶴		51 2 ＮＨＫ総合		53 4 毎日放送		55 6 朝日放送（ＡＢＣ）	57 57 京都放送（ＫＢＳ京都）	59 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		61 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		49 12 ＮＨＫ教育
大阪	大阪		2 2 ＮＨＫ総合	19 19 テレビ大阪	4 4 毎日放送	36 36 サンテレビジョン（サンテレビ）	6 6 朝日放送（ＡＢＣ）	34 34 京都放送（ＫＢＳ京都）	8 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		10 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		12 12 ＮＨＫ教育
兵庫	神戸		28 28 ＮＨＫ総合		31 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	41 6 朝日放送（ＡＢＣ）		43 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	36 36 サンテレビジョン（サンテレビ）	47 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		45 12 ＮＨＫ教育
	姫路		50 50 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送		58 6 朝日放送（ＡＢＣ）		60 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	56 56 サンテレビジョン（サンテレビ）	62 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		52 12 ＮＨＫ教育
	西宮・尼崎		28 28 ＮＨＫ総合		4 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	6 6 朝日放送（ＡＢＣ）		8 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	36 36 サンテレビジョン（サンテレビ）	10 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		12 12 ＮＨＫ教育
	川西		29 29 ＮＨＫ総合		35 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	37 6 朝日放送（ＡＢＣ）		39 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	33 33 サンテレビジョン（サンテレビ）	41 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		31 12 ＮＨＫ教育
	灘		52 52 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	56 6 朝日放送（ＡＢＣ）		58 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	62 62 サンテレビジョン（サンテレビ）	60 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		50 12 ＮＨＫ教育
	長田		44 44 ＮＨＫ総合		38 4 毎日放送		40 6 朝日放送（ＡＢＣ）		42 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	34 34 サンテレビジョン（サンテレビ）	48 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		46 12 ＮＨＫ教育
	明石・北淡・垂水		51 51 ＮＨＫ総合		53 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	57 6 朝日放送（ＡＢＣ）		59 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	55 55 サンテレビジョン（サンテレビ）	61 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		49 12 ＮＨＫ教育
	三木		44 44 ＮＨＫ総合		34 4 毎日放送		38 6 朝日放送（ＡＢＣ）		40 8 関西テレビ放送（関西テレビ）	36 36 サンテレビジョン（サンテレビ）	42 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		46 12 ＮＨＫ教育
奈良	奈良		51 2 ＮＨＫ総合		4 4 毎日放送	34 34 京都放送（ＫＢＳ京都）	6 6 朝日放送（ＡＢＣ）		8 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		10 10 読売テレビ放送（読売テレビ）	55 55 奈良テレビ放送	12 12 ＮＨＫ教育
	生駒		58 2 ＮＨＫ総合		4 4 毎日放送		6 6 朝日放送（ＡＢＣ）		8 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		10 10 読売テレビ放送（読売テレビ）	60 55 奈良テレビ放送	62 12 ＮＨＫ教育
	五條		43 2 ＮＨＫ総合		33 4 毎日放送		35 6 朝日放送（ＡＢＣ）		37 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		39 10 読売テレビ放送（読売テレビ）	41 55 奈良テレビ放送	45 12 ＮＨＫ教育
和歌山	和歌山		32 2 ＮＨＫ総合		42 4 毎日放送	30 30 テレビ和歌山	44 6 朝日放送（ＡＢＣ）		46 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		48 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		25 12 ＮＨＫ教育
	海南・田辺		50 2 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送	56 56 テレビ和歌山	58 6 朝日放送（ＡＢＣ）		60 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		62 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		52 12 ＮＨＫ教育
	新宮		44 2 ＮＨＫ総合		36 4 毎日放送	34 34 テレビ和歌山	38 6 朝日放送（ＡＢＣ）		40 8 関西テレビ放送（関西テレビ）		42 10 読売テレビ放送（読売テレビ）		46 12 ＮＨＫ教育

※ カッコ内は画面に略号で表示される場合

地上アナログ放送の自動設定一覧表（つづき）

	リモコンボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県名	地域都市名	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※
鳥取	鳥取	1 1 日本海テレビジョン放送 （日本海テレビ）		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 ＮＨＫ教育						22 22 山陰放送 （ＢＳＳテレビ）		24 24 山陰中央テレビジョン放送 （ＴＳＫ）
	米子	30 30 日本海テレビジョン放送 （日本海テレビ）		32 42 ＮＨＫ総合					34 34 山陰中央テレビジョン放送 （ＴＳＫ）		10 10 山陰放送 （ＢＳＳテレビ）		12 12 ＮＨＫ教育
	倉吉	1 1 日本海テレビジョン放送 （日本海テレビ）		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 ＮＨＫ教育				58 58 山陰中央テレビジョン放送 （ＴＳＫ）		56 56 山陰放送 （ＢＳＳテレビ）		
島根	松江	30 30 日本海テレビジョン放送 （日本海テレビ）					6 6 ＮＨＫ総合		34 34 山陰中央テレビジョン放送 （ＴＳＫ）		10 10 山陰放送 （ＢＳＳテレビ）		12 12 ＮＨＫ教育
	浜田		2 2 ＮＨＫ総合	54 54 日本海テレビジョン放送 （日本海テレビ）		5 5 山陰放送 （ＢＳＳテレビ）			58 58 山陰中央テレビジョン放送 （ＴＳＫ）	9 9 ＮＨＫ教育			
岡山	岡山			3 3 ＮＨＫ教育		5 5 ＮＨＫ総合	23 23 テレビせとうち	25 25 瀬戸内海放送		9 9 西日本放送		11 11 山陽放送 （ＲＳＫ）	35 35 岡山放送 （ＯＨＫ）
	津山		2 2 ＮＨＫ総合		56 56 テレビせとうち		62 62 瀬戸内海放送	7 7 山陽放送 （ＲＳＫ）		58 58 西日本放送		60 60 岡山放送 （ＯＨＫ）	12 12 ＮＨＫ教育
	笠岡		2 2 ＮＨＫ総合		4 4 ＮＨＫ教育	19 19 テレビせとうち	6 6 山陽放送 （ＲＳＫ）			17 17 西日本放送	21 21 瀬戸内海放送	60 60 岡山放送 （ＯＨＫ）	
広島	広島	31 31 テレビ新広島 （ＴＳＳ）		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 中国放送 （ＲＣＣ）			7 7 ＮＨＫ教育		35 35 広島ホームテレビ			12 12 広島テレビ放送 （広島テレビ）
	福山	54 54 テレビ新広島 （ＴＳＳ）		3 3 ＮＨＫ教育		5 5 ＮＨＫ総合		7 7 中国放送 （ＲＣＣ）		57 57 広島ホームテレビ		11 11 広島テレビ放送 （広島テレビ）	
	呉	1 1 ＮＨＫ教育		24 24 広島ホームテレビ		5 5 広島テレビ放送 （広島テレビ）		26 26 テレビ新広島 （ＴＳＳ）		9 9 中国放送 （ＲＣＣ）		11 11 ＮＨＫ総合	
	尾道	1 1 ＮＨＫ総合		24 24 広島ホームテレビ		26 26 テレビ新広島 （ＴＳＳ）		7 7 ＮＨＫ教育			10 10 中国放送 （ＲＣＣ）		12 12 広島テレビ放送 （広島テレビ）
山口	山口	42 42 ＮＨＫ教育					52 52 山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	49 49 テレビ山口 （ＴＹＳ）		44 44 ＮＨＫ総合		46 46 山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	
	下関	41 41 ＮＨＫ教育	2 2 九州朝日放送 （ＫＢＣ）	23 23 ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	4 4 山口放送 （ＫＲＹ山口放送）		21 21 山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	33 33 テレビ山口 （ＴＹＳ）	8 8 アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	39 39 ＮＨＫ総合	10 10 テレビ西日本 （ＴＮＣ）		35 35 福岡放送 （ＦＢＳ）
	宇部	55 14 ＮＨＫ教育	2 2 九州朝日放送 （ＫＢＣ）				24 31 山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	44 20 テレビ山口 （ＴＹＳ）	8 8 アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	58 16 ＮＨＫ総合	10 10 テレビ西日本 （ＴＮＣ）	61 18 山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	
	岩国	1 1 ＮＨＫ教育	31 31 テレビ新広島 （ＴＳＳ）				28 28 山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	62 22 テレビ山口 （ＴＹＳ）		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	
	防府	1 1 ＮＨＫ教育					28 28 山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	38 38 テレビ山口 （ＴＹＳ）		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	
徳島	徳島	1 1 四国放送		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 毎日放送		6 6 朝日放送 （ＡＢＣ）		8 8 関西テレビ放送 （関西テレビ）		10 10 読売テレビ放送 （読売テレビ）		38 12 ＮＨＫ教育
香川	高松			39 39 ＮＨＫ教育		37 37 ＮＨＫ総合	19 19 テレビせとうち	33 33 瀬戸内海放送		41 41 西日本放送		29 29 山陽放送 （ＲＳＫ）	31 31 岡山放送 （ＯＨＫ）
	丸亀			40 40 ＮＨＫ教育		44 44 ＮＨＫ総合	46 16 テレビせとうち	42 42 瀬戸内海放送		50 20 西日本放送		48 18 山陽放送 （ＲＳＫ）	52 22 岡山放送 （ＯＨＫ）
愛媛	松山	31 31 テレビ新広島 （ＴＳＳ）	2 2 ＮＨＫ教育				6 6 ＮＨＫ総合		29 29 あいテレビ	25 25 愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	10 10 南海放送 （ＲＮＢ）	35 35 広島ホームテレビ	37 37 愛媛放送 （テレビ愛媛）
	今治		30 30 ＮＨＫ教育				32 32 ＮＨＫ総合		27 27 あいテレビ	14 14 愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	34 34 南海放送 （ＲＮＢ）		36 36 愛媛放送 （テレビ愛媛）
	新居浜		2 2 ＮＨＫ総合		4 4 ＮＨＫ教育		6 6 南海放送 （ＲＮＢ）	14 14 愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	27 27 あいテレビ				36 36 愛媛放送 （テレビ愛媛）
	宇和島	1 1 ＮＨＫ教育					6 6 ＮＨＫ総合		25 34 あいテレビ	16 16 愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	10 10 南海放送 （ＲＮＢ）		27 32 愛媛放送 （テレビ愛媛）
高知	高知				4 4 ＮＨＫ総合		6 6 ＮＨＫ教育		8 8 高知放送 （ＲＫＣ）		38 38 テレビ高知 （ＫＵＴＶ）		40 40 高知さんさんテレビ （さんさんテレビ）
	中村	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 高知放送 （ＲＫＣ）			32 32 テレビ高知 （ＫＵＴＶ）		14 14 高知さんさんテレビ （さんさんテレビ）			11 11 ＮＨＫ教育	
福岡	福岡	1 1 九州朝日放送 （ＫＢＣ）		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	19 19 ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	6 6 ＮＨＫ教育			9 9 テレビ西日本 （ＴＮＣ）			37 37 福岡放送 （ＦＢＳ）

※ カッコ内は画面に略号で表示される場合

	リモコンボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県名	地域都市名	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※	チャンネル 画面の番号表示 放送局名※
福岡	北九州		2 2 九州朝日放送（KBC）	35 35 福岡放送（FBS）		23 23 ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	6 6 NHK総合		8 8 アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）		10 10 テレビ西日本（TNC）		12 12 NHK教育
	久留米	57 57 九州朝日放送（KBC）	36 36 サガテレビ	46 46 NHK総合	48 48 アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	14 14 ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	54 54 NHK教育			60 60 テレビ西日本（TNC）			52 52 福岡放送（FBS）
	大牟田	58 58 九州朝日放送（KBC）		53 53 NHK総合	61 61 アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	19 19 ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	50 50 NHK教育			55 55 テレビ西日本（TNC）			43 43 福岡放送（FBS）
	行橋		57 57 九州朝日放送（KBC）	43 43 福岡放送（FBS）		19 19 ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	49 49 NHK総合		60 60 アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）		54 54 テレビ西日本（TNC）		46 46 NHK教育
佐賀	佐賀		40 40 NHK教育	52 52 福岡放送（FBS）	36 36 サガテレビ	14 14 ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	57 57 九州朝日放送（KBC）		48 48 アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	38 38 NHK総合	60 60 テレビ西日本（TNC）	11 11 熊本放送（RKK）	
	伊万里	44 44 NHK教育		52 52 福岡放送（FBS）	41 41 サガテレビ	14 14 ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	57 57 九州朝日放送（KBC）		48 48 アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	51 51 NHK総合	60 60 テレビ西日本（TNC）	11 11 熊本放送（RKK）	
長崎	長崎	1 1 NHK教育		3 3 NHK総合		5 5 長崎放送（NBC）		37 37 テレビ長崎（KTN）		27 27 長崎文化放送（NCC）		25 25 長崎国際テレビ	
	佐世保		2 2 NHK教育				31 31 長崎文化放送（NCC）	35 35 テレビ長崎（KTN）	8 8 NHK総合		10 10 長崎放送（NBC）	17 17 長崎国際テレビ	
	諫早	45 45 NHK教育		47 47 NHK総合		49 49 長崎放送（NBC）		42 42 テレビ長崎（KTN）		24 24 長崎文化放送（NCC）		20 20 長崎国際テレビ	
熊本	熊本		2 2 NHK教育	16 16 熊本朝日放送（KAB）	22 22 熊本県民テレビ（KKT）		34 34 テレビ熊本（TKU）			9 9 NHK総合		11 11 熊本放送（RKK）	
	水俣	1 1 NHK教育		32 32 熊本朝日放送（KAB）	4 4 NHK総合		6 6 熊本放送（RKK）		36 36 熊本県民テレビ（KKT）		38 38 テレビ熊本（TKU）		
大分	大分			3 3 NHK総合		5 5 大分放送（OBS）	24 24 大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	36 36 テレビ大分（TOS）					12 12 NHK教育
	中津			48 48 NHK総合		51 51 大分放送（OBS）	17 17 大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	37 37 テレビ大分（TOS）					45 45 NHK教育
	佐伯	1 1 NHK教育				49 49 テレビ大分（TOS）	31 31 大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	7 7 NHK総合		9 9 大分放送（OBS）			
宮崎	宮崎			35 35 テレビ宮崎（UMK）					8 8 NHK総合		10 10 宮崎放送（MRT）		12 12 NHK教育
	延岡		2 2 NHK教育		4 4 NHK総合		6 6 宮崎放送（MRT）		39 39 テレビ宮崎（UMK）				
鹿児島	鹿児島	1 1 南日本放送（MBC）		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		32 32 鹿児島放送（KKB鹿児島放送）		38 38 鹿児島テレビ放送（KTS）		30 30 鹿児島読売テレビ（KYT）	
	鹿屋		2 2 NHK教育		4 4 NHK総合		6 6 南日本放送（MBC）		31 31 鹿児島放送（KKB鹿児島放送）		33 33 鹿児島テレビ放送（KTS）		25 25 鹿児島読売テレビ（KYT）
	阿久根				23 23 鹿児島放送（KKB鹿児島放送）		35 35 鹿児島テレビ放送（KTS）		8 8 NHK総合		10 10 南日本放送（MBC）	17 17 鹿児島読売テレビ（KYT）	12 12 NHK教育
沖縄	那覇		2 2 NHK総合				28 28 琉球朝日放送（QAB）		8 8 沖縄テレビ放送（OTV）		10 10 琉球放送（RBC）		12 12 NHK教育

※ カッコ内は画面に略号で表示される場合

地上アナログ放送の自動設定一覧表（つづき）

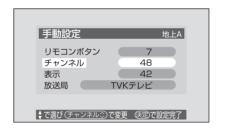
正しく受信できないときは

■ 地域名・都市名を指定して自動設定をしても正しく受信できない場合

アンテナの種類（VHF または UHF）や向きが、本機を使用する地域や都市に適した状態になっていることを確認してください。詳しくは、お買い上げの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

「地上アナログ放送の自動設定一覧表」の地域・都市に属する地域であっても、隣接する地域・都市の境界付近や、ビルなどの高層物の影響を受ける場合には、近くの別の地域・都市にアンテナの種類（VHF または UHF）や向きを合わせた方が、より良い受信環境になる場合があります。その場合は次のように設定してください。

1 近くの別の地域・都市にアンテナの種類（VHF または UHF）や向きを合わせる

詳しくは、お買い上げの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

2 「地上 A 自動設定」（127 ページ）の手順 1 ～ 3 を行う

3 手順 4 でアンテナの向きに合わせた地域名・都市名を選び、決定を押す

適した地域・都市名が分からない場合は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」を参照し、最寄りの地域名・都市名から選んで設定してみて、正しく受信される地域・都市名をお探しください。

例えば、本機を使用する地域が「横浜みなと」の場合は、「横浜・川崎」や「平塚・茅ケ崎」などを選んでみます。

■ 左記の操作を行っても正しく受信できないチャンネルの場合

1 「手動設定」（131 ページ）の手順 1 を行う

2 手順 2 で該当するリモコンのボタンを選び、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」の同じリモコンボタンで正しく受信できる他の「チャンネル」を選んで決定を押す

例えば、自動チャンネル設定で設定した地域・都市名が「横浜・川崎」の場合で、他は正しく受信できても、リモコンボタン 7 に割り当てられている「テレビ神奈川」「42CH」だけが正しく受信できない場合は、「48CH」（横浜みなと）や「46CH」（小田原）などに変えてみて正しく受信できるところを探します。

地上デジタル放送の放送（予定）一覧表

この表は、地上デジタル放送の放送予定と次の事柄について記載しています。

- お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送がリモコンボタンに自動設定される目安
  ［チャンネル設定］の［地上 D 自動設定］（128 ページ）を行うと、放送の運用規格に基いて、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをリモコンの数字ボタン（①〜⑫）に自動設定します。この表では、その際に地域内のどの放送局がそのボタンに設定されるかの目安を記載しています。
- 番組表表示に表示される域内の放送局の順番（目安）

❖ 放送局名は、番組表の並び順に記載しています。

❖ この表をご覧の際は、186 ページもよくお読みください。

❖ この表の内容は目安です。放送局の開局の状況などによっては、この表のとおりにならない場合があります。

お住まいの地域	リモコンボタン※1	北海道全域（区域放送開始前）	リモコンボタン※1	旭川（区域放送開始後）	リモコンボタン※1	釧路（区域放送開始後）	リモコンボタン※1	北見（区域放送開始後）	リモコンボタン※1	帯広（区域放送開始後）	リモコンボタン※1	札幌（区域放送開始後）	リモコンボタン※1	函館（区域放送開始後）	リモコンボタン※1	室蘭（区域放送開始後）
放送局名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・室蘭
	2	NHK 教育・札幌	2	NHK 教育・旭川	2	NHK 教育・釧路	2	NHK 教育・北見	2	NHK 教育・帯広	2	NHK 教育・札幌	2	NHK 教育・函館	2	NHK 教育・室蘭
	1	HBC 北海道放送	1	HBC 旭川	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 帯広	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 室蘭
	5	STV 札幌テレビ	5	STV 旭川	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 帯広	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 室蘭
	6	HTB 北海道テレビ	6	HTB 旭川	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 帯広	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 室蘭
	8	UHB	8	UHB 旭川	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 帯広	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 室蘭
	7	TVH	7	TVH 旭川	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 帯広	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 室蘭

お住まいの地域	リモコンボタン※1	青森	リモコンボタン※1	岩手	リモコンボタン※1	宮城	リモコンボタン※1	秋田	リモコンボタン※1	山形	リモコンボタン※1	福島	リモコンボタン※1	茨城	リモコンボタン※1	栃木
放送局名	3	NHK 総合・青森	1	NHK 総合・盛岡※3	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・福島※3	1	NHK 総合・水戸※3	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・青森	2	NHK 教育・盛岡※3	2	NHK 教育・仙台	2	NHK 教育・秋田	2	NHK 教育・山形	2	NHK 教育・福島※3	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京
	1	RAB 青森放送	6	IBC テレビ	1	TBC テレビ	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	8	福島テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	6	ATV 青森テレビ	4	テレビ岩手	8	仙台放送	8	AKT 秋田テレビ	5	YTS 山形テレビ	4	福島中央テレビ	6	TBS	6	TBS
	5	青森朝日放送	8	めんこいてれび	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビュー山形	5	KFB 福島放送	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
			5	岩手朝日テレビ	5	KHB 東日本放送			8	さくらんぼテレビ	6	テレビュー福島	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
													7	テレビ東京	7	テレビ東京
													12	放送大学	3	とちぎテレビ
															12	放送大学

お住まいの地域	リモコンボタン※1	群馬	リモコンボタン※1	埼玉	リモコンボタン※1	千葉	リモコンボタン※1	東京	リモコンボタン※1	神奈川	リモコンボタン※1	新潟	リモコンボタン※1	山梨	リモコンボタン※1	長野
放送局名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府※3	1	NHK 総合・長野
	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・新潟	2	NHK 教育・甲府※3	2	NHK 教育・長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	6	BSN	4	YBS 山梨放送	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	8	NST	6	UTY	5	ABN 長野朝日放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	4	TeNY テレビ新潟			6	SBC 信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	新潟テレビ 21			8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京						
	3	群馬テレビ	3	テレビ埼玉	3	ちばテレビ	9	東京 MX テレビ	3	tvk						
	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学						

お住まいの地域	リモコンボタン※1	富山	リモコンボタン※1	石川	リモコンボタン※1	福井	リモコンボタン※1	静岡	リモコンボタン※1	愛知	リモコンボタン※1	三重	リモコンボタン※1	岐阜	リモコンボタン※1	滋賀
放送局名	3	NHK 総合・富山※3	1	NHK 総合・金沢※3	1	NHK 総合・福井※3	1	NHK 総合・静岡	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津※3	3	NHK 総合・岐阜※3	1	NHK 総合・大津※3
	2	NHK 教育・富山※3	2	NHK 教育・金沢※3	2	NHK 教育・福井※3	2	NHK 教育・静岡	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・大阪
	1	KNB 北日本放送	4	テレビ金沢	7	FBC テレビ	6	SBS	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	MBS 毎日放送
	8	BBT 富山テレビ	5	北陸朝日放送	8	福井テレビ	8	テレビ静岡	5	CBC	5	CBC	5	CBC	6	ABC テレビ
	6	チューリップテレビ	6	MRO			4	静岡第一テレビ	6	メ〜テレ	6	メ〜テレ	6	メ〜テレ	8	関西テレビ
			8	石川テレビ			5	静岡朝日テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	10	よみうりテレビ
									10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ	3	BBC びわ湖放送

お住まいの地域	リモコンボタン※1	京都	リモコンボタン※1	大阪	リモコンボタン※1	兵庫	リモコンボタン※1	奈良	リモコンボタン※1	和歌山	リモコンボタン※1	鳥取	リモコンボタン※1	島根	リモコンボタン※1	岡山
放送局名	1	NHK 総合・京都※3	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・神戸※3	1	NHK 総合・奈良※3	1	NHK 総合・和歌山※3	3	NHK 総合・鳥取※3	3	NHK 総合・松江※3	1	NHK 総合・岡山※3
	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・鳥取※3	2	NHK 教育・松江※3	2	NHK 教育・岡山※3
	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	RNS 西日本テレビ
	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	6	RSK テレビ
	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ					7	テレビせとうち
	5	KBS 京都	7	テレビ大阪	3	サンテレビ	9	奈良テレビ	5	テレビ和歌山					8	OHK テレビ

地上デジタル放送の放送（予定）一覧表（つづき）

お住まいの地域	リモコンボタン※1	広島	リモコンボタン※1	山口	リモコンボタン※1	徳島	リモコンボタン※1	香川	リモコンボタン※1	愛媛	リモコンボタン※1	高知	リモコンボタン※1	福岡	リモコンボタン※1	佐賀
放送局名	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・山口※3	3	NHK 総合・徳島※3	1	NHK 総合・高松※3	1	NHK 総合・松山	1	NHK 総合・高知	3	NHK 総合・福岡※2 NHK 総合・北九州※2	1	NHK 総合・佐賀※3
	2	NHK 教育・広島	2	NHK 教育・山口※3	2	NHK 教育・徳島※3	2	NHK 教育・高松※3	2	NHK 教育・松山	2	NHK 教育・高知	2	NHK 教育・福岡※2 NHK 教育・北九州※2	2	NHK 教育・佐賀※3
	3	RCC テレビ	4	KRY 山口放送	1	四国放送	4	RNC 西日本テレビ	4	南海放送	4	高知放送	1	KBC 九州朝日放送	3	STS サガテレビ
	4	広島テレビ	3	TYS テレビ山口			5	KSB 瀬戸内海放送	5	愛媛朝日	6	テレビ高知	4	RKB 毎日放送		
	5	広島ホームテレビ	5	YAB 山口朝日			6	RSK テレビ	6	あいテレビ	8	さんさんテレビ	5	FBS 福岡放送		
	8	TSS					7	テレビせとうち	8	テレビ愛媛			7	TVQ 九州放送		
							8	OHK テレビ					8	TNC テレビ西日本		

お住まいの地域	リモコンボタン※1	長崎	リモコンボタン※1	熊本	リモコンボタン※1	大分	リモコンボタン※1	宮崎	リモコンボタン※1	鹿児島	リモコンボタン※1	沖縄
放送局名	1	NHK 総合・長崎※3	1	NHK 総合・熊本 *3	1	NHK 総合・大分※3	1	NHK 総合・宮崎※3	3	NHK 総合・鹿児島※3	1	NHK 総合・那覇
	2	NHK 教育・長崎※3	2	NHK 教育・熊本 *3	2	NHK 教育・大分※3	2	NHK 教育・宮崎※3	2	NHK 教育・鹿児島※3	2	NHK 教育・那覇
	3	NBC 長崎放送	3	RKK 熊本放送	3	OBS 大分放送	6	MRT 宮崎放送	1	MBC 南日本放送	3	RBC テレビ
	8	KTN テレビ長崎	8	TKU テレビ熊本	4	TOS テレビ大分	3	UMK テレビ宮崎	8	KTS 鹿児島テレビ	5	QAB 琉球朝日放送
	5	NCC 長崎文化放送	4	KKT くまもと県民	5	OAB 大分朝日放送			5	KKB 鹿児島放送	8	沖縄テレビ（OTV）
	4	NIB 長崎国際テレビ	5	KAB 熊本朝日放送					4	KYT 鹿児島読売 TV		

※ 1：初期スキャンや再スキャンを行ったときに、その放送局がリモコンのどの数字ボタンに設定されるかを表します。

※ 2：初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高い方の放送をダイレクト選局ボタンに設定します。
これは、放送の運用規定によるものです。

※ 3：初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた地域外の NHK 放送を数字ボタンに設定します。
（設定される放送は、地域によって決められています）
その後「※ 3」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。これは、放送の運用規定によるものです。

クリーニングについて

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングを行うことをおすすめします。

注意
- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

■ キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください）

■ 液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

❖ パネル面のクリーニングには EIZO ScreenCleaner（別売品）のご利用をおすすめします。

内部にほこりがたまると、故障や火災の原因となることがあります。年に 1 度は内部の掃除、点検を販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

仕様一覧

表示部	
液晶パネル	26V 型ワイド
画面寸法	575.77mm（幅）× 323.71mm（高さ）
表示画素数	1366 ドット× 768 ライン
画素ピッチ	0.4215mm（幅）× 0.4215mm（高さ）
表示色	1677 万色
視野角	上下 170 度、左右 170 度（CR≧10：1）

テレビ	
受信チャンネル	地上アナログ：VHF 1 ～ 12、UHF 13 ～ 62、CATV C13 ～ C38 地上デジタル：VHF 1 ～ 12、UHF 13 ～ 62、CATV C13 ～ C63 BS デジタル：BS000 ～ BS999 110 度 CS デジタル：CS000 ～ CS999

音声	
スピーカー	φ100mm × 2
実用最大出力	12W ＋ 12W（JEITA）

入出力端子	
入力端子	
アンテナ入力端子	地上波（デジタル / アナログ）：VHF/UHF 75 Ω F 型コネクタ BS/110 度 CS デジタル：75 Ω F 型コネクタ
S2 映像入力端子	DIN ミニ 4 ピン 2 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：0.28Vp-p/75 Ω
映像入力端子	ピンジャック 2 系統 1.0Vp-p/75 Ω
コンポーネント映像入力端子	D 端子 2 系統 ピンジャック 1 系統 対応フォーマット：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p） Y：1.0Vp-p/75 Ω、Cb、Cr：0.7Vp-p/75 Ω
HDMI 入力端子	HDMI TypeA 1 系統 対応フォーマット 映像：525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p） 音声：リニア PCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz） ※本機は High-Definition Multimedia Interface Specification Version 1.1 に準拠しています。 CEC（Consumer Electronics Control）には対応していません。
PC 映像入力端子	D-Sub ミニ 15 ピン 1 系統 対応信号：VGA（640 × 480） 60Hz / 72Hz / 75Hz VGA TEXT（720 × 400） 70Hz SVGA（800 × 600） 56Hz / 60Hz / 72Hz / 75Hz XGA（1024 × 768） 60Hz / 70Hz / 75Hz WXGA（1280 × 768） 60Hz 1360 × 768 60Hz ドットクロック（最大）：85.5MHz

入出力端子（つづき）	
入力端子	
音声入力端子	ピンジャック：S 映像 / 映像入力用 2 系統 コンポーネント映像入力（D 端子）用 2 系統 コンポーネント映像入力（ピンジャック）用 1 系統 φ3.5mm ステレオミニジャック：PC 映像入力用 1 系統
出力端子	
S1 映像出力端子※1	DIN ミニ 4 ピン 1 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：0.28Vp-p/75 Ω
映像出力端子※1	ピンジャック 1 系統 1.0Vp-p/75 Ω
音声出力端子※1	ピンジャック 1 系統
ヘッドフォン出力端子	φ3.5mm ステレオミニジャック 1 系統
光デジタル音声出力端子※2	角型ジャック 1 系統
ビデオコントロール端子	φ3.5mm ミニジャック 1 系統

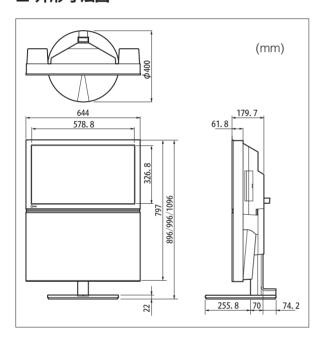
※1 デジタル放送録画用
※2 デジタル放送および i.LINK、メモリカードからの音声出力のみ対応

その他	
電話回線接続端子	モジュラージャック式 RJ-11 1 系統
Ether 端子	RJ-45 1 系統
i.LINK 端子	IEEE1394 4 ピン S400 対応、MPEG2-TS 信号 2 系統
メモリカードスロット	「SD メモリカード」：8/16/32/64/128/256/512MB 対応 「MMC」：16/32/64/128MB 対応 「メモリースティック」：16/32/64/128MB 対応

電源	
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	155W 電源待機時 約 0.9W （デジタル放送の番組情報受信時、録画予約実行時などは 30W 以下）

外形寸法	
スタンド含む	644mm（幅）× 896 ～ 1096mm（高さ）× 400mm（奥行き）
スタンド除く	644mm（幅）× 797mm（高さ）× 179.7mm（奥行き）

重量	
スタンド含む	28.5kg
スタンド除く	20.5kg

仕様一覧（つづき）

環境	
動作範囲	0 ～ 35℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）
保存範囲	－ 20 ～ 60℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）

適合規格
• 電気用品安全法 • JIS C 61000 3-2 （本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000 3-2 に適合しております）

■ 外形寸法図

D 端子の種類と対応映像信号（参考）

	525i（480i）	525p（480p）	1125i（1080i）	750p（720p）
D1	○	－	－	－
D2	○	○	－	－
D3	○	○	○	－
D4	○	○	○	○

用語集

AAC（17 ページ）
Advanced Audio Coding の略で、音声の圧縮方式のひとつです。既存の圧縮方式（MP3 など）より高音質を実現するといわれています。また、「MPEG-2 AAC」は国内のデジタル放送の音声規格になっています。

BBE（ii ページ）
本機には、音響を改善するための BBE 回路が搭載されています。BBE 回路は、米国 BBE サウンド社が開発したもので、スピーカーから出力される際に起こる高域、中域、低域の時間的なずれを減らし、また、減衰した高域を補正することで、スピーカーから聞こえる音をオリジナルの音に近づけることができます。

D 端子（xvi ページ）
デジタル放送に対応するために開発されたコンポーネント映像端子で、DVD プレーヤーやデジタル放送チューナーに搭載されています。
D 端子には、やりとりできる信号により D1 から D4 までの端子規格があります。D1 が通常のテレビ放送、D3 以上がハイビジョン放送に対応しています。現行の BS デジタルハイビジョンの信号は、D3/D4 規格になっています。

HDMI（16 ページ）
HDMI とは、High-Definition Multimedia Interface の略で、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の一つである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1 本のケーブルで送受信することができます。なお、本機は入力にのみ対応しています。

i.LINK（アイリンク）（63 ページ）
デジタルの映像、音声、データ信号を双方向で通信できるシステムです。i.LINK ケーブル 1 本で接続するだけで、映像や音声をやり取りできます。（IEEE1394 規格にソニー株式会社が命名したもので、ソニー株式会社の商標です）

IP 変換（97 ページ）
画面の走査処理を I（インターレス）から P（プログレッシブ＝ノンインターレス）に変換する技術です。DVD などデジタル処理されたビデオ信号で、ちらつきを軽減するなど、より高品質な画面を表示するために用いられます。

MPEG（102 ページ）
動画を圧縮する形式のひとつです。インターネットでの画像配信、CS 放送や BS デジタル放送、DVD などに使われています。ビデオ映像は、一般には 1 秒間に約 30 枚の画像（フレーム）で構成されますが、一枚一枚すべてを保存するとデータのサイズが膨大になるため、隣りあったフレームの同じような部分を共通で使うようにして、サイズを小さくします。
MPEG には、現在「MPEG-1」、「MPEG-2」、「MPEG-4」の規格があり、デジタル放送や DVD では MPEG-2 が使われています。
MPEG とは、Moving Picture ExpertsGroup の略で、ISO により組織された専門家グループの名称がそのまま使われています。

PCM（102 ページ）
Pulse Code Modulation の略で、音声をデジタル化する方式のひとつです。音楽用 CD や DVD の音声に使われています。

イコライザー（103 ページ）
音声入力信号の周波数特性を変化させて音質を補正する機能です。周波数をいくつかの帯域に分け、それぞれを強めたり弱めたりすることで音質を調節します。

ガンマ補正（97、99、101 ページ）
入力される映像信号の電圧の強さと画面の明るさの関係をグラフにすると、直線とはならず緩やかな曲線を描いて変化します。この曲線の曲がり具合を表す数値をガンマ（γ）値と呼びます。黒レベルから白レベルの出力階調特性を任意の値に設定することをガンマ補正といい、暗部や明部の階調を重視したガンマ補正をかけると、一般的には S 字カーブの曲線を描きます。

緊急警報放送（113 ページ）
地震や津波などの非常災害時に行われる放送で、放送があると自動的に選局されます。

コンポーネント映像端子（xvi ページ）
ビデオ信号を輝度信号（Y）と色差信号（Pb、Pr または Cb、Cr）に分離してやりとりする端子です。Y/C 分離が必要なコンポジット映像端子よりも、きれいな映像を表示することができます。本機に装備されている D 端子は、輝度信号と色差信号を分離して送るコンポーネント端子です。

用語集（つづき）

ご案内チャンネル（87 ページ）

未契約の有料チャンネルを受信したとき、放送についてや契約のしかたなどを説明している別のチャンネルをご覧になれる場合があります。この別のチャンネルのことをご案内チャンネルといいます。

光デジタル音声出力（xvi ページ）

デジタル音声のデータを、電気信号から光信号に変換して出力することです。光信号にすると、電子機器などからの電気的な影響を受けることがなくなり、ノイズのない音声を送ることができます。

索引

索引（つづき）

保証書とアフターサービスについて

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。

■ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 3 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低 8 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

■ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再生部品を使用することがあります。

[保証期間中の場合]

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

[保証期間を過ぎている場合]

お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容)、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはエイゾーサポート（裏表紙記載）までお願いいたします。

■ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例：S/N 12345678）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■ 廃棄および回収・リサイクルについて

本製品の電子部品、プリント基板、金属部品などには重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン)、フッ素、ホウ素、セレン、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、廃棄および回収・リサイクルにお出しください。

個人のお客様

本製品は「家電リサイクル法」対象外のため、自治体の指示に従って廃棄ください。

法人のお客様

本製品は、法人ユーザー様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、弊社にてお客様の費用負担でお引取りいたします。詳細についてはエイゾーサポートまでお問い合わせください。また、弊社のホームページ（http://www.eizo.co.jp/）もあわせてご覧ください。

[エイゾーサポート]

電話での問い合わせ受付

TEL 076-274-7369（法人向け回収・リサイクル専用電話）

月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日をのぞく）9：30 ～ 17：30

FAX での問い合わせ受付

FAX 076-274-2416

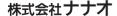
長年ご使用のテレビの点検を！	テレビセットを長期ご使用になりますと、内部のほこりなどの堆積によって故障する場合があります。	愛情点検

このような症状はありませんか？	●電源を入れても映像や音が出ない ●映像が時々消える ●変なにおいがしたり、煙が出たりする ●製品内部に水や異物が入った ●電源を切っても映像や音が消えない	ご使用中止	すぐに電源プラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ず販売店またはエイゾーサポートに点検をご相談ください。

故障 / 修理に関するお問い合わせ先

● エイゾーサポート

電話での問い合わせ受付　本社：**076-274-2474**　東京：**03-3458-7737**　大阪：**06-6396-0357**

営業時間：9:30 ～ 17:30（月曜日～金曜日）／ 10:00 ～ 17:00（土曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

FAX での問い合わせ受付　**076-274-2416**

製品に関するお問い合わせ先

● EIZO コンタクトセンター　**0120-956-812**

受付時間：9:30 ～ 18:00（月曜日～金曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

株式会社ナナオ

〒924-8566　石川県白山市下柏野町153番地

www.eizo.co.jp

環境保護のため、再生紙を使用しています。

第2版　2008年3月　Printed in Japan.

00N0L182B1